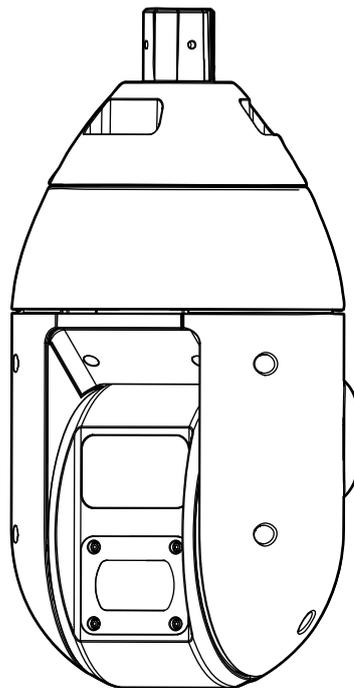


取扱説明書 操作・設定編

ネットワークカメラ

品番 WV-X6533LNJ
WV-S6532LNJ
WV-X6533LNSJ
WV-S6532LNSJ



WV-X6533LNJ

本書では、品番の一部を省略している場合があります。

はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下の3部構成になっています。

- 取扱説明書 操作・設定編（本書）：本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載されています。
- 取扱説明書 基本編：安全上のご注意、使用上、設置上のお願事項などについて記載されています。
- 取扱説明書 設置編：設置手順とネットワーク接続の方法が記載されています。

本書で使用しているカメラの画面は、WV-X6533LNJを代表として記載しています。お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。

お知らせ

- 本書内で使用している「管理番号：Cxxxx」は、パナソニックサポートウェブサイト内で検索時に使用していただき、該当する情報へご案内するための番号です。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

(X6533)：WV-X6533LNJ、WV-X6533LNSJで使用できる機能です。

(S6532)：WV-S6532LNJ、WV-S6532LNSJで使用できる機能です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

Microsoft Windows 10日本語版をWindows 10と表記しています。

Microsoft Windows 8.1日本語版をWindows 8.1と表記しています。

Microsoft Windows 7日本語版をWindows 7と表記しています。

Internet Explorer 11日本語版をInternet Explorerと表記しています。

SDXC／SDHC／SDメモリーカードをSDカードまたはSDメモリーカードと表記しています。

Universal Plug and PlayをUPnP™またはUPnPと表記しています。

管理者登録について

カメラへの初回アクセス時（本機を初期化したときにも表示されます）に管理者登録画面が表示されます。

管理者のユーザー名、パスワードを定めて、間違いのないように入力してください。以降のログインで使用します。

管理者登録

この画面で管理者用ユーザー名、パスワードの初期設定が必要です。
設定後は忘れないように管理してください。

ユーザー名(1~32文字)	<input type="text"/>
パスワード(8~32文字)	<input type="password"/>
パスワード確認	<input type="password"/>

登 録

お知らせ

- (1)大文字、小文字を区別して入力してください。
- (2)ユーザー名の入力不可文字は次の通りです。全角、半角記号「&」;「¥」
- (3)パスワードの入力不可文字は次の通りです。全角、半角記号「&」
- (4)パスワードは英字（大文字）、英字（小文字）、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。
- (5)ユーザー名、パスワードは忘れないように保管してください。
- (6)パスワードは定期的に変更してください。
- (7)パスワードはユーザー名を含まないように設定してください。

【ユーザー名（1～32文字）】

管理者のユーザー名を入力します。

入力可能文字数：1～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「|」「&」「:」「;」「¥」

【パスワード(8～32文字)】 / 【パスワード確認】

管理者のパスワードを入力します。

入力可能文字数：8～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「|」「&」

お知らせ

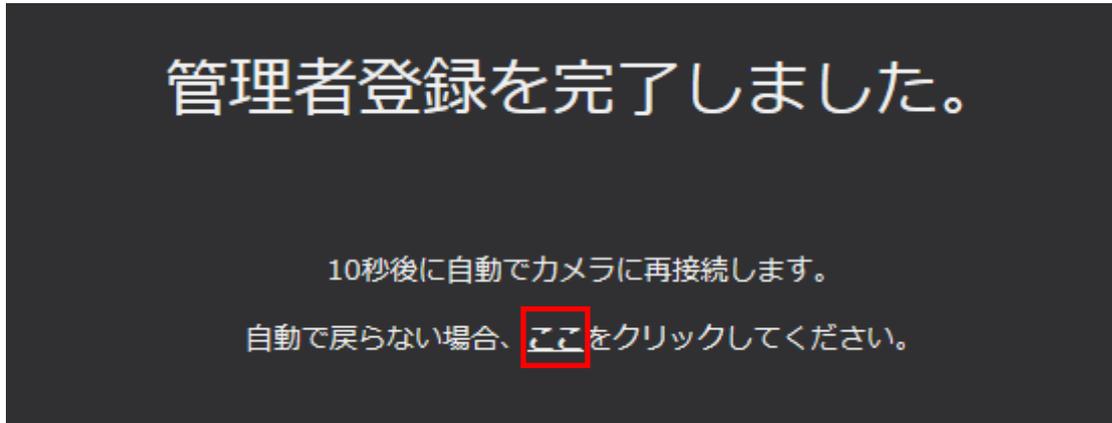
- 大文字、小文字を区別して入力してください。
- パスワードは英字大文字、英字小文字、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。
- パスワードはユーザー名を含まないように設定してください。

重要

- 設定したユーザー名、パスワードが分からなくなった場合、カメラの初期化が必要です。カメラを初期化するとすべての設定が消去されますので、ユーザー名、パスワードは第三者の目に触れないように大切に保管してください。初期化の方法については、付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編の「各部の名前」を参照してください。
- パスワードは定期的に変更してください。

管理者のユーザー名、パスワードを登録完了後に登録完了画面が表示され、10秒後に自動でカメラに再接続します。自動で戻らない場合、「ここ」をクリックしてください。

再接続すると認証画面が表示されますので、登録したユーザー名、パスワードを入力してご使用ください。



お知らせ

- 管理者のユーザー名、パスワードを登録完了すると、パン、チルト、ズームが自動的に動き始めます。

表示用プラグインソフトウェアについて

H.265（またはH.264）画像の表示、音声の受話/送話、および、SDメモリーカードに保存されている画像の再生を行うためには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」(ActiveX)をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか、付属のCD-ROMのメニューで「表示用プラグインソフトウェア」の「インストール」ボタンをクリックして、画面の指示に従ってインストールしてください。



重要

- お買い上げ時は、「プラグインソフトウェアの自動インストール」を「許可する」に設定されています。ブラウザーの情報バーにメッセージが表示される場合は、276 ページをお読みください。

- ご使用のPC内ソフト環境によってはブラウザの情報バーにメッセージが表示されるまでに、時間がかかる場合があります。
- PCからライブ画ページを表示し、[プラグインソフトウェア] ボタンをクリックすると、カメラ画像の表示に必要なActiveX のインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。JPEG形式（静止画）を表示する場合は、ActiveXをインストールする必要はありません。
- ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、「メンテナンス」ページの [バージョンアップ] タブで確認できます（→245 ページ）。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

もくじ

1	操作	10
1.1	PCから画像を見る	10
1.1.1	1台のカメラの画像を見る	10
1.1.2	ライブ画ページについて	13
1.1.3	複数台のカメラの画像を見る	20
1.2	携帯電話・携帯端末から画像を見る	23
1.2.1	携帯電話から画像を見る	23
1.2.2	携帯端末（スマートフォンを含む）から画像を見る	25
1.3	手動でSDメモリーカードに画像を保存する	32
1.4	アラーム発生時の動作について	34
1.4.1	アラームの種類について	34
1.4.2	アラーム発生時の動作について	34
1.5	FTPサーバーに画像を送信する	36
1.5.1	アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）	36
1.5.2	指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）	36
1.5.3	定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する	36
1.6	ログリストを表示する	38
1.7	SDメモリーカードの画像を再生する	43
1.7.1	SDメモリーカードに保存されている「JPEG(1)」／「JPEG(2)」／「JPEG(3)」の画像を再生する場合	43
1.7.2	SDメモリーカードに保存されている「ストリーム(1)」／「ストリーム(2)」／「ストリーム(3)」／「ストリーム(4)」の画像を再生する場合	45
2	設定	48
2.1	ネットワークセキュリティについて	48
2.1.1	本機に装備されているセキュリティ機能	48
2.2	PCから設定メニューを表示する	49
2.2.1	表示のしかた	49
2.2.2	操作のしかた	49
2.2.3	設定メニューの画面について	50
2.3	かんたん設定を使用する【かんたん設定】	52
2.3.1	インターネット公開を設定する【インターネット】	52
2.3.2	イベント動作を設定する【イベント動作】	53
2.3.2.1	スケジュール／アラームを設定する（イベント種別設定画面）	56
2.3.2.2	アラーム：端子および動作検知を設定する（アラーム設定画面）	57
2.3.2.3	アラーム：アラーム種別を設定する（アラーム種別設定画面）	60
2.3.2.4	アラーム：画像転送または録画条件の詳細を設定する	61
2.3.2.5	アラーム：出力端子を設定する	63
2.3.2.6	アラーム：メール通知およびメールサーバーを設定する	64

2.3.2.7	スケジュール：SD録画またはFTP定期送信を設定する（スケジュール種別設定画面）	66
2.3.2.8	スケジュール：SD録画を設定する（動画録画設定画面）	66
2.3.2.9	スケジュール：FTP定期送信を設定する（FTP定期送信設定画面）	68
2.4	本機の基本設定を行う【基本】	71
2.4.1	基本設定を行う【基本】	71
2.4.2	SDメモリーカードを設定する【SDメモリーカード】	78
2.4.3	改ざん検出を設定する【改ざん検出】	88
2.4.4	改ざん検出の設定方法	91
2.4.4.1	CRT鍵（暗号化キー）の生成のしかた	91
2.4.4.2	署名リクエスト（CSR）の生成のしかた	92
2.4.4.3	認証機関で発行された証明書のインストールのしかた	94
2.4.4.4	改ざん検出の設定のしかた	95
2.4.5	SDメモリーカード内の画像をPCに保存する【SDメモリーカード画像取得】	95
2.4.6	画像をダウンロードするPCのディレクトリーを設定する【ログ】	98
2.4.7	オーバーレイ画像を設定する【オーバーレイ画像】	100
2.5	画像・音声に関する設定を行う【映像／音声】	104
2.5.1	撮像モードを設定する【映像】	104
2.5.2	JPEG画像を設定する【映像】	105
2.5.3	ストリームに関する設定を行う【映像】	106
2.5.4	カメラの動作に関する設定を行う【カメラ動作】	113
2.5.5	画質／ポジションに関する設定を行う【画質／ポジション】	116
2.5.5.1	画質の調整を行う（画質調整画面）	118
2.5.5.2	マスクエリアを設定する	127
2.5.5.3	プリセットポジションに関する設定を行う（プリセットポジション設定画面）	129
2.5.5.4	オートパンに関する設定を行う（オートパン設定画面）	133
2.5.5.5	パトロールに関する設定を行う（パトロール機能設定画面）	135
2.5.5.6	自動追尾に関する設定を行う（自動追尾設定画面）	137
2.5.5.7	方角／方向設定に関する設定を行う（方角／方向設定画面）	143
2.5.5.8	プライバシーゾーンに関する設定を行う（プライバシーゾーン設定画面）	144
2.5.5.9	VIQSを設定する	146
2.5.5.10	VIQSエリアを設定する	148
2.5.6	音声を設定する【音声】	149
2.6	マルチスクリーンを設定する【マルチスクリーン】	153
2.7	アラーム設定を行う【アラーム】	155
2.7.1	アラーム動作に関する設定を行う【アラーム】	155
2.7.2	出力端子に関する設定を行う【アラーム】	157
2.7.3	AUX名称を変更する【アラーム】	158
2.7.4	アラーム連動動作に関する設定を行う【アラーム】	159

2.7.4.1	送信元別プリセットポジションに関する設定を行う（送信元別プリセットポジション設定画面）	162
2.7.4.2	アラーム発生時の画質制御に関する設定を行う	163
2.7.4.3	アラーム発生時のメール送信に関する設定を行う	164
2.7.4.4	アラーム発生時のFTP送信に関する設定を行う	165
2.7.4.5	アラーム発生時のSDメモリーカードへの録画に関する設定を行う	166
2.7.4.6	アラーム発生時の独自アラーム通知に関する設定を行う	167
2.7.4.7	アラーム発生時のHTTPアラーム通知に関する設定を行う	168
2.7.5	動作検知の設定を行う [動作検知エリア]	168
2.7.6	動作検知エリアを設定する [動作検知エリア]	171
2.7.7	音検知に関する設定を行う [音検知]	173
2.7.8	アラーム通知に関する設定を行う [通知]	176
2.7.8.1	独自アラーム通知について設定する	176
2.7.8.2	HTTPアラーム通知について設定する	178
2.8	認証を設定する [ユーザー管理]	180
2.8.1	ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]	180
2.8.2	ホスト認証を設定する [ホスト認証]	183
2.8.3	IEEE 802.1Xを設定する [IEEE 802.1X]	185
2.8.4	データ暗号を設定する [データ暗号]	188
2.9	ネットワークの設定 [ネットワーク]	191
2.9.1	ネットワークを設定する [ネットワーク]	191
2.9.2	ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス]	197
2.9.2.1	メール送信について設定する	198
2.9.2.2	FTP送信について設定する	202
2.9.2.3	NTPサーバーを設定する	206
2.9.2.4	UPnPを設定する	207
2.9.2.5	HTTPSを設定する	208
2.9.2.6	DDNSを設定する	210
2.9.2.7	SNMPを設定する	211
2.9.2.8	QoSを設定する	212
2.9.3	HTTPSの設定方法	214
2.9.3.1	HTTPSアクセスする時に使用する証明書の選択	215
2.9.3.2	ルート証明書の取得	215
2.9.3.3	HTTPSの接続設定	220
2.9.3.4	CRT鍵（SSL暗号化キー）の生成のしかた	221
2.9.3.5	署名リクエスト（CSR）の生成のしかた	222
2.9.3.6	CA証明書のインストールのしかた	224
2.9.4	HTTPSでカメラにアクセスする（プリインストール証明書選択時）	225
2.9.4.1	hostsファイルの設定について	225
2.9.5	HTTPSでカメラにアクセスする（CA証明書選択時）	230

2.9.6	DDNSの設定方法	230
2.9.6.1	「みえますねっと」サービスを使用する場合	232
2.9.6.2	ダイナミックDNS Update (DHCP連携なし) を使用する場合	235
2.9.6.3	ダイナミックDNS Update (DHCP連携) を使用する場合	235
2.10	スケジュールの設定を行う【スケジュール】	237
2.10.1	スケジュールの設定のしかた	240
2.10.2	スケジュールの削除のしかた	242
2.11	本機のメンテナンスを行う【メンテナンス】	244
2.11.1	システムログを確認する【システムログ】	244
2.11.2	ソフトウェアのバージョンアップを行う【バージョンアップ】	245
2.11.3	ステータスを確認する【ステータス】	247
2.11.4	本機を初期化・再起動する【初期化】	249
2.11.5	設定データ・ログをバックアップ／リストアする【データ】	250
2.12	パナソニックサポートウェブサイトを表示する【サポート】	252
3	その他	253
3.1	CD-ROMを使用する	253
3.1.1	CDランチャーについて	253
3.1.2	IP簡単設定ソフトウェアをインストールする	254
3.1.3	取扱説明書をインストールする	255
3.1.4	表示用プラグインソフトウェアをインストールする	255
3.1.5	IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う	256
3.2	システムログ表示について	259
3.3	故障かな!?	264
3.4	Bドライブのディレクトリー構造について	278

1 操作

1.1 PCから画像を見る

ここでは、PCからカメラの画像を見る方法を説明します。

1.1.1 1台のカメラの画像を見る

- 1 PCのウェブブラウザを起動します。
- 2 IP簡単設定ソフトウェアで設定したIPアドレスを、ウェブブラウザの [アドレス] ボックスに入力します。

IPv4アドレスの入力例：

http://IPv4アドレスで登録したURL

http://192.168.0.10/

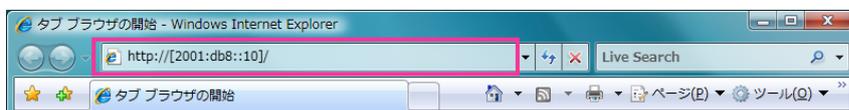
IPv6アドレスの入力例：

http://[IPv6アドレスで登録したURL]

http://[2001:db8::10]/



〈IPv4アクセス例〉



〈IPv6アクセス例〉

重要

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号」を [アドレス] ボックスに入力してください。
例：ポート番号が8080に設定されている場合：**http://192.168.0.11:8080**
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、ウェブブラウザ（メニューバーの [ツール] - [インターネットオプション]）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

お知らせ

- ネットワークページ（→191 ページ）の [アドバンス] タブの [HTTPS] - [接続方法] で [HTTPS] を設定している場合については、「HTTPSでカメラにアクセスする」（→225 ページ、230 ページ）を参照してください。

3 [Enter] キーを押します。

→ ライブ画ページが表示されます。ライブ画ページについての詳細は、13 ページをお読みください。



「ユーザー認証」を「On」に設定した場合、ライブ画ページが表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

重要

- パスワードは定期的に変更してください。
- 1台のPCで、複数のH.265（またはH.264）画像を表示しようとした場合、PCの性能により、画像が表示されない場合があります。

お知らせ

- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.265（またはH.264）画像を受信しているユーザーと、JPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。ただし、「配信量制御(ビットレート)」、「1クライアントあたりのビットレート*」の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数14人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。「ストリーム」の「配信方式」を「マルチキャスト」に設定したとき、H.265（またはH.264）画像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- 「ストリーム配信」(→107 ページ) を「On」に設定すると、「圧縮方式」の設定に従い、H.265（またはH.264）画像が表示されます。「Off」に設定すると、JPEG画像が表示されます。「ストリーム配信」を「On」に設定した場合でも、JPEG画像の表示は可能です。しかしこの場合、JPEG画像の画像更新速度は最大5 fpsに制限されます。
- JPEG画像の画像更新速度はネットワークの環境、PCの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

〈JPEG画像更新速度〉

「ストリーム配信」が「On」の場合

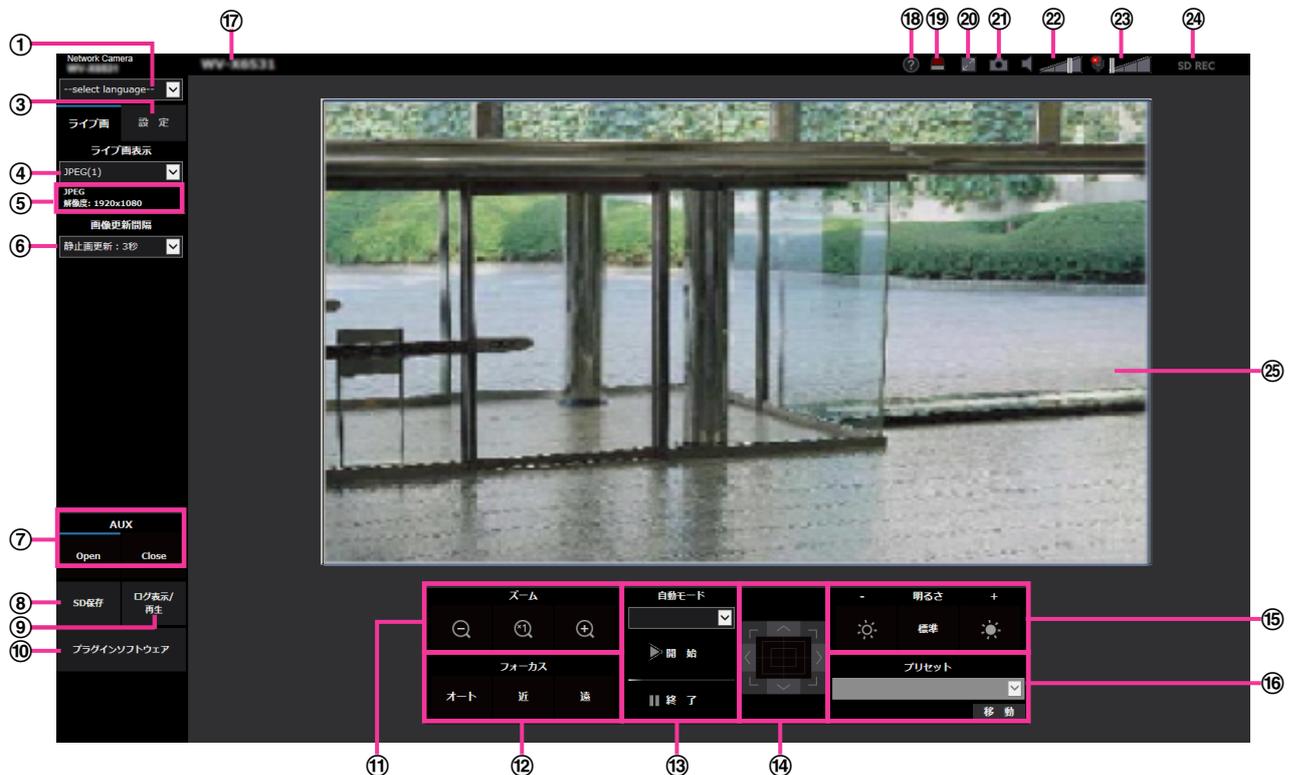
最大5 fps

「ストリーム配信」が「Off」の場合
最大30 fps

1.1.2 ライブ画ページについて

お知らせ

- ライブ画ページに表示するボタンや設定項目は、アクセスするユーザーのユーザー権限により変更できます。ユーザー権限の設定は、「ユーザー管理」の「ユーザー認証」で設定します。(→180 ページ)



① [select language] プルダウンメニュー

画面に表示される言語を切り換えることができます。また、カメラにアクセスしたときに表示される最初の言語を「基本設定」の「メニュー言語」で設定することができます。(→71 ページ)

② [ログイン] ボタン

このボタンは、「ユーザー認証」を「On」かつ管理者以外でログインした場合、または、「ユーザー認証」を「Off」かつ「未登録ユーザー」を「使用する」に設定すると、表示されます。(→180 ページ)
上記の場合でも「ホスト認証」が「On」に設定されていて、かつ管理者権限のホストからカメラのブラウザを開くとログインボタンは表示されません。



ログインに失敗した場合は、ブラウザをすべて閉じて、再度ライブ画ページを表示しログインを行ってください。

③ [設定] ボタン*1

設定メニューを表示します。

④ [ライブ画表示] ブルダウンメニュー

メインエリアに表示する画像を以下から選択し、切り換えることができます。

ストリーム(1)/ストリーム(2)/ストリーム(3)/ストリーム(4)/JPEG(1)/JPEG(2)/JPEG(3)/マルチスクリーン

ストリーム(1)~(4) (→107 ページ)、JPEG(1)~(3) (→106 ページ)、またはマルチスクリーン (→153 ページ)で設定した内容に従って、メインエリアの画像が表示されます。

また、カメラにアクセスしたときに表示される最初のストリームを「映像」タブの「初期表示ストリーム」で設定することができます。「マルチスクリーン」の場合は、「マルチスクリーン」タブの「初期表示」で設定することができます。

お知らせ

- 解像度が「2048×1536」、「1920×1080」、「1280×960」または「1280×720」の場合、ウェブブラウザ画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。

⑤ ストリーム情報表示

ライブ画表示しているストリームの圧縮方式、解像度、ビットレート、フレームレートなどの設定を表示します。

お知らせ

- ストリームに設定されている値を表示します。お使いのネットワーク環境やPCによって、実際のビットレートやフレームレートは変動します。

⑥ [画像更新間隔] ブルダウンメニュー

このブルダウンメニューは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。JPEG画像の表示方法を選択します。

- **MJPEG:** プラグインソフトウェアを使用し、JPEG形式の画像を連続 (MJPEG : Motion JPEG) して表示します。プラグインソフトウェアがインストールされていない場合は、表示されません。
- **静止画更新 : 1 秒 / 静止画更新 : 3 秒 / 静止画更新 : 5 秒 / 静止画更新 : 10 秒 / 静止画更新 : 30 秒 / 静止画更新 : 60 秒:** JPEG形式 (静止画) の画像を指定した間隔で更新します。

お知らせ

- JPEG形式 (静止画) の更新間隔は、お使いのネットワーク環境やPCによっては、指定した間隔で画像が更新されないことがあります。
- 「データ暗号」が「On」に設定されているJPEG画像は、ライブ画ページの [画像更新間隔] ブルダウンメニューが表示されません。

⑦ [AUX] ボタン*2

設定メニューで「アラーム」の「端子3」が「AUX出力」に設定されている場合のみ表示されます。(→57 ページ)

- **[Open] ボタン:** AUX端子がOpen状態になります。
- **[Close] ボタン:** AUX端子がClose状態になります。

お知らせ

- 「AUX」、「Open」、「Close」の名称は変更することができます。(→158 ページ)

⑧ [SD保存] ボタン*2

[SD保存] ボタンは、[SDメモリーカード] タブの「保存モード」を「手動保存」に設定している場合のみ表示されます。(→84 ページ)

ボタンをクリックすると、手動でSDメモリーカードに画像を保存できます。SDメモリーカードに手動で画像を保存する方法は32 ページをお読みください。

⑨ 【ログ表示／再生】 ボタン^{*2}

【ログ表示／再生】 ボタンをクリックすると、ログリストが表示され、SDメモリーカードに保存されている画像を再生できます。ログリストの詳細と画像の再生のしかたについては38 ページをお読みください。

⑩ 【プラグインソフトウェア】 ボタン

表示用プラグインソフトウェアのインストールを開始します。PCにプラグインソフトウェアがすでにインストールされている場合、または [基本] タブの [プラグインソフトウェア (nwcV4Ssetup.exe)] の「自動インストール」を「許可しない」に設定している場合は、表示されません。(→ 76 ページ)

⑪ 【ズーム】 ボタン^{*2}

-  : ズーム (倍率) を「望遠」方向に調節します。
-  : ズーム (倍率) を1.0倍にします。
-  : ズーム (倍率) を「広角」方向に調節します。

⑫ 【フォーカス】 ボタン^{*2}

-  : 自動的にフォーカス (焦点) を調節します。
-  : フォーカス (焦点) を「近」方向に調節します。
-  : フォーカス (焦点) を「遠」方向に調節します。

お知らせ

- 以下のような被写体は、オートフォーカスでピントを合わせることができません。手動操作でピントを合わせてください。
 - 輝いたり、強い光が反射する被写体
 - 水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体
 - 遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合
 - 明暗差のない被写体 (白い壁など)
 - ブラインドなど、横じまの被写体
 - 斜めの被写体
 - 暗い被写体

⑬ 自動モード^{*2}

プルダウンメニューから動作を選択し、[開始] ボタンをクリックすると選択した動作を開始します。[終了] ボタンをクリックすると動作が終了します。また、パン、チルト、ズーム、フォーカスの操作を行った場合や「セルフリターン」(→114 ページ)、「アラーム連動動作」(→159 ページ) で設定した動作が開始した場合も終了します。

お知らせ

- 長時間、自動モードを使用すると、駆動部品が消耗し、消耗品の交換サイクルが早くなる場合があります。消耗品については、付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編を参照してください。
- **自動追尾** : 自動追尾を行います。

お知らせ

- 以下の場合、自動追尾機能は利用できません。
 - [撮像モード] が「2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)」のとき
 - [画揺れ補正] が「On」のとき
 - [ストリーム(1)] の [スマートコーディング] – [顔スマートコーディング] が「Off」以外の場合
 - [画質調整] の [光量制御モード] の [最長露光時間] が以下の設定のとき
最大 2/30s / 最大 4/30s / 最大 6/30s / 最大 10/30s / 最大 16/30s
- 自動追尾機能は、画面内で動きがある対象物を抽出し、自動的に追尾します。
- 本機の自動追尾機能は、以下のような場合には、追尾できなかつたり、追尾性能が悪くなつたりすることがあります。
 - 被写体と背景のコントラストが低い場合
 - フロントパネルに水滴や汚れがついている場合
 - 照度変化が大きい場合
 - 被写体以外の動きが多い場合
 - カメラの光軸上（縦方向）で移動した場合
 - カメラの真下付近で被写体が移動した場合
 - ちらつきが激しい場合
 - 窓越し、路面の照り返し、逆光によるフロントパネル内への映りこみなど光の反射がある場合
 - 電柱や物かげなどに追尾対象物体が隠れた場合
 - 被写体が他の移動体とすれ違う場合
 - 被写体の動きが速すぎたり、遅すぎたりする場合
 - カメラ本体が揺れている場合
- ズーム倍率が望遠側に設定されている場合は自動追尾の精度が落ちます。広角側で使用することをお勧めします。
- 自動追尾中に、コントロールパッドなどによるカメラ操作や、端子アラームなどのアラームが発生すると、自動追尾は止まります。
- **オートパン**：あらかじめ設定（→133 ページ）したパンのスタート位置とエンド位置の範囲を自動的に旋回します。
ズーム、フォーカス操作を行っても、旋回動作は継続します（[ズーム] ボタンの [x1] ボタンをクリックすると旋回動作が停止します）。
- **プリセットシーケンス**：あらかじめ登録（→129 ページ）してあるプリセットポジションを、プリセット番号の小さいほうから順番に移動します。
- **パトロール1～4**：あらかじめ登録（→135 ページ）したパトロール1～4動作を行います。

⑭ コントロールパッド／ボタン^{*2}

画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト）はパッドおよびボタンを左クリックして行います。パッドの外側をクリックするほど、カメラの動作速度が速くなります。また、マウスをドラッグして調節することもできます。ズームとフォーカスは右クリックで行います。パッドの上下方向で上半分をクリックするとズーム（倍率）が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。左右方向で左半分をクリックするとフォーカス（焦点）が近く、右半分をクリックすると遠くなります。マウスホイール操作でもズームを調節できます。

⑮ [明るさ] ボタン*2

0~255で調節できます。 ボタンをクリックすると画像が明るくなり、 ボタンをクリックすると画像が暗くなります。[標準] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

⑯ プリセット*2

プルダウンメニューからプリセットポジションを選択し、[移動] ボタンをクリックすると、あらかじめ登録 (→129 ページ) されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。番号の横の「H」はホームポジションを表しています。「ホームポジション」を選択すると、カメラの向きをホームポジションに移動できます (→113 ページ)。

「ポジション名称」が登録されている場合は、番号の横にポジション名称が表示されます。

⑰ カメラタイトル

[基本] タブの「カメラタイトル」で入力したカメラタイトルが表示されます。(→72 ページ)

⑱ サポートボタン

サポートボタンをクリックすると、以下のパナソニックのサポートウェブサイトが別ウインドウで表示されます。パナソニックサポートウェブサイトでは、技術情報、FAQ(よくある質問)などが掲載されています。

<https://sol.panasonic.biz/security/support/index.html>

⑲ アラーム発生通知ボタン*2

アラームが発生すると、点滅表示します。ボタンをクリックすると、出力端子がリセットされ、表示が消えます。(→34 ページ)

お知らせ

- アラーム発生通知ボタンの点滅は、SDメモリーカードへの録画や、メール転送などのアラーム通知動作に連動しておりませんのでそれぞれの動作の設定をご確認ください。

⑳ 全画面表示ボタン

画像が全画面で表示されます。メインエリアの画像が縮小表示されている場合は、一回押すと、メインエリアで解像度どおりの画像が表示されます。解像度どおりに表示されている場合は、全画面で表示されます。ライブ画ページに戻るには、全画面で表示されているときにPCのキーボードの [Esc] キーを押します。

㉑ スナップショットボタン

スナップショット (静止画1枚) を取得し、その画像が別ウインドウで表示されます。画像上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、「Save」を選択すると、PCに画像を保存できます。

また、「Print」を選択すると、プリンターに出力できます。

お知らせ

- 表示用プラグインソフトウェアがインストールされていない場合は、ポップアップメニューの「Save」「Print」は表示されません。
- 以下の設定が必要になることがあります。
Internet Explorerのメニューバーの [ツール] - [インターネットオプション] - [セキュリティ] タブにある [信頼済みサイト] を選択し、[サイト] をクリックします。表示される信頼済みウインドウの「Webサイト」にカメラのアドレスを登録してください。登録後はウェブブラウザを閉じて、アクセスし直してください。
- ネットワーク環境などにより、スナップショットの取得に一定の時間以上かかる場合には、画像が表示されないことがあります。
- 指定した解像度のJPEGが取得できない場合は、取得可能な解像度のJPEG画像を表示します。

このため、スナップショットJPEG画像を取得してPCで参照すると、表示された画像サイズと異なることがあります。

- JPEG(1)、JPEG(2)、JPEG(3)の暗号化設定が「On」に設定されている場合は、スナップショットボタンは表示されません。

⑳ 受話ボタン

受話音声（PCで聞く）のOn/Offを切り換えます。このボタンは、設定メニューで「音声配信モード」を「受話」または「双方向（全二重）」「双方向（半二重）」に設定している場合にのみ表示されます。（→149 ページ）

受話音声をOffにすると、ボタン表示が  に切り換わり、本機からの音声がPCで聞こえなくなります。

音量カーソル  を移動すると、受話音量を弱/中/強の3段階で調節できます。

お知らせ

- 設定メニューで「受話音量操作モード」を「カメラ音声入力の音量を操作する」に設定時、「録音」または「音検知」を使用する場合は、音量カーソルは表示されません。
- 本機を再起動すると、音量カーソルで変更した受話音量は、設定メニューの「音声」タブで設定されている受話音量に戻ります。（→149 ページ）
- 画面上では、音量カーソルは細かい調節ができますが、実際には3段階のいずれかの音量に設定されます。
- 同一PCで、同時に複数のカメラブラウザを開いた場合、後から開いたカメラブラウザの音声が聞こえません。1台ずつアクセスしてご確認ください。

㉑ 送話ボタン

送話音声（PCから話す）のOn/Offを切り換えます。このボタンは、設定メニューで「音声配信モード」を「送話」または「双方向（全二重）」「双方向（半二重）」に設定している場合にのみ表示されます。（→149 ページ）

送話中はボタンが点滅表示します。送話音声をOffにするとボタン表示が  に切り換わり、PCからの音声が本機で聞こえなくなります。

音量カーソル  を移動すると、送話音量を弱/中/強の3段階で調節できます。

お知らせ

- 1人のユーザーが送話中の間、「双方向（半二重）」に設定している場合は、他のユーザーの受話は停止状態になり、受話ボタン、送話ボタンの操作ができなくなります。「双方向（全二重）」に設定している場合は、他のユーザーは、送話ボタンの操作ができなくなります。
- 1回の送話時間は、映像/音声ページの「音声」タブで設定されている連続送話時間が最大です。設定した連続送話時間を過ぎると送話が停止します。再度送話を行う場合は、送話ボタンをクリックしてください。
- 本機を再起動すると、音量カーソルで変更した受話音量/送話音量は、映像/音声ページの「音声」タブで設定されている受話音量/送話音量に戻ります。（→149 ページ）
- 画面上では、音量カーソルは細かい調節ができますが、実際には3段階のいずれかの音量に設定されます。

㉒ SD保存状態表示

SDメモリーカードへの保存状態を表示します。

保存が開始されると、SD保存状態表示が赤点灯します。保存が停止すると、消灯します。

この表示は、設定メニューの「保存モード」が「手動保存」、「スケジュール保存」に設定されている場合に表示されます。(→78 ページ)

㊦ メインエリア

カメラの画像を表示します。

設定した「時刻表示形式」と「日付表示形式」に従って現在の日時が表示されます(→71 ページ)。

また、設定した画面内文字(→73 ページ)や操作したときに明るさ(→74 ページ)、カメラ位置(→115 ページ)、プリセットのポジション名称(→131 ページ)を表示します。

ライブ画ページのメインエリア内で、画角の中心としたい位置をクリックすると、クリックした位置を中心とする位置にカメラの向きが移動します。^{*3}

マウスのドラッグ操作で表示したい範囲を選択すると、選択したエリアを中心とする位置にカメラの向きが移動し、ズーム倍率が自動的に調節されます。^{*3}

マウスホイール操作でも、ズームを調節できます。

ライブ画ページのメインエリア内で右クリックすると、クリックした位置にある物体に対して自動追尾を開始します。追尾対象の物体、周囲環境などによっては、正常に動作しない可能性があります。

お知らせ

- アクセスレベルが低いユーザーが操作すると、一時的に画面上の表示が変わる場合がありますが、カメラの動作には影響ありません。
- PCによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、OSの描画処理(GDI)の制約により、ティアリング(画面の一部がずれて表示される現象)が発生することがあります。
- 高いズーム倍率の画像を表示している場合、クリックした位置が画像の中心にならないことがあります。
- カメラの回転範囲を超える角度に移動しようとするマウスのドラッグ操作を行った場合、カメラは動作可能位置まで向きを移動し、その後、ズーム倍率が自動的に調節されます。

*1 アクセスレベルが「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。

*2 「ユーザー認証」が「On」に設定(→180 ページ)されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。

*3 チルト角が90°に近づくに従って、指定位置と実際の移動方向の差が大きくなるため、指定した画角にならない場合があります。

1.1.3 複数台のカメラの画像を見る

複数台のカメラの画像を1つの画面（マルチスクリーン）で確認します。一度に4台、9台、16台（最大）までのカメラの画像を確認できます。マルチスクリーンを使用するには、マルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。4台を1グループとして、最大4グループ（合計16台）まで登録することができます。（→153 ページ）

重要

- 4画面および9画面で動画を表示する際、他カメラの配信量が多いため動画や音声途切れる場合があります。その際は、配信量が少なくなるよう、登録しているカメラの設定を変更する必要があります。
配信量を少なくする設定例：
 - 動画の配信形式を「H.265」または「H.264」に設定する。
 - ストリームの「配信モード」（→ 108 ページ）を「ベストエフォート配信」に設定する。
- マルチスクリーンで音声を有効にするためには、本機の音声を有効にする必要があります。
- 16画面で表示する際は、静止画（JPEG）更新しかできません。

お知らせ

- マルチスクリーンで表示される画像はJPEG画像、H.265（またはH.264）画像です。他カメラが音声に対応している場合は、音声も出力されます。
- マルチスクリーンを表示する場合は、音量調整を実施してください。
- 複数台のカメラ画像を見るのに適したネットワークカメラ専用ビューアソフト「ビューア専用無料版」については、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0301>
- 認証機能がOnのカメラを登録した場合は、「認証ダイアログ」に登録したカメラの「管理者」のユーザー名、パスワードを入力してください。
マルチスクリーン使用時の条件や制約事項は、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0302>

- 1 ライブ画ページの「ライブ画表示」プルダウンメニューで、[マルチスクリーン] を選択します。
→ カメラの画像が多画面（最大16画面）で表示されます。以下は4画面の場合です。



- ① 「ライブ画表示」プルダウンメニュー
メインエリアの表示される画像を選択します。
- ② [レイアウト] プルダウンメニュー
プルダウンメニューで選択することにより、4画面から9画面、16画面までのカメラの画像を多画面で表示します。
- ③ [画像更新間隔] プルダウンメニュー
プルダウンメニューで選択することにより、動画（H.265/H.264/MJPEG）と静止画（JPEG）を切り換えます。
静止画（JPEG）の場合は、カメラ画像の更新間隔（静止画更新：1秒/静止画更新：3秒/静止画更新：5秒/静止画更新：10秒/静止画更新：30秒/静止画更新：60秒）を選択します。
16画面のときは、静止画更新：1秒は選択できません。

お知らせ

- ストリーム(1)の設定がOnの場合、「H.265」または「H.264」を選択できます。
 - H.265を選択した場合、接続するカメラの設定によってはH.264またはMJPEGで表示されることがあります。
 - H.264を選択した場合、接続するカメラの設定によってはH.265またはMJPEGで表示されることがあります。
- ④ [解像度] プルダウンメニュー
プルダウンメニューで選択することにより、解像度を変更します。
[レイアウト] プルダウンメニューで、「4分割」を選択した場合に、カメラの解像度を変更します。

- **アスペクト比4:3時：**
QVGA（初期設定）とVGAの切り換え
 - **アスペクト比16:9時：**
320×180ドット（初期設定）と640×360ドットの切り換え
- ⑤ 全画面表示
全画面表示ボタンを押すと、カメラ画像を最大表示します。全画面表示で  (元に戻す) ボタンをクリックすると、元の表示サイズに戻ります。
- ⑥ カメラタイトル
カメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画が、別ウインドウのライブ画ページに表示されます。
- ⑦ カメラ制御バー
スナップショットJPEG画像取得やPCの音声入出力音量（受話、送話）の調整ができます。

お知らせ

- ネットワーク環境やユーザーのアクセス数によっては、フレームレートが低下することがあります。
- 指定した解像度のJPEGが取得できない場合は、取得可能な解像度のJPEG画像を表示します。このため、スナップショットJPEG画像を取得してPCで参照すると、表示された画像サイズと異なることがあります。
- [画像更新間隔] プルダウンメニューで、動画（H.265／H.264／MJPEG）を設定した場合、接続するカメラの設定に依存し、指定と異なる動画が表示されることがあります。

1.2 携帯電話・携帯端末から画像を見る

1.2.1 携帯電話から画像を見る

携帯電話からインターネットを経由して本機に接続し、本機の画像（JPEG形式のみ）を表示します。最新画像に更新することもできます。

重要

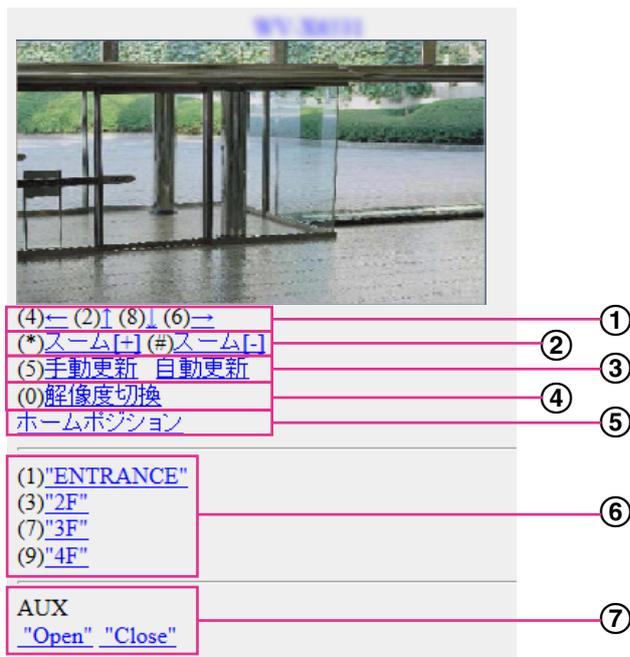
- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。
セキュリティを確保するため、パスワードは定期的に変更してください。（→180 ページ）
- 携帯電話が文字コードUTF-8に対応していない場合、正常に表示することができません。
- [映像] タブ [JPEG] の「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」のいずれかに、「VGA」、「QVGA」、「640×360」、「320×180」のうち少なくとも1つが選択されていない場合、携帯電話から画像を見ることはできません。
- 携帯電話での音声は対応していません。

お知らせ

- 携帯電話から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。（→191 ページ）
- 「メニュー言語」を「自動」に設定している場合、英語で表示されます。日本語または中国語で表示する場合は、「メニュー言語」を「日本語」または「中国語」に設定してください。（→71 ページ）

- 1 携帯電話で「http://IPアドレス/mobile」*¹ または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名/mobile」を入力し、決定ボタンを押します。

→ 本機の画像が表示されます。



- ① パン／チルト

カメラの向きを操作します。各番号のダイヤルキーを押すと、それぞれの方向にパン／チルトします。

② ズーム表示

ダイヤルキーの「*」と「#」を押すことにより、カメラ画像のズーム操作ができます。

③ 手動更新／自動更新

ダイヤルキーの「5」、「手動更新」を押すと、カメラ画像が更新されます。

「自動更新」を押すと、カメラの画像が5秒ごとに自動的に更新されます。

再度、ダイヤルキーの「5」、「手動更新」を押すと、カメラ画像の更新は手動更新に戻ります。

重要

- カメラ画像を「自動更新」に設定すると、定期的に通信が発生します。お使いの携帯電話の契約プランを確認のうえ、ご利用ください。
- お使いの携帯電話によっては、「自動更新」を使用できない場合があります。

④ 解像度切換

ダイヤルキーの「0」を押すと、解像度を切り換えます。

- アスペクト比4:3時: 320×240ドット（初期設定）と640×480ドットの切り換え
- アスペクト比16:9時: 320×180ドット（初期設定）と640×360ドットの切り換え

⑤ ホームポジション

カメラの向きがホームポジションに移動します。（→113 ページ）

ホームポジション設定時のみ表示されます。

⑥ プリセット

各画面のダイヤルキーを押すことで、プリセット登録されたカメラの向きでカメラ画像を表示します（5つ目以降のプリセットにはダイヤルキー用の番号は表示されず、プリセット名のみ表示されます）。

（→129 ページ）

⑦ AUX

AUX出力端子を制御します。設定メニューで「端子3」が「AUX出力」に設定されている場合にのみ表示されます。（→57 ページ）

お知らせ

- 「解像度切換」を行っても、表示される解像度は変わりますが、画像サイズが変わらない携帯電話があります。
- 「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」に選択している解像度によっては、「解像度切換」ができないことがあります。
- HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://IPアドレス:ポート番号/mobile」*1を入力して、本機のポート番号を指定してください。DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/mobile」を入力してください。
- ネットワークページの「[アドバンス] タブの[HTTPS] - [接続方法]で[HTTPS]を設定している場合は、下記のように入力してください。
「https://IPアドレス:ポート番号/mobile」または、「https://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/mobile」
- 認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。携帯電話によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- 携帯電話からは音声の受信／送信はできません。
- 携帯電話によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は、「JPEG」の「画質設定」（→105 ページ）を低画質に近づけると表示されることがあります。

- お使いの携帯電話および契約プランによってはアクセスできない場合があります。
- 携帯電話の画面に表示する操作メニューは、アクセスするユーザーのユーザー権限と機能許可設定により表示されない場合があります。操作メニューを表示する場合は、ユーザー権限と機能許可の設定（「ユーザー管理」の「ユーザー認証」）が必要です。（180 ページ）

*1 IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN側のグローバルIPアドレスです。

1.2.2 携帯端末（スマートフォンを含む）から画像を見る

携帯端末から本機に接続し、本機の画像（MJPEG形式、JPEG形式）を表示します。自動で最新画像に更新されます。

対応機種は、次のとおりです。（2019年4月現在）

- iPad、iPhone（iOS 4.2.1以降）
- Android™ 端末

Android端末の場合、Firefox®ブラウザではMJPEG形式の画像が表示され、標準ブラウザでは、JPEG形式の画像が表示されます。

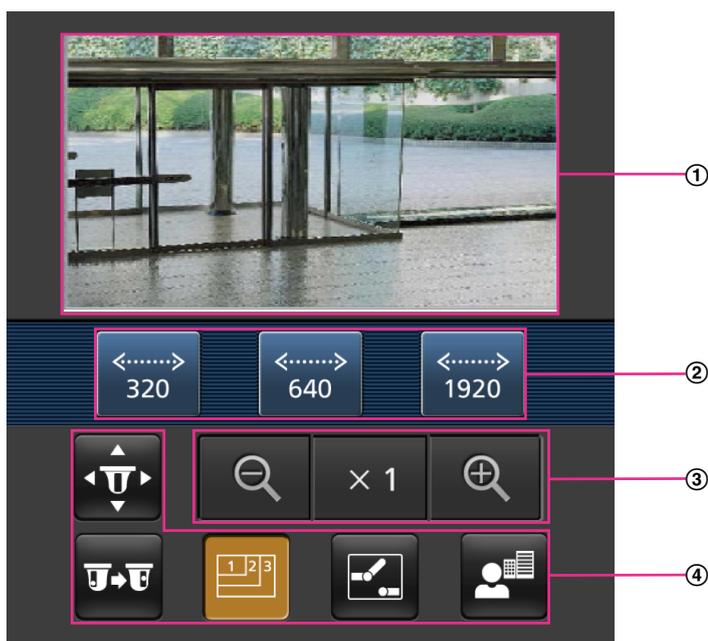
重要

- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。セキュリティを確保するため、パスワードは定期的に変更してください。（→180 ページ）

お知らせ

- 携帯端末から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。（→191 ページ）

- 1 携帯端末で「<http://IPアドレス/cam>」*1または「<http://DDNSサーバーに登録したホスト名/cam>」*2を入力し、決定ボタンを押します。
→ 本機の画像が表示されます。



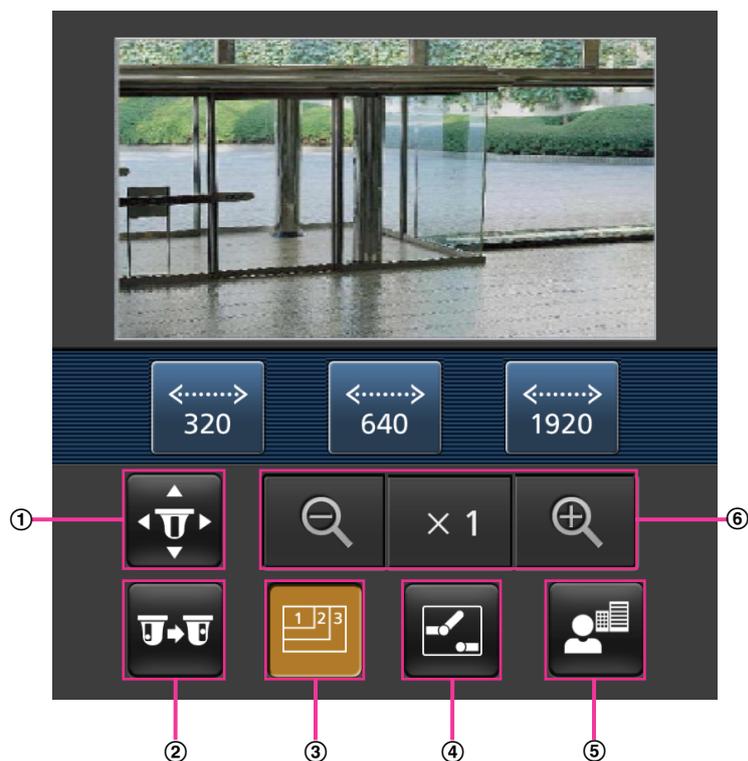
1 操作

- ① ライブ画像エリア
カメラの画像を表示します。
- ② 操作ボタンエリア
機能選択エリア④で選択したときに、その機能を実行するボタンを表示します。
- ③ ズーム操作エリア
ズーム操作のボタンを表示します。
- ④ 機能選択エリア
操作できる機能を表示し、選択すると、操作ボタンエリア②に操作ボタンが表示されます。

お知らせ

- 携帯端末の画面に表示する操作ボタンは、アクセスするユーザーのユーザー権限と機能許可設定により表示されない場合があります。操作ボタンを表示する場合は、ユーザー権限と機能許可の設定（「ユーザー管理」の「ユーザー認証」）が必要です。（→180 ページ）

2 操作したい機能のボタンをクリックします。

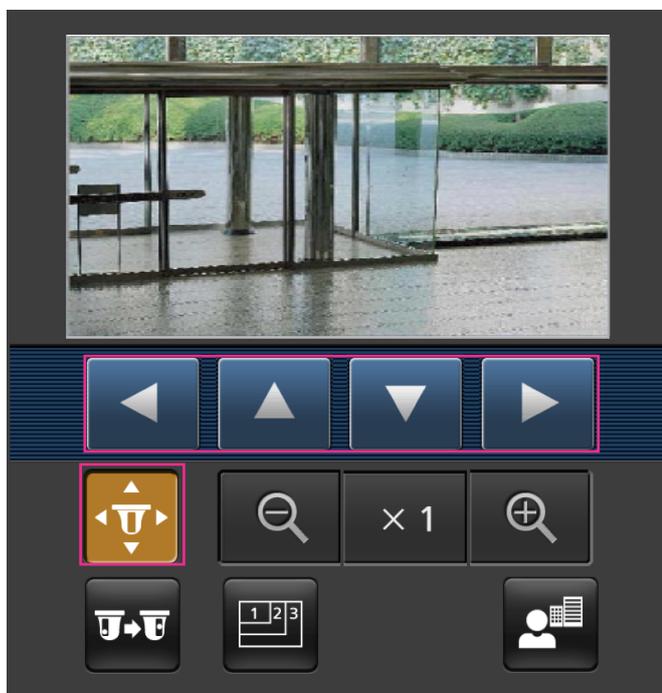


- ① パン／チルト
- ② プリセット
- ③ 解像度切替
- ④ AUX制御
- ⑤ フォーカス表示
- ⑥ ズーム表示

以下に各機能を説明します。

① パン／チルト

 ボタンを押すと、パン／チルトを操作するためのボタンが画面に表示されます。、、、 ボタンにより、それぞれの方向にパン／チルトします。



② プリセット

 ボタンを押すと、プリセットポジションを選択するためのボタンが画面に表示されます。プリセット番号を表示されたボタンから選択することにより、プリセット登録されたカメラの向きでカメラ画像を表示します。

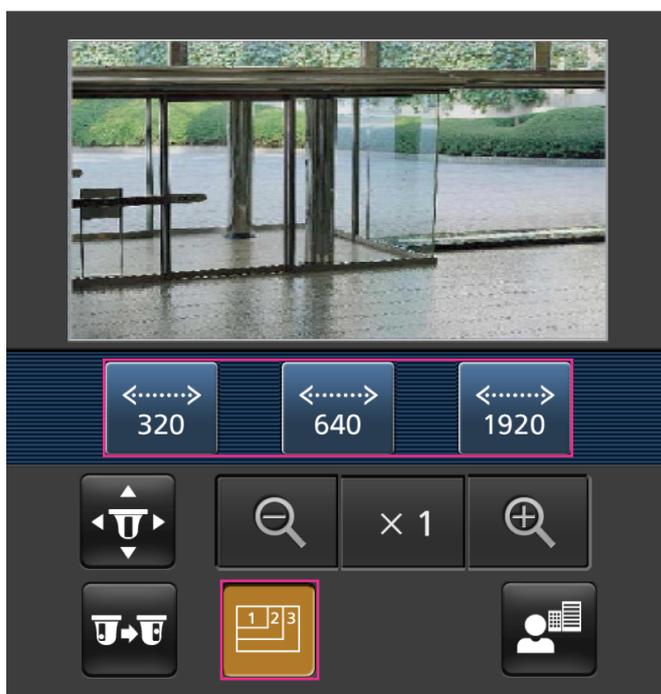
- プリセットポジションはポジション番号1～4のみ表示します。
- 登録されているプリセットポジションのみを表示し、登録されていないプリセットポジションは表示されません。



③ 解像度切換

 ボタンを押すと、解像度を選択するためのボタンが画面に表示されます。

解像度を表示されたボタンから選択することにより、解像度を切り換えます。[映像] タブ- [JPEG] の「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」で設定されている解像度が表示されます。

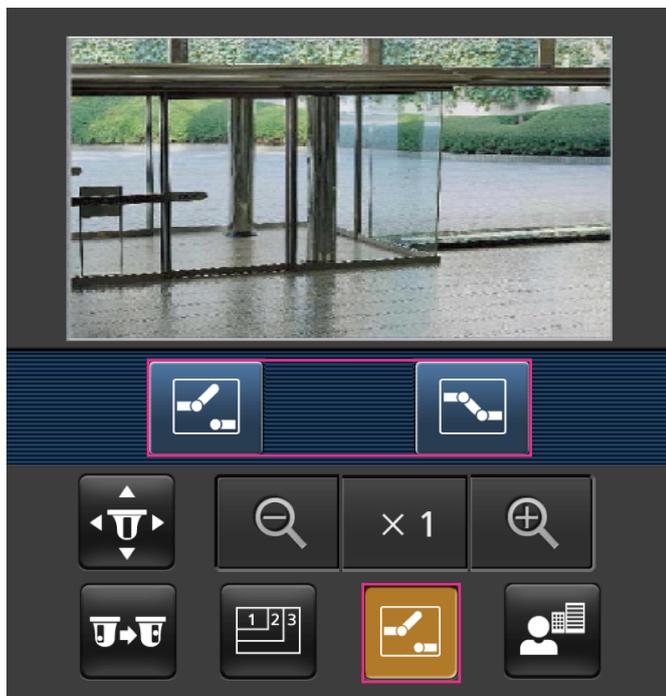


④ AUX制御

 ボタンを押すと、AUX出力を操作するためのボタンが画面に表示されます。

、 ボタンにより、AUX出力端子を制御できます。

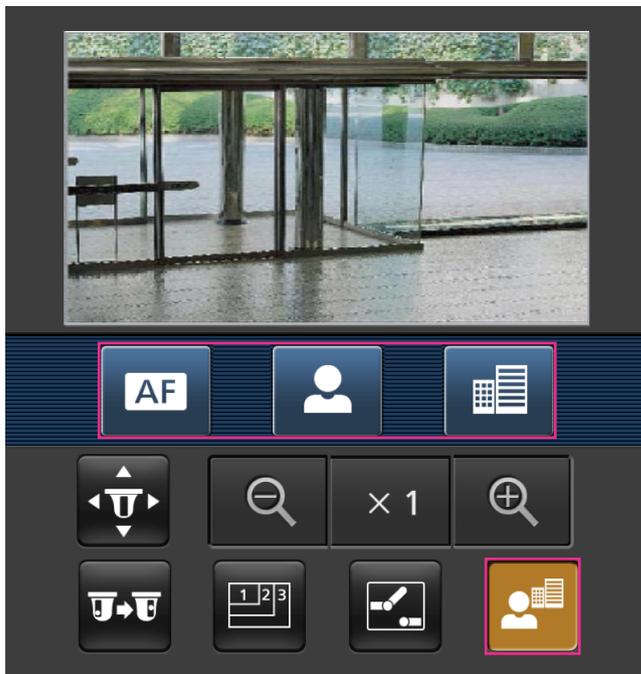
設定メニューで「端子3」が「AUX出力」に設定されている場合にのみ表示されます。(→57 ページ)



⑤ フォーカス表示

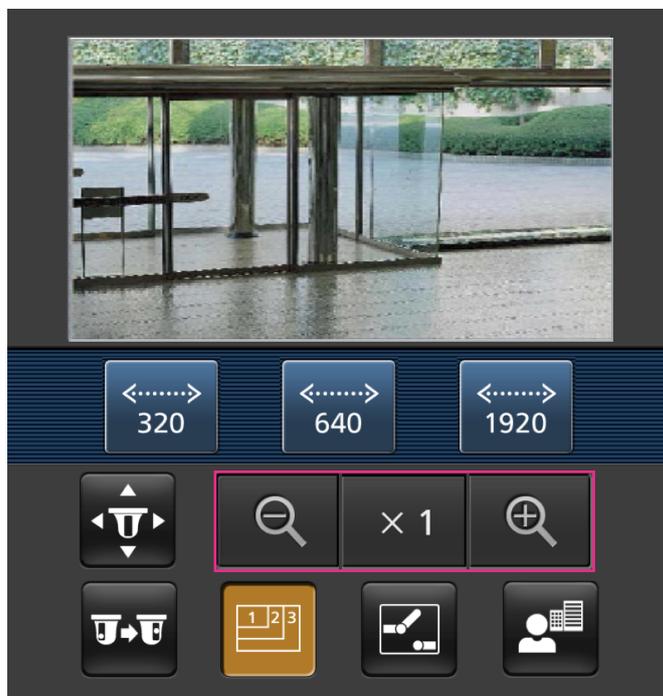
 ボタンを押すと、フォーカス操作をするためのボタンが画面に表示されます。

AF、、 ボタンにより、カメラ画像のフォーカス操作ができます。



⑥ ズーム表示

, ,  ボタンにより、カメラ画像のズーム操作ができます。



お知らせ

- 携帯端末に表示される画面サイズは、以下にアクセスすることで変更できます。
 - 画面サイズ 大 (display large) : http://IPアドレス/cam/dl
 - 画面サイズ 中 (display medium) : http://IPアドレス/cam/dm
 - 画面サイズ 小 (display small) : http://IPアドレス/cam/ds
- 「解像度切替」を行っても表示される解像度は変わりますが、画像サイズは変わりません。
- HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://IPアドレス:ポート番号/cam」^{*1}を入力して、本機のポート番号を指定してください。DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/cam」^{*2}を入力してください。
- ネットワークページの [アドバンス] タブの[HTTPS]–[接続方法]で[HTTPS]を設定している場合は、下記のように入力してください。
「https://IPアドレス:ポート番号/cam」または、「https://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/cam」
- 認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。携帯端末によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- 携帯端末からは、音声の受信/送信はできません。
- 携帯端末によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は、「JPEG」の「画質設定」(→105 ページ)を低画質に近づけると表示されることがあります。
- お使いの携帯端末および契約プランによってはアクセスできない場合があります。

*1 IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN側のグローバルIPアドレスです。ただし、無線接続対応の携帯端末で、同じLAN内の本機にアクセスする場合は、ローカルIPアドレスです。

*2 インターネットを経由して、本機にアクセスする場合のみです。

1.3 手動でSDメモリーカードに画像を保存する

ライブ画ページの画像を手動でSDメモリーカードに保存します。

設定メニューの基本ページの [SDメモリーカード] タブをクリックし、「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ操作できます。(→84 ページ)

設定メニューの「録画圧縮方式」で、保存する対象を「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」、「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」のいずれかに設定できます(→83 ページ)。「録画圧縮方式」で「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」を選択している場合は静止画が保存され、「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」を選択している場合は動画が保存されます。

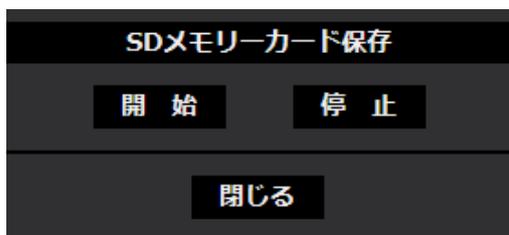
SDメモリーカード内の画像は、PCに保存して見ることができます。(→95 ページ)

1 ライブ画ページを表示します。(→10 ページ)



2 [SD保存] ボタンをクリックします。

→ SDメモリーカード保存画面が別ウィンドウで表示されます。



3 [開始] ボタンをクリックし、SDメモリーカードへの保存を開始します。保存中はSD保存状態表示が赤点灯します。(→13 ページ)

保存間隔の設定は、基本ページの [SDメモリーカード] タブで行います。(→78 ページ)

4 SDメモリーカードへの画像の保存を停止するには [停止] ボタンをクリックします。

→ SD保存状態表示が消灯します。

5 [閉じる] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

お知らせ

- Bドライブに保存された画像データは、基本ページの [SDメモリーカード] タブで、「画像取得」を実行し、ユーザー認証画面からログインすることで取得できます。(→95 ページ)
画像データの保存先は、Bドライブの固定のディレクトリーになります。(→278 ページ)
- [停止] ボタンをクリックしたあと、すぐに [開始] ボタンをクリックすると、画像の保存が開始されないことがあります。そのときは、再度、[開始] ボタンをクリックしてください。

1.4 アラーム発生時の動作について

本機は以下のアラームが発生すると、設定に従いアラーム動作（アラーム発生にともなうカメラ動作）を行います。

1.4.1 アラームの種類について

- **端子アラーム:** アラーム入力端子にセンサーなどのアラーム機器を接続すると、接続したアラーム機器が動作したとき、アラーム動作を行います。
- **動作検知アラーム:** 設定した動作検知エリアの画像に変化（動き）が検出されると、アラーム動作を行います。
※動作検知：VMD（Video Motion Detector）＝動き検出、モーションディテクター機能
- **コマンドアラーム:** ネットワークを経由して接続機器からの独自アラーム通知を受信すると、アラーム動作を行います。
- **自動追尾アラーム:** あらかじめ設定した条件に従い、自動追尾動作中にアラーム動作を行います。
- **音検知アラーム:** 設定した音検知のしきい値を超えると、アラーム動作を行います。

1.4.2 アラーム発生時の動作について

ライブ画ページにアラーム発生通知ボタンを表示する

アラームが発生すると、「ライブ画」ページにアラーム発生通知ボタンが表示されます。（→13 ページ）

重要

- 「状態通知間隔」（→71 ページ）を「定期(30s)」に設定した場合、アラーム発生通知ボタンは30秒ごとに更新されます。このため、アラーム発生後、ライブ画ページにボタンが表示されるまで、最大30秒の遅れが発生する場合があります。

出力端子に接続された機器にアラームを通知する

アラームが発生すると、出力端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。信号出力の設定は、アラームページの [アラーム] タブで行います。（→157 ページ）

SDメモリーカードに画像を保存する

アラームが発生すると、SDメモリーカードに画像（JPEG/H.265/H.264）が保存されます。SDメモリーカードに画像を保存する設定は、基本ページの [SDメモリーカード] タブ（→78 ページ）、アラームページの [アラーム] タブ（→159 ページ）で行います。

画像を自動的にサーバーへ送信する

アラームが発生すると、あらかじめ指定したサーバーへ画像が送信されます。サーバーへ画像を送信する設定は、アラームページの [アラーム] タブ（→159 ページ）、ネットワークページの [アドバンス] タブ（→202 ページ）で行います。

Eメールでアラーム発生を通知する

アラームが発生すると、アラームの発生を知らせるメール（アラーム発生通知）を、あらかじめ登録してあるメールアドレスに送信します。アラームメールの送信先は4件まで登録することができます。また、アラームメール送信時に静止画像を1枚添付して送信することもできます。アラームメールの設定は、アラームページの [アラーム] タブ (→159 ページ)、ネットワークページの [アドバンス] タブ (→198 ページ) で行います。

指定したアドレスにアラームが発生したことを通知する（独自アラーム通知）

この機能は、弊社製機器（ネットワークディスクレコーダーなど）を使用する場合に有効な機能です。「独自アラーム通知」を「On」に設定すると、本機がアラーム状態であることを通知することができます。独自アラームの設定は、アラームページの [通知] タブで行います。(→176 ページ)

指定したHTTPサーバーにアラームが発生したことを通知する（HTTPアラーム通知）

アラームが発生すると、アラームの発生をあらかじめ登録してあるHTTPサーバーに送信します。通知先のHTTPサーバーは5件まで登録することができます。また、HTTPサーバーへ通知する際に送信するURLは任意に設定することができます。HTTPアラームの設定は、アラームページの [通知] タブで行います。(→178 ページ)

1.5 FTPサーバーに画像を送信する

FTPサーバーに接続し画像を送信します。以下の設定を行うと、アラーム発生時や指定した時間間隔ごとに、撮影した画像をFTPサーバーへ送信できます。

重要

- FTPサーバーに画像を送信する場合、FTPサーバーにログインできるユーザーを制限するため、FTPサーバーにユーザー名とパスワードを設定してください。

1.5.1 アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）

アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、あらかじめ設定が必要です。

FTPサーバーの設定、および、アラーム画像送信を行うかどうかの送信画像に関する設定は、ネットワークページの [アドバンス] タブの [FTP] で行います。（→202 ページ）または、アラームページの [アラーム] タブのアラーム連動動作設定のアラーム画像送信（FTP送信）からも設定できます。（→159 ページ）

お知らせ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、設定した枚数を送信できないことがあります。
- アラーム画像送信の場合、FTPサーバーへの送信に失敗した画像はSDメモリーカードには保存されません。ただし、FTP定期送信に失敗した画像は保存されます。
アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。また、FTPの [FTP送信リトライ] 設定（→202 ページ）を [On] にしている場合、アラーム画像送信のFTP送信失敗時に再送を行います。そのため、ネットワークに問題があるなどの理由で再送が続く場合、定期送信が行われず、定期送信に失敗した画像はSDメモリーカードに保存されません。

1.5.2 指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）

時間間隔を指定して定期的に画像を送信します。画像を送信するには、あらかじめ設定が必要です。

送信先のFTPサーバーの設定、および、FTP定期送信を行うかどうかの送信画像に関する設定は、ネットワークページの [アドバンス] タブの [FTP] で行います。（→202 ページ）

FTP定期送信を使用する場合は、スケジュールページの [スケジュール] タブでFTP定期送信のスケジュール設定が必要です。

FTP定期送信のスケジュール設定は、スケジュールページで行います。（→240 ページ）

お知らせ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できないことがあります。
- アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、定期送信で設定した間隔で画像が送信されないことがあります。

1.5.3 定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する

定期送信に失敗した画像を、SDメモリーカードに自動的に保存できます。SDメモリーカード内の画像の保存方法は、基本ページの [SDメモリーカード] タブで設定します。（→78 ページ）

弊社製ネットワークディスクレコーダーのJPEGのSDメモリーバックアップ機能を使用する場合は、「定期送信」を「Off」（→204 ページ）、SDメモリーカードの「録画ストリーム1」の「保存モード」を「FTP 定期送信エラー時」（→84 ページ）に設定してください。

お知らせ

- アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。また、FTPの「FTP送信リトライ」設定（→202 ページ）を「On」にしている場合、アラーム画像送信のFTP送信失敗時に再送を行います。そのため、ネットワークに問題があるなどの理由で再送が続く場合、定期送信が行われず、定期送信に失敗した画像はSDメモリーカードに保存されません。

重要

- SDメモリーカード内に記録された内容は、故障や障害発生時、原因にかかわらず保証いたしかねます。

1.6 ログリストを表示する

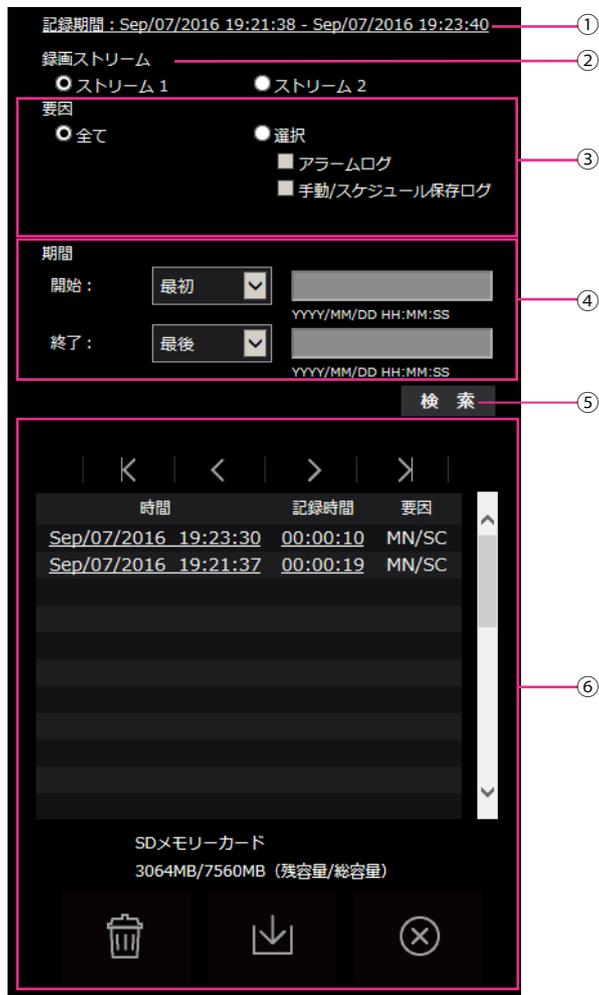
以下の履歴を一覧で表示します。

- **アラームログ:** アラーム発生日時、録画記録期間、アラームの要因を確認できます。
- **手動/スケジュール保存ログ:** 手動またはスケジュール設定で保存したときのログ、録画記録期間を確認できます。
- **FTP定期送信エラーログ:** FTP定期送信に失敗したときのログを確認できます。

1 ライブ画ページを表示します。



- 2 [ログ表示/再生] ボタンをクリックします。
→ ログリスト表示画面が別ウインドウで表示されます。



重要

- ログリスト表示画面に複数のユーザーが同時にアクセスすることはできません。

① 記録期間

SDメモリーカードに保存された録画の期間を表示します。

② 録画ストリーム

ログを表示したい録画ストリームを選択します。

- ストリーム1：[SDメモリーカード] タブの「録画ストリーム1」で記録されたログを表示します。
- ストリーム2：[SDメモリーカード] タブの「録画ストリーム2」で記録されたログを表示します。

③ 要因

ログリストに表示するログの種類を選択します。

- 全て：すべてのログを表示します。
- 選択：選択された種類のログのみを表示します。
 - アラームログ：アラームが発生した際のログを表示します。

- **手動/スケジュール保存ログ**：手動保存、スケジュール保存のログを表示します。
- **FTP定期送信エラーログ**：FTP定期送信に失敗したときのログを表示します。
- **初期設定**：全て

お知らせ

- 「録画ストリーム」が「ストリーム1」に設定され、かつ、「ストリーム1」に「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」のいずれかが設定されている場合、FTP定期送信エラーログが表示されます。

④ 期間

ログリストに表示するログの期間を設定します。

- **開始**：ログに表示する期間の開始時点を設定します。
 - **最初**：SDメモリーカードに保存された最初のログから表示します。
 - **今日**：今日のログを表示します。
 - **昨日**：昨日から今日までのログを表示します。
 - **最新7日間**：6日前から今日までのログを表示します。
 - **最新30日間**：29日前から今日までのログを表示します。
 - **日時指定**：日時指定ボックスに入力された日時のログから表示します。
- **終了**：「開始」で「最初」、「日時指定」が設定された場合に、ログに表示する期間の終了時点を設定します。
 - **最後**：SDメモリーカードに保存された最後のログまで表示します。
 - **日時指定**：日時指定ボックスに入力された日時のログまで表示します。

⑤ [検索] ボタン

「要因」、「期間」で指定された条件でログを検索します。検索した結果がログリストに表示されます。

⑥ ログリスト

ログの検索結果が表示されます。「時間」、「記録期間」をクリックすると録画データを再生できます。

-  (先頭) ボタン：先頭のログを表示します。
-  (前ページ) ボタン：前のページのログリストを表示します。
-  (次ページ) ボタン：次のページのログリストを表示します。
-  (最後) ボタン：最後のログを表示します。
- **[時間]**：ログが記録された日時を表示します。

お知らせ

- 「時刻表示形式」を「Off」に設定した場合、アラームの発生日時が24時間形式で表示されます。
- ログが記録されるタイミングは以下になります。
 - **アラームログ**：アラーム発生の日時がログとして記録されます。
 - **手動/スケジュール保存ログ**：手動またはスケジュール設定でSDメモリーカードへ保存を開始した日時がログとして記録されます。連続して保存する場合は、「録画圧縮方式」がJPEGのとき、1時間ごとの正時（12時、1時、2時など）にログが記録さ

れます。また、「録画圧縮方式」がストリームのとき、記録開始から1時間ごとにログが記録されます。

– **FTP定期送信エラーログ**: 1時間ごとにログが記録されます。

- **【記録時間】**: SDメモリーカードへデータを保存した期間を表示します。

お知らせ

- 映像の記録終了時刻と記録開始時刻の差を0.1秒の単位で四捨五入して算出します。このため、JPEG画像が1枚のみ記録されている状態では、記録時間は00:00:00と表示されます。
- **【要因】**: ログが発生した要因を表示します。
 - **MN/SC**: 手動保存、スケジュール保存によるログ
 - **TRM1**: 端子1へのアラーム入力によるアラーム
 - **TRM2**: 端子2へのアラーム入力によるアラーム
 - **TRM3**: 端子3へのアラーム入力によるアラーム
 - **VMD**: 動作検知アラームによるアラーム
 - **COM**: コマンドアラームによるアラーム
 - **AT**: 自動追尾アラームによるアラーム
 - **AUD**: 音検知アラームによるアラーム
 - **FTP**: FTP定期送信エラー保存によるログ
- **【SDメモリーカード】**: SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。
-  **(削除) ボタン**: すべてのページのログリストを削除します。検索した場合は検索されたログリストのみを削除します。削除したログリストに関連付けられている画像も削除されます。

重要

- SDメモリーカードに保存されている録画データが多い場合、削除完了までに数時間かかることがあります。(例えば、1GBを削除の場合、約1時間かかることがあります。)その場合はフォーマットしてください。ただし、フォーマットを行うと、すべての画像が削除されます。
- 削除中にアラームによる保存、手動保存、スケジュール保存はできません。
- 削除が完了するまで本機の電源を切らないでください。
途中で本機の電源が切れた場合は、SDメモリーカードにデータが残ったままになることがあります。この場合、削除操作を行ったログリストの画面で、再度  ボタンをクリックしてください。
-  **(ダウンロード) ボタン**: 表示されているログリストの総件数分をPCにダウンロードできます。

お知らせ

- 以下の設定が必要になることがあります。
Internet Explorerのメニューバーの [ツール] - [インターネットオプション] - [セキュリティ] タブにある [信頼済みサイト] を選択し、[サイト] をクリックします。表示される信頼済みウインドウの「Webサイト」にカメラのアドレスを登録してください。

登録後はウェブブラウザを閉じて、アクセスし直してください。

- SDメモリーカード1枚あたり、最大50000件までのログをダウンロードできます。50000件を超えると、古いログから上書きされます。ログリストの総件数が多い場合、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
-  (閉じる) ボタン：ログリスト表示画面を閉じます。

1.7 SDメモリーカードの画像を再生する

ログリスト表示画面で時間をクリックすると、ライブ画ページが再生ページに切り換わります。クリックした日時の画像がSDメモリーカードに保存されている場合、選択した日時の先頭の画像が表示されます。

SDメモリーカードの「録画圧縮方式」により表示形式は異なります。

重要

- 画像の再生中やダウンロード中は、画像更新速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、再生ページに画像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- アスペクト比が「4:3」の場合、SDメモリーカードに保存されている画像の解像度に関係なく、再生ページではVGAサイズで表示されます。また、アスペクト比が「16:9」の場合、SDメモリーカードに保存されている画像の解像度に関係なく、再生ページは「640×360」で表示されます。そのため、再生ページでは粗く見える場合があります。
- [アドバンス] タブの「FTP定期送信」で「送信間隔」が1分以下に設定されている場合、FTP定期送信エラーのログリストからの画像再生時は、SDメモリーカードに保存された画像が順番どおりに再生されない場合があります。
- SDメモリーカードへの録画中は、再生の更新速度が遅くなる場合があります。

1.7.1 SDメモリーカードに保存されている「JPEG(1)」／「JPEG(2)」／「JPEG(3)」の画像を再生する場合



① 画像枚数

クリックした時間に保存された画像の総枚数と表示中の画像の番号が表示されます。

お知らせ

- 表示したい画像の番号を入力してキーボードの [Enter] キーを押します。指定した番号の画像が画面に表示されます。

-  **(高速逆再生) ボタン**
ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
高速逆再生中に  ボタン、 ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
-  **(逆再生) ボタン**
前の画像へ順番に再生します。
-  **(再生) ボタン**
画像を順番に再生します。
-  **(高速再生) ボタン**
ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
高速再生中に  ボタン、 ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
-  **(先頭) ボタン**
先頭の画像を表示します。
-  **(逆コマ送り) ボタン**
再生中にボタンをクリックすると、前の画像を表示したあと、一時停止します。
一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに前の画像が表示されます。

お知らせ

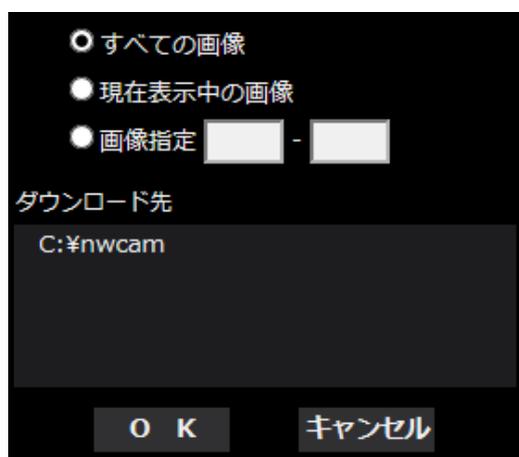
- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントダウンされます。
ボタンを放すと、画像番号のカウントダウンが止まり、ボタンを放したときの番号の画像が表示されます。
-  **(一時停止) ボタン**
再生中にクリックすると、再生が一時停止します。
一時停止中にクリックすると再生が再開します。
-  **(終了) ボタン**
再生を終了し、ライブ画ページに戻ります。
-  **(コマ送り) ボタン**
再生中にボタンをクリックすると、次の画像を表示したあと、一時停止します。
一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに次の画像が表示されます。

お知らせ

- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントアップされます。
ボタンを放すと、画像番号のカウントアップが止まり、ボタンを放したときの番号の画像が表示されます。
-  **(最後) ボタン**
最後の画像を表示します。
-  **(開始) ボタン**
選択した画像がPCにダウンロードされます。
PCの保存先ディレクトリーを、あらかじめ設定してください。(→98 ページ)

 ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されます。

ダウンロードする画像の対象を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



- **すべての画像:** 選択した時間の画像をすべてダウンロードします。
- **現在表示中の画像:** 表示中の画像のみをダウンロードします。
- **画像指定:** 画像の範囲を指定してダウンロードします。

お知らせ

- ダウンロード中に [キャンセル] ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。
[キャンセル] ボタンをクリックする前にダウンロードした画像は、PCに保存されます。

• (表示) ボタン

ユーザー認証後、SDメモリーカード内の画像を保存したフォルダーが表示されます。(→95 ページ)

お知らせ

- カメラへのFTPアクセスを許可にする必要があります。
[ネットワーク] タブの「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。
- PCから本機へのアクセス時に認証情報（ユーザー名、パスワード）が漏えいする可能性があります。
SDメモリーカードからの画像取得時は、[ユーザー認証] の [認証方式] を「Digest」に設定する、または、HTTPS機能でアクセスを暗号化した上で、SDメモリーカードの再生画面からのダウンロードをお勧めします。

1.7.2 SDメモリーカードに保存されている「ストリーム(1)」／「ストリーム(2)」／「ストリーム(3)」／「ストリーム(4)」の画像を再生する場合

重要

- ご使用のネットワーク環境によっては、動画のダウンロードに失敗する場合があります。再生中の場合は再生を停止した後に再度実施することによって、ダウンロードできるようになる場合があります。

- ご使用のネットワーク環境やカメラの状態によっては、本画面では各操作を連続的に行えないことがあります。



① スライダーバー

スライダーバーを操作し、任意の位置から再生することができます。再生開始前、一時停止中、再生終了後のみ操作できます。

- **⏸ (一時停止) ボタン**

再生中にクリックすると、再生が一時停止します。

- **▶ (再生) ボタン**

録画データを再生します。

お知らせ

- 音声データが録音されている場合、録音データも再生されますが、画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。また、SDメモリーカードへの録画中は、音声再生が途切れたり、音質が低下したりする場合があります。
- 録音データを再生する場合、ライブ画や再生の画像更新速度が遅くなる場合があります。
- 映像/音声ページの「音声」タブにある「音声配信モード」が「Off」または「双方向(半二重)」の場合、録音データは再生されません。

- **⏏ (高速再生) ボタン**

ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。

高速再生中に **▶** ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。

お知らせ

- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」で選択されたストリームの「ビットレート」の設定により、高速再生の最大速度が異なります。

- 高速再生時には、録音データは再生されません。
-  **(5秒戻り) ボタン**
ボタンをクリックするたびに、5秒前に戻り録画データを再生します。
-  **(5秒送り) ボタン**
ボタンをクリックするたびに、5秒後に進み録画データを再生します。
-  **(終了) ボタン**
再生を終了し、ライブ画ページに戻ります。
- **【時間】**
ログが記録された日時を表示します。
- **【記録時間】**
SDメモリーカードへデータを保存した時間を表示します。
- **【要因】**
ログが発生した要因を表示します。
 - **MN/SC** : 手動保存、スケジュール保存によるログ
 - **TRM1** : 端子1へのアラーム入力によるアラーム
 - **TRM2** : 端子2へのアラーム入力によるアラーム
 - **TRM3** : 端子3へのアラーム入力によるアラーム
 - **VMD**: 動作検知アラームによるアラーム
 - **COM**: コマンドアラームによるアラーム
 - **AT**: 自動追尾アラームによるアラーム
 - **AUD**: 音検知アラームによるアラーム
-  **(開始) ボタン**
選択中の録画データがPCにダウンロードされます。
PCの保存先ディレクトリーを、あらかじめ設定してください。(→98 ページ)
 ボタンをクリックすると、ダウンロード画面が表示されます。ダウンロード画面で [OK] ボタンをクリックします。

お知らせ

- ダウンロード中は、再生画面の操作ができなくなります。ダウンロードが完了してから操作してください。
- ダウンロード中に [キャンセル] ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。 [キャンセル] ボタンをクリックする前にダウンロードした動画データは、PCに保存されます。
- 動画データは、約20 MB単位のファイルに保存されるため、20 MBを超える容量のデータの場合は、複数のファイルがダウンロードされます。
- PCに保存したH.264動画は、Windows Media Playerなどを使用して再生することができます。ただし、これらのソフトウェアの動作について、弊社は一切の保証をいたしません。
- SDメモリーカードの状態や、Windows Media Playerの状態によっては、H.264動画を再生できない場合があります。
H.265動画再生については、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
(<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0303>)

2 設定

2.1 ネットワークセキュリティについて

2.1.1 本機に装備されているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能が装備されています。

- ① ユーザー認証／ホスト認証によるアクセスの制限
ユーザー認証／ホスト認証の設定を「On」にすると、カメラにアクセスするユーザーを制限することができます。(→180 ページ、183 ページ)
- ② HTTPポートの変更によるアクセスの制限
HTTPポート番号を変更することで、ポートスキャンなどの不正アクセスを防止できます。(→194 ページ)
- ③ HTTPS機能によるアクセスの暗号化
HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。(→214 ページ)

重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証でアクセス制限する、HTTPS機能でアクセスを暗号化するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのブラウザを閉じてください。
- 管理者のパスワードはセキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

お知らせ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

2.2 PCから設定メニューを表示する

カメラの設定は設定メニューで行います。

重要

- 設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、180 ページをお読みください。

2.2.1 表示のしかた

- 1 ライブ画ページを表示します。(→10 ページ)
- 2 ライブ画ページの「設定」ボタンをクリックします。
→ 設定メニューが表示されます。
本メニューについての詳細は、50 ページをお読みください。



2.2.2 操作のしかた



- ① メニューボタン
- ② 設定ページ

- 1 画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示します。
ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。
- 2 設定ページの各項目を入力します。

3 入力終了したら、[設定] ボタンをクリックして入力内容を確定します。

重要

- [設定]、[登録]、[実行] ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに [設定]、[登録]、[実行] ボタンをクリックしてください。

<例>



A欄の項目の設定が終了したら、A欄の下の [設定] ボタン (A-1) をクリックします。
A欄の下の [設定] ボタン (A-1) をクリックしないと、設定内容が確定されません。
上記と同様にB欄の項目の設定が終了したら、B欄の下の [設定] ボタン (B-1) をクリックします。

2.2.3 設定メニューの画面について



① [設定] ボタン

設定メニューを表示します。

- ② **【ライブ画】 ボタン**
ライブ画ページを表示します。
- ③ **【かんたん設定】 ボタン**
かんたん設定ページを表示します。かんたん設定ページでは、インターネット公開の設定、アラーム設定やアラーム連動動作などのイベント動作を設定します。(→52 ページ)
- ④ **【基本】 ボタン**
基本ページを表示します。基本ページでは、日時やカメラタイトルなどの基本設定やSDメモリーカードに関する情報を設定します。(→71 ページ)
- ⑤ **【映像／音声】 ボタン**
映像／音声ページを表示します。映像／音声ページでは、JPEG／H.265／H.264画像の画質・解像度などカメラに関する設定を行います。(→104 ページ)
- ⑥ **【マルチスクリーン】 ボタン**
マルチスクリーンページを表示します。マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示するカメラを登録します。(→153 ページ)
- ⑦ **【アラーム】 ボタン**
アラームページを表示します。アラームページでは、アラーム発生時のアラーム動作や動作検知エリアの設定、アラーム通知に関する設定を行います。(→155 ページ)
- ⑧ **【ユーザー管理】 ボタン**
ユーザー管理ページを表示します。ユーザー管理ページでは、本機にアクセスするユーザーやPCを制限する認証登録を行います。(→180 ページ)
- ⑨ **【ネットワーク】 ボタン**
ネットワークページを表示します。ネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定やDDNS (Dynamic DNS)、SNMP (Simple Network Management Protocol)、FTP (File Transfer Protocol)、NTPサーバー、Qosに関する設定を行います。(→191 ページ)
- ⑩ **【スケジュール】 ボタン**
スケジュールページが表示されます。スケジュールページでは、動作検知許可などを行うスケジュールを設定します。(→237 ページ)
- ⑪ **【メンテナンス】 ボタン**
メンテナンスページを表示します。メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアバージョンアップ、ステータスの確認、本機の設定内容の初期化などを行うことができます。(→244 ページ)
- ⑫ **【サポート】 ボタン**
サポートページが表示されます。サポートページでは、パナソニックサポートウェブサイトの表示方法を掲載しています。(→252 ページ)
- ⑬ **カメラタイトル**
現在設定しているカメラタイトルを表示します。
- ⑭ **設定ページ**
各設定メニューのページを表示します。メニューによっては、複数のタブで構成されているページもあります。
画面は設定ページの下部分を省略しています。

2.3 かんたん設定を使用する [かんたん設定]

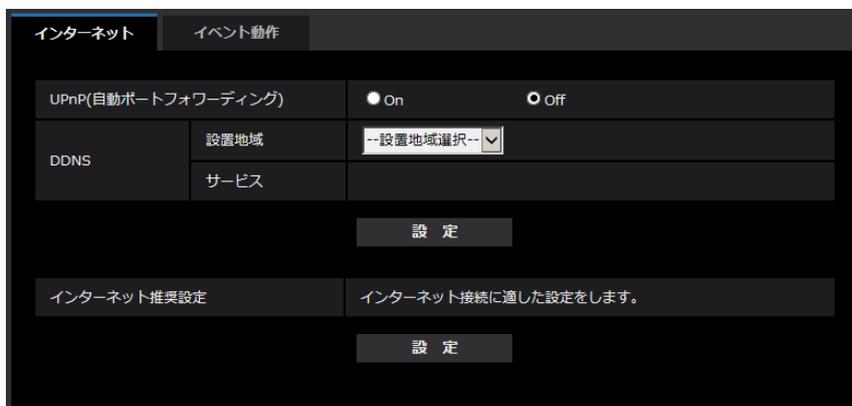
かんたん設定ページでは、簡単な操作で以下を設定します。

- カメラの画像をインターネットに公開する
 - スケジュール／アラームによるSDメモリーカードへの録画など、イベント動作を設定する
- かんたん設定ページは、[インターネット] タブ、[イベント動作] タブで構成されています。

2.3.1 インターネット公開を設定する [インターネット]

かんたん設定ページの [インターネット] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：49 ページ、49 ページ)

ここでは、カメラをインターネットに公開するために必要なUPnP (自動ポートフォワーディング)、DDNS の設定、および、インターネット推奨設定を行います。



[UPnP(自動ポートフォワーディング)]

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをOn/Offで設定します。

自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。

初期設定：Off

お知らせ

- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、PCやレコーダーなどに登録されているカメラのポート番号を変更する必要があります。
- UPnPの機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、メンテナンスページの [ステータス] タブをクリックし、[UPnP] のステータスが [有効] になっていることを確認します。(→247 ページ)
[有効] が表示されていない場合は、故障かな!の「インターネットからカメラにアクセスできない」をお読みください。(→264 ページ)
- 「UPnP(自動ポートフォワーディング)」の設定を変更すると、ネットワークページの [アドバンス] タブの「UPnP」も同様に変更されます。

[設置地域]

カメラを設置している地域を選択します。

日本以外／日本

お知らせ

- カメラを日本で使う場合は、「日本」を選択してください。「日本以外」を選択した場合に表示される「Viewnetcam.com」サービスは、日本国内からアクセスできません。

【サービス】

DDNSの「みえますねっと」サービス（有料）を使用するかどうかを、みえますねっと／Offで選択します。みえますねっと設定後、「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウィンドウで開きます。以後、画面に従って登録を進めてください。

詳細は、232 ページまたは、「みえますねっと」のウェブサイト (<https://panasonic.biz/cns/miemasu/>) を参照してください。

初期設定：Off

お知らせ

- 「DDNS」の設定を変更すると、ネットワークページの [アドバンス] タブの「DDNS」も同様に変更されます。

【インターネット推奨設定】

カメラをインターネットに公開するために、推奨する設定を行います。

[設定] ボタンをクリックすると、下記の設定項目の設定が変更されることが、ダイアログボックスに表示されます。確認したあとに [OK] ボタンをクリックしてください。

－ 映像／音声ページの [映像] タブ

JPEG(1)

[解像度]：VGA／640×360

JPEG(2)、JPEG(3)

[解像度]：QVGA／320×180

ストリーム(1)・ストリーム(2)・ストリーム(3)・ストリーム(4)

[インターネットモード (over HTTP)]：On

[配信モード]：ベストエフォート配信

[1クライアントあたりのビットレート*]：1024 kbps

ストリーム(1)

[解像度]：1280×960／1280×720

ストリーム(2)

[解像度]：VGA／640×360

ストリーム(3)、ストリーム(4)

[解像度]：QVGA／320×180

－ ネットワークページの [ネットワーク] タブ

IPv6/v4共通

[RTPパケット 最大送信サイズ]：制限あり (1280 byte)

[HTTPの最大セグメントサイズ]：制限あり (1280 byte)

2.3.2 イベント動作を設定する [イベント動作]

かんたん設定ページの [イベント動作] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：49 ページ、49 ページ)

ここでは、現在の設定されている内容を表示します。

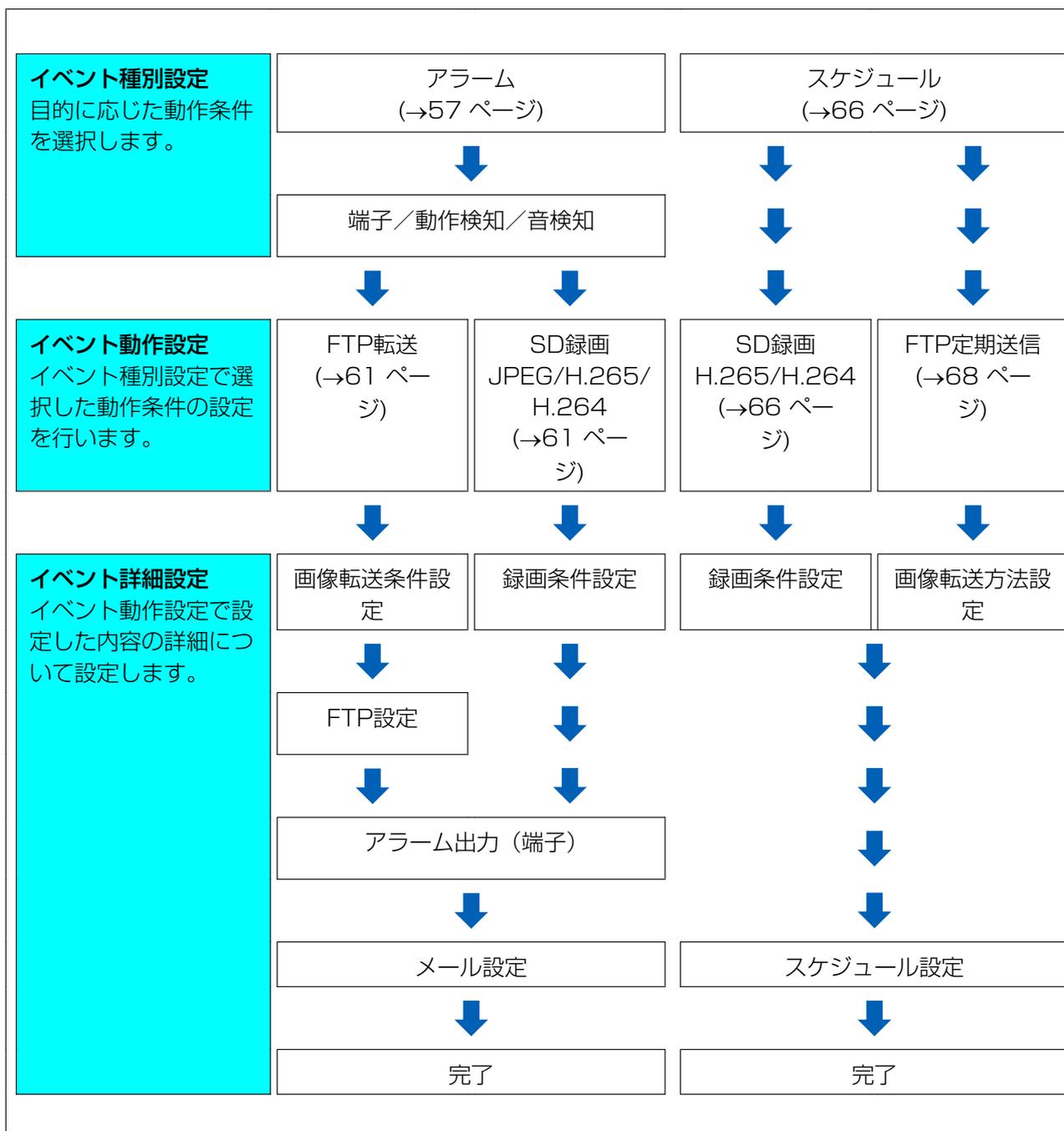


イベント動作では、SDスケジュール録画／FTP定期送信／アラーム検知時のイベント動作を設定できます。各設定画面で設定が完了したら、[次へ] ボタンをクリックして進んでください。設定の流れは、次のようになります。

お知らせ

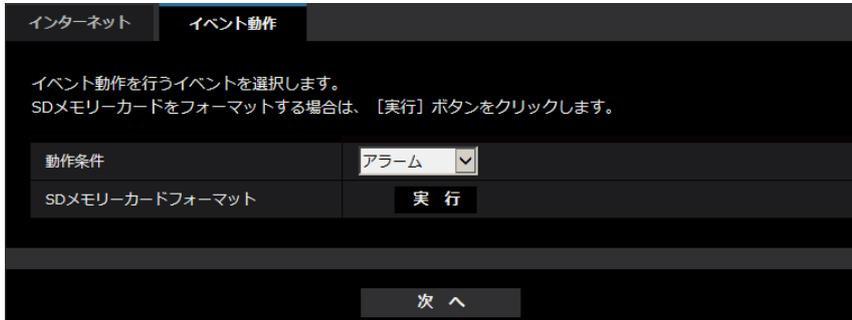
- [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。
- [撮像モード] を「2メガピクセル[16:9] (60fps モード)」に設定した場合、SDメモリーカードに関する機能は使用できません。

イベント動作設定の流れ



2.3.2.1 スケジュール／アラームを設定する（イベント種別設定画面）

ここでは、イベントの種別を選択します。



【動作条件】

アラーム：アラーム検知時の設定をするときを選択します。

スケジュール：「SD録画」「FTP定期送信」をするときを選択します。

初期設定：アラーム

【SDメモリーカードフォーマット】

SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行] ボタンをクリックします。

[実行] ボタンをクリックすると、「フォーマット」確認画面が表示されます。

[OK] ボタンを押すとフォーマットが開始されます。

「フォーマット」完了画面が表示されたら、 ボタンを押します。

重要

- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。

【次へ】 ボタン

「アラーム」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、アラーム設定画面が表示されます。(→57 ページ)

「スケジュール」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、スケジュール種別設定画面が表示されます。(→66 ページ)

2.3.2.2 アラーム：端子および動作検知を設定する（アラーム設定画面）

ここでは、アラームを検出したときの動作について設定します。

アラーム	
端子 1	Off
端子 2	Off
端子 3	Off
動作検知アラーム	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
自動追尾アラーム	Off
音検知アラーム	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
アラーム無検知時間	5 s (5-600s)
アラーム連動動作	
端子アラーム 1	Off
端子アラーム 2	Off
端子アラーム 3	Off
動作検知アラーム	Off
音検知アラーム	Off

アラーム

- **【端子1】**

端子1の動作設定を行います。

Off：使用しません。

アラーム入力(TRM1)：端子アラーム入力を受け付けます。

- **短絡**：端子状態がOnに変化するとアラーム検出を行います。
- **開放**：端子状態がOffに変化するとアラーム検出を行います。

白黒切換入力：白黒切換入力を受け付けます。（入力がOnのとき、白黒に切り換わります）

自動時刻調整：端子入力による時刻設定を受け付けます。信号が入力されると正時（毎時00分）からの時間差が29分以内の場合、00分00秒に設定します。5秒未満の時刻を戻す操作の場合は、時刻は変更されません。自動時刻調整を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。

- **短絡**：端子状態が「クローズ」に変化すると自動時刻調整を行います。
- **開放**：端子状態が「オープン」に変化すると自動時刻調整を行います。

初期設定：Off

- **【端子2】**

端子2の動作設定を行います。

Off：使用しません。

アラーム入力(TRM2)：端子アラーム入力を受け付けます。

- **短絡**：端子状態がOnに変化するとアラーム検出を行います。
- **開放**：端子状態がOffに変化するとアラーム検出を行います。

アラーム出力：「出力端子」（→157 ページ）で設定した内容に従ってアラーム出力を行います。

初期設定：Off

- **【端子3】**

端子3の動作設定を行います。

Off：使用しません。

アラーム入力(TRM3)：端子アラーム入力を受け付けます。

－ **短絡**：端子状態がOnに変化するとアラーム検出を行います。

－ **開放**：端子状態がOffに変化するとアラーム検出を行います。

AUX出力：AUX出力を行います。ライブ画ページに [AUX] ボタンを表示します。

初期設定：Off

• [動作検知アラーム]

On：動作検知エリアが設定されていない場合、全領域を設定します。動作検知エリアを設定する場合は、アラームページの [動作検知エリア] タブで設定します。(→171 ページ)

Off：動作検知状態をすべて無効にします。

初期設定：Off

• [自動追尾アラーム]

自動追尾動作時のアラームを以下から選択します。

Off：使用しません。

On (追尾開始時)：自動追尾動作中、アラームを出力し続けます。(出力間隔は5秒おきです。)

On (アラーム検出時間経過時)：自動追尾が一定時間継続した場合1回だけ、アラームを出力します。

On (アラームエリア侵入時)：自動追尾中、設定されたアラームエリアに追尾物体が入った場合、1回だけアラームを出力します。

初期設定：Off

お知らせ

- 「On (アラーム検出時間経過時)」を設定した場合、自動追尾設定の「アラーム検出時間」の設定が必要です。(→137 ページ)

• [音検知アラーム]

On：音検知が設定されていない場合、音検知をOnに設定します。音検知の感度を設定する場合は、アラームページの「音検知」タブで設定します。(→173 ページ)

Off：音検知を無効にします。

初期設定：Off

• [アラーム無検知時間]

アラームを検知したあとに、検知動作を行わない時間を設定します。例えば、アラームによって携帯電話にメール通知をする設定の場合、この設定によってメールを送信しすぎないようにすることができます。
5 - 600秒

初期設定：5s

お知らせ

- アラームの種類ごとにアラーム無検知時間が管理されます。例えば、端子アラーム1のアラーム無検知時間中であっても、動作検知アラームは検知されます。

アラーム連動動作

• [端子アラーム1]

端子アラーム1を検出したときに連動する動作を以下から選択します。アラームの [端子1] が [アラーム入力 (TRM1)] に設定されている場合に設定可能です。

Off：端子アラーム1を検出しても、連動動作を行いません。

1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム1を検出したときに、そのポジションに移動します。

自動追尾：端子アラーム1を検出すると自動追尾を開始します。

パトロール1：端子アラーム1を検出するとパトロールを開始します。

※パトロール1が未登録時は表示されません。

初期設定：Off

- **【端子アラーム2】**

端子アラーム2を検出したときに連動する動作を以下から選択します。アラームの「端子2」が「アラーム入力 (TRM2)」に設定されている場合に設定可能です。

Off：端子アラーム2を検出しても、連動動作を行いません。

1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム2を検出したときに、そのポジションに移動します。

自動追尾：端子アラーム2を検出すると自動追尾を開始します。

パトロール2：端子アラーム2を検出するとパトロールを開始します。

※パトロール2が未登録時は表示されません。

初期設定：Off

- **【端子アラーム3】**

端子アラーム3を検出したときに連動する動作を以下から選択します。アラームの「端子3」が「アラーム入力 (TRM3)」に設定されている場合に設定可能です。

Off：端子アラーム3を検出しても、連動動作を行いません。

1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム3を検出したときに、そのポジションに移動します。

自動追尾：端子アラーム3を検出すると自動追尾を開始します。

パトロール3：端子アラーム3を検出するとパトロールを開始します。

※パトロール3が未登録時は表示されません。

初期設定：Off

- **【動作検知アラーム】**

モーションディテクターによるアラームを検出したときに連動する動作を以下から選択します。

Off：モーションディテクターによるアラームを検出しても、連動動作を行いません。

1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、モーションディテクターによるアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。

自動追尾：モーションディテクターによるアラームを検出すると自動追尾を開始します。

パトロール1：モーションディテクターによるアラームを検出するとパトロールを開始します。

※パトロール1が未登録時は表示されません。

初期設定：Off

- **【音検知アラーム】**

音検知によるアラームを検出したときに連動する動作を以下から選択します。

Off：音検知によるアラームを検出しても、連動動作を行いません。

1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、音検知によるアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。

自動追尾：音検知によるアラームを検出すると自動追尾を開始します。

パトロール1：音検知によるアラームを検出するとパトロールを開始します。

※パトロール1が未登録時は表示されません。

初期設定：Off

【次へ】 ボタン

【次へ】 ボタンをクリックすると、アラーム種別設定画面が表示されます (→60 ページ)

お知らせ

- 【次へ】 ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、イベント種別設定画面が表示されます。(→56 ページ)

2.3.2.3 アラーム：アラーム種別を設定する（アラーム種別設定画面）

ここでは、アラーム種別を「FTP転送」「SD録画」から選択します。

[動作条件]

FTP転送：アラームが発生したときに、JPEG画像をFTP転送します。

SD録画：アラームが発生したときに、SDメモリーカードに録画します。

お知らせ

- アラーム発生時の「FTP転送」と、「FTP定期送信」は、両方同時に動作させることができます。
- アラーム発生時の「FTP転送」と、「FTP定期送信」を同時に設定すると、アラーム発生時の「FTP転送」が優先されます。

[録画圧縮方式]

[動作条件] で「SD録画」を選択した場合に、録画する画像の圧縮方式をJPEG(1)/JPEG(2)/JPEG(3)/ストリーム(1)/ストリーム(2)/ストリーム(3)/ストリーム(4)から選択します。

[次へ] ボタン

[動作条件] で「FTP転送」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、FTP転送設定画面が表示されます。(→61 ページ)

[動作条件] で「SD録画」、[録画圧縮方式] で画像圧縮方式JPEG(1)/JPEG(2)/JPEG(3)のいずれかを選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、JPEG録画設定画面が表示されます。(→62 ページ)

[動作条件] で「SD録画」、[録画圧縮方式] で画像圧縮方式ストリーム(1)/ストリーム(2)/ストリーム(3)/ストリーム(4)のいずれかを選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、動画録画設定画面が表示されます。(→62 ページ)

お知らせ

- [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、アラーム設定画面が表示されます。(→57 ページ)

2.3.2.4 アラーム：画像転送または録画条件の詳細を設定する

① FTP転送を設定する（FTP転送設定画面）

ここでは、アラーム検知時のFTP転送を設定します。

FTP			
アラーム画像送信	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
ディレクトリー名	<input type="text"/>		
ファイル名	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 <input checked="" type="checkbox"/> 自動追尾		
FTP送信リトライ	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
プレアラーム	画像更新速度 1fps	最大画像枚数 5枚	録画時間 0s
ポストアラーム	画像更新速度 1fps	画像枚数 100枚	録画時間 100s
解像度	JPEG(2) (640x360)		
アラーム時の画質制御	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
アラーム時の画質	5 標準		
FTPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10		
ユーザー名	<input type="text"/>		
パスワード	<input type="text"/>		
コントロールポート番号	21 (1-65535)		
モード	<input type="radio"/> パッシブモード <input checked="" type="radio"/> アクティブモード		
<input type="button" value="次へ"/> <input type="button" value="戻る"/>			

上記画面の設定方法は、2.9.2.2 FTP送信について設定するを参照してください。「アラーム時の画質制御」「アラーム時の画質」については、2.7.4.2 アラーム発生時の画質制御に関する設定を行うを参照してください。

【次へ】 ボタン

アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択し、【次へ】 ボタンをクリックすると、アラーム出力設定画面が表示されます。(→63 ページ)

アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択しないで、【次へ】 ボタンをクリックすると、メール設定画面が表示されます。(→64 ページ)

お知らせ

- ・ 【次へ】 ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

【戻る】 ボタン

【戻る】 ボタンをクリックすると、アラーム種別設定画面が表示されます。(→60 ページ)

② SD録画（JPEG）を設定する（JPEG録画設定画面）

ここでは、アラーム検知時のSD録画（JPEG）を設定します。

JPEG録画(アラーム発生時)	
ファイル名	img_
保存間隔・枚数(プレアラーム)	保存間隔: 1fps 保存枚数: Off
保存間隔・枚数(ポストアラーム)	保存間隔: 1fps 保存枚数: 100枚
<input type="button" value="次へ"/> <input type="button" value="戻る"/>	

上記画面の設定方法は、2.4.2 SDメモリーカードを設定する [SDメモリーカード] のJPEG録画（アラーム発生時）を参照してください。

[次へ] ボタン

アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、アラーム出力設定画面が表示されます。（→63 ページ）

アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択しないで、[次へ] ボタンをクリックすると、メール設定画面が表示されます。（→64 ページ）

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、アラーム種別設定画面が表示されます。（→60 ページ）

③ SD録画（H.265またはH.264）を設定する（動画録画設定画面）

ここでは、アラーム検知時のSD録画（H.265またはH.264）を設定します。

動画録画(アラーム発生時)	
録音	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
フレームレート*	30fps*
プレアラーム時間	Off
ポストアラーム時間	30s
<input type="button" value="次へ"/> <input type="button" value="戻る"/>	

[録音]

音声データを録音するかどうかをOn/Offで選択します。

On：動画（MP4フォーマット）に音声データを保存します。

Off：動画（MP4フォーマット）に音声データは保存されません。

お知らせ

- 音声配信モードが双方向（半二重）に設定されている場合は設定出来ません。

[フレームレート]

録画するH.265（またはH.264）のフレームレートを設定します。

お知らせ

- 設定可能なフレームレート、および、フレームレートに応じて設定されるビットレートについては、「2.3.2.8 スケジュール：SD録画を設定する（動画録画設定画面）」の「フレームレート*」を参照してください。

【プレアラーム時間】

アラーム発生前の録画を行うかどうかを選択します。SDメモリーカードに保存する時間を設定します。

Off / 1s / 2s / 3s / 4s / 5s / 8s / 10s / 15s / 20s / 25s / 30s / 40s / 50s / 60s

初期設定：Off

お知らせ

- 設定できる値は、録画するストリームの解像度とビットレートによって変動します。ビットレートが高く設定されているほど、プレアラーム時間として設定可能な最大値が小さくなります。

【ポストアラーム時間】

アラーム発生後に、SDメモリーカードに保存する時間を設定します。

10s / 20s / 30s / 40s / 50s / 60s / 120s / 180s / 240s / 300s

初期設定：30s

※ポストアラーム時間で設定した時間より、実際の録画時間は長くなる場合があります。

【次へ】 ボタン

アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、アラーム出力設定画面が表示されます。(→63 ページ)

アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択しないで、[次へ] ボタンをクリックすると、メール設定画面が表示されます。(→64 ページ)

お知らせ

- [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

【戻る】 ボタン

【戻る】 ボタンをクリックすると、アラーム種別設定画面が表示されます。(→60 ページ)

2.3.2.5 アラーム：出力端子を設定する

ここでは、アラーム出力を設定します。アラーム設定画面で「アラーム出力」を選択した場合に表示されます。

- 出力端子に関する設定を行う場合：

出力端子	
アラーム連動出力	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
SDメモリーカード警告	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
アラーム出力形式	<input checked="" type="radio"/> ラッチ <input type="radio"/> パルス
アラーム時の出力	<input checked="" type="radio"/> Open <input type="radio"/> Close
パルス出力時間	<input type="text" value="1"/> s (1-120s)

上記画面の設定方法は、2.7.2 出力端子に関する設定を行う [アラーム] を参照してください。

【次へ】 ボタン

[次へ] ボタンをクリックすると、メール設定画面が表示されます。(→64 ページ)

お知らせ

- [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

【戻る】 ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、FTP転送設定画面 (→61 ページ)、JPEG録画設定画面 (→62 ページ)、動画録画設定画面 (→62 ページ) のいずれかが表示されます。

2.3.2.6 アラーム：メール通知およびメールサーバーを設定する

ここでは、メールに関する設定をします。

- メールに関する設定を行う場合：

メール通知		<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off
画像添付		<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off
解像度		[▼] (320x180)	
SMTPサーバーアドレス		入力例: 192.168.0.10	
SMTPポート番号		25 (1-65535)	
POPサーバーアドレス		入力例: 192.168.0.10	
認証	認証方法	<input checked="" type="radio"/> なし	<input type="radio"/> POP before SMTP
	ユーザー名	[入力欄]	
	パスワード	[入力欄]	
送信者メールアドレス		[入力欄]	
SSL		<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off
メール通知先		通知先メールアドレス	
通知先 1	[入力欄]		削除
	<input type="checkbox"/> 端子 1	<input type="checkbox"/> 端子 2	<input type="checkbox"/> 端子 3
	<input type="checkbox"/> 動作検知	<input type="checkbox"/> 音検知	
	<input type="checkbox"/> 自動追尾		
通知先 2	[入力欄]		削除
	<input type="checkbox"/> 端子 1	<input type="checkbox"/> 端子 2	<input type="checkbox"/> 端子 3
	<input type="checkbox"/> 動作検知	<input type="checkbox"/> 音検知	
	<input type="checkbox"/> 自動追尾		
通知先 3	[入力欄]		削除
	<input type="checkbox"/> 端子 1	<input type="checkbox"/> 端子 2	<input type="checkbox"/> 端子 3
	<input type="checkbox"/> 動作検知	<input type="checkbox"/> 音検知	
	<input type="checkbox"/> 自動追尾		
通知先 4	[入力欄]		削除
	<input type="checkbox"/> 端子 1	<input type="checkbox"/> 端子 2	<input type="checkbox"/> 端子 3
	<input type="checkbox"/> 動作検知	<input type="checkbox"/> 音検知	
	<input type="checkbox"/> 自動追尾		
メール件名	<input type="checkbox"/> カメラタイトルを使用 <input type="checkbox"/> アラーム要因		
メール本文	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム要因 <input checked="" type="checkbox"/> 発生時刻		
	The #3 alarm was occurred at 11%.		
		設定	戻る

上記画面の設定方法は、2.9.2.1 メール送信について設定するを参照してください。

【設定】 ボタン

【設定】 ボタンをクリックすると、設定が完了します。

【戻る】 ボタン

【戻る】 ボタンをクリックすると、FTP転送設定画面 (→61 ページ)、JPEG録画設定画面 (→62 ページ)、動画録画設定画面 (→62 ページ)、アラーム出力設定画面 (→63 ページ) のいずれかが表示されます。

2.3.2.7 スケジュール：SD録画またはFTP定期送信を設定する（スケジュール種別設定画面）

ここでは、スケジュール種別を「SD録画」または「FTP定期送信」から選択します。

動作条件	SD録画
録画圧縮方式	ストリーム(1) (H.265/1920x1080)
<input type="button" value="次へ"/> <input type="button" value="戻る"/>	

[動作条件]

SD録画：スケジュール設定した時間に、H.265（またはH.264）画像をSDメモリーカードに録画します。

FTP定期送信：スケジュール設定した時間に、JPEG画像をFTPサーバーへ送信します。

[録画圧縮方式]

[動作条件] で「SD録画」を選択した場合に、録画するストリームを、ストリーム(1)/ストリーム(2)/ストリーム(3)/ストリーム(4)から選択します。

[次へ] ボタン

「SD録画」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、動画録画設定画面が表示されます。（→66 ページ）

「FTP定期送信」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、FTP定期送信設定画面が表示されます。（→68 ページ）

お知らせ

- [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、イベント種別設定画面が表示されます。（→56 ページ）

お知らせ

- 「FTP定期送信」と、アラーム発生時の「FTP転送」は、両方同時に動作させることができます。
- 「SD録画」を選択すると、「FTP定期送信」の設定は解除されます。

2.3.2.8 スケジュール：SD録画を設定する（動画録画設定画面）

ここでは、スケジュールによるSD録画（H.265またはH.264）を設定します。

動画録画	
録音	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
フレームレート*	30fps*
上書き	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
<input type="button" value="次へ"/> <input type="button" value="戻る"/>	

【録音】

音声データを録音するかどうか設定します。

- **On:** 動画（MP4フォーマット）に音声データを保存します。
- **Off:** 動画（MP4フォーマット）に音声データは保存されません。

初期設定：Off

お知らせ

- 音声配信モードが双方向（半二重）に設定されている場合は設定出来ません。

重要

- 「上書き」を「Off」から「On」に切り換えたときに、SDメモリーカードの空き容量が少ないと、書き込みの準備のため古い画像が削除されることがあります。

【フレームレート*】

録画するH.265（またはH.264）のフレームレートを以下から設定します。

1fps / 3fps / 5fps* / 7.5fps* / 10fps* / 12fps* / 15fps* / 20fps* / 30fps*

初期設定：30fps*

お知らせ

- 「次へ」ボタンをクリックすると、[配信モード]は「フレームレート指定」に設定されます。
(→108 ページ)

ビットレートは、選択した解像度とフレームレートに応じて以下のように設定されます。

単位：kbps

解像度	フレームレート (fps)								
	1	3	5	7.5	10	12	15	20	30
320×180	128	256	256	256	256	256	256	256	384
QVGA	128	256	256	256	256	256	256	256	384
400×300	128	256	256	256	256	384	384	384	384
640×360	256	384	384	384	384	384	384	384	512
VGA	256	384	384	384	384	384	384	384	512
800×600	384	512	512	512	768	768	768	768	1024
1280×720	384	512	512	512	768	768	768	1024	1536
1280×960	512	768	768	768	768	1024	1024	1024	1536
1920×1080	768	1024	1024	1024	1536	1536	1536	2048	2048
2048×1536	1024	1536	1536	1536	2048	2048	2048	2048	3072

【上書き】

SDメモリーカードの空き容量が少なくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。

- **On:** SDメモリーカードの空き容量が少なくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。

- **Off:** SDメモリーカードの空き容量がなくなった場合、SDメモリーカードへの保存を停止します。

初期設定：Off

重要

- 「[上書き]」を「Off」から「On」に切り換えたときに、SDメモリーカードの空き容量が少ないと、書き込みの準備のため古い画像が削除されることがあります。

[次へ] ボタン

[次へ] ボタンをクリックすると、SDメモリーカードへの録画スケジュールを設定する画面が表示されます。(→68 ページ)

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、スケジュール種別設定画面が表示されます。(→66 ページ)

- スケジュールの設定を行う場合：

スケジュール	
スケジュール 1 (白)	動作モード: 動作検知許可 スケジュール: <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 24h 09:00 ~ 17:30
スケジュール 2 (青)	動作モード: 動作検知許可 スケジュール: <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 24h 23:00 ~ 07:00
スケジュール 3 (緑)	動作モード: FTP定期送信 スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 24h : : ~ : :
スケジュール 4 (赤)	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h : : ~ : :
スケジュール 5 (黒)	動作モード: Off スケジュール: <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h : : ~ : :

設定 戻る

上記画面の設定方法は、2.10 スケジュールの設定を行う [スケジュール] を参照してください。

[設定] ボタン

[設定] ボタンをクリックすると、設定を完了します。

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、動画録画設定画面が表示されます。(→66 ページ)

お知らせ

- 「動作モード」で「SD録画」を未選択の場合は、録画を行いません。

2.3.2.9 スケジュール：FTP定期送信を設定する（FTP定期送信設定画面）

ここでは、FTP定期送信を設定します。

- FTP定期送信に関する設定を行う場合：

FTP定期送信	
定期送信	<input type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
ディレクトリー名	<input type="text"/>
ファイル名	<input type="text"/> <input type="radio"/> ファイル名+日時 <input type="radio"/> ファイル名を固定
送信間隔	<input type="text"/> 分
解像度	<input type="text"/> (VGA)
FTPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
コントロールポート番号	<input type="text"/> (1-65535)
モード	<input type="radio"/> パッシブモード <input type="radio"/> アクティブモード

次へ 戻る

上記画面の設定方法は、2.9.2.2 FTP送信について設定するを参照してください。

[次へ] ボタン

[次へ] ボタンをクリックすると、FTP定期送信スケジュールを設定する画面が表示されます。
(→70 ページ)

お知らせ

- [次へ] ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、スケジュール種別設定画面が表示されます。(→66 ページ)

- FTP定期送信スケジュールに関する設定を行う場合：

スケジュール		
スケジュール 1 (白) <input type="checkbox"/>	動作モード	Off <input type="text"/>
	スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 2 (青) <input checked="" type="checkbox"/>	動作モード	Off <input type="text"/>
	スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 3 (緑) <input checked="" type="checkbox"/>	動作モード	Off <input type="text"/>
	スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 4 (赤) <input checked="" type="checkbox"/>	動作モード	Off <input type="text"/>
	スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
スケジュール 5 (黒) <input checked="" type="checkbox"/>	動作モード	Off <input type="text"/>
	スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 24h <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> ~ <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>

	0:00	6:00	12:00	18:00	24:00
月					
火					
水					
木					
金					
土					
日					

上記画面の設定方法は、2.10 スケジュールの設定を行う [スケジュール] を参照してください。

【設定】 ボタン

【設定】 ボタンをクリックすると、設定を完了します。

【戻る】 ボタン

【戻る】 ボタンをクリックすると、FTP定期送信設定画面が表示されます。(→68 ページ)

お知らせ

- 「動作モード」で「FTP定期送信」を未選択の場合は、FTP定期送信を行いません。

2.4 本機の基本設定を行う [基本]

基本ページでは、カメラタイトルや日時設定、SDメモリーカード、ログに関する設定を行います。
基本ページは、[基本] タブ、[SDメモリーカード] タブ、[ログ] タブ、[オーバーレイ画像] タブで構成されています。

2.4.1 基本設定を行う [基本]

基本ページの [基本] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：49 ページ、49 ページ)

ここでは、カメラタイトルおよび日時などの設定を行います。

基本設定画面のスクリーンショット。設定項目は以下の通りです。

- メニュー言語: 自動
- カメラタイトル: WV-X6533L
- 日時: Jan / 01 / 2019 00:00:00
- 日付・時刻表示: On Off
- 時刻表示形式: 24h
- 日付表示形式: Mmm/DD/YYYY
- 日付・時刻表示位置: 左上
- NTP: NTP設定△
- タイムゾーン: (GMT+09:00) 大阪, 札幌, 東京
- サマータイム: Out
- 開始日時: 月 曜日 時間
- 終了日時: 月 曜日 時間
- 画面内文字表示: On Off
- 画面内文字:
- 画面内文字表示位置: 左上
- 日時&画面内文字 文字サイズ: 100% * (注: 「100% *」を選択すると、解像度がVGA以下の場合に、画面内文字が見やすくなります。)
- 明るさ状態表示: On Off
- 画像補正: On Off
- ランプ表示: 点灯 消灯
- 状態通知間隔: 定期(30s) リアルタイム
- 状態通知受信ポート番号: 31004 (1-65535)
- 自動インストール: 許可する 許可しない
- 描画方式: GDI Direct2D
- デコード方式: ソフトウェア ハードウェア [確認]
- プラグインソフトウェア (nwcv45setup.exe)
 - ライブ画スムーズ表示(バッファリング): On Off
 - ライブ画フレームスキップ表示(PC負荷軽減): 自動 手動
 - コントラスト強調表示(RGB:0-255): On Off
- オーディオ出力端子: オーディオ モニター
- モニター出力: NTSC PAL

※「オーバーレイ表示」が「On」に設定されている場合、「文字サイズ」を「150%」または「200%」に設定できません。

[メニュー言語]

カメラにアクセスしたときに表示される最初の言語を以下から選択します。

自動/英語/日本語/イタリア語/フランス語/ドイツ語/スペイン語/中国語/ロシア語/ポルトガル語

自動：ブラウザで使用している言語が自動で選択されます。本機でその言語に対応していない場合は、英語が選択されます。

初期設定：自動

ライブ画面でも表示言語を切り換えることができます。(→13 ページ)

お知らせ

- 日本語に設定すると診断メールと携帯電話画面が日本語で表示されます。
中国語に設定すると、携帯電話画面が中国語で表示されます。
それ以外の場合、診断メールと携帯電話画面は英語で表示されます。

【カメラタイトル】

本機の名称を入力します。入力後、[設定] ボタンをクリックすると、入力した名称がカメラタイトルに表示されます。

入力可能文字数: 0~20文字

入力不可文字: 半角記号「"」「&」

初期設定: 品番が表示されます。

【日時】

現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12h」を選択した場合は、「AM」または「PM」を選択します。

設定可能範囲：Jan/01/2013 00:00:00 ~Dec/31/2035 23:59:59

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合、NTPサーバーを使用してください。(→206 ページ)

【日付・時刻表示】

画像上に日付・時刻を表示するかどうかをOn/Offで設定します。日付・時刻を表示しない場合は、「Off」に設定してください。

初期設定：On

【時刻表示形式】

時刻の表示方法を24h/12hから選択します。「日時」は、この設定にあわせて入力してください。

初期設定：24h

【日付表示形式】

日付の表示形式を選択します。「日時」を「2016年4月1日 13時10分00秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は次のようになります。

- **DD/MM/YYYY**: 01/04/2016 13:10:00
- **MM/DD/YYYY**: 04/01/2016 13:10:00
- **DD/Mmm/YYYY**: 01/Apr/2016 13:10:00
- **YYYY/MM/DD**: 2016/04/01 13:10:00
- **Mmm/DD/YYYY**: Apr/01/2016 13:10:00

初期設定：Mmm/DD/YYYY

【日付・時刻表示位置】

画像上に日付・時刻を表示する位置を選択します。

- **左上**: 画面内の左上に表示します。

- **左下:** 画面内の左下に表示します。
- **中央上:** 画面内の中央上に表示します。
- **中央下:** 画面内の中央下に表示します。
- **右上:** 画面内の右上に表示します。
- **右下:** 画面内の右下に表示します。

初期設定: 左上

[NTP]

[NTP設定へ] をクリックすると、ネットワークページの [アドバンス] タブが表示されます。(→206 ページ)

[タイムゾーン]

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

初期設定: (GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

[サマータイム]

サマータイムを使用するかどうかをIn/Out/Autoで設定します。サマータイムを使用する地域で設定します。

- **In:** 時刻をサマータイムにします。時刻表示に「*」が表示されます。
- **Out:** サマータイムを解除します。
- **Auto:** 開始日時、終了日時設定 (月、週、曜日、時刻) に従って、サマータイム時刻に切り換えます。

初期設定: Out

[開始日時] [終了日時]

[サマータイム] 設定で「Auto」を選択したとき、サマータイムの開始日時、終了日時を月、週、曜日、時刻で設定します。

[画面内文字表示]

画像上に文字列を表示するかどうかをOn/Offで設定します。

「On」に設定すると、「画面内文字」で入力した文字列が、「表示位置」で選択した位置に表示されます。

初期設定: Off

[画面内文字]

画像内で表示する文字列を入力します。

入力可能文字数: 0~20文字

入力可能文字: 0~9 (半角)、A~Z (半角、大文字、小文字)、全角 (漢字、ひらがな、カタカナなど)、半角記号「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「=」「?」

初期設定: なし (空白)

[画面内文字表示位置]

画面内に表示される文字列の表示位置を選択します。

- **左上:** 画面内の左上に表示します。
- **左下:** 画面内の左下に表示します。
- **中央上:** 画面内の中央上に表示します。
- **中央下:** 画面内の中央下に表示します。
- **右上:** 画面内の右上に表示します。
- **右下:** 画面内の右下に表示します。

初期設定：左上

【日時&画面内文字】－【文字サイズ】

画像内に表示される日付・時刻と文字列の文字サイズを選択します。

- **100%***：VGA以下の解像度では、文字サイズを150%で表示します。VGAより大きい解像度では、標準の大きさで表示します。
- **100%**：標準の大きさで表示します。
- **150%**：標準の150 %の大きさで表示します。
- **200%**：標準の200 %の大きさで表示します。

初期設定：100%*

重要

- 【日付・時刻表示位置】と【画面内文字表示位置】の設定が異なる場合、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。
- 【日付・時刻表示位置】と【画面内文字表示位置】の設定が異なる場合、【文字サイズ】の設定と文字数によっては、文字が切れる場合や重なる場合があります。表示結果を確認のうえお使いください。
- 【文字サイズ】が「150%」または「200%」に設定されている場合、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。
- 【文字サイズ】の設定と文字数、画像の解像度によっては文字が切れる場合があります。表示結果を確認のうえお使いください。

お知らせ

- 「オーバーレイ表示」が「On」に設定されている場合、「文字サイズ」を「150%」または「200%」に設定できません。

【明るさ状態表示】

明るさ調整時にライブ画ページの画像内に明るさ状態を表示するかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定：On

【画揺れ補正】

カメラの画揺れ補正機能を有効にするかどうかをOn/Offで設定します。

ジャイロセンサーと画像ベクトル検出を使ったズーム揺れ補正により、風によるポールなどの低周波数振動や高倍率時の細かな揺れを補正し、ブレの少ない映像を撮影することができます。**(X6533)**

【撮像モード】が「2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)」のときは設定できません。

初期設定：Off

画揺れ補正機能は、カメラ本体が頻繁に揺れるような環境に設置する場合のみご使用ください。揺れを軽減する効果があります。

設置時に動作をご確認の上、ご使用ください。

揺れの無い環境でご使用になる場合は、画揺れ補正機能は使わないでください。移動している物体の影響を受け、補正処理がかかり、画面全体が揺らいたように映る場合があります。

重要

- 「On」に設定すると、画角が狭くなります。「On」に設定した場合は、カメラを取り付ける際に画角を確認してください。
- 「On」に設定すると、画面にノイズが増える場合があります。
- 「On」に設定すると、「ストリーム(4)」が「Off」になります。

- 「On」に設定すると、「ストリーム(1)」の「スマートコーディング」の「顔スマートコーディング」が「Off」になります。
- 以下の場合は画揺れ補正は動作しません。
 - ポジションリフレッシュ中
- 以下の場合など、撮影状況によっては十分な揺れ補正効果が得られない場合があります。
 - 被写体が暗いとき
 - 機械的振動などの速い周期の画揺れ
 - 振幅の大きい画揺れ
 - 単色の壁など被写体の明暗差がないとき **S6532**
 - 自動モード（オートパン、プリセットシーケンス、パトロール）中
 - 動作検知アラーム設定中
 - 画質／ポジション設定中
 - パンチルト操作実行中
- 動きのある大きな被写体を撮影した場合、誤動作することがあります。
- 以下のエリア設定をした状態で「画揺れ補正」の設定を変更すると設定したエリアの位置がずれます。「画揺れ補正」の設定をしたあとで、各エリアの設定をしてください。
 - マスクエリア
 - プライバシーゾーン
 - 動作検知エリア
 - VIQSエリア
 - オーバーレイ画像
- 「画揺れ補正」を「On」に設定した時は、揺れ補正が動作する時にプライバシーゾーンがずれる場合があります。プライバシーゾーンを設定する場合は、「画揺れ補正」を使用しないことをお奨めします。

お知らせ

- 暗い撮影環境で揺れが発生する場合、最長露光時間を「最大1/100s」以上の高速シャッター設定にすると、より良好な揺れ補正効果が得られることがあります。設置環境に応じて最長露光時間を設定してください。
- 40℃以上の環境で本機を使用する場合、画揺れ補正の効果が小さくなる場合があります。

【ランプ表示】

SDメモリーカードエラーランプ（SD ERROR）の点灯／消灯を選択します。動作状態をランプで確認したいときは、「点灯」を選択します。リンクランプ（LINK）、アクセスランプ（ACT）は消灯できません。

初期設定：点灯

お知らせ

- **リンクランプ（LINK）（橙色）**：接続機器と通信可能になると点灯します。
- **アクセスランプ（ACT）（緑色）**：ネットワークにアクセスしているときに点滅します。
- **SDメモリーカードエラーランプ（SD ERROR）（赤色）**：SDメモリーカードに保存できないときに点灯します。

【状態通知間隔】

本機の状態を通知する間隔を以下から選択します。

本機の状態に変化があったときは、ライブ画ページに、アラーム発生通知ボタン、[AUX] ボタン、[SD保存状態表示] を表示して知らせます。

- **定期(30s):** 30秒ごとに状態を更新し、通知します。
- **リアルタイム:** 状態に変化があった場合に通知します。

初期設定：リアルタイム

お知らせ

- ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。
- 複数のカメラで同じ「状態通知受信ポート番号」を使用している場合、「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定していても、状態通知はリアルタイムに通知されません。その場合は、「状態通知受信ポート番号」を変更してください。

【状態通知受信ポート番号】

「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している場合のみ、状態を通知する通知先の受信ポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65535

初期設定：31004

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

【プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)】 - 【自動インストール】

表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールするかどうかを設定します。

- **許可する:** 表示用プラグインソフトウェアを本機からPCへ自動的にインストールします。
- **許可しない:** 表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールできません。

初期設定：許可する

重要

- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされていないPCでは、JPEG画像を表示します。H.265（またはH.264）画像の表示や音声の受話／送話は行えません。H.265（またはH.264）画像の表示や音声の受話／送話を行うためには、ライブ画ページの「プラグインソフトウェア」（→13 ページ）をクリックし、表示用プラグインソフトウェアをインストールする必要があります。
- プラグインソフトウェアのインストール回数は、本機ブラウザーメニュー画面のメンテナンスページの「バージョンアップ」タブで確認できます。

【プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)】 - 【描画方式】

表示用プラグインソフトウェアで本機の画像を表示する際の画像表示を設定します。

- **GDI:** Windowsの一般的な描画方式です。
- **Direct2D:** 描画のカクつきを軽減することができます。

初期設定：GDI

重要

- 「Direct2D」は、グラフィックドライバーを最新バージョンに更新したPCで使用してください。
- 「Direct2D」は、「ライブ画スムーズ表示 (バッファリング)」を「On」に設定して使用してください。「ライブ画スムーズ表示 (バッファリング)」が「Off」の場合、十分に効果が得られないことがあります。

お知らせ

- ご利用のPCが、Windows 7の場合、Aero機能を「無効」にすると十分に効果が得られないことがあります。
- 描画方式にDirect2Dを設定している場合、ご利用のPCによっては映像が表示されなかったり、表示の一部が壊れたように見えたりすることがあります。
- Direct2Dの設定が可能なPCについては、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
Panasonic サイト <https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0313>

【プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)】 - 【デコード方式】

ライブ画のH.265/H.264画像のデコード方式を選択します。

- **ソフトウェア**：ソフトウェアによりデコードします。
 - **ハードウェア**：ハードウェアアクセラレーション(QSV/DXVA)機能を使用して高速にデコードします。
- 初期設定：ソフトウェア

重要

- ご利用のPCによっては、「ハードウェア」設定を使用できない場合があります。「確認」ボタンを押すと、次のダイアログメッセージが表示されます。
 - ご利用のPCでは、H.265/H.264ともにハードウェアデコードを有効にすることができます。
※ご利用のPC環境によっては、映像が出力されない場合があります。その場合は、「デコード方式」を「ソフトウェア」に設定してください。
 - ご利用のPCでは、H.264のハードウェアデコードを有効にすることができますが、H.265のハードウェアデコードは有効にすることができません。
※ご利用のPC環境によっては、映像が出力されない場合があります。その場合は、「デコード方式」を「ソフトウェア」に設定してください。
 - ご利用のPCでは、ハードウェアデコードを有効にすることができません。「デコード方式」を「ソフトウェア」に設定してください。

お知らせ

- デコード方式にハードウェアを設定している場合、ご利用のPCによっては映像が表示されなかったり、表示の一部が壊れたように見えたりすることがあります。
- ハードウェアの設定が可能なPCについては、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
Panasonic サイト <https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0313>

【プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)】 - 【ライブ画スムーズ表示 (バッファリング)】

表示用プラグインソフトウェアで本機の画像を表示する際の設定を行います。

On：本機の画像を一時的にPCに蓄積し、より滑らかに表示します。

Off：本機の画像をPCに蓄積せず、リアルタイムに表示します。

初期設定：Off

お知らせ

- オートパン動作中や動きの多い被写体を撮影すると、画像が滑らかに表示されないことがあります。その場合、本設定を「On」に変更することで、滑らかな画像表示に改善することができます。

[プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)] – [ライブ画フレームスキップ表示 (PC高負荷時)]

表示用プラグインソフトウェアで本機の画像を表示する際の設定を行います。

- **自動**：本機の画像表示が遅延した場合、自動でフレームスキップを行い遅延を解消します。
- **手動**：本機の画像表示が遅延した場合、自動でフレームスキップを行いません。

初期設定：自動

お知らせ

- 「手動」に設定している場合、ライブ画面上で右クリックし、フレームスキップを「Off」、「1 Frame Skip」、「2 Frames Skip」、「4 Frames Skip」、「6 Frames Skip」、「8 Frames Skip」から選択することができます。ここで選択した設定値は、ウェブブラウザを閉じると「Off」に戻ります。

[プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)] – [コントラスト強調表示 (RGB:0-255)]

ライブ画のH.265画像やH.264画像のコントラストを強調して表示するかどうかをOn/Offで設定します。Onにすると、16から235のRGB信号を0から255の範囲へ伸張して表示します。被写体によっては高輝度部分に白とびが発生する場合があります。お使いの環境に合わせてご使用ください。

初期設定：Off

お知らせ

- 本設定は、Internet Explorerを用いてライブ画の画像を見る場合にのみ有効です。
- 本設定を変更しても、配信される画像データやSDメモリーカードに記録する画像データに変化はありません。

[オーディオ出力端子]

オーディオ/モニター出力端子を設定します。

オーディオ/モニター

初期設定：オーディオ

お知らせ

- 「オーディオ出力端子」を「オーディオ」に設定する場合、「モニター出力」を選択することができません。
- 「音声配信モード」を「Off」または「受話」以外に設定する場合、「オーディオ出力端子」を「モニター」に設定することができません。
- 「オーディオ出力端子」を「モニター」に設定する場合、「音声配信モード」を「Off」または「受話」以外に設定することができません。

[モニター出力]

確認用モニターに出力する映像フォーマットを設定します。

NTSC/PAL

初期設定：NTSC

2.4.2 SDメモリーカードを設定する [SDメモリーカード]

基本ページの [SDメモリーカード] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：49 ページ、49 ページ)

ここでは、SDメモリーカードに関する設定を行います。

The screenshot shows the 'SDメモリーカード' (SD Memory Card) settings menu. It is divided into several sections:

- 運用モード (Operation Mode):**
 - SDメモリーカード: 使用する (Use) / 使用しない (Do not use)
 - 録音 (Recording): On / Off
 - SDメモリーカード残容量通知 (SD Memory Card Remaining Capacity Notification): 50%
 - 上書き (Overwrite): On / Off
- SDメモリーカードセキュリティ設定 (SD Memory Card Security Settings):**
 - 改ざん検出情報付加 (Tampering Detection Information Addition): 詳細設定へ>>
 - パスワードロック (Password Lock):
 - パスワード (Password): 設定 (Set) / 解除 (Release) / 変更 (Change)
 - 状態 (Status): 未設定 (Not set)
- 録画ストリーム 1 (Recording Stream 1):**
 - 録画圧縮方式 (Recording Compression Format): JPEG(2) (640x360)
 - FTP定期送信エラー時 (FTP Regular Transmission Error): FTP定期送信エラー時
 - 保存モード (Save Mode):
 - 端子 1 (Terminal 1) / 端子 2 (Terminal 2) / 端子 3 (Terminal 3)
 - 動作検知 (Operation Detection) / コマンドアラーム (Command Alarm) / 音検知 (Sound Detection)
 - 自動追尾 (Automatic Follow-up)
- 録画ストリーム 2 (Recording Stream 2):**
 - 録画圧縮方式 (Recording Compression Format): [Dropdown]
 - 保存モード (Save Mode):
 - 端子 1 (Terminal 1) / 端子 2 (Terminal 2) / 端子 3 (Terminal 3)
 - 動作検知 (Operation Detection) / コマンドアラーム (Command Alarm) / 音検知 (Sound Detection)
 - 自動追尾 (Automatic Follow-up)
- SDメモリーカード情報 (SD Memory Card Information):**
 - 容量表示 (Capacity Display): -----MB/-----MB (残容量/総容量)
 - フォーマット (Format): 実行 (Execute)
- SDメモリーカード画像取得 (SD Memory Card Image Acquisition):**
 - 画像取得 (Image Acquisition): 実行 (Execute)
- SDメモリーカードの取り付け・取り外し (SD Memory Card Insertion/Removal):**
 - 取り付け・取り外しモード (Insertion/Removal Mode):
 - 実行 (Execute) / 解除 (Release)
 - 取り付け・取り外しモード中は、映像上に「Now Maintenance Mode」と表示され、機能が制限されます。

運用モード

【SDメモリーカード】

SDメモリーカードを使用するかどうかを、使用する／使用しないで設定します。

初期設定：使用する

お知らせ

- ・ [撮像モード] を「2 メガピクセル[16:9] (60fps モード)」に設定した場合は、SDメモリーカードに関する機能は使用できません。[SDメモリーカード] が「使用しない」に設定されます。

【録音】

動画をMP4フォーマットで保存する場合に音声データを録音するかどうか設定します。

- ・ **Off**：動画 (MP4フォーマット) に音声データは保存されません。
- ・ **On**：動画 (MP4フォーマット) に音声データを保存します。

初期設定：Off

お知らせ

- [録音] を使用する場合、[録画ストリーム1] をストリーム、[録画ストリーム2] を「Off」に設定する必要があります。

[SDメモリーカード残容量通知]

メール通知機能や独自アラーム通知機能を使用してSDメモリーカードの残容量を通知する場合に、空き容量が何%になった場合に通知を開始するかを以下から選択します。

50%/20%/10%/5%/2%

初期設定：50%

お知らせ

- 残容量通知は、設定した値以下の残容量値ごとに通知されます。
例えば、「50%」に設定した場合、残容量が50%、20%、10%、5%、2%になったときにそれぞれ通知します。通知するタイミングは多少ずれる場合があります。

[上書き]

SDメモリーカードの空き容量が少なくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。

- **On:** SDメモリーカードの空き容量が少なくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。
- **Off:** SDメモリーカードの空き容量がなくなった場合、SDメモリーカードへの保存を停止します。

初期設定：Off

重要

- SDメモリーカードを使用しない場合は、「使用しない」に設定してください。
- 本機からSDメモリーカードを取り外すときは、必ず「使用しない」に設定してから、SDメモリーカードを取り外してください。「使用する」に設定している場合にSDメモリーカードを取り外すと、データが壊れるおそれがあります。
- 「使用する」に設定している場合にSDメモリーカードを取り付けると、「保存モード」の設定に従い、データの保存を行います。
- SDメモリーカードを取り付けたあとは、「使用する」に設定してください。
- 画像更新速度が速いと、通知や録画のタイミング・間隔がずれることがあります。また、複数のユーザーが画像を受信する場合、通知や録画が設定どおりに行われなことがある場合があります。その場合は、画像更新速度を遅くしてください。
- SDメモリーカードの書き換え回数には限度があります。書き換え頻度が高いと、寿命が短くなる場合があります。
- SDメモリーカードの寿命は、SDメモリーカードに保存する画像ファイルの数とログ書き込みの数の影響を受けます。「録画圧縮方式」で「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」を選択することにより、SDメモリーカードに保存するファイル数を減らすことができます。
- SDメモリーカードの書き込み回数が増えて、書き込み速度が低下した場合は、新しいSDメモリーカードへの交換をお勧めします。
- 「上書きなし」から「上書きあり」に切り換えたときに、SDメモリーカードの空き容量が少ないと、書き込みの準備のため古い画像が削除されることがあります。

SDメモリーカードセキュリティ設定

【改ざん検出情報付加】

SDメモリーカード内のデータが改ざんされた際に、検出可能とするための情報を付加するかどうかを設定します。

改ざん検出は、動画（MP4フォーマット）のみに対応しており、専用ソフトウェアで確認できます。

【詳細設定へ>>】 ボタンをクリックすると、改ざん検出情報付加に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。（→88 ページ）

【パスワードロック】

SDメモリーカードにパスワードを設定します。パスワードを設定すると、本機以外の機器でSDメモリーカードへの書き込み、読み込みができなくなります。もしSDメモリーカードを盗まれたり、紛失したりした場合に、記録されたデータが流出するリスクを軽減することができます。

【設定】

パスワード未設定のSDメモリーカードが挿入されている場合、設定ボタンでパスワードを設定することができます。

パスワードロック(設定)

パスワード	<input type="password"/>
パスワード確認	<input type="password"/>

設 定

【パスワード】 / 【パスワード確認】

パスワードを入力します。

入力可能文字数：4～16文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

初期設定：空欄

【解除】

パスワード設定済みのSDメモリーカードが挿入されている場合、解除ボタンでパスワードを解除することができます。

パスワードロック(解除)

パスワード	<input type="password"/>
-------	--------------------------

設 定

【パスワード】

パスワードを入力します。

入力可能文字数：4～16文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

[変更]

パスワード設定済みのSDメモリーカードが挿入されている場合、変更ボタンでパスワードを変更することができます。

パスワードロック(変更)	
古いパスワード	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="text"/>
新しいパスワード確認	<input type="text"/>
設 定	

[古いパスワード] / [新しいパスワード] / [新しいパスワード確認]

パスワードを入力します。

入力可能文字数：4～16文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

[状態]

パスワードロックの設定状態を表示します。

- **ロック中**：SDメモリーカードにパスワードが設定され、ロック機能が有効です。
- **未設定**：ロック機能が無効です

また、SDメモリーカードのパスワード設定状態を表示します。

- **パスワード設定済み**：パスワードが正常に設定されています。
- **エラー(非対応SDメモリーカード)**：パスワードロック非対応カードが挿入されています。SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードが挿入されているかご確認ください。
- **エラー(パスワード不一致)**：SDメモリーカードに設定されているパスワードと本機に設定されているパスワードが不一致のため、SDメモリーカードを使用することができません。パスワードが正しいかご確認ください。
- **エラー(その他のエラー)**：SDメモリーカードに異常が発生している場合に表示されます。SDメモリーカードをご確認ください。

お知らせ

- パスワードロック機能は、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードのみ対応しています。
- パスワードロックを設定したSDメモリーカードを本機以外の機器で使用する場合は、パスワードロックの解除ボタンでパスワードを解除してから、SDメモリーカードを取り出してください。PCなどカメラ以外の機器でパスワードを解除することはできません。
- 「パスワードロック」の「状態」が「ロック中」の場合に、パスワード未設定のSDメモリーカードを本機に挿入すると、自動的にSDメモリーカードにパスワードが設定されます。

重要

- 設定したパスワードを忘れた場合、パスワードを解除することはできません。パスワードを設定したSDメモリーカードが使用できなくなりますので、大切に管理してください。
- 設定したパスワードを忘れ、新しいSDメモリーカードに交換する場合、次のどちらかの手順で事前に「パスワードロック」の「状態」を「未設定」にしてください。
 - － 解除ボタンでパスワードを入力し設定ボタンを押す。
 - － メンテナンスページより設定値を初期化する。

録画ストリーム1・録画ストリーム2

【録画圧縮方式】

SDメモリーカードに保存する画像データの種類を選択します。

「Off」は、録画ストリーム2の録画圧縮方式でのみ選択できます。

「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」は、録画ストリーム1の録画圧縮方式でのみ選択できます。

- **Off:** データを保存しません。
- **JPEG(1):** 静止画 (JPEG(1)) を保存します。映像／音声ページの [映像] タブの「JPEG(1)」の解像度に従いデータを保存します。
- **JPEG(2):** 静止画 (JPEG(2)) を保存します。映像／音声ページの [映像] タブの「JPEG(2)」の解像度に従いデータを保存します。
- **JPEG(3):** 静止画 (JPEG(3)) を保存します。映像／音声ページの [映像] タブの「JPEG(3)」の解像度に従いデータを保存します。
- **ストリーム(1):** 動画 (ストリーム(1)) をMP4フォーマットで保存します。映像／音声ページの [映像] タブの「ストリーム(1)」の設定に従いデータを保存します。
- **ストリーム(2):** 動画 (ストリーム(2)) をMP4フォーマットで保存します。映像／音声ページの [映像] タブの「ストリーム(2)」の設定に従いデータを保存します。
- **ストリーム(3):** 動画 (ストリーム(3)) をMP4フォーマットで保存します。映像／音声ページの [映像] タブの「ストリーム(3)」の設定に従いデータを保存します。
- **ストリーム(4):** 動画 (ストリーム(4)) をMP4フォーマットで保存します。映像／音声ページの [映像] タブの「ストリーム(4)」の設定に従いデータを保存します。

初期設定：

- 録画ストリーム1：JPEG(2)
- 録画ストリーム2：Off

重要

- スピードクラスClass10対応以外のSDメモリーカードを使用する場合、[録画ストリーム1] [録画ストリーム2] の [録画圧縮方式] に指定したストリームの合計ビットレートの最大を6 Mbpsまでとしてください。
- スピードクラスClass10対応のSDメモリーカードを使用する場合、[録画ストリーム1] [録画ストリーム2] の [録画圧縮方式] に指定したストリームの合計ビットレートの最大を12 Mbpsまでとしてください。
- スピードクラスClass10対応のSDメモリーカードは、UHS-I (Ultra High Speed-I) 対応のカードを使用してください。
- 録画ストリーム1 でJPEG を選択した場合、録画ストリーム2 は使用できません。

お知らせ

- 「ストリーム(1)」を選択すると、映像／音声ページの [映像] タブの「ストリーム(1)」設定が、「ストリーム(1) & 動画録画」設定に切り換わります。
「ストリーム(2)」を選択すると、映像／音声ページの [映像] タブの「ストリーム(2)」設定が、「ストリーム(2) & 動画録画」設定に切り換わります。
「ストリーム(3)」を選択すると、映像／音声ページの [映像] タブの「ストリーム(3)」設定が、「ストリーム(3) & 動画録画」設定に切り換わります。
「ストリーム(4)」を選択すると、映像／音声ページの [映像] タブの「ストリーム(4)」設定が、「ストリーム(4) & 動画録画」設定に切り換わります。

- 弊社のネットワークディスクレコーダーのJPEGのSDメモリーカード録画機能を使用する場合は、[録画ストリーム1]の[録画圧縮方式]を「JPEG(1)」に設定してください。また、動画のSDメモリーカード録画機能を使用する場合は、[録画ストリーム1]の[録画圧縮方式]を「ストリーム(1)」に設定してください。
- 「録画圧縮方式」を「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」に設定変更した場合、次の機能の設定値が補正されることがあります。
 - [配信モード]が「可変ビットレート」、「ベストエフォート配信」に設定されていた場合、「フレームレート指定」に設定されます。
 - [リフレッシュ間隔]が「2 s」、「3 s」、「4 s」、「5 s」に設定されていた場合、「1 s」に設定されます。
- 「改ざん検出情報付加」に「On」を設定している場合、「録画圧縮方式」を「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」に変更できません。
- 「録画圧縮方式」が「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」の場合、保存するファイルのファイル名は自動で付与されます。
- 「録画圧縮方式」が「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」の場合、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。
- 「録画ストリーム1」の「録画圧縮方式」に「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」を設定し、「録画ストリーム2」の「録画圧縮方式」に「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」を設定する場合、ストリームに設定できるビットレートの最大値が制限されます。
- 「録音」に「On」を設定する場合、ストリームに設定できるビットレートの最大値が制限されます。
- 「改ざん検出情報付加」に「On」を設定する場合、ストリームに設定できるビットレートの最大値が制限されます。

【保存モード】

SDメモリーカードへ画像を保存する方法を以下から選択します。

- **FTP定期送信エラー時:** FTPサーバーへの定期送信が失敗したときに画像を保存します。「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」のみ有効。
- **アラーム発生時:** アラームが発生したときに画像を保存します。
- **手動保存:** 画像を手動で保存します。
- **スケジュール保存:** スケジュール設定 (→237 ページ) に従って、画像を保存します。「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」のみ有効。

初期設定：

- 録画ストリーム1：FTP定期送信エラー時
- 録画ストリーム2：アラーム発生時

[保存モード]で「アラーム発生時」を選択した場合、アラームの種類を以下から選択することができます。

端子1：端子1にアラームが発生したときに、画像を保存します。

端子2：端子2にアラームが発生したときに、画像を保存します。

端子3：端子3にアラームが発生したときに、画像を保存します。

動作検知：動作検知が発生したときに、画像を保存します。

コマンドアラーム：コマンドアラームが入力されたときに、画像を保存します。

音検知：音検知が発生したときに、画像を保存します。

自動追尾：自動追尾アラームが発生したときに、画像を保存します。

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」の場合、「FTP定期送信エラー時」は設定できません。
- アラームを発生させるには、[アラーム] タブでアラームを設定してください。
- 「録画圧縮方式」が「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」の場合、「スケジュール保存」は設定できません。

JPEG手動保存録画

JPEG手動保存録画	
ファイル名	img_
保存間隔	1fps

「録画圧縮方式」が「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」に設定され、かつ、「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合のみ設定できます。

【ファイル名】

SDメモリーカードへ画像を保存するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときファイル名は、以下のようになります。

ファイル名: 入力したファイル名+日時（年月日時分秒）+連続番号

入力可能文字数: 1～8文字

入力不可文字: 全角、半角記号「"」「&」「*」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「¥」「|」

【保存間隔】

「保存モード」を「手動保存」に設定している場合に、SDメモリーカードへ画像を保存するときの間隔を以下から選択します。

0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps

初期設定: 1fps

JPEG録画（アラーム発生時）

JPEG録画(アラーム発生時)			
ファイル名	img_		
保存間隔・枚数(プレアラーム)	保存間隔	1fps	保存枚数
			Off
保存間隔・枚数(ポストアラーム)	保存間隔	1fps	保存枚数
			100枚

「録画圧縮方式」が「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」に設定され、かつ、「保存モード」が「アラーム発生時」に設定されている場合のみ設定できます。

【ファイル名】

SDメモリーカードへ画像を保存するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときファイル名は、以下のようになります。

ファイル名: 入力したファイル名+日時（年月日時分秒）+連続番号

入力可能文字数: 1～8文字

入力不可文字: 全角、半角記号「"」「&」「*」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「¥」「|」

【保存間隔・枚数(プレアラーム)】 - 【保存間隔】

「保存モード」を「アラーム発生時」に設定している場合に、SDメモリーカードへ画像を保存するときのプレアラーム画像の間隔を以下から選択します。

0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps

初期設定：1fps

【保存間隔・枚数(プレアラーム)】 - 【保存枚数】

アラームが発生したときに、SDメモリーカードへ保存するプレアラーム画像の枚数を以下から選択します。

Off / 1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 / 5枚

初期設定：Off

【保存間隔・枚数(ポストアラーム)】 - 【保存間隔】

「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合に、SDメモリーカードへ画像を保存するときの間隔を以下から選択します。

0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps

初期設定：1fps

【保存間隔・枚数(ポストアラーム)】 - 【保存枚数】

アラームが発生したときに、SDメモリーカードへ保存するアラーム画像の枚数を以下から選択します。

10枚 / 20枚 / 30枚 / 50枚 / 100枚 / 200枚 / 300枚 / 500枚 / 1000枚 / 2000枚 / 3000枚

初期設定：100枚

動画録画 (アラーム発生時)

動画録画(アラーム発生時)	
プレアラーム時間	Off ▼
ポストアラーム時間	30s ▼

SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」に設定され、かつ、「保存モード」が「アラーム発生時」に設定されている場合のみ設定できます。

【プレアラーム時間】

アラーム発生前の録画を行うかどうかを選択します。SDメモリーカードに保存する時間を設定します。

Off / 1s / 2s / 3s / 4s / 5s / 8s / 10s / 15s / 20s / 25s / 30s / 40s / 50s / 60s / 90s / 120s

初期設定：Off

お知らせ

- 設定できる値は、録画するストリームの解像度とビットレートによって変動します。ビットレートが高く設定されているほど、プレアラーム時間として設定可能な最大値が小さくなります。

【ポストアラーム時間】

アラーム発生後に、SDメモリーカードに保存する時間を設定します。

10s / 20s / 30s / 40s / 50s / 60s / 120s / 180s / 240s / 300s

初期設定：30s

※ポストアラーム時間で設定した時間より、実際の録画時間は長くなる場合があります。

SDメモリーカード情報

【容量表示】

SDメモリーカードの残容量と総容量が表示されます。

SDメモリーカードの状態によって、次のように表示される場合があります。

表示内容	説明
-----MB/-----MB	SDメモリーカードを挿入していない。その他、読み取りエラーにより残容量を取得できない。
*****MB/*****MB	SDメモリーカードがフォーマットされていない、またはロック（ライトプロテクト）されている。
#####MB/#####MB	SDメモリーカードのパスワードロックを解除できない。

お知らせ

- 「上書き」が「Off」に設定されているときに、SDメモリーカードの残容量が「0MB」になると、SDメモリーカードに画像が保存されません。通知機能を使用すると、SDメモリーカードの空き容量がなくなったときに、設定したメールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます。（→164 ページ、176 ページ）

【フォーマット】

SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行] ボタンをクリックします。

重要

- フォーマットを実行する前に、基本ページの「SDメモリーカード」を「使用する」（→78 ページ）、ネットワークページの「FTP定期送信」を「Off」（→204 ページ）に設定してください。
- SDメモリーカードは、必ず [SDメモリーカード] タブでフォーマットしてから使用してください。[SDメモリーカード] タブ以外でフォーマットした場合、以下の機能が正常に動作しないことがあります。
 - FTP定期送信に失敗した画像の保存／取得
 - アラーム発生時の画像の保存／取得
 - 手動保存時の画像の保存／取得
 - スケジュール機能による画像の保存／取得
 - アラームログ、手動／スケジュール保存ログ、FTP定期送信エラーログ、システムログの保存／取得
 - 弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使った画像の保存／取得
 - SDメモリーカード内の画像の再生／ダウンロード
- フォーマットを実行したときに、他のユーザーが操作中の場合、その操作が中断されます。
- フォーマット中は、SDメモリーカードに書き込みできません。
- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。

- フォーマット後は、SDメモリーカード内に、動作するために必要な初期ディレクトリーが作成されるため、残容量は総容量よりも少なく表示されます。
- 動作確認済みSDメモリーカード
パナソニック株式会社製（業務用SDメモリーカード、スピードクラス6以上）
※miniSDカード、microSDカードは除く
SDXCメモリーカード：64GB、128GB、256GB
SDHCメモリーカード：4GB、8GB、16GB、32GB
SDメモリーカード：2GB
- 最新の動作確認済みSDメモリーカード情報などは、パナソニックのサポートウェブサイト（<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0107>）を参照してください。
- スピードクラスClass10 対応のSDメモリーカードは、UHS- I（Ultra High Speed- I）対応のカードをご使用ください。

SDメモリーカード画像取得

【画像取得】

SDメモリーカードから画像を取得します。[実行] ボタンをクリックします。画像の取得のしかたについて詳しくは95 ページをお読みください。

SDメモリーカードの取り付け・取り外し

【SDメモリーカードの取り付け・取り外しモード】

電源が入っている間に、SDメモリーカードの取り付け・取り外しを行う場合、「取り付け・取り外しモード」を使用します。

[実行] ボタンをクリックすると、「取り付け・取り外しモード」になります。

[解除] ボタンをクリックすると、通常動作に戻ります。

2.4.3 改ざん検出を設定する [改ざん検出]

改ざん検出を設定すると、SDメモリーカード内のデータが改ざんされた際に、専用ソフトウェアでの検出が可能となります。

改ざん検出は、動画ファイル（MP4フォーマット）のみに対応しています。

改ざん検出の設定方法については、91 ページを参照してください。

改ざん検出の専用ソフトウェア、および、その使用方法などについては、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。

<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0304>

お知らせ

- 改ざん検出を使用する場合、[録画ストリーム1] を「ストリーム」、[録画ストリーム2] を「Off」に設定する必要があります。

改ざん検出	
証明書の選択	プリインストール
改ざん検出情報付加	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
設定	
プリインストール証明書	
証明書取得	実行
CA証明書	
CRT鍵生成	実行
署名リクエスト(CSR)生成	実行
CA証明書インストール	<input type="text"/> 参照... 実行
情報	無効 <input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="削除"/>
証明書取得	実行
閉じる	

【証明書の選択】

HTTPSにて使用する証明書を選択します。

プリインストール：プリインストール証明書を選択します。

CA：CA証明書を選択します。CA証明書がインストールされている場合のみ表示されます。

初期設定：プリインストール

【改ざん検出情報付加】

改ざん検出のための情報を、SDメモリーカード内に保存する動画ファイル（MP4フォーマット）に付与するかどうかを設定します。

お知らせ

- 認証機関（CA：Certificate Authority）から発行された証明書（CA証明書）が有効でない場合は、設定をOnに変更できません。
- 「録画ストリーム1」の「録画圧縮方式」に「JPEG(1)」、「JPEG(2)」、「JPEG(3)」を設定している場合、設定をOnに変更できません。

【プリインストール証明書－証明書取得】

実行ボタンをクリックするとプリインストール証明書用のルート証明書をダウンロードします。ルート証明書をお使いのPCにインストールすることでプリインストール証明書の署名検証が可能となります。

お知らせ

- お使いのPCへルート証明書をインストールする方法については、パナソニックのサポートウェブサイト（<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0305>）を参照してください。

【CA証明書－CRT鍵生成】

改ざん検出で使用するCRT鍵（暗号化キー）を生成します。

CRT鍵の生成は、[実行] ボタンをクリックすると表示される「CRT鍵生成ダイアログ」で行います。

【CA証明書－署名リクエスト(CSR)生成】

改ざん検出で使用するCA証明書として、認証機関によって発行されたCA証明書を使用する場合に、認証機関に申請するための署名リクエスト（CSR：Certificate Signing Request）を生成します。

署名リクエスト（CSR）の生成は、[実行] ボタンをクリックすると表示される、「署名リクエスト（CSR）生成ダイアログ」で行います。

【CA証明書－証明書インストール】

証明機関から発行された証明書（CA証明書）のインストールおよびインストールされた証明書（CA証明書）の情報表示を行います。

[参照] ボタンをクリックすると表示される「ファイルを開くダイアログ」で、認証機関から発行された証明書（CA証明書）のファイルを選択し、[実行] ボタンをクリックすると証明書（CA証明書）のインストールが実行されます。

証明書（CA証明書）がインストールされている場合は、インストールした証明書のファイル名を表示します。

【CA証明書－情報】

認証機関から発行された証明書（CA証明書）の情報が表示されます。

[確認] ボタンをクリックすると、インストールした証明書（CA証明書）の登録内容が、「CA証明書確認ダイアログ」に表示されます。証明書（CA証明書）をインストールしていない場合は、生成した署名リクエスト（CSR）の内容が表示されます。

[削除] ボタンをクリックすると、インストールした証明書（CA証明書）を削除します。

【CA証明書－証明書取得】

認証機関から発行された証明書（CA証明書）を本機からダウンロードします。

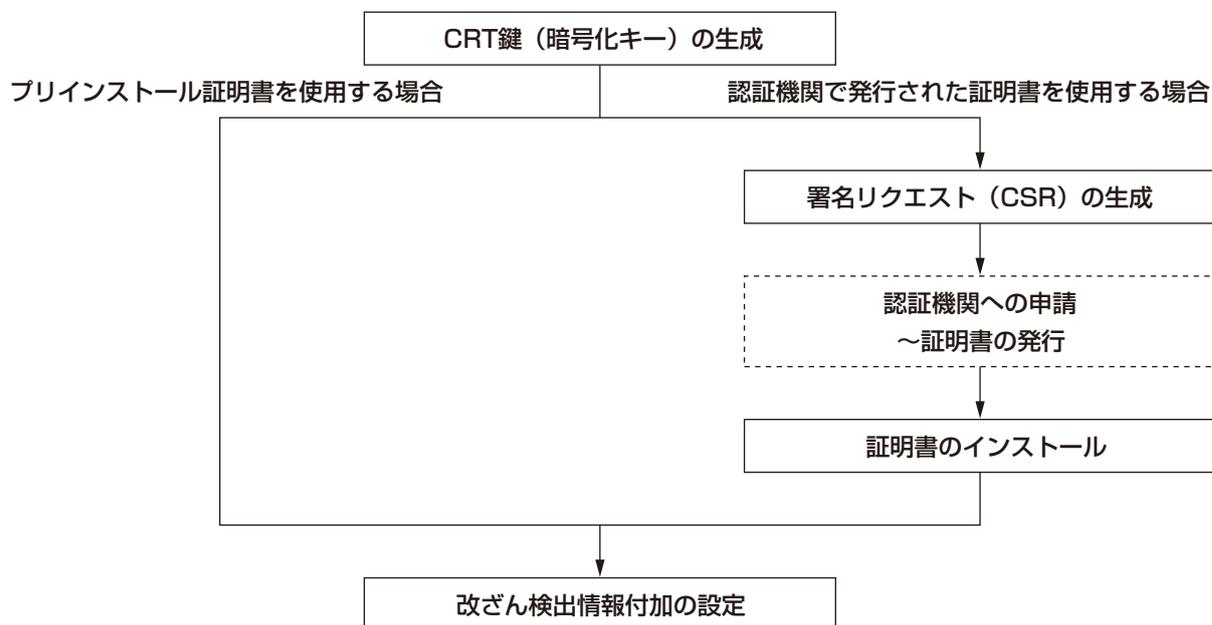
専用ソフトウェアでSDメモリーカード内の動画（MP4ファイル）の改ざん検出を実施する際に、ダウンロードした証明書を使用します。

重要

- 有効な証明書（CA証明書）を削除する場合は、PC、記録メディアなどに証明書（CA証明書）のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、証明書（CA証明書）が必要になります。

2.4.4 改ざん検出の設定方法

ここでは、SDメモリーカード内のデータが改ざん/編集された場合に検出するための、改ざん検出を設定します。改ざん検出の設定は次の手順で行います。

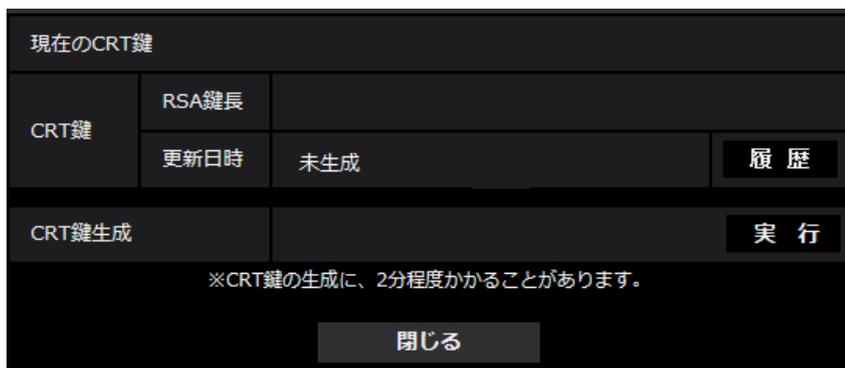


2.4.4.1 CRT鍵（暗号化キー）の生成のしかた

重要

- 認証機関から発行された証明書（CA証明書）が有効な場合は、CRT鍵の生成を行うことはできません。
- 認証機関から発行された証明書（CA証明書）を使用する場合は、認証機関によって使用できる鍵長が異なります。あらかじめ使用できる鍵長を確認してください。
- CRT鍵の生成は、2分程度かかります。CRT鍵の生成が完了するまで、ブラウザを操作しないでください。CRT鍵生成中は、画面の表示速度や通信速度が低下することがあります。

- 1 [CRT鍵生成] の [実行] ボタンをクリックします。
→ 「CRT鍵生成ダイアログ」が表示されます。



2 [実行] ボタンをクリックします。

→ CRT鍵の生成が始まります。

CRT鍵の生成が終了すると、[現在のCRT鍵] に生成したCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時が表示されます。

お知らせ

- 生成したCRT鍵を変更（更新）したい場合は、STEP1～2の操作を行います。CRT鍵、認証機関から発行された証明書は一組で有効になるため、CRT鍵を変更した場合は、認証機関からの証明書の発行申請を行う必要があります。
- CRT鍵を更新した場合、それまでのCRT鍵を1つ分履歴管理しています。「CRT鍵生成ダイアログ」の「現在のCRT鍵」で「履歴」ボタンをクリックすると、「過去のCRT鍵ダイアログ」が表示され、鍵長と生成が完了した日時を確認することができます。「過去のCRT鍵ダイアログ」で、「適用」ボタンをクリックすると、過去のCRT鍵を現在のCRT鍵と入れ替えることができます。

**2.4.4.2 署名リクエスト（CSR）の生成のしかた****重要**

- CRT鍵が生成されていない場合、署名リクエスト（CSR）の生成を行うことはできません。
- 署名リクエスト（CSR）を生成する場合、ウェブブラウザのインターネットオプションであらかじめ以下の設定を行ってください。メニューバーの「ツール」－「インターネットオプション」－「セキュリティ」タブで、
 - カメラを「信頼済みサイト」に登録する。
 - 「レベルのカスタマイズ」で「ダウンロード」－「ファイルのダウンロード」を「有効にする」に設定する。
 - 「レベルのカスタマイズ」で「ダウンロード」－「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を「有効にする」に設定する。

- 1 [CA証明書－署名リクエスト(CSR)生成] の [実行] ボタンをクリックします。
→ 「CA証明書－署名リクエスト(CSR)生成」ダイアログが表示されます。

- 2 生成する証明書の情報を入力します。

項目	説明	入力可能文字数
[ホスト名]	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
[国名]	国別記号を入力します。	2文字：国名コード
[都道府県名]	都道府県名を入力します。	128文字
[市区町村名]	市区町村名を入力します。	128文字
[組織名]	組織名を入力します。	64文字
[部署名]	部署名を入力します。	64文字
[CRT鍵]	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	—

- 3 入力終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
→ 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
- 4 「名前を付けて保存」ダイアログで、署名リクエスト (CSR) にファイル名を付け、PCに保存します。
→ 保存した署名リクエスト (CSR) を使用して認証機関に申請します。

重要

- 生成した署名リクエスト (CSR) とCRT鍵の組に対して、証明書が発行されます。認証機関に申請後、CRT鍵を生成／更新すると、発行される証明書が使用できなくなります。

お知らせ

- 本機で生成する署名リクエスト (CSR) は、PEM形式です。

2.4.4.3 認証機関で発行された証明書のインストールのしかた

重要

- 署名リクエスト (CSR) が生成されていない場合、認証機関で発行された証明書 (CA証明書) のインストールを行うことはできません。
- 認証機関で発行された証明書のインストールには、認証機関から発行されたCA証明書が必要です。

1 [CA証明書-証明書インストール] の [参照] ボタンをクリックします。

→ 「ファイルを開くダイアログ」が表示されます。

2 証明書ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックし、[実行] ボタンをクリックします。

→ 証明書がインストールされます。

お知らせ

- インストールした証明書に登録されているホスト名が、[CA証明書-情報] に表示されます。また、証明書の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
無効	CA証明書がインストールされていない場合
[証明書のホスト名]	証明書がインストール済みで、有効な場合
有効期限切れ	証明書の有効期限が切れた場合

- [確認] ボタンをクリックすると、インストールした証明書 (CA証明書) の内容が、「CA証明書-確認」ダイアログに表示されます。(部署名欄のみアスタリスクが表示されます。)

CA証明書 - 確認		
ホスト名	NWCAM	
国名	...	
都道府県名	...	
市区町村名	...	
組織名	...	
部署名	...	
CRT鍵	RSA鍵長	...
	更新日時	...

閉じる

- [削除] ボタンをクリックすると、インストールした証明書 (CA証明書) を削除します。
- 「改ざん検出情報付加」を「On」に設定している場合、認証機関で発行された証明書 (CA証明書) の削除を行うことはできません。
- 認証機関で発行された証明書を更新する場合は、STEP1～STEP2の操作を行います。

重要

- 有効な証明書 (CA証明書) を削除する場合は、PC、記録メディアなどに証明書 (CA証明書) のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、証明書 (CA証明書) が必要になります。

- 認証機関で発行された証明書の有効期限は、認証機関から発行された証明書ファイルをダブルクリックすると確認することができます。

2.4.4.4 改ざん検出の設定のしかた

- 1 「改ざん検出情報付加」をOnに変更して、[設定] ボタンをクリックします。
- 2 設定変更後に記録される動画ファイル（MP4フォーマット）に、改ざん検出のための拡張情報が付加されます。

重要

- 「改ざん検出情報付加」の設定を変更すると、SDメモリーカードへの手動録画は停止します。必要に応じて、再度手動保存を開始してください。

お知らせ

- 「改ざん検出情報付加」が「On」に設定された状態で記録される動画ファイル（MP4フォーマット）は、専用ソフトウェアを用いて改ざん検出をすることができます。専用ソフトウェア、および、その使用方法などについては、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0304>

2.4.5 SDメモリーカード内の画像をPCに保存する [SDメモリーカード画像取得]

基本ページの [SDメモリーカード] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：49 ページ、49 ページ)

ここでは、SDメモリーカードに保存した画像をPCに保存する方法を説明します。あらかじめ、ネットワークページの [ネットワーク] タブにある「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。(→191 ページ)

重要

- 他のユーザーがSDメモリーカードから画像を取得しているときは、操作できないことがあります。しばらくしてから画像取得を実行してください。
- インターネット経由で画像取得を行う場合、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、画像取得の操作ができないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 「SDメモリーカード画像取得」の [実行] ボタンをクリックします。
→ ユーザー認証画面が表示されます。

- 2 本機の管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
→ SDメモリーカード内の画像が保存されているフォルダーが表示されます。

お知らせ

- 画像を取得するために本機のFTPサーバーにログインすると、SDメモリーカードをBドライブに割り当てます。
「保存モード」の設定に応じて、それぞれのディレクトリーに画像が保存されています。
それぞれのディレクトリーに移動して画像を取得してください。
ディレクトリー構造については、278 ページをお読みください。

SDメモリーカードへの保存可能枚数（目安）：JPEG保存時

JPEGでSDメモリーカードに画像を保存する場合の保存可能枚数は、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。

<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0306>

SDメモリーカードへの保存可能時間（目安）：ストリーム（H.265またはH.264）保存時

ストリーム（H.265またはH.264）でSDメモリーカードに画像を保存する場合の保存可能時間は、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。

<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0307>

2.4.6 画像をダウンロードするPCのディレクトリーを設定する [ログ]

基本ページの [ログ] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)
ここでは、SDメモリーカードに録画した画像をダウンロードする際のPCのディレクトリーを設定します。

基本	SDメモリーカード	ログ	オーバーレイ画像
アラーム	録画ストリーム 1 画像ダウンロード先の ディレクトリー名	C:\\$nwcam	
	録画ストリーム 2 画像ダウンロード先の ディレクトリー名	C:\\$nwcam2	
手動/スケジュール保 存	録画ストリーム 1 画像ダウンロード先の ディレクトリー名	C:\\$nwcam	
	録画ストリーム 2 画像ダウンロード先の ディレクトリー名	C:\\$nwcam2	
FTP定期送信エラー	録画ストリーム 1 画像ダウンロード先の ディレクトリー名	C:\\$nwcam	

設定

アラーム

アラーム発生時に録画した画像をダウンロードするPCのディレクトリーに関する設定を行います。

【録画ストリーム1】 - 【画像ダウンロード先のディレクトリー名】

録画ストリーム1で録画した画像をダウンロードするPCのディレクトリー名を入力します。
例えば、Cドライブのalarmディレクトリーを指定する場合は、「C:\\$alarm」と入力します。

入力可能文字数: 3~128文字

入力可能文字: 半角英数字、半角記号「¥」「:」「/」「」

【録画ストリーム2】 - 【画像ダウンロード先のディレクトリー名】

録画ストリーム2で録画した画像をダウンロードするPCのディレクトリー名を入力します。
例えば、Cドライブのalarm2ディレクトリーを指定する場合は、「C:\\$alarm2」と入力します。

入力可能文字数: 3~128文字

入力可能文字: 半角英数字、半角記号「¥」「:」「/」「」

手動/スケジュール保存

手動/スケジュールで録画した画像をダウンロードするPCのディレクトリー名に関する設定を行います。
アラームと同様にダウンロード先フォルダーを指定します。

お知らせ

- スケジュール保存は「録画圧縮方式」が「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」のいずれかの場合のみ使用することができます。

FTP定期送信エラー

FTP定期送信エラー時に録画した画像をダウンロードするPCのディレクトリー名に関する設定を行います。
アラームと同様にダウンロード先フォルダーを指定します。

重要

- ネットワークページの [アドバンス] タブで「FTP」を選択し、「ファイル名」を「ファイル名を固定」に設定していると、FTP定期送信エラーログに関連した画像が保存されません。保存するためには、「ファイル名」を「ファイル名+日時」に設定してください。(→204 ページ)

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」の場合、「FTP定期送信エラー」は設定できません。

2.4.7 オーバーレイ画像を設定する [オーバーレイ画像]

オーバーレイ画像機能とは、本機にアップロードした画像をライブ画像に埋め込み表示（オーバーレイ表示）する機能です。

基本ページの [オーバーレイ画像] タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ）

ここでは、オーバーレイ画像機能に関する設定を行います。



[オーバーレイ表示]

アップロードした画像をオーバーレイ表示するかどうかをOn/Offで設定します。

On：オーバーレイ表示します。

Off：オーバーレイ表示しません。

初期設定：Off

重要

- ・ [オーバーレイ表示] を「On」に設定すると、SDメモリーカード録画時に、オーバーレイ表示された画像が録画されます。

お知らせ

- ・ [日時画面内文字] の [文字サイズ] が「150%」または「200%」に設定されていると、[オーバーレイ表示] を設定できません。

【画像選択】

以下の手順で、オーバーレイ表示する画像ファイルを本機にアップロードします。

- 1) [参照] ボタンをクリックして、PC に保存されている画像ファイルを選択します。
 - 2) [実行] ボタンをクリックして、選択した画像ファイルを本機にアップロードします。画像ファイルをアップロードすると、設定画面上にアップロードした画像（アップロード画像）がオーバーレイ表示されま
- す。

オーバーレイ表示には、以下の仕様の画像ファイルが使用できます。

- 画像フォーマット：256 色 ビットマップ（BMP：Windows 形式）
- 画像サイズ：24 ピクセル × 24 ピクセル ～ 512 ピクセル × 512 ピクセル
- ファイル容量：257 Kbyte以下

お知らせ

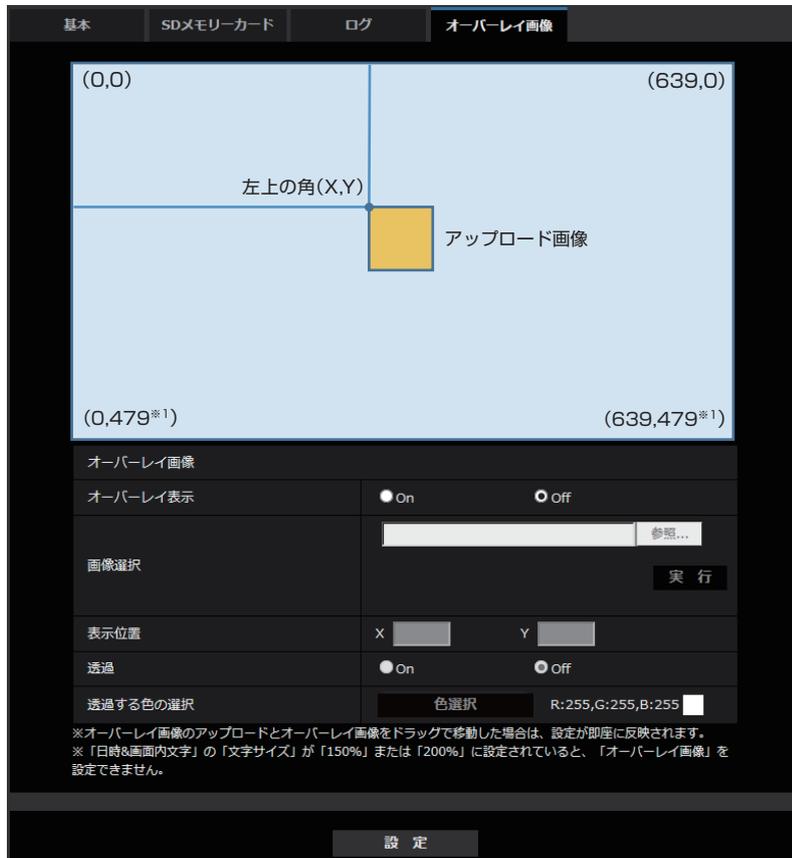
- 画像ファイルはスペースや全角文字を使用していないフォルダーに保存してください。スペースや全角文字を使用しているフォルダーに保存されたファイルはアップロードできないことがあります。
- アップロード画像はアップロードしたときに保存されます。

重要

- 画像ファイルのアップロード中は、本機の電源を切ったり、本機の操作をしたりしないでください。
- 表示されるアップロード画像は、ライブ画像の解像度によっては縮小されます。アップロード画像の画質が劣化して表示されることがありますので、ライブ画ページでオーバーレイ表示されている画像を確認してください。

[表示位置]

アップロード画像の表示位置（画像の左上の角）が [X] と [Y] の座標で表示されます。



※1 [撮像モード] が [4:3] の場合。 [撮像モード] が [16:9] の場合は [359]。

アップロード画像の表示位置の変更は、以下の2通りの方法があります。

- マウスで、表示されているアップロード画像をドラッグ&ドロップします。
- [X] と [Y] に座標を入力し、[設定] ボタンをクリックします。

入力可能数字：

- [撮像モード] が「3メガピクセル[4:3] (30fpsモード)」の場合
X：0 ～ (639 からアップロード画像の横のサイズを引いた値)
Y：0 ～ (479 からアップロード画像の縦のサイズを引いた値)
- [撮像モード] が「2メガピクセル[16:9] (30fpsモード)」または「2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)」の場合
X：0 ～ (639 からアップロード画像の横のサイズを引いた値)
Y：0 ～ (359 からアップロード画像の縦のサイズを引いた値)

初期設定：ライブ画像の中央

お知らせ

- アップロード画像をドラッグしたときに表示される赤枠を移動することで、表示位置の変更ができます。
- アップロード画像の表示が設定画面上からはみ出る座標は設定できません。
- アップロード画像をマウスで移動した場合は、[設定] ボタンをクリックしなくても表示位置が保存されます。
- アップロード画像を画面の端に移動しても、画面の端との間に隙間ができてしまう場合があります。

重要

- [撮像モード] の設定を変更したあとは、アップロード画像の表示位置を確認してください。表示位置がずれている場合は再度表示位置の設定をしてください。アップロード画像の表示が設定画面上からはみ出た場合は、表示位置が初期値（ライブ画像の中央）に戻ります。

【透過】

[透過する色の選択] で選択した色を透過するかどうかをOn/Off で設定します。

On : [透過する色の選択] で選択した色を透過します。

Off : [透過する色の選択] で選択した色を透過します。

初期設定 : Off

【透過する色の選択】

以下の手順で、透過したい色を選択します。

- 1) [色選択] ボタンをクリックします。アップロードした画像が表示されたサブウィンドウが表示されます。
- 2) 表示されている画像内で透過したい色をクリックします。選択した色とRGB の値が表示されます。
- 3) [閉じる] ボタンをクリックして、サブウィンドウを閉じます。
- 4) 最後に、[設定] ボタンをクリックすると、選択した色が透過されます。



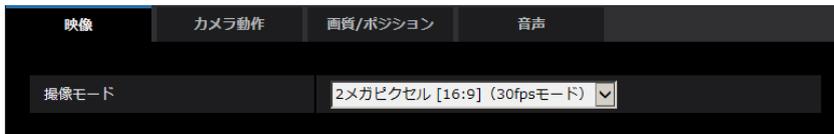
2.5 画像・音声に関する設定を行う [映像／音声]

映像／音声ページでは、JPEG画像、H.265画像、H.264画像の設定や、画質、音声に関する設定を行います。

映像／音声ページは、[映像] タブ、[カメラ動作] タブ、[画質／ポジション] タブ、[音声] タブで構成されています。

2.5.1 撮像モードを設定する [映像]

映像／音声ページの [映像] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：49 ページ、49 ページ)



- **[撮像モード]**

2メガピクセル[16:9] (30fpsモード)／2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)／3メガピクセル[4:3] (30fpsモード)

初期設定：2メガピクセル[16:9] (30fpsモード)

重要

- 以下のエリア設定をした状態で撮像モードの設定を変更すると位置がずれます。そのため、撮像モードの設定をしたあとで、各エリアの設定をしてください。
 - マスクエリア (→127 ページ)
 - プライバシーゾーン (→144 ページ)
 - 動作検知エリア (→168 ページ)
 - VIQSエリア (→148 ページ)
 - オーバーレイ画像 (→100 ページ)

お知らせ

- 2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)時は、複数ストリームを配信する場合、60fps配信ができず、画像が間欠的に表示されることがあります。また、音声を同時配信にすると30fps配信となります。
その他、ストリーム配信に関する条件に関しては、以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0309>
- VIQSエリアを有効にしている場合、アスペクト比を「4:3」から「16:9」に変更したあとに、必ず、VIQS設定が最大指定範囲を超えていないかを確認してください。

2.5.2 JPEG画像を設定する [映像]

映像／音声ページの [映像] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：49 ページ、49 ページ)

ライブ画 (初期表示)		
初期表示ストリーム	ストリーム(1) <input type="text"/>	
JPEG画像更新速度(動画時) *	5fps <input type="text"/>	
JPEG		
JPEG(1)	解像度	1920x1080 <input type="text"/>
	画質	5 標準 <input type="text"/>
JPEG(2)	解像度	640x360 <input type="text"/>
	画質	5 標準 <input type="text"/>
JPEG(3)	解像度	320x180 <input type="text"/>
	画質	5 標準 <input type="text"/>

ライブ画(初期表示)

ここでは、ライブ画に表示する初期設定を行います。

[初期表示ストリーム]

ライブ画ページで表示する画像を以下から選択します。

JPEG(1)/JPEG(2)/JPEG(3)/ストリーム(1)/ストリーム(2)/ストリーム(3)/ストリーム(4)/マルチスクリーン

初期設定：ストリーム(1)

お知らせ

- JPEG(1)/JPEG(2)/JPEG(3)を選択すると、更新間隔を選択できるようになります。
MJPEG/静止画更新：1秒/静止画更新：3秒/静止画更新：5秒/静止画更新：10秒/静止画更新：30秒/静止画更新：60秒

[JPEG画像更新速度(動画時)*]

JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。

0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps / 2fps / 3fps / 5fps / 6fps* / 10fps* / 12fps* / 15fps* / 30fps*

初期設定：5fps

お知らせ

- 「ストリーム配信」を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。
- ネットワークの環境や解像度、画質、同時アクセス数などによっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。
- 設定した画像更新速度で配信されない場合は、解像度や画質を下げることで設定した値に近づけることができます。

JPEG

ここでは、JPEG(1)、JPEG(2)、JPEG(3)の「解像度」、「画質」を設定します。H.265（またはH.264）画像に関する設定については106 ページをお読みください。

【解像度】

JPEG画像を表示する際、表示する画像の解像度を以下から選択します。

撮像モード	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
2メガピクセル[16:9] (30fpsモード)	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	640×360 320×180
2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	640×360 320×180
3メガピクセル[4:3] (30fpsモード)	2048×1536 1280×960 800×600 VGA 400×300 QVGA	1280×960 800×600 VGA 400×300 QVGA	VGA 400×300 QVGA

初期設定：

- JPEG(1)：1920×1080
- JPEG(2)：640×360
- JPEG(3)：320×180

【画質】

それぞれの解像度におけるJPEG画像の画質を設定します。

0 最高画質 / 1 高画質 / 2 / 3 / 4 / 5 標準 / 6 / 7 / 8 / 9 低画質

初期設定：5標準

2.5.3 ストリームに関する設定を行う【映像】

映像 / 音声ページの [映像] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：49 ページ、49 ページ)

ここでは、H.265（またはH.264）画像の「1クライアントあたりのビットレート*」、「解像度」、「画質」などを設定します。JPEG画像に関する設定については105 ページをお読みください。

ストリーム(1)		
ストリーム配信	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	
圧縮方式	<input checked="" type="radio"/> H.265 <input type="radio"/> H.264	
インターネットモード(over HTTP)	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off	
解像度	1920x1080	
配信モード	フレームレート指定	
フレームレート*	30fps*	
1クライアントあたりのビットレート*	3072kbps*	
画質	標準	
スマート コーディング	GOP制御	
	顔スマート コーディング	Off
リフレッシュ間隔	1s	
配信方式	ユニキャスト(ポート番号設定: オート)	
ユニキャストポート番号1(画像)	32004 (1024-50000)	
ユニキャストポート番号2(音声)	33004 (1024-50000)	
マルチキャストアドレス	239.192.0.20	
マルチキャストポート番号	37004 (1024-50000)	
マルチキャストTTL/HOPLimit	16 (1-254)	

ストリーム(1)・ストリーム(2)・ストリーム(3)・ストリーム(4)

【ストリーム配信】

H.265（またはH.264）画像を配信するかどうかをOn/Offで設定します。

On：H.265（またはH.264）画像を配信します。

Off：H.265（またはH.264）画像を配信しません。

初期設定：On

お知らせ

- 「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」の「ストリーム配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでH.265（またはH.264）画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- 「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」の「ストリーム配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度は最大5 fpsに制限されます。

【圧縮方式】

配信するストリームの圧縮方式を選択します。

H.265：H.265画像を配信します。

H.264：H.264画像を配信します。

初期設定：H.265

【インターネットモード (over HTTP)】

H.265（またはH.264）画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでストリームを配信することができます。

- On**：HTTPポートを使用してH.265（またはH.264）画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については194 ページをお読みください。

- **Off** : UDPポートを使用してH.265 (またはH.264) 画像、音声を配信します。

初期設定 : Off

お知らせ

- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト(ポート番号設定:オート)」に制限されます。
- 「On」に設定すると、ストリームの画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、ストリームの画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。

【解像度】

H.265 (またはH.264) 画像の解像度を以下から選択します。選択している解像度によっては、選択に制限がある場合があります。

撮像モード	ストリーム(1)	ストリーム(2)	ストリーム(3)	ストリーム(4)
2メガピクセル[16:9] (30fpsモード)	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	1280×720 640×360 320×180	640×360 320×180
2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)	1920×1080 1280×720	1920×1080 1280×720 640×360 320×180	1280×720 640×360 320×180	640×360 320×180
3メガピクセル[4:3] (30fpsモード)	2048×1536 1280×960 800×600 VGA 400×300 QVGA	1280×960 800×600 VGA 400×300 QVGA	VGA 400×300 QVGA	VGA 400×300 QVGA

初期設定 :

- ストリーム(1) : 1920×1080
- ストリーム(2) : 640×360
- ストリーム(3) : 320×180
- ストリーム(4) : 320×180

【配信モード】

ストリームの配信モードを以下から設定します。

- **固定ビットレート** : H.265 (またはH.264) 画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定したビットレートで配信します。
- **可変ビットレート** : H.265 (またはH.264) 画像を「画質」で設定した画質レベルを維持しながら、「フレームレート*」で設定したフレームレートで配信します。このとき、「1クライアントあたりのビットレート *」で設定した最大ビットレート以内でビットレートを可変して配信します。画質は固定となり、記録容量は「画質」設定や被写体の状況に応じて変化します。

- **フレームレート指定**：H.265（またはH.264）画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで配信します。
- **ベストエフォート配信**：ネットワークの帯域に応じて、H.265（またはH.264）画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定した最大ビットレート以内でビットレートを可変して配信します。

初期設定：フレームレート指定

お知らせ

- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

【フレームレート *】

フレームレートを以下から設定します。

1fps / 3fps / 5fps* / 7.5fps* / 10fps* / 12fps* / 15fps* / 20fps* / 30fps* / 60fps*

初期設定：30fps *

お知らせ

- 「フレームレート *」は、「1クライアントあたりのビットレート *」に制限されます。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。「配信モード」を「可変ビットレート」に設定した場合には、「1クライアントあたりのビットレート *」と「画質」の設定によっては、映像が定期的に一時停止することがあります。設定後に、配信映像をご確認ください。
- ストリーム(1)は、「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)」に設定されている場合は、60fps固定になります。また、ストリーム(2)～ストリーム(4)は、最大30fpsとなります。
- 同時接続するユーザー数、または、使用する機能の組合せによっては、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。設定後に、配信映像をご確認ください。

【1クライアントあたりのビットレート *】

1クライアントに対するH.265（またはH.264）ビットレートを以下から選択します。

「-- 自由入力 --」を選択している場合、設定可能な範囲でビットレートを任意に入力することができます。

64kbps / 128kbps* / 256kbps* / 384kbps* / 512kbps* / 768kbps* / 1024kbps* /
1536kbps* / 2048kbps* / 3072kbps* / 4096kbps* / 6144kbps* / 8192kbps* /
10240kbps* / 12288kbps* / 14336kbps* / 16384kbps* / 20480kbps* / 24576kbps*
/-- 自由入力 --

初期設定：

- ストリーム(1)：3072kbps *
- ストリーム(2)：1536kbps *
- ストリーム(3)：1024kbps *
- ストリーム(4)：1024kbps *

※H.265（またはH.264）ビットレートは、「配信モード」と「解像度」によって設定可能な範囲が異なります。

「配信モード」が「固定ビットレート」、「フレームレート指定」、「ベストエフォート配信」の場合

- QVGA、400×300、VGA、320×180、640×360の場合：64kbps～4096kbps *
- 800×600の場合：128kbps*～4096kbps *
- 1280×960、1280×720^{*1}の場合：256kbps*～8192kbps *
- 1920×1080^{*1}の場合：512kbps*～12288kbps *
- 2048×1536の場合：1024kbps*～16384kbps *

「配信モード」が「可変ビットレート」の場合

- QVGA、400×300、VGA、320×180^{*1}、640×360^{*1}の場合：64kbps～12288kbps *
- 800×600の場合：128kbps *～12288kbps *
- 1280×960、1280×720^{*1}の場合：256kbps *～12288kbps *
- 1920×1080^{*1}の場合：512kbps *～24576kbps *
- 2048×1536の場合：1024kbps *～24576kbps *

*1 60fpsモードの場合は、24576kbpsまで設定可能となります。

お知らせ

- ストリームのビットレートは、ネットワークページの [ネットワーク] タブにある「配信量制御(ビットレート)」に制限されます (→191 ページ)。そのため「*」付きの値を設定した場合は、映像が配信されない場合があります。
- 同時接続するユーザー数、または、使用する機能の組合せによっては、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。設定後に、配信映像をご確認ください。

【画質】

H.265 (またはH.264) 画像の画質を以下から選択します。

- 「固定ビットレート」、「フレームレート指定」、「ベストエフォート配信」の場合：動き優先／標準／画質優先
 - 「可変ビットレート」の場合：0 最高画質／1 高画質／2／3／4／5 標準／6／7／8／9 低画質
- 初期設定：5 標準

【スマートコーディング】 - 【GOP制御】

GOP制御を使用すると、画像内に動きが少ない場合のデータ量を少なくすることができます。

- 「圧縮方式」で「H.265」を選択している場合：Off／On(Low)／On(Mid)／On(Advanced)／On(Frame rate control)
- 「圧縮方式」で「H.264」を選択している場合：Off／On(Low)／On(Mid)

初期設定：Off

重要

- 「On(low)」、「On(Mid)」、「On(Advanced)」、「On(Frame rate control)」を設定した場合は、対象のストリームはSDメモリーカードに録画できません。

お知らせ

- 「On(Low)」／「On(Mid)」／「On(Frame rate control)」は、「配信モード」で「可変ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。
- 「On(Advanced)」は、「配信モード」の設定に関係なく、設定できます。
- 「On(Frame rate control)」を設定した場合は、画像の変化が無い場合、徐々にフレームレートを下げていきます。[フレームレート*] で設定した値から1fpsの間で変化します。
- 「On(Frame rate control)」を設定した場合は、フレームレートが低下した状態で、画像の変化を検出した場合は、[フレームレート*] で設定したフレームレートに戻ります。
- GOP制御を使用すると、H.265 (またはH.264) 画像をリフレッシュする間隔が長くなります。そのため、ネットワーク環境でエラーが多い場合は使用しないでください。
- パン、チルト、ズームフォーカス操作中は、スマートコーディングの効果が得られないことがあります。

【スマートコーディング】－【顔スマートコーディング】

人物の顔や動きのある場所の画質を高画質に保ち、その他の場所のデータ量が少なくなるように映像を配信します。

- **Off**：AUTO VIQS、顔スマートコーディングを使用しません。
- **On(AUTO VIQS)**：動きのある場所の画質を高画質に保ち、その他の場所のデータ量を少なくします。
- **On(顔スマートコーディング)**：人物の顔や動きのある場所の画質を高画質に保ち、その他の場所のデータ量を少なくします。

初期設定：Off

お知らせ

- 本機能は「ストリーム(1)」でのみ使用できます。
- 本機能は「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9] (60 fpsモード)」の場合は使用できません。
- 本機能を使用する場合、「画質/ポジション」の「VIQS」の設定が無効になります。
- 40℃以上の環境で本機を使用する場合、顔スマートコーディングの効果が小さくなる場合があります。
- 被写体によっては、人物の顔がない場所でも高画質に保つ場合があります。
- 「画揺れ補正」が「On」に設定されていると、顔スマートコーディングは使用できません。

【リフレッシュ間隔】

H.265（またはH.264）画像をリフレッシュする間隔（1フレーム間隔：0.2～5秒）を以下から選択します。ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。

0.2s/0.25s/0.33s/0.5s/1s/2s/3s/4s/5s

初期設定：1s

お知らせ

- 「GOP制御」が「On(Low)」に設定されている場合は、リフレッシュ間隔が最大8sに設定されます。
- 「GOP制御」が「On(Mid)」に設定されている場合は、リフレッシュ間隔が最大16sに設定されます。
- 「GOP制御」が「On(Advanced)」に設定されている場合は、リフレッシュ間隔が60sに設定されます。

【配信方式】

H.265（またはH.264）画像の配信方式を以下から選択します。

- **ユニキャスト(ポート番号設定:オート)**：
1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1(画像)」、「ユニキャストポート番号2(音声)」が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、ストリームを配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト(ポート番号設定:オート)」に設定することをお勧めします。
- **ユニキャスト(ポート番号設定:マニュアル)**：
1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1(画像)」、「ユニキャストポート番号2(音声)」を手動で設定する必要があります。インターネット経由でストリームを配信する場合、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください（→191 ページ）。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
- **マルチキャスト**：

1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。マルチキャストでストリームを送信する場合は、「マルチキャストアドレス」、「マルチキャストポート番号」、「マルチキャストTTL/HOPLimit」を入力します。

※最大同時アクセス数については、10 ページをお読みください。

初期設定：ユニキャスト(ポート番号設定:オート)

[ユニキャストポート番号1(画像)] *1

ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。

設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）

初期設定：

- ストリーム(1)：32004
- ストリーム(2)：32014
- ストリーム(3)：32024
- ストリーム(4)：32034

[ユニキャストポート番号2(音声)] *1

ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用）を入力します。

設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）

初期設定：

- ストリーム(1)：33004
- ストリーム(2)：33014
- ストリーム(3)：33024
- ストリーム(4)：33034

[マルチキャストアドレス] *2

マルチキャストのIPアドレスを入力します。

指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

IPv4設定可能範囲：224.0.0.0～239.255.255.255

IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス

初期設定：

- ストリーム(1)：239.192.0.20
- ストリーム(2)：239.192.0.21
- ストリーム(3)：239.192.0.22
- ストリーム(4)：239.192.0.23

お知らせ

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

[マルチキャストポート番号] *2

マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。

設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）

初期設定：37004

お知らせ

- 本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1000」を足したポート番号が使用されます。

【マルチキャストTTL/HOPLimit】*2

マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。

設定可能値：1～254

初期設定：16

重要

- インターネット経由でストリームを配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使っていないLANカードを無効にしてください。

*1 「配信方式」の「ユニキャスト(ポート番号設定:マニュアル)」が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

*2 「配信方式」の「マルチキャスト」が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

2.5.4 カメラの動作に関する設定を行う【カメラ動作】

映像/音声ページの「カメラ動作」タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：49 ページ、49 ページ)

ここでは、カメラの動作に関する設定を行います。



【ホームポジション設定】

あらかじめ設定したプリセットポジション (→129 ページ) を、ホームポジションとして設定することができます。

ホームポジションに設定すると、プリセットポジション番号の横に「H」と表示されます。

初期設定：Off

お知らせ

- 電源投入時にホームポジションに移動させたい場合は、「セルフリターン」に「ホームポジション」を設定してください。

[セルフリターン]

手動での操作終了後に、「セルフリターン時間」で設定した時間が経過すると、カメラの動作を以下のいずれかの動作モードへ自動的に戻すことができます。

Off：セルフリターンを行いません。

ホームポジション：設定した時間が経過すると、ホームポジションに戻ります。

自動追尾：設定した時間が経過するとホームポジションに戻り、自動追尾動作を開始します。そのあとは、一定時間経過後、ホームポジションに戻って自動追尾開始という操作を繰り返します。

オートパン：設定した時間が経過すると、オートパン動作を開始します。

プリセットシーケンス：設定した時間が経過すると、シーケンス動作を開始します。

パトロール：設定した時間が経過すると、パトロール動作を開始します。

初期設定：Off

お知らせ

- 電源投入時に上記動作をさせたい場合は、セルフリターン機能を使用すると便利です。
- 設定メニューを表示しているときでも、セルフリターン機能は動作します。
- 「パトロール」はパトロール設定（→135 ページ）した場合のみ設定できます。

[セルフリターン時間]

手動操作終了後に、「セルフリターン」で設定した動作へ戻るまでの時間を以下から選択します。

10s / 20s / 30s / 1min / 2min / 3min / 5min / 10min / 20min / 30min / 60min

初期設定：1min

[上下反転]

画像を上下反転させるかどうかをOn/Offで設定します。

On：画像の上下反転を行います。

Off：画像の上下反転を行いません。

初期設定：Off

[HD EX光学ズーム]

HD EX光学ズームの設定を以下から選択します。

On **X6533**：1倍～40倍までは光学、それ以上（60倍まで）はHD EX光学ズームを行います。

On **S6532**：1倍～22倍までは光学、それ以上（34倍まで）はHD EX光学ズームを行います。

Off：HD EX光学ズームを行いません。光学ズームの範囲内となります。

光学ズーム倍率：1～40倍 **X6533**

光学ズーム倍率：1～22倍 **S6532**

初期設定：On

HD EX光学ズームとは

MOSセンサーの持つ有効画素数のうち、約92万画素分（1280×720解像度相当）の中央部を切り取って撮影するので、1280×720以下の解像度を使用したとき、より望遠効果の高い撮影が可能となります。

[デジタルズーム]

デジタルズームの設定を以下から選択します。

On **X6533**：1倍～40倍までは光学ズーム、60倍まではHD EX光学ズーム、それ以上（640倍まで）はデジタルズームを行います。

On **S6532**：1倍～22倍までは光学ズーム、34倍まではHD EX光学ズーム、それ以上（358倍まで）はデジタルズームを行います。

Off：デジタルズームを行いません。

初期設定：Off

お知らせ

- デジタルズームを「On」に設定すると、ズーム操作時にデジタルズーム倍率に変わる直前で一度、停止します。
- デジタルズーム倍率では、プリセットポジションの設定はできません。
- 解像度が「2048x1536」「QVGA」「320x180」の場合、以下の倍率を超えると、デジタルズームが解除されることがあります。
340倍 **X6533**
180倍 **S6532**
- 「HD EX光学ズーム」が「Off」の場合、「デジタルズーム」を「On」に設定することはできません。

【プライバシーゾーン設定数】

プライバシーゾーンを何個設定するか、以下から選択します。

8個：プライバシーゾーンを8個まで設定できます。

32個：プライバシーゾーンを32個まで設定できます。

初期設定：8個

お知らせ

- 1画面内で同時に表示できるプライバシーゾーンは8個までです。

【プライバシーゾーン表示設定】

プライバシーゾーンの表示形式を以下から選択します。

塗潰し：グレーで表示します。

モザイク：モザイクで表示します。

Off：表示しません。

初期設定：塗潰し

【カメラ位置表示】

手動での操作時に、画像内に表示される情報を以下から選択します。

Off：画像内に情報を表示しません。

パン・チルト角度/倍率表示：パン角度/チルト角度/倍率表示を表示します。

方角表示：方角を表示します。

初期設定：パン・チルト角度/倍率表示

お知らせ

- 「パン・チルト角度/倍率表示」に設定すると、基本ページの[基本]タブで設定した「画面内文字表示位置」に、パン・チルト角度/倍率が表示されます。(→73 ページ)
- 「方角表示」に設定すると、基本ページの[基本]タブで設定した「画面内文字表示位置」に方角が表示されます。(→73 ページ)
- 「方角表示」を選択する場合は、基準となる北の方角を「方角/方向設定」の「北位置設定」で設定してください。(→144 ページ)

【動作モード表示】

カメラが自動で動作しているときに、動作モードを表示します。

On：動作モードを表示します。

Off：動作モードを表示しません。

初期設定：Off

動作モード	表示
起動中	INITIAL
オートパン中	AUTO PAN
自動追尾中（待機中）	AUTO TRACK WAITING
自動追尾中（追尾中）	AUTO TRACKING
パトロール中	PATROL
プリセットシーケンス中	PRESET SEQ

【チルト範囲指定】

チルト動作の角度制限を以下から選択します。（水平=0°）

10° / 5° / 3° / 0° / -3° / -5° / -10° / -15° / -20° / -25° / -30°

初期設定：-30°

お知らせ

- -20° より上へ向けた場合、画面が一部暗くなる場合があります。

【最短撮影距離】

ガラス越しに被写体を映すときや、近距離に別の被写体がある場合、映したい被写体にピントが合いにくいことがあります。ピントが合わない場合は、最短撮影距離を制限できます。

制限なし：最短撮影距離の制限をしません。

制限あり：近距離の被写体にはピントが合わないよう最短撮影距離を制限します。

最短撮影距離：約3 m

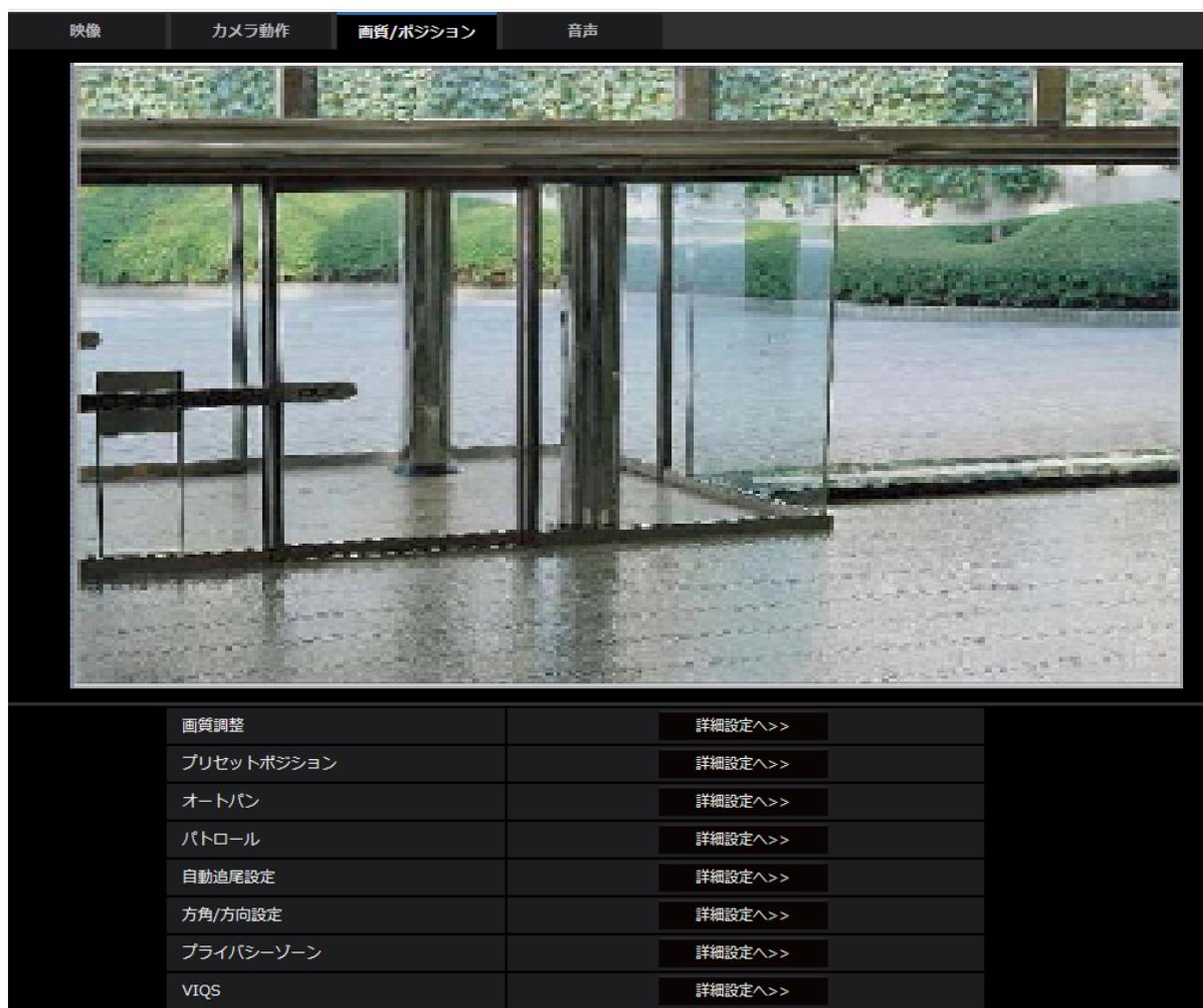
初期設定：制限なし

2.5.5 画質／ポジションに関する設定を行う【画質／ポジション】

映像／音声ページの [画質／ポジション] タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：49 ページ、49 ページ）

各項目の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が別ウインドウで表示され、[画質／ポジション] タブに表示されている画像を見ながら設定を行うことができます。

ここでは、画質調整、プリセットポジション、オートパン、パトロール、自動追尾設定、方角/方向設定、プライバシーゾーン、VIQSを設定できます。



- 【画質調整】**
 [詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、画質に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。
 (→118 ページ)
- 【プリセットポジション】**
 [詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、プリセットポジションに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→129 ページ)
- 【オートパン】**
 [詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、オートパンに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→133 ページ)
- 【パトロール】**
 [詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、パトロールに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→135 ページ)
- 【自動追尾設定】**
 [詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、自動追尾設定に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→137 ページ)
- 【方角/方向設定】**

[詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、方角/方向設定に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→143 ページ)

- **【プライバシーゾーン】**
[詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、プライバシーゾーンに関する設定画面が表示されます。(→144 ページ)
- **【VIQS】**
[詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、VIQSに関する設定画面が表示されます。(→146 ページ)
※VIQSとは、Variable Image Quality on Specified areaの略で、指定したエリアの画質を高画質にすることができる機能です。

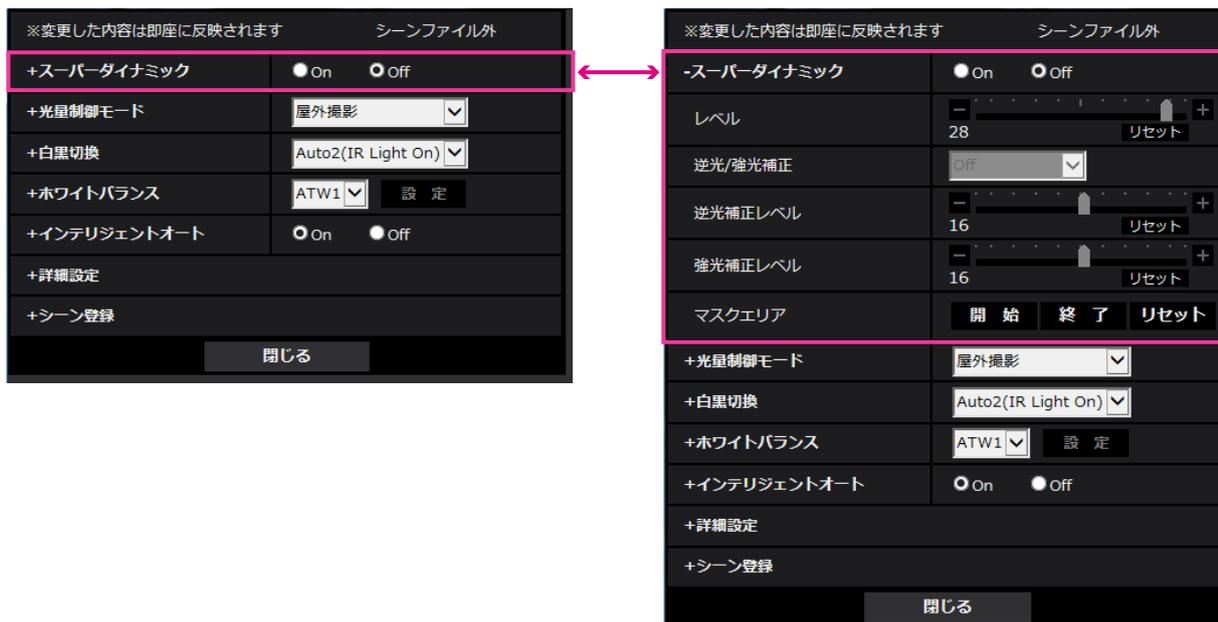
2.5.5.1 画質の調整を行う（画質調整画面）

映像/音声ページの [画質/ポジション] タブで、「画質調整」の [詳細設定へ>>>] ボタンをクリックします。(→116 ページ)

画質の設定は別ウインドウで表示された設定画面で行います。値を変更すると、[画質/ポジション] タブに表示されている画像にも、変更した内容が反映されます。

設定画面の各項目の左側にある+印をクリックすると、各項目が展開され詳細な設定ができるようになります。展開された各項目の左側にある-印をクリックすると、項目が展開される前の画面に戻ります。

<例：スーパーダイナミック>



スーパーダイナミック



• [スーパーダイナミック]

スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかをOn/Offで設定します。
「撮像モード」が「2メガピクセル[16：9]（60fpsモード）」のときは設定できません。
スーパーダイナミックについて詳しくは119 ページをお読みください。

On：スーパーダイナミック機能を働かせます。

Off：スーパーダイナミック機能を停止します。

初期設定：Off

お知らせ

- 40℃以上の環境で本機を使用する場合、スーパーダイナミック機能の効果が小さくなる場合があります。

• [レベル]

スーパーダイナミックレベルを調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、明暗差が大きい被写体を、白とびや黒つぶれなく撮影できます。
スライダーバーを「-」方向に動かすと、中間の明るさ部分が階調豊かに撮影できます。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：28

お知らせ

- 照明の条件によって次のような現象が見られるときは、「スーパーダイナミック」を「Off」に設定してください。
 - 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
 - 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

スーパーダイナミックとは

撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまいます。逆に暗い部分にレンズの絞りを合わせると、明るい部分が見えなくなってしまいます。

この明暗差が大きな被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能をスーパーダイナミックといいます。

暗い場所が見えなかったり...



反対に、明るい場所が見えなかったり...



明るさの異なる2つの画像を
デジタル処理してクリアに再現

- **【逆光／強光補正】**

以下から選択します。「スーパーダイナミック」を「On」に設定した場合、または「インテリジェントオート」を「On」に設定した場合は設定できません。

逆光補正 (BLC)：逆光補正機能を有効にします。

強光補正：強光補正機能を有効にします。強光補正機能は、夜間に車のヘッドライトなど明るい光による被写体の白とびを抑制します。

Off：逆光補正機能および強光補正機能を停止します。

初期設定：Off

- **【逆光補正レベル】**

逆光補正レベルを調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、逆光補正の効果が上がります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、逆光補正の効果が下がります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：16

- **【強光補正レベル】**

強光補正レベルを調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、強光補正の効果が上がります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、強光補正の効果が下がります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：16

- **【マスクエリア】**

マスクエリアを設定すると、設定した領域をマスクして光量を調整することができます。「スーパーダイナミック」を「On」に設定した場合は設定できません。

マスクエリアの設定方法については、127 ページをお読みください。

光量制御モード



- **【光量制御モード】**

光量制御を行うモードを以下から選択します。

屋外撮影：明るさ（照度）によって、電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。屋外など明るい被写体を撮影する場合は、この設定にします。蛍光灯下などではフリッカー（ちらつき）が発生することがありますので、注意してください。

フリッカレス (50 Hz) / フリッカレス (60 Hz)：蛍光灯によるフリッカー（ちらつき）を自動補正します。地域によって50 Hz/60 Hzを使い分けます。

固定シャッター：

- 「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)」に設定されている場合：
1/60固定 / 1/100固定 / 1/120固定 / 1/250固定 / 1/500固定 / 1/1000固定 / 1/2000固定 / 1/4000固定 / 1/10000固定
- 「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9] (30fpsモード)」または「3メガピクセル[4:3] (30fpsモード)」に設定されている場合：
1/30固定 / 3/120固定 / 2/100固定 / 2/120固定 / 1/100固定 / 1/120固定 / 1/250固定 / 1/500固定 / 1/1000固定 / 1/2000固定 / 1/4000固定 / 1/10000固定

初期設定：屋外撮影

お知らせ

- シャッター速度を速くする（～1/10000）と、動きの速い被写体でもぶれにくくなります。
- シャッター速度を速くすると、感度が落ちます。
- 「スーパーダイナミック」を「On」に設定している場合、「固定シャッター」は設定できません。「固定シャッター」を設定する場合は、「スーパーダイナミック」を「Off」に設定してください。

- **【明るさ】**

明るさを調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、画像が明るくなります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、画像が暗くなります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定の明るさに戻ります。

初期設定：64

- **【最大ゲイン】**

最大ゲインを調節します。被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインがあがり画面を明るくします。ゲインを大きくするとノイズも大きくなる場合があります。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、最大ゲインが大きくなります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、最大ゲインが小さくなります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：9

- **【最長露光時間】**

最長露光時間は、センサーの最長蓄積時間を調整します。設定できる値は以下のとおりです。

- 「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)」に設定されている場合：
最大 1/4000s, 最大 1/2000s, 最大 1/1000s, 最大 1/500s, 最大 1/250s, 最大 1/120s,
最大 1/100s, 最大 2/120s, 最大 1/30s, 最大 2/30s, 最大 4/30s, 最大 6/30s, 最大 10/30s,
最大 16/30s
- 「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9] (30fpsモード)」または「3メガピクセル[4:3] (30fps
モード)」に設定されている場合：
最大 1/4000s, 最大 1/2000s, 最大 1/1000s, 最大 1/500s, 最大 1/250s, 最大 1/120s,
最大 1/100s, 最大 2/120s, 最大 2/100s, 最大 3/120s, 最大 1/30s, 最大 2/30s, 最大
4/30s, 最大 6/30s, 最大 10/30s, 最大 16/30s

初期設定：最大 1/30s

お知らせ

- 「スーパーダイナミック」が「On」に設定されている場合、「最大1/2000s」「最大1/4000s」は設定できません。
- 「最大ゲイン」が「0」に設定されている場合、30fpsモードでは「最大2/30s」以上、60fpsモードでは「最大1/30s」以上は設定できません。

- **【光量調整速度】**

光量調整速度を調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、光量調整速度が速くなります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、光量調整速度が遅くなります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：31

白黒切換

-白黒切換	Auto2(IR Light On) ▼
レベル	<input type="radio"/> High <input checked="" type="radio"/> Low
切換時間	10s ▼
IR Light 照射強度	Low ▼
IR Light 白とび抑制	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off

- **【白黒切換】**

白黒画像とカラー画像の切り換え方法を以下から選択します。

Off：常にカラー画像で撮影されます。

On(IR Light Off)：常に白黒画像で撮影されます。

On(IR Light On)：常に白黒画像で撮影されます。夜間時、近赤外線照明を使用する場合に設定します。

Auto1 (IR Light Off)：画像の明るさ（照度）により、カラー画像と白黒画像が自動的に切り換わります。

Auto2(IR Light On)：画像の明るさ（照度）により、カラー画像と白黒画像が自動的に切り換わります。夜間時、近赤外線照明を使用する場合に設定します。

初期設定：Auto2(IR Light On)

お知らせ

- 白黒切り換え時、動作音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。
- **【レベル】**

カラー画像と白黒画像を切り換える明るさ（照度）のレベルを以下から選択します。下記の切り換わり照度はスーパーダイナミックが「Off」時の照度です。

High：カメラの周囲の明るさ（照度）が約2 lx以下で白黒画像に切り換わります。

Low：カメラの周囲の明るさ（照度）が約1 lx以下で白黒画像に切り換わります。

初期設定：High

お知らせ

- 「最大ゲイン」が低く設定されている場合、環境によっては切り換わりにくい場合があります。

• [切換時間]

カラー画像と白黒画像を切り換えるまでの時間を以下から選択します。

2s / 10s / 30s / 1min

初期設定：10s

• [IR Light 照射強度]

IR Lightの照射強度をHigh / Middle / Low / Offから選択します。

High：照射強度が最大に固定されます。焦点の合いやすさが低下する場合があります。

Middle：被写体に応じて照射強度が自動的に低下します。焦点の合いやすさが、やや低下する場合があります。

Low：被写体に応じて照射強度が自動的に低下します。焦点が合いやすくなります。

初期設定：Low

お知らせ

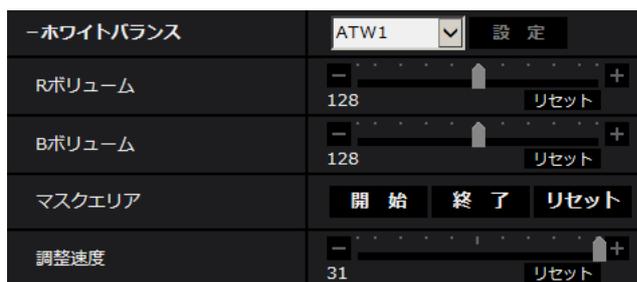
- 「アラーム」タブの「端子1」で「白黒切換入力」が選択された場合のみ、「Off」が選択できます。
- 被写体によっては、設定を切り換えても画像の明るさが変わらない場合があります。

• [IR Light 白とび抑制]

IR Light 白とび抑制機能を働かせるかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定：On

ホワイトバランス



• [ホワイトバランス]

ホワイトバランスの調節方法を以下から選択します。

Rボリューム（赤色の調節）またはBボリューム（青色の調節）で白の色合いを調節します。

ATW1：自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。動作範囲は約2700 K～6000 Kです。

ATW2：ナトリウム灯下での自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下でカメラがホワイトバランスを自動調整します。動作範囲は約2000 K～6000 Kです。

AWC：自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が固定されるため、光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2000 K～10000 Kです。

初期設定：ATW1

お知らせ

- 以下の条件に該当する場合は、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は「AWC」に設定してください。
 - 大部分が濃い色の被写体
 - 抜けるような青空および夕暮れ時の太陽
 - 照度が低すぎる被写体
- 「AWC」を選択した場合は、「設定」ボタンをクリックしてください。

• [Rボリューム]

画像の赤色を調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、赤色は濃くなります。スライダーバーを「-」方向に動かすと、赤色は薄くなります。「リセット」ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

• [Bボリューム]

画像の青色を調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、青色は濃くなります。スライダーバーを「-」方向に動かすと、青色は薄くなります。「リセット」ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

• [マスクエリア]

マスクエリアを設定すると、設定した領域をマスクしてホワイトバランス調整をすることができます。マスクエリアの設定方法については、127 ページをお読みください。

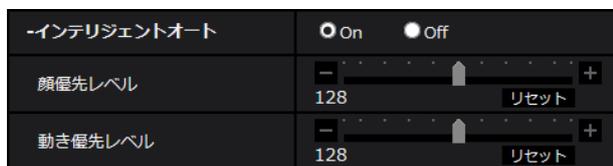
• [調整速度]

ホワイトバランス調整速度を調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、ホワイトバランス調整速度が速くなります。スライダーバーを「-」方向に動かすと、ホワイトバランス調整速度が遅くなります。「リセット」ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：31

インテリジェントオート



• [インテリジェントオート]

インテリジェントオート機能を働かせるかどうかをOn/Offで設定します。

インテリジェントオートとは、シーン（逆光、屋外、夜景など）、人物の顔、動きのある被写体などを判別し、カメラが自動的に絞り、ゲイン、シャッター速度、コントラストを調整することで、人物の顔や動きのある被写体などを見やすくする機能です。

初期設定：On

• [顔優先レベル]

インテリジェントオートを働かせるときの顔優先レベルを調整します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、顔が見やすくなるように調整します。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、画像全体をバランスよく調整します。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

- **【動き優先レベル】**

インテリジェントオートを働かせるときの動き優先レベルを調整します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、動きのある被写体がぶれにくくなりますが暗い被写体のノイズが増えます。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、動きのある被写体がぶれやすくなりますが暗い被写体のノイズが減ります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

詳細設定

-詳細設定	
コントラスト自動調整	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off(マニュアル)
コントラスト強度	128 <input type="text"/> リセット
暗部補正	128 <input type="text"/> リセット
明部補正	128 <input type="text"/> リセット
霧補正	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
レベル	4 <input type="text"/> リセット
クロマレベル	128 <input type="text"/> リセット
色相	128 <input type="text"/> リセット
アパーチャレベル	16 <input type="text"/> リセット
ベデスタルレベル	128 <input type="text"/> リセット
デジタル・ノイズ・リダクション	128 <input type="text"/> リセット

- **【コントラスト自動調整】**

コントラスト自動調整機能を働かせるかどうかをOn/Off（マニュアル）で設定します。

On：コントラスト自動調整機能を働かせます。

Off：コントラスト自動調整機能を停止します。

初期設定：On

お知らせ

- 「インテリジェントオート」が「On」に設定されている場合、本項目は設定できません。

- **【コントラスト強度】**

コントラスト強度を調整します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、画像の明暗差が大きくなります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、画像の明暗差が小さくなります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

- **【暗部補正】**

画像の暗い部分の明るさを調整します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、画像の明るい部分の明暗差が大きくなります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、画像の明るい部分の明暗差が小さくなります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

重要

- 「暗部補正」の設定により暗い部分のノイズが増えることがあり、また暗い部分と明るい部分の境界付近が、他の暗い部分・明るい部分よりも暗く、または明るく表示されることがあります。

- **【明部補正】**

画像の明るい部分の明るさを調整します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、画像の暗い部分が明るくなります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、画像の明るい部分が暗くなります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

- **【霧補正】**

霧補正機能を有効にするかどうかをOn/Offで設定します。「インテリジェントオート」を「On」、または「コントラスト自動調整」を「On」に設定した場合は設定できません。

霧補正機能を使用すると、霧発生時など画像がかすむ場合に、デジタル画像処理によって画像を見やすく補正することができます。

On：霧補正機能を有効にします。

Off：霧補正機能を停止します。

初期設定：Off

- **【レベル】**

霧補正レベルを調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと補正レベルが強くなり、「-」方向に動かすと補正レベルが弱くなります。「リセット」ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：4

- **【クロマレベル】**

クロマレベル（色の濃さ）を調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、派手で鮮やかな色になります。スライダーバーを「-」方向に動かすと、落ち着いた色になります。[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

- **【色相】**

色相を調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、肌の赤みが強くなり、空色の青みが弱くなります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、肌の赤みが弱くなり、空色の青みが強くなります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

- **【アパーチャレベル】**

アパーチャレベル（輪郭補正）を調節します。

スライダーバーを「+」の方向に動かすと輪郭がシャープな画像になり、「-」の方向に動かすと輪郭がソフトな画像になります。[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：16

- **【ベデスタルレベル】**

スライダーバーを動かして画像の黒レベルを調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、画像は明るくなります。スライダーバーを「-」方向に動かすと、画像は暗くなります。[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

- **【デジタル・ノイズ・リダクション】**

デジタルノイズリダクション機能を使用すると、低照度時、自動的にノイズを軽減します。

スライダーバーを「+」の方向に動かすとノイズリダクションの効果を強めます。残像が多くなる場合があります。

スライダーバーを「-」の方向に動かすとノイズリダクション効果を弱めます。残像が少なくなります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：128

シーン登録

- **【シーンファイル】**

画質調整した設定項目の組み合わせをシーンファイルとして保持できます。ここではそのシーンファイルを選択します。

登録したシーンファイルをスケジュールページで設定できます。(→237 ページ) 時間によって撮影環境が大きく変化する場合に、スケジュールに登録することで、環境に合わせた設定項目の組み合わせで画像を撮影できます。

- **【シーンファイルタイトル】**

「シーンファイル設定」で表示するシーンファイル名（10文字まで）を変更できます。「1:」、「2:」、「3:」、「4:」で表示されるファイル名のみ変更できます。

入力不可文字：半角記号「"」「&」「¥」

- **【読み込み】 ボタン**

「シーンファイル」で選択している設定データを読み込み、現在の画像に反映します。

- **【登録】 ボタン**

現在表示している画質調整した設定項目の組み合わせを「シーンファイル」に表示しているシーンファイルに登録します。

2.5.5.2 マスクエリアを設定する

画面の一部をマスクして光量を調整する場合の操作方法について説明します。

マスクエリアを設定する場合は、スーパーダイナミックをOffに設定してください。

1 画質調整設定画面を表示します。(→116 ページ)

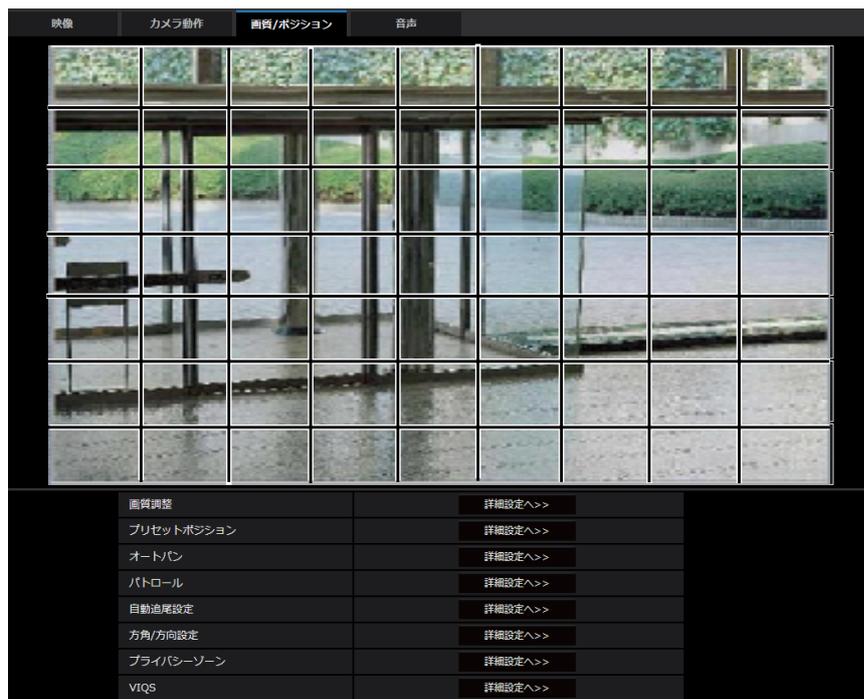


2 「スーパーダイナミック」の左の+をクリックして、スーパーダイナミックの詳細メニューを表示します。



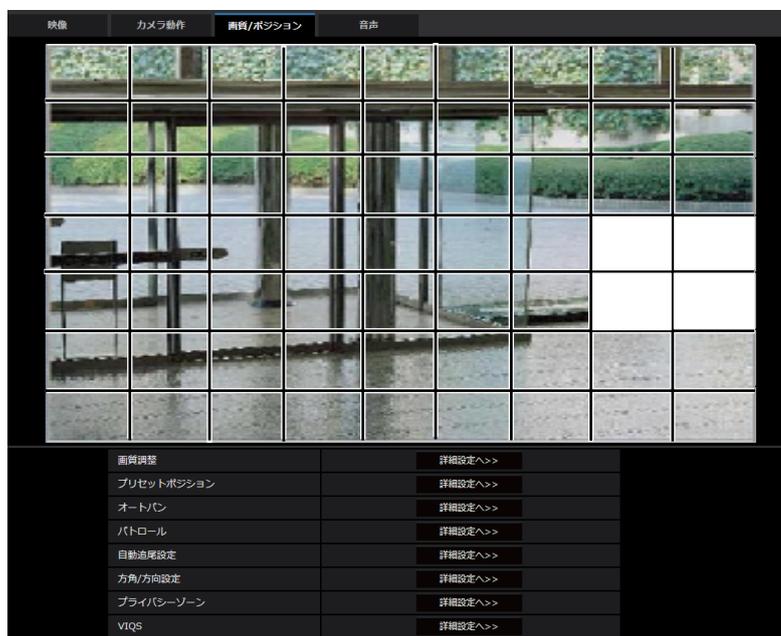
3 「マスクエリア」の「開始」ボタンをクリックします。

→ 境界線が表示され、[画質/ポジション] タブ上に表示された画像が63 (7×9) に分割されます。



4 マスクをかける分割エリアをクリックします。

→ クリックした枠がマスクエリアに設定され、白色になります。マスクを解除するには、マスクエリアを再度クリックします。



5 マスクエリアを設定したら、[終了] ボタンをクリックします。

→ [画質／ポジション] タブの画像の上から枠が消えます。

重要

- マスクエリアを設定したあとに、[映像] タブの「撮像モード」を変更した場合、マスクエリアがずれる場合があります。必ず、再度、マスクエリアの設定を確認してください。
- マスクエリアを設定したあとに、HD EX光学ズームを設定すると、マスクエリアがずれる場合があります。必ず、再度、マスクエリアの設定を確認してください。

お知らせ

- 設定したマスクエリアをすべて解除する場合は、[リセット] ボタンをクリックします。

2.5.5.3 プリセットポジションに関する設定を行う（プリセットポジション設定画面）

映像／音声ページの [画質／ポジション] タブ (→116 ページ) で、「プリセットポジション」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。

ここでは、プリセットポジションの登録、変更、削除ができます。

フォーカスや明るさ、ズームなどを調節すると、[画質／ポジション] タブの画像にも同時に反映されます。



重要

- プリセットポジション設定中に他の設定を変更しないでください。正しく画像が表示されなくなる場合があります。
- デジタルズームの倍率では、プリセットポジションの設定はできません。
- プリセットポジションは、最大256か所まで設定可能です。

お知らせ

- 使用環境によっては (+5 ℃以下目安)、プリセット移動の速度が少し遅くなることがあります。

プリセットポジション設定

- **【ポジション名称表示】**
ポジション名称を表示するかどうかをOn / Offで設定します。プリセットポジションごとに設定できません。

On：ポジション名称を表示します。
Off：ポジション名称を表示しません。
初期設定：Off

重要

- 「ポジション名称」と「ポジション名称表示」を設定した場合は、[登録] ボタンを必ずクリックしてください。

お知らせ

- 「On」に設定すると、[基本] ページの [基本] タブの「画面内文字表示位置」で設定した場所に、ポジション名称が表示されます。(→73 ページ)

• [ポジション名称]

画像上に表示する名称を入力します。プリセットポジションごとに設定できます。

入力可能文字数：0 ～ 20文字

入力可能文字：0～9 (半角)、A～Z (半角、大文字、小文字)、全角、半角記号「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「=」「?」

初期設定：空欄

お知らせ

- 入力したポジション名称は、プルダウンのプリセットポジション番号の横に表示されます。また、「ポジション名称表示」を「On」に設定すると、画像上にも表示できます。

• [オートフォーカス]

プリセット移動後にオートフォーカスを行うかどうかをAuto / Offで設定します。プリセットポジションごとに設定できます。

Auto：プリセット移動後にオートフォーカスを行います。

Off：プリセット移動後にオートフォーカスを行いません。

初期設定：Off

お知らせ

- 奥行きが変化しない被写体、またはコントラストが低い被写体、スポットライトなど高輝度が存在する被写体などにプリセット動作を行う場合は、「Off」に設定し、フォーカスを合わせたあとにプリセットポジションを登録してください。

• [停止時間]

プリセットシーケンス動作時に、各プリセットポジションの画像を映し出す時間（カメラの回転が停止している時間）を以下から選択します。

Off / 5s / 10s / 15s / 20s / 25s / 30s

初期設定：10s

お知らせ

- 「Off」に設定されているプリセットポジションでは、プリセットシーケンス実施時に、そのポジションには移動せず、次のプリセットポジションに移動します。
- 停止時間の設定によっては、オートフォーカス動作中に次のプリセットポジションへ移動する場合があります。
- 長時間、プリセットシーケンス機能を使用すると、駆動部品が消耗し、消耗品の交換サイクルが早くなる場合があります。消耗品については、付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編を参照してください。

• [スーパーダイナミック]

スーパーダイナミックを働かせるかどうかをOn / Offで設定します。プリセットポジションごとに設定できます。

[撮像モード] が「2メガピクセル[16：9] (60fpsモード)」のときは設定できません。

スーパーダイナミックについて詳しくは119 ページをお読みください。

On：スーパーダイナミック機能を働かせます。

Off：スーパーダイナミック機能を停止します。

初期設定：Off

- **[レベル]**

スーパーダイナミックレベルを調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、明暗差が大きい被写体を、白とびや黒つぶれなく撮影できます。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、中間の明るさ部分が階調豊かに撮影できます。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：28

- **[逆光／強光補正]**

以下から選択します。「スーパーダイナミック」を「On」に設定した場合、または「インテリジェントオート」を「On」に設定した場合は設定できません。

逆光補正 (BLC)：逆光補正機能を有効にします。

強光補正：強光補正機能を有効にします。強光補正機能は、夜間に車のヘッドライトなど明るい光による被写体の白とびを抑制します。

Off：逆光補正機能および強光補正機能を停止します。

初期設定：Off

- **[逆光補正レベル]**

逆光補正レベルを調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、逆光補正の効果が上がります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、逆光補正の効果が下がります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：16

- **[強光補正レベル]**

強光補正レベルを調節します。

スライダーバーを「+」方向に動かすと、強光補正の効果が上がります。

スライダーバーを「-」方向に動かすと、強光補正の効果が下がります。

[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：16

- **[マスクエリア]**

マスクエリアを設定すると、設定した領域をマスクして光量を調整することができます。「スーパーダイナミック」を「On」に設定した場合は設定できません。

マスクエリアの設定方法については、127 ページをお読みください。

- **[ズーム] ボタン、[フォーカス] ボタン、コントロールパッド／ボタン、[明るさ] ボタン**

操作のしかたは、16 ページをお読みください。

- **[登録] ボタン**

プリセットポジションを登録します。

- **[削除] ボタン**

ポジション番号で選択したプリセットポジションを削除します。

- **[閉じる] ボタン**

プリセットポジション設定画面を閉じるときをクリックします。

プリセットポジションを登録する

- 1 ポジション番号を選択します。
→ 「プリセットポジション設定:ポジション番号」に選択したポジション番号が表示されます。
登録済みの場合は、カメラが選択したプリセットポジションに移動します。
- 2 カメラの向きを登録したい方向へ移動させます。
- 3 ポジション名称をライブ画ページに表示させたい場合は、「ポジション名称表示」を「On」に設定し、ポジション名称を入力します。
- 4 オートフォーカスや停止時間を設定します。
- 5 [登録] ボタンをクリックします。
- 6 ポジションごとに画質設定を行う場合は、スーパーダイナミックなど各項目を設定します。「スーパーダイナミック」、「逆光／強光補正」、「マスクエリア」については、即座に反映されます。

お知らせ

- プリセットポジションを登録する際、カメラの向きが少し移動する場合があります。
- 「画質調整」の「シーンファイル」を「シーンファイル外」以外に設定している場合は、「スーパーダイナミック」、「逆光／強光補正」、「マスクエリア」は設定できません。

2.5.5.4 オートパンに関する設定を行う（オートパン設定画面）

映像／音声ページの [画質／ポジション] タブ (→116 ページ) で、「オートパン」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。
ここでは、オートパンに関する設定を行うことができます。

お知らせ

- 長時間、オートパン機能を使用すると、駆動部品が消耗し、消耗品の交換サイクルが早くなる場合があります。消耗品については、付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編を参照してください。



端点設定

- 【左端点設定】**
[ズーム] ボタン、[フォーカス] ボタン、コントロールパッド/ボタンでオートパンの左端点としたい位置にカメラの向きを移動し、[設定] ボタンをクリックします。
ズームやフォーカスも同時に設定されます。

お知らせ

- パン、チルト、ズーム操作は、[画質/ポジション] タブの画像上でも操作できます。

- 【右端点設定】**
コントロールパッド/ボタンでオートパンの右端点としたい位置にカメラの向きを移動し、[設定] ボタンをクリックします。

オートパン動作

- 【停止時間】**
スタート位置およびエンド位置での停止時間を以下から選択します。
0s / 1s / 2s / 3s / 4s / 5s / 10s / 15s / 20s / 25s / 30s
初期設定：5s
- 【オートパン速度】**
パン動作の旋回速度を以下から選択します。
1° /s、2° /s、3° /s、4° /s、5° /s、7° /s、10° /s、13° /s、18° /s、24° /s
初期設定：13° /s

重要

- 「オートパン動作」を設定した場合は、[設定] ボタンを必ずクリックしてください。

お知らせ

- デジタルズームの倍率を設定した場合でも、パン動作の旋回は以下の倍率以下の位置で行われます。
60倍 (X6533)
34倍 (S6532)
- **[エンドレス巡回]**
オートパン実行時の動作を以下から設定します。
Off：左端点と右端点の間を往復します。
On (右回り)：右回りに巡回し続けます。
On (左回り)：左回りに巡回し続けます。
初期設定：Off
- **[ズーム] ボタン、[フォーカス] ボタン、コントロールパッド/ボタン、[明るさ] ボタン、プリセット [移動] ボタン**
操作のしかたは、16 ページをお読みください。
- **[閉じる] ボタン**
オートパン設定画面を閉じるときにクリックします。

2.5.5.5 パトロールに関する設定を行う (パトロール機能設定画面)

映像/音声ページの [画質/ポジション] タブ (→116 ページ) で、「パトロール」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。ここでは、パトロールに関する情報を設定します。

パトロール機能は、パン/チルト/ズーム/フォーカスを記憶させ、記憶させた操作を再現する機能です。

お知らせ

- 長時間、パトロール機能を使用すると、駆動部品が消耗し、消耗品の交換サイクルが早くなることがあります。消耗品については、付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編を参照してください。



パトロール設定

- 【記憶数】**
 パトロールの記憶数を選択します。記憶数により、記憶できる時間が変わります。
1：パトロール1に、2分間の動作を記憶します。
2：パトロール1、パトロール2に、それぞれ1分間の動作を記憶します。
4：パトロール1、パトロール2、パトロール3、パトロール4に、それぞれ30秒間の動作を記憶します。
 初期設定：1

お知らせ

- 記憶数を変更すると、記憶したパトロール動作は消去されます。
- 【パトロール記憶】**
 「パトロールNo」の [▼] をクリックして、設定したいパトロール番号（1～4）を選択します。パトロールNo右側の「*」印は、すでにパトロール動作が記憶されていることを表します。
 パトロールNoを選択した状態で [記憶] ボタンをクリックすると、カメラ動作の記憶を開始します。記憶中は、「LEARNING (**S)」の文字が表示されます。**Sは、記憶可能な残り時間です。
 [停止] ボタンをクリックすると、カメラ動作の記憶中は記憶を停止し、カメラ動作の再現中は再現を停止します。残り時間が0秒（0S）の場合は、自動的に停止します。
 パトロールNoを選択した状態で [確認] ボタンをクリックすると、記憶したカメラ動作を再現させることができます。

お知らせ

- 記憶するカメラ動作は以下のとおりです。
 - 動作開始位置記憶時
パン・チルト・ズーム・フォーカス位置
 - カメラ操作時
パン・チルト・ズーム・フォーカス位置／プリセットポジションの移動
- パトロール動作中は、オートフォーカス機能は動作しません。このときズームレンズの特性としてWIDE（広角）側からズームアップした場合、ピントがぼけます。ズーム動作を記憶する場合は、TELE（望遠）側からスタートするとピントのずれが抑えられます。
- **【ズーム】 ボタン、【フォーカス】 ボタン、コントロールパッド／ボタン、【明るさ】 ボタン、プリセット【移動】 ボタン**
操作のしかたは、16 ページをお読みください。
- **【閉じる】 ボタン**
パトロール設定画面を閉じるときにクリックします。

2.5.5.6 自動追尾に関する設定を行う（自動追尾設定画面）

映像／音声ページの [画質／ポジション] タブ (→116 ページ) で、「自動追尾設定」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。ここでは、自動追尾に関する設定を行うことができます。

お知らせ

- 以下の場合、自動追尾に関する設定はできません。
 - [撮像モード] が「2メガピクセル[16:9] (60fpsモード)」のとき
 - [画揺れ補正] が「On」のとき
 - [ストリーム(1)] の [スマートコーディング] – [顔スマートコーディング] が「Off」以外のとき
 - [画質調整] の [光量制御モード] の [最長露光時間] が以下の設定のとき
最大 2/30s／最大 4/30s／最大 6/30s／最大 10/30s／最大 16/30s
- 長時間、自動追尾機能を使用すると、駆動部品が消耗し、消耗品の交換サイクルが早くなることがあります。消耗品については、付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編を参照してください。

2 設定

自動追尾機能は、あらかじめ設定したアラームエリア内に動きを検知すると、その被写体を自動的に追尾して撮影する機能です。

自動追尾設定	
カメラ設置高さ	2.5m <input type="button" value="自動設定"/>
自動追尾アラーム	Off
アラーム検出時間	10s
自動追尾情報付加	Off
<input type="button" value="設定"/>	
詳細設定	
追尾中の自動ズーム設定	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
追尾対象の表示サイズ	小(画面の1/4)
追尾開始時感度	中
追尾継続時間	Off(制限なし)
再探索設定	On(ズームアウトあり)
<input type="button" value="設定"/>	
アラームエリア	
エリア選択	エリアNo <input type="button" value="▼"/>
エリアNo通知	独自アラーム通知設定へ
<small>※アラームエリアNoを独自アラーム通知する場合は、「アラームエリア情報付加(動作検知/自動追尾)」設定を「On」にしてください。</small>	
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	
検出マスクエリア	
エリア選択	エリアNo <input type="button" value="▼"/>
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	
ズーム	
<input type="button" value="⊖"/> <input type="button" value="⊕"/>	
フォーカス	
オート 近 遠	
明るさ	
暗(-) 標準 明(+)	
プリセット	
<input type="button" value="▼"/>	<input type="button" value="移動"/>
<input type="button" value="閉じる"/>	

自動追尾設定

- **【カメラ設置高さ】**

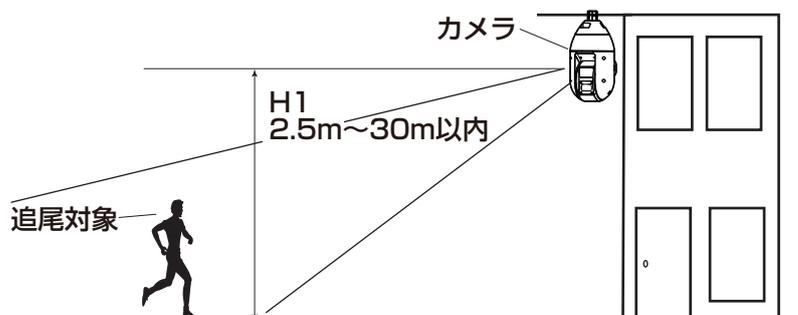
カメラが設置されている高さを以下から選択します。

2.5m/2.75m/3.0m/3.25m/3.5m/3.75m/4.0m/4.25m/4.5m/4.75m/5.0m/
5.5m/6.0m/6.5m/7.0m/7.5m/8.0m/8.5m/9.0m/9.5m/10.0m/12.0m/14.0m/
/16.0m/18.0m/20.0m/22.0m/24.0m/26.0m/28.0m/30.0m

初期設定：2.5m

お知らせ

- 「カメラ設置高さ」とは、追尾対象とカメラとの高さ（H1：2.5 m～30 m）になります。
- [自動設定] ボタンをクリックすると、自動でカメラ設置高さを計測することができます。ただし、カメラの真下に障害物がある場合や、オートフォーカスでピントを合わせることができない被写体の場合、手動で「カメラ設置高さ」を設定してください。



重要

- 「カメラ設置高さ」を正確に入力してください。設置の高さを誤ると著しく検知性能・追尾性能が低下します。
- **【自動追尾アラーム】**
自動追尾動作時のアラームを以下から選択します。
Off：アラームを出力しません。
On(追尾開始時)：自動追尾動作中、アラームを出力し続けます。(出力間隔は5秒おきです。)
On(アラーム検出時間経過時)：自動追尾が一定時間継続した場合1回だけ、アラームを出力します。
On(アラームエリア侵入時)：自動追尾中、設定されたアラームエリアに追尾物体が入った場合、1回だけアラームを出力します。アラームエリアの設定に関しては140 ページを参照してください。
初期設定：Off
- **【アラーム検出時間】**
「自動追尾アラーム」を「On(アラーム検出時間経過時)」に設定した場合の設定時間を以下から選択します。
1s/10s/30s/1min/3min/5min
初期設定：10s
- **【自動追尾情報付加】**
画像に自動追尾情報を付加して、重畳した画像データを送信するかどうかを以下から選択します。
Off：画像に自動追尾情報を付加しません。
On(ライブ画表示なし)：画像に自動追尾情報を付加しますが、自動追尾中の物体に対するターゲット枠をライブ画には表示しません。
On(ライブ画表示あり)：画像に自動追尾情報を付加し、自動追尾中の物体に対するターゲット枠をライブ画に表示します。
初期設定：Off

詳細設定

- **【追尾中の自動ズーム設定】**
追尾中のズーム制御を以下から選択します。
Off：ズーム制御を行いません。
On：ズーム制御を常に行います。

初期設定：On

• **【追尾対象の表示サイズ】**

追尾時のサイズを以下から選択します。

小(画面の1/4)：モニター画面に対し追尾物体を、約1/4（縦方向）のサイズまでズームします。

中(画面の1/2)：モニター画面に対し追尾物体を、約1/2（縦方向）のサイズまでズームします。

大(画面の3/4)：モニター画面に対し追尾物体を、約3/4（縦方向）のサイズまでズームします。

初期設定：小(画面の1/4)

お知らせ

- サイズはあくまでも目安です。環境条件、追尾条件によっては想定のサイズにならないことがあります。
- 追尾対象物体のサイズを大きくすると、追尾性能が低下します。

• **【追尾開始時感度】**

追尾中の感度を以下から選択します。

高／中／低

初期設定：中

お知らせ

- 感度を低くすると、木の揺れなどによる誤検知は少なくなりますが、追尾性能も低下します。一方、感度を高くすると、追尾性能は向上しますが、誤検知も多くなります。環境に合わせて設定してください。

• **【追尾継続時間】**

自動追尾を開始してから、強制終了させるまでの時間を以下から選択します。

Off(制限なし)／10s／20s／30s／40s／50s／1min／2min／3min／5min／10min

初期設定：Off(制限なし)

お知らせ

- 追尾継続時間を過ぎた時点で、カメラはその位置に停止します。自動モード動作に戻す場合、セルフリターンを設定すると追尾停止後から、セルフリターン時間がカウントされ自動モード動作に戻ります。

• **【再探索設定】**

追尾物体を見失ったとき（ロスト時）の動作を以下から選択します。

Off：追尾物体を見失ったとき、その位置で停止します。

On(ズームアウトなし)：追尾物体を見失ったとき、その位置で新たに動きがないかどうか検知し、動きがあればさらに自動追尾を続行します。

On(ズームアウトあり)：追尾物体を見失ったとき、多少画角を広げ、その画角にて新たに動きがないかどうか検知し、動きがあればさらに自動追尾を続行します。

初期設定：On(ズームアウトあり)

アラームエリア

• **【エリア選択】**

「エリアNo」の「▼」をクリックして、設定したいエリア番号（1～4）を選択します。エリアNo右側の「*」印は、すでにエリアが記憶されていることを表します。自動追尾アラームでOn（アラームエリア侵入時）を選択しているとき、アラームエリアが有効になります。

• **【エリアNo通知】**

「独自アラーム通知設定へ」をクリックすると、アラームページの「通知」タブが表示されます。（→176 ページ）

お知らせ

- アラームエリアはプリセットポジションごとの個別設定はできません。設定されたエリアはすべてのプリセットポジションに対し有効となります。

検出マスクエリア

• 【エリア選択】

「エリアNo」の【▼】をクリックして、設定したいエリア番号（1～4）を選択します。エリアNo右側の「*」印は、すでにエリアが記憶されていることを表します。撮影場所（画面）中で動きを検知したくない部分にマスクエリアを設定することで、誤検知を減らすことができます。

お知らせ

- 撮影場所（画面）内に、木々の揺れ・車道（自動車の通る）・水面（反射光）などの誤検知要因が存在する場合、マスクエリアを設定することで、誤検知を減らすことができます。
- マスクエリアはプリセットポジションごとの個別設定はできません。設定されたエリアはすべてのプリセットポジションに対し有効となります。

重要

- 自動追尾中にマスクエリア内に追尾物体が侵入した場合は、そのまま自動追尾を続行します。マスクエリアは有効にならないので、注意してください。
- 【ズーム】 ボタン、【フォーカス】 ボタン、コントロールパッド／ボタン、【明るさ】 ボタン、プリセット【移動】 ボタン
操作のしかたは、16 ページをお読みください。
- 【閉じる】 ボタン
自動追尾設定画面を閉じるときをクリックします。

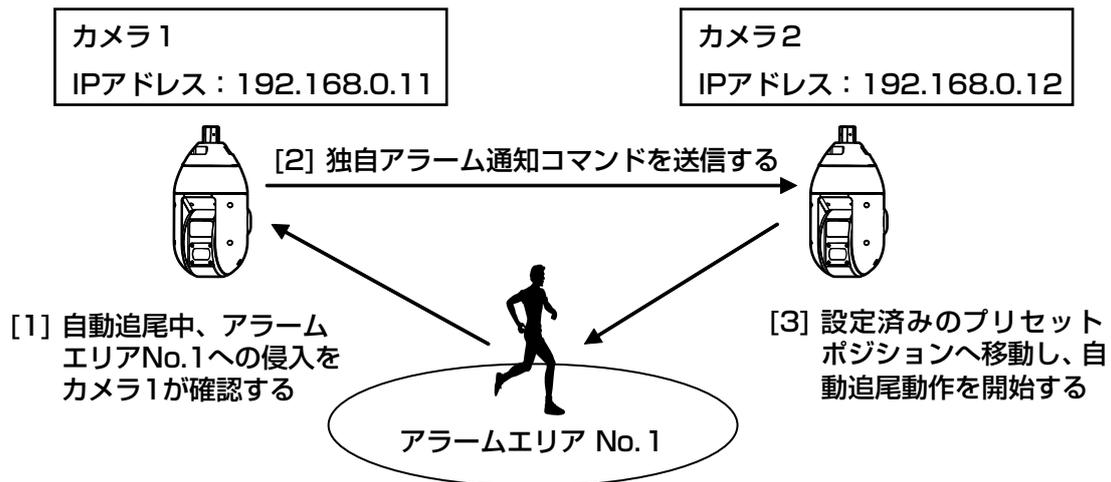
重要

- 以下の場合、対象被写体を追尾できないことや誤作動することがあります。
 - 被写体と背景のコントラストが低い場合
 - フロントパネルに水滴や汚れがついている場合
 - 照度変化が大きい場合
 - 被写体以外の動きが多い場合
 - カメラの光軸上（縦方向）で移動した場合
 - カメラの真下付近で被写体が移動した場合
 - ちらつきが激しい場合
 - 窓越し、路面の照り返し、逆光によるフロントパネル内への映りこみなど光の反射がある場合
 - 電柱や物かげなどに追尾対象物体が隠れた場合
 - 被写体が他の移動体とすれ違う場合
 - 被写体の動きが速すぎたり、遅すぎたりする場合
 - カメラ本体が揺れている場合
- 自動追尾機能の諸設定、あるいはその結果で被る不便、損害、被害に対する責任は一切、負いかねます。
- 検知精度を上げるため、以下のような設置環境で使用することをお勧めします。
 - 追尾対象がモニター画面に対し、約1/5（縦方向）のサイズ以上
 - チルト角が20° ～55° の範囲

自動追尾連携設定の設定手順

自動追尾機能に対応したカメラは2台以上使用すると、対象物の追尾をカメラ間で連携することができます。
(自動追尾連携機能)

例として、下の図のように自動追尾のアラームエリアNo.1に追尾対象が侵入したとき、カメラ1（IPアドレス：192.168.0.11）からカメラ2（IPアドレス：192.168.0.12）へ連携する場合の設定手順を説明します。



- 1** カメラ1に、自動追尾連携を行いたいエリアに対し、アラームエリアを設定します。
 - ① 自動追尾設定画面を表示します。
 - ② [自動追尾アラーム] で [On(アラームエリア侵入時)] を選択し、[設定] ボタンをクリックします。
 - ③ アラームエリアの [エリア選択] で、[エリアNo] のプルダウンから1を選択します。
 - ④ 画面を見ながら、パン・チルト・ズームを行い、アラームエリアを設定します。
 - ⑤ [設定] ボタンをクリックします。
- 2** カメラ2に、独自通知コマンドを受信したときに移動するプリセットポジションを設定します。(手順1で設定したカメラ1のアラームエリアNo.1が画面に入るようにプリセットポジションを設定してください。)
 - ① プリセットポジション設定画面を表示します。(→129 ページ)
 - ② [プリセット] のプルダウンから設定したい番号を選択します。
 - ③ 画面を見ながら、パン・チルト・ズームを行い、プリセットポジションを設定します。
 - ④ [登録] ボタンをクリックします。
- 3** コマンドを通知するカメラ1（IPアドレス：192.168.0.11）を設定します。
 - ① アラームページの [通知] 画面を表示します。(→176 ページ)
 - ② 「独自アラーム通知」の [独自アラーム通知] を [On] に設定し、[設定] ボタンをクリックします。
 - ③ [独自アラーム通知先] の [通知先1] (どの通知先を選択しても構いません。) の、[アラーム] のチェックボックスにチェックを入れ、[通知先アドレス] に 192.168.0.12を入れます。
 - ④ [自動追尾連携設定] を [On] にし、アラームエリアNo.は1を選択します。

- ⑤ [設定] ボタンをクリックします。
- 4 コマンドを受信するカメラ2 (IPアドレス: 192.168.0.12) の設定を行います。
- ① アラームページの [アラーム] 画面を表示します。(→155 ページ)
 - ② 「アラーム」の [コマンドアラーム] を [On] に設定し、[設定] ボタンをクリックします。
 - ③ 「アラーム連動動作」の [コマンドアラーム] を、[送信元別プリセットポジション] に設定し、[送信元別プリセットポジション設定へ] をクリックします。
 - ④ 送信元別プリセットポジション設定画面 (→162 ページ) で、[送信元アドレス1] (どの送信元アドレスを選択しても構いません。) の自動追尾連携にチェックを入れ、送信元アドレス192.168.0.11 (カメラ1) を入力し、手順2で設定したコマンド受信時に移動するプリセットポジションを選択し、[設定] ボタンをクリックし、ページを閉じます。
 - ⑤ [設定] ボタンをクリックします。
- 5 カメラ1の自動追尾動作を開始させることで、自動追尾連携機能が使用できます。

お知らせ

- 自動追尾動作中は、画揺れ補正、顔スマートコーディングは動作しません。

2.5.5.7 方角／方向設定に関する設定を行う (方角/方向設定画面)

映像／音声ページの [画質／ポジション] タブ (→116 ページ) で、「方角／方向設定」の [詳細設定へ >>] ボタンをクリックします。ここでは、方角/方向設定に関する設定を行うことができます。このページを表示すると北に設定されているパンチルト位置へ移動します。



方角/方向設定

- **【北位置設定】**

カメラ位置表示が方角表示に設定されている場合、プリセットポジション以外では、八方位をプリセットポジションタイトル表示位置に表示します。

北(N)と表示するパン位置に合わせた上で、北位置設定をすることで位置を決めます。

- **【パン0° 方向設定】**

パンの0° 方向を設定します。コントロールパッド/ボタンで画角を調節して【設定】ボタンをクリックすると、現在向いているパンの方向が0° になります。【リセット】ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

お知らせ

- チルトの0° 方向は設定されません。
- パンの0° 方向を変更しても、既に設定されたプリセットポジションの位置は変化しません。また、既に設定されたオートパン設定は変更前と同じ範囲を旋回します。同様にパトロール設定についても、変更前と同じ動作を行います。
- **【ズーム】 ボタン、【フォーカス】 ボタン、コントロールパッド/ボタン、【明るさ】 ボタン、プリセット【移動】 ボタン**
操作のしかたは、16 ページをお読みください。
- **【閉じる】 ボタン**
方角/方向設定画面を閉じるときにクリックします。

2.5.5.8 プライバシーゾーンに関する設定を行う（プライバシーゾーン設定画面）

映像/音声ページの【画質/ポジション】タブ（→116 ページ）で、「プライバシーゾーン」の【詳細設定へ>>>】ボタンをクリックします。

ここでは、撮影場所（画像）の中に表示したくない部分がある場合、その部分をプライバシーゾーンとして表示しないように設定します。プライバシーゾーンは「プライバシーゾーン設定数」の設定に従って、8か所または32か所まで設定できます。（→115 ページ）

画像上でマウスをドラッグすることで、エリアを設定します。

お知らせ

- 電源投入直後の初期動作時やポジションリフレッシュ中は、プライバシーゾーン機能は働きません。
- カメラの向き（特にチルト角度45° ~90°）や倍率によっては隠したい場所が見えてしまうことがあります。必ず設定後に確認してください。

- カメラの固定方法を変更した場合は、プライバシーゾーンの再設定をしてください。



ゾーン設定

• [ゾーン選択]

「ゾーンNo」の「▼」をクリックして、設定したいゾーン番号（1～8、または1～32）を選択します。ゾーン番号右側の「*」印は、すでにプライバシーゾーンが設定されていることを表します。

設定したい範囲をマウスでドラッグすると、プライバシーゾーンとして設定されます。

位置が決定したら「設定」ボタンをクリックします。このとき、プライバシーゾーンは指定した範囲よりも少し広く設定されます。

登録したゾーンを削除したい場合は、ゾーン番号を指定して、「削除」ボタンをクリックします。

設定または削除を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

お知らせ

- プライバシーゾーンは、隠したい物体に対して広めに設定してください。広角側でのゾーン精度を上げるため、ズーム倍率1倍～3倍の間でゾーン設定をすることをお勧めします。
 - パン、チルト、ズーム操作は、「画質/ポジション」タブの画像上でも操作できます。
 - 「プライバシーゾーン表示設定」の設定を「塗潰し」に設定している場合にゾーンNoを選択すると、画面内のマスクが「濃いグレー」→「無」→「薄いグレー」の順に点滅表示されます。
 - 「プライバシーゾーン設定数」で「32個」が設定されている場合でも、1画面内で同時に表示可能なプライバシーゾーン数は最大8個に制限されます。設定されているプライバシーゾーンの位置によっては、操作によって自動的に結合され最大8個での表示になります。
 - 「プライバシーゾーン設定数」を32個から8個に変更した場合、ゾーン番号1～8以外のプライバシーゾーンは表示されなくなります。
 - 「ズーム」ボタン、「フォーカス」ボタン、コントロールパッド/ボタン、「明るさ」ボタン、プリセット「移動」ボタン
- 操作のしかたは、16 ページをお読みください。

- **【閉じる】ボタン**
プライバシーゾーン設定画面を閉じるときにクリックします。

2.5.5.9 VIQSを設定する

映像／音声ページの [画質／ポジション] タブの「VIQS」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。
(→116 ページ)

ここでは、VIQSに関する設定を行うことができます。

VIQSとはVariable Image Quality on Specified areaの略で、指定したエリアの画質を変更することができる機能です。

撮影場所（画像）の中で指定した範囲の画質を高画質にして、見やすくすることができます。

指定した範囲以外の画質は低画質になり、画像データサイズを抑えることもできます。

VIQSはH.265、H.264のストリームが対象です。

VIQSはプリセットポジションのポジション番号1～8までとプリセットポジション以外で設定でき、エリアはプリセットポジションごとに8つまで設定することができます。

VIQS設定後の画像は、「ストリーム選択」で選択している場合は、[確認] ボタンを押して確認できます。

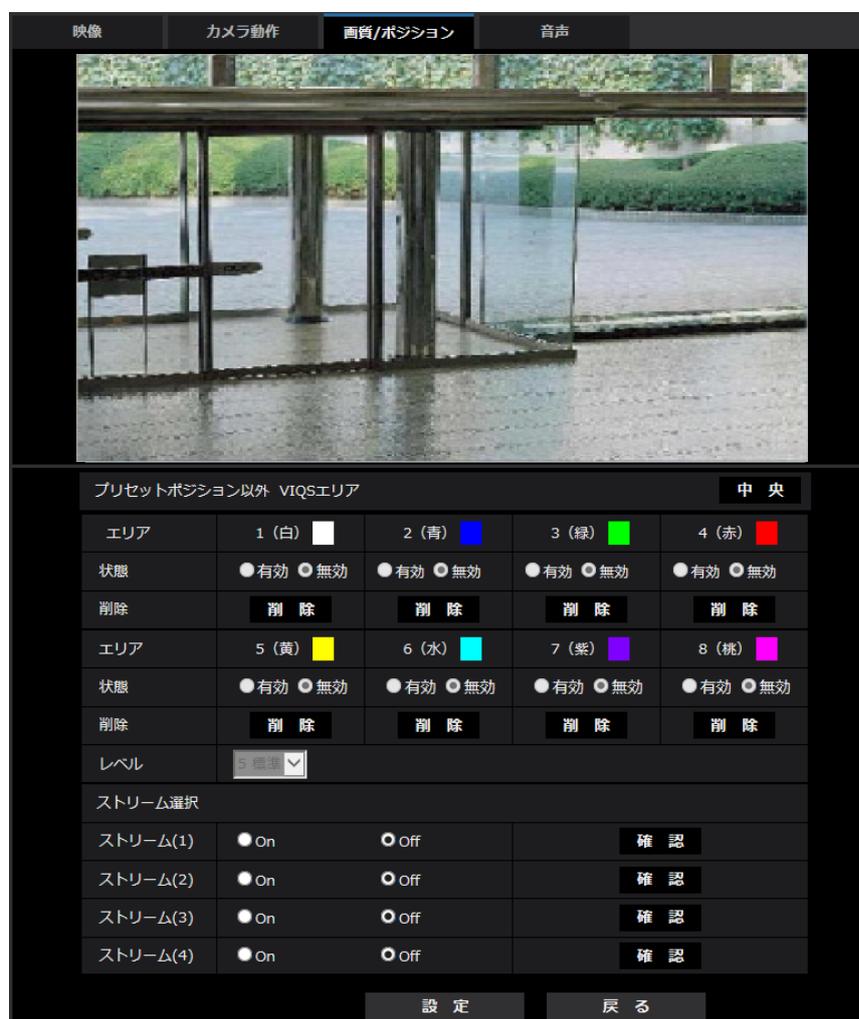
また、ライブ画ページでも、H.265、H.264のストリームを表示して確認できます。



VIQSエリア設定

- **【ポジション選択】**
VIQSエリアを設定したいプリセットポジション番号を選択し、[開始] ボタンをクリックして、VIQSエリアを設定します。

プリセットポジション以外のVIQSエリアを設定する場合は、「プリセットポジション以外」を選択します。

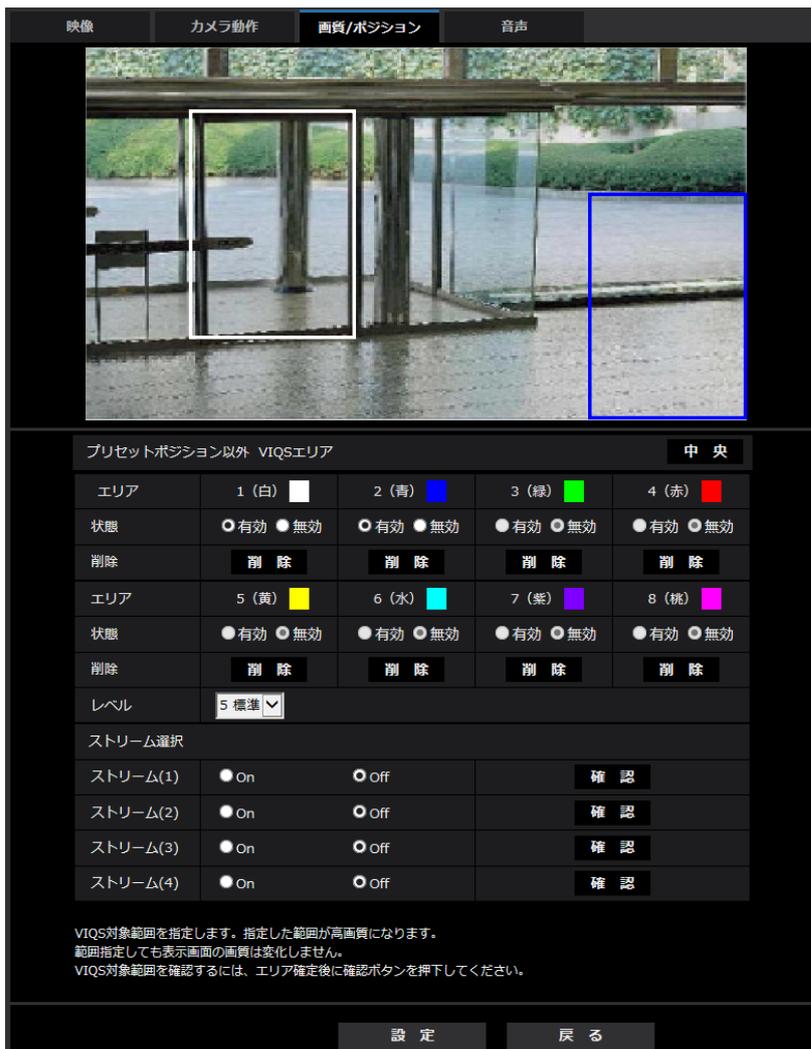


- **[エリア]**
画像内でVIQSエリアを選択すると、エリア1から順に設定されます。
- **[中央]**
クリックすると、中央部がVIQSエリアとして選択され、「エリア」の「1 (白)」に設定されます。
- **[状態]**
VIQSエリアを有効／無効で設定します。
有効：VIQSエリアを設定します。
無効：VIQSエリアを設定しません。
初期設定：無効
- **[削除] ボタン**
削除したいエリアのボタンをクリックすると、エリア枠を削除します。
- **[レベル]**
指定した範囲の画質と、指定した範囲外の画質のレベル差を設定します。レベル差が大きいほど、指定した範囲外の画質は低画質になり、画像データサイズを抑えることができます。
0：最小／1 / 2 / 3 / 4 / 5：標準／6 / 7 / 8 / 9：最大
初期設定：5：標準

2.5.5.10 VIQSエリアを設定する

VIQSエリアを以下の手順で設定します。

- 1 画像上でマウスをドラッグし、エリアを指定します。8エリアまで指定できます。
 - 指定した場所がエリア「1（白）」に設定され、枠が表示されます。エリアはエリア番号の1番から順に設定されます。エリア番号の横の色は、対応する枠の色を表しています。



- 2 指定した範囲の画質と、指定した範囲外の画質のレベル差を設定します。レベル差が大きいほど、指定した範囲外の画質は低画質になり、画像データサイズを抑えることができます。
- 3 ストリーム(1)～ストリーム(4)の配信画像を有効にするかどうかをOn/Offで選択します。
- 4 [設定] ボタンをクリックします。
 - 設定内容が本機に反映されます。なお、設定エリアを削除する場合は、削除したいエリアの [削除] ボタンをクリックします。

5 [確認] ボタンをクリックします。

→ [確認] ボタンを押したストリーム(1)～ストリーム(4)が表示されます。別ウインドウが開き約3秒間経過するとVIQSエリアを設定していることによる、現在の出力ビットレートを確認することができます。

重要

- [設定] ボタンをクリックしないと設定内容が確定されません。
- VIQS設定後の画像は、ライブ画ページでH.265、H.264のストリームを表示して確認するか、「ストリーム選択」の[確認] ボタンを押して確認してください。
- 現在の出力ビットレートは、被写体によって変化します。実際の運用時の被写体で確認してください。
- 「顔スマートコーディング」を使用する場合、VIQSエリアを「有効」にすることはできません。

2.5.6 音声を設定する [音声]

映像／音声ページの[音声] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは音声に関する設定を行います。

お知らせ

- 画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声途切れる場合があります。

映像	カメラ動作	画質/ポジション	音声
音声入力			
音量	マイク 中		
AGC(音声)	High		
ビットレート	G.726(ライブ配信用)	32kbps	
	G.711(ライブ配信用)		
	AAC-LC(ライブ/録画用)	128kbps	
音声配信			
音声配信モード	Off		
受話間隔(PCで聞く)	30ms		
送話音量(PCから話す)			
送話間隔(PCから話す)	30ms		
連続送話時間			
送話先ポート番号(PCから話す)	34004 (1024-50000)		
ライブ画ページ			
受話音声圧縮方式	G.726		
受話音量操作モード	<input checked="" type="radio"/> PC音量を調整する <input type="radio"/> カメラ音声入力の音量を操作する		
設定			

音声入力

- **【音量】**
本機に入力する音声の音量を設定します。本設定は、音声をPCで聞く場合（受話）の音量、「録音」時、「音検知」時の音量に反映されます。
マイク強／マイク中／マイク弱：カメラに音声をマイク入力した場合の音量を設定します。
ライン強／ライン中／ライン弱：カメラに音声をライン入力した場合の音量を設定します。
初期設定：マイク中
 - **【AGC（音声）】**
受話音声を自動的に適正音量に増幅して調整します。増幅の度合いをHigh/Middle/Lowから選択します。「High」に設定されている場合、小さな音を聞き取りやすくなりますが、雑音として聞こえる場合があります。雑音が気になる場合は、「Middle」または「Low」に設定してください。本設定は「録音」と「音検知」の音量と連動します。
初期設定：High
- 重要**
- 「音検知」を設定した後に、「AGC（音声）」設定を変更した場合は、「音検知」で検知する音量が変わる可能性があります。必ず、再度「音検知」の設定を確認してください。
- **【ビットレート】**
音声圧縮のビットレートを設定します。
[G.726]：16kbps／32kbps
[G.711]：64kbps（変更できません）
[AAC-LC]：64kbps／96kbps／128kbps
初期設定：
 - [G.726]：32kbps
 - [AAC-LC]：128kbps

音声配信

- **【音声配信モード】**
本機とPC間で音声データの送信／受信を行うときの通信モードを以下から設定します。
Off：本機とPC間で音声データの送信／受信を行いません。
受話：本機からの音声データをPCが受信します。PCで画像と共に音声を聞くことができます。画像と音声は同期しません。
送話：PCからの音声データを本機に送信します。本機に接続したスピーカーから音声を流すことができます。
双方向(半二重)：受話・送話の両方を行うことができます。ただし、音声の送信／受信を同時に行うことはできません。
双方向(全二重)：受話・送話の両方を同時に行うことができます。
初期設定：Off

お知らせ

- 使用状態によってハウリングが発生する場合があります。その際は、PCから出力される音がPCのマイクに入らないようにしてください。
- 映像／音声ページの「映像」タブの「配信方式」が「マルチキャスト」に設定されていると、H.265やH.264画像を監視している間、送話は行えません。送話を行うには、ライブ画ページの「JPEG」ボタンをクリックしてください。

- 「オーディオ出力端子」を「モニター」に設定する場合、「音声配信モード」を「Off」または「受話」以外に設定することができません。
- 「録音」と「音検知」は、「音声配信モード」が「双方向（半二重）」に設定されているときは使用することができません。

- **【受話間隔(PCで聞く)】**

音声の受話間隔を以下から選択します。

20ms／40ms／80ms／160ms

初期設定：40ms

お知らせ

- 受話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れを抑えることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。
- 「受話音声圧縮方式」で「AAC-LC」を選択した場合、「受話間隔(PCで聞く)」は選択できません。

- **【送話音量(PCから話す)】**

PCからの音声を本機から流すときの音量を設定します。

強／中／弱

初期設定：中

- **【送話間隔(PCから話す)】**

音声の送話間隔を以下から選択します。

160ms／320ms／640ms／1280ms

初期設定：640ms

お知らせ

- 送話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れを抑えることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。
- 本機に複数のユーザーがアクセスしている場合は、一時的に音声途切れたり、雑音が出力されたりすることがあります。送話間隔の値を大きくすると音声の途切れや雑音を抑えることができます。
- お使いのネットワーク環境および設定によっては、音声が出力されない場合があります。

- **【連続送話時間】**

1回の送話時間の最大時間を設定します。

1min／2min／3min／5min／10min／20min／30min／1h

初期設定：5min

お知らせ

- 送話開始後、設定した時間を過ぎると送話が停止します。再度送話を行う場合は、送話ボタンをクリックしてください。

- **【送話先ポート番号(PCから話す)】**

送話先ポート番号（PCから本機へ音声を送信するときのカメラ側のポート番号）を入力します。

設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）

初期設定：34004

お知らせ

- 「送話先ポート番号(PCから話す)」に入力された送話先ポート番号は、「配信方式」を「ユニキャスト(ポート番号設定:マニュアル)」（→111 ページ）に設定している場合のみ使用されます。「ストリーム配信」が「Off」（→107 ページ）、あるいは「配信方式」の「ユニキャスト(ポート番号設定:オート)」または「マルチキャスト」を選択している場合は、送話先ポート番号を入力する必要はありません。

ライブ画ページ

• **【受話音声圧縮方式】**

ライブ画ページで使用する受話音声の圧縮方式をG.726／G.711／AAC-LCから選択します。

初期設定：G.726

お知らせ

- G.711は「音声配信モード」が「受話」のときのみ選択できます。
 - 送話音声の圧縮方式には、常にG.726が適用されます。
- ### • **【受話音量操作モード】**
- ライブ画ページの受話ボタンの音量カーソルによる操作方法を選択します。
- PC音量を調整する**：ライブ画ページを開いているPCの音量を変更します。
- カメラの音声入力の音量を操作する**：カメラの受話音量を変更します。
- 初期設定**：カメラの音声入力の音量を操作する

2.6 マルチスクリーンを設定する [マルチスクリーン]

マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

		IPアドレス	カメラタイトル
グループA	カメラ 1	selfcamera	
	カメラ 2		
	カメラ 3		
	カメラ 4		
グループB	カメラ 5		
	カメラ 6		
	カメラ 7		
	カメラ 8		
グループC	カメラ 9		
	カメラ 10		
	カメラ 11		
	カメラ 12		
グループD	カメラ 13		
	カメラ 14		
	カメラ 15		
	カメラ 16		

入力例: http://192.168.0.10:8080

初期表示

レイアウト: 4分割(1-4)

画像更新間隔: MJPEG

解像度(4分割時): 320x180

設定

- 【IPアドレス】**
 マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。4台を1グループとして、最大4グループ（16台）まで登録することができます。
 表示したいカメラのHTTPポート番号を変更している場合は、以下のように入力してください。
入力例：
IPv4アドレスの入力例： http://192.168.0.10:8080
IPv6アドレスの入力例： http://[2001:db8:0:0:0:0:1]:8080
 HTTPSで接続する場合は、以下のように入力します。
入力例： https://192.168.0.10/
入力可能文字数： 1～128文字
初期設定： (カメラ1) selfcamera、(カメラ2～16) 登録なし

重要

- HTTPSで接続する場合は、表示するカメラのプリインストール証明書またはCA証明書をインストールしてください。(→224 ページ)
- IPアドレスまたはホスト名に"selfcamera"と表示されているカメラは、本機が設定されています。

お知らせ

- 複数台のカメラ画像を見るのに適したネットワークカメラ専用ビューアソフト「ビューア専用無料版」については、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：CO301>
- ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。PCのDNS設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

• [カメラタイトル]

カメラのタイトルを入力します。入力したカメラのタイトルがマルチスクリーン画面に表示されます。

入力可能文字数: 0~20文字

入力不可文字: 半角記号「"」「&」

初期設定:

- (カメラ1) 品番が表示されます。
- (カメラ2~16) 空欄

お知らせ

- 16画のマルチスクリーンを選択した場合、カメラタイトルが途中までしか表示されないことがあります。

初期表示

• [レイアウト]

初期表示時のレイアウトを以下から選択します。

4分割 (1-4) / 4分割 (5-8) / 4分割 (9-12) / 4分割 (13-16) / 9分割 (1-9) / 9分割 (10-16) / 16分割

初期設定: 4分割 (1-4)

• [画像更新間隔]

初期表示時の画像更新間隔を選択します。

H.265 (1): H.265形式 (動画) でカメラ画像を表示します。

H.264 (1): H.264形式 (動画) でカメラ画像を表示します。

MJPEG: MotionJPEG形式 (動画) でカメラ画像を表示します。

静止画更新: 1秒 / 静止画更新: 3秒 / 静止画更新: 5秒 / 静止画更新: 10秒 / 静止画更新: 30秒 / 静止画更新: 60秒: 選択した間隔で、JPEG形式 (静止画) のカメラ画像を表示します。

初期設定: MJPEG

• [解像度 (4分割時)]

4分割時、初期表示する解像度を640x360 (VGA)、320x180 (QVGA) から選択します。

初期設定: 320x180

2.7 アラーム設定を行う [アラーム]

アラームページでは、アラーム動作やアラーム画像、アラームを検出するエリアの設定、音検知に関する設定、アラーム通知に関する設定を行います。

アラームページは、[アラーム] タブ、[動作検知エリア] タブ、[音検知] タブ、[通知] タブで構成されています。

2.7.1 アラーム動作に関する設定を行う [アラーム]

アラームページの [アラーム] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、アラームを検出したときの動作に関する設定を行います。アラーム画像、出力端子に関する設定については、159 ページ、157 ページをお読みください。

アラーム	
端子 1	Off
端子 2	Off
端子 3	Off
動作検知アラーム	動作検知設定△
自動追尾アラーム	自動追尾設定△
音検知アラーム	音検知設定△
コマンドアラーム	コマンドアラーム <input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
	受信ポート番号 <input type="text" value="151"/> (1-65535)
アラーム無検知時間	<input type="text" value="5"/> s (5-600s)

アラーム

- [端子1]

端子1の動作設定を行います。

Off：使用しません

アラーム入力(TRM1)：端子アラーム入力を受け付けます。アラーム入力を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。

- **短絡**：端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。

- **開放**：端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

白黒切換入力：白黒切換入力を受け付けます。(入力がOnのとき、白黒に切り換わります)

自動時刻調整：端子入力による時刻設定を受け付けます。信号が入力されると正時(毎時00分)からの時間差が29分以内の場合、00分00秒に設定します。5秒未満の時刻を戻す操作の場合は、時刻は変更されません。自動時刻調整を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。

- **短絡**：端子状態が「クローズ」に変化すると自動時刻調整を行います

- **開放**：端子状態が「オープン」に変化すると自動時刻調整を行います

初期設定：Off

- [端子2]

端子2の動作設定を行います。

Off：使用しません

アラーム入力(TRM2)：端子アラーム入力を受け付けます。アラーム入力を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。

- **短絡**：端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。
- **開放**：端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

アラーム出力：「出力端子」(→157 ページ) で設定した内容に従ってアラーム出力を行います。

初期設定：Off

• **【端子3】**

端子3の動作設定を行います。

Off：使用しません

アラーム入力(TRM3)：端子アラーム入力を受け付けます。アラーム入力を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。

- **短絡**：端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。
- **開放**：端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

AUX出力：AUX出力を行います。ライブ画ページに [AUX] ボタンを表示します。

初期設定：Off

重要

- 外部I/O端子のアラーム入力の開放→短絡 (On)、短絡→開放 (Off) の検知には、約100ms以上の時間が必要です。一度検知すると、検知しない時間が約5秒間あるため、検知後約5秒以内のアラーム入力は検知されません。

お知らせ

- AUXとは、操作者がライブ画ページから任意に操作 (Open/Close) できるカメラ端子のことです。例えば、カメラが設置されている場所の照明などを操作したい場合に、照明制御機器と接続することで遠隔地から操作することが可能です。
- 各端子の入力/出力定格については、付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編をお読みください。

• **【動作検知アラーム】**

「動作検知設定へ」をクリックすると、アラームページの [動作検知エリア] タブが表示されます。(→171 ページ)

• **【自動追尾アラーム】**

「自動追尾設定へ」をクリックすると、映像/音声ページの [画質/ポジション] タブが表示され、自動追尾設定に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→137 ページ)

• **【音検知アラーム】**

「音検知設定へ」をクリックすると、[音検知] タブが表示されます。(→173 ページ)

• **【コマンドアラーム】**

コマンドアラームの入力を受け付けるかどうかをOn/Offで設定します。

コマンドアラームとは、他のカメラからの独自アラーム通知を受信する機能です。「On」に設定すると、複数のカメラで連動してアラーム動作を行うことができます。

初期設定：Off

• **【受信ポート番号】**

コマンドアラームを受信するポート番号を設定します。

設定可能範囲：1~65535

初期設定：8181

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000

- **【アラーム無検知時間】**

アラームを検知したあとに、検知動作を行わない時間を設定します。例えば、アラームによって携帯電話にメール通知を行う設定の場合、本設定によってメールを送信しすぎないようにすることが可能です。
5～600s

初期設定：5s

お知らせ

- アラームの種類ごとにアラーム無検知時間が管理されます。例えば、コマンドアラームのアラーム無検知時間中であっても、動作検知アラームは検知されます。

2.7.2 出力端子に関する設定を行う【アラーム】

アラームページの【アラーム】タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、出力端子に関する設定を行います。

出力端子	
アラーム連動出力	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
SDメモリーカード警告	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
アラーム出力形式	<input checked="" type="radio"/> ラッチ <input type="radio"/> パルス
アラーム時の出力	<input checked="" type="radio"/> Open <input type="radio"/> Close
パルス出力時間	<input type="text" value=""/> s (1-120s)

出力端子

出力端子機能は、【アラーム】設定の【端子2】を「アラーム出力」に設定する必要があります。

- **【アラーム連動出力】**

アラームを検出したときに、出力端子にアラーム信号を出力するかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定：Off

- **【SDメモリーカード警告】**

SDメモリーカードの警告を検出したときに、出力端子に信号を出力するかどうかをOn/Offで設定します。

SDメモリーカード警告検出条件：SDメモリーカードエラー（ライトエラー、リードエラーなど）、稼働時間 6年経過、上書き回数 2,000回超過

On：警告状態を検知すると、出力端子に信号を出力し、ライブ画の【アラーム発生通知】ボタンが点滅します。

Off：警告状態の検知を停止します。

初期設定：Off

重要

- 本機能を正しく使用するためには、SDメモリーカード使用前に本機でSDメモリーカードのフォーマットを行ってください。

お知らせ

- 稼働時間：6年は、SDメモリーカードをカメラに挿入してからの通電時間を、上書回数：2000回は、業務用SDメモリーカード(MLCタイプ)の書換回数上限値を、それぞれ目安としており、耐久期間を保証するものではありません。
- 出力端子とSDメモリーカード警告は、同一の出力端子を使用します。
- アラームとSDメモリーカード警告のいずれかが発生した場合、出力端子に信号を出力します。
- SDメモリーカード警告を検出した場合、ライブ画ページの [アラーム発生通知] ボタンが点滅します。 [アラーム発生通知] ボタンをクリックすると、 [アラーム発生通知] ボタンは表示されなくなります。
- SDメモリーカード警告による出力端子の信号出力は、アラーム出力形式の設定により異なります。
 - ラッチの場合： [アラーム発生通知] ボタンを消した後も、SDメモリーカード警告の要因が継続する間、出力端子の信号出力は継続します。
 - パルスの場合： [アラーム発生通知] ボタンを消した後も、SDメモリーカード警告の要因が継続する間、出力端子の信号出力は継続しますが、「アラーム出力時間」で設定した時間を経過した場合、出力端子の信号出力は止まります。
- 【アラーム出力形式】**
アラームを検出したときの出力端子の動作を、ラッチ/パルスのどちらかに設定します。
ラッチ：アラームを検出したとき、アラーム発生通知ボタンをクリックするまで、アラーム出力時の端子が「アラーム時の出力」で設定した状態になります。
パルス：アラームを検出したとき、「パルス出力時間」で設定した時間、アラーム出力時の端子が「アラーム時の出力」で設定した状態になります。アラーム発生通知ボタンをクリックすると、出力端子が通常の状態に戻ります。
初期設定：ラッチ
- 【アラーム時の出力】**
出力端子からアラームを出力するときの出力状態をOpen/Closeで設定します。
Open：アラーム出力時の端子をOpen状態にします（通常はClose）。
Close：アラーム出力時の端子をClose状態にします（通常はOpen）。
初期設定：Close

お知らせ

- 「Open」に設定すると、本機の電源を入れたとき、約20秒間アラームが出力されます。
- 【パルス出力時間】**
「アラーム出力形式」で「パルス」を選択した場合に、出力端子からアラームを出力する時間を設定します。
設定可能範囲：1～120s
初期設定：1s

2.7.3 AUX名称を変更する【アラーム】

アラームページの [アラーム] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ライブ画ページの「AUX」、「Open」、「Close」の名称を変更できます。

AUX名称	
AUX(10文字まで)	AUX
Open(5文字まで)	Open
Close(5文字まで)	Close

AUX名称

- 【AUX(10文字まで)】**
 ライブ画ページの「AUX」の名称を入力します。
 入力不可文字：半角記号「"」「&」
 初期設定：AUX
- 【Open(5文字まで)】**
 ライブ画ページの [AUX] ボタンの「Open」の名称を入力します。
 入力不可文字：半角記号「"」「&」
 初期設定：Open
- 【Close(5文字まで)】**
 ライブ画ページの [AUX] ボタンの「Close」の名称を入力します。
 入力不可文字：半角記号「"」「&」
 初期設定：Close

お知らせ

- AUXの設定を有効にしないとAUX名称を変更することができません。
- AUXとは、操作者がライブ画ページから任意に操作（Open / Close）できるカメラ端子のことです。例えば、カメラが設置されている場所の照明などを操作したい場合に、照明制御機器と接続することで遠隔地から操作することが可能です。

2.7.4 アラーム連動動作に関する設定を行う【アラーム】

アラームページの [アラーム] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、アラームに連動して動作する機能について設定します。

アラーム連動動作	
端子アラーム 1	Off ▼
端子アラーム 2	Off ▼
端子アラーム 3	Off ▼
動作検知アラーム	Off ▼
音検知アラーム	Off ▼
コマンドアラーム	Off ▼ 送信元別プリセットポジション設定へ
アラーム時の画質制御	アラーム時の画質制御設定へ
アラーム時のメール送信	メール設定へ
アラーム時の画像送信(FTP送信)	FTP設定へ
アラーム時の画像保存(SDメモリーカード)	SDメモリーカード設定へ
独自アラーム通知	独自アラーム通知設定へ
HTTPアラーム通知	HTTPアラーム通知設定へ

• 【端子アラーム1】

端子アラーム1を検出したときに連動する動作を以下から選択します。アラームの「端子1」が「アラーム入力 (TRM1)」に設定されている場合に設定可能です。

Off：端子アラーム1を検出しても、連動動作を行いません。

1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム1を検出したときに、そのポジションに移動します。

自動追尾：端子アラーム1を検出すると自動追尾を開始します。

パトロール1：端子アラーム1を検出するとパトロールを開始します。

※パトロール1が未登録時は表示されません。

初期設定：Off

• 【端子アラーム2】

端子アラーム2を検出したときに連動する動作を以下から選択します。アラームの「端子2」が「アラーム入力 (TRM2)」に設定されている場合に設定可能です。

Off：端子アラーム2を検出しても、連動動作を行いません。

1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム2を検出したときに、そのポジションに移動します。

自動追尾：端子アラーム2を検出すると自動追尾を開始します。

パトロール2：端子アラーム2を検出するとパトロールを開始します。

※パトロール2が未登録時は表示されません。

初期設定：Off

• 【端子アラーム3】

端子アラーム3を検出したときに連動する動作を以下から選択します。アラームの「端子3」が「アラーム入力 (TRM3)」に設定されている場合に設定可能です。

Off：端子アラーム3を検出しても、連動動作を行いません。

1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム3を検出したときに、そのポジションに移動します。

自動追尾：端子アラーム3を検出すると自動追尾を開始します。

パトロール3：端子アラーム3を検出するとパトロールを開始します。

※パトロール3が未登録時は表示されません。

初期設定：Off

- **【動作検知アラーム】**
モーションディテクターによるアラームを検出したときに連動する動作を以下から選択します。
Off：モーションディテクターによるアラームを検出しても、連動動作を行いません。
1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、モーションディテクターによるアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。
自動追尾：モーションディテクターによるアラームを検出すると自動追尾を開始します。
パトロール1：モーションディテクターによるアラームを検出するとパトロールを開始します。
※パトロール1が未登録時は表示されません。
初期設定：Off
- **【音検知アラーム】**
音検知によるアラームを検出したときに連動する動作を以下から選択します。
Off：音検知によるアラームを検出しても、連動動作を行いません。
1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、音検知によるアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。
自動追尾：音検知によるアラームを検出すると自動追尾を開始します。
パトロール1：音検知によるアラームを検出するとパトロールを開始します。
※パトロール1が未登録時は表示されません。
初期設定：Off
- **【コマンドアラーム】**
コマンドアラームによるアラームを検出したときに連動する動作を以下から選択します。[コマンドアラーム]が[On]に設定されている場合に設定可能です。
Off：コマンドアラームによるアラームを検出しても、連動動作をしません。
1～256：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、コマンドアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。
自動追尾：コマンドアラームを検出すると自動追尾を開始します。
パトロール1：コマンドアラームを検出するとパトロールを開始します。
※パトロール1が未登録時は表示されません。
送信元別プリセットポジション：コマンドアラームの送信元のアドレスと、そのアドレスに対応するプリセットポジションを登録しておけば、コマンドアラームによるアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。
「送信元別プリセットポジション設定へ」をクリックすると、送信元別プリセットポジションに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→162 ページ)
初期設定：Off
- **【アラーム時の画質制御】**
「アラーム時の画質制御設定へ」をクリックすると、アラーム発生時の画質に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→163 ページ)
- **【アラーム時のメール送信】**
「メール設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のメールに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→164 ページ)
- **【アラーム時の画像送信 (FTP送信)】**
「FTP設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のFTP送信に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→165 ページ)
- **【アラーム時の画像保存 (SDメモリーカード)】**
「SDメモリーカード設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のSDメモリーカードへの録画に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→166 ページ)
- **【独自アラーム通知】**

「独自アラーム通知設定へ」をクリックすると、アラーム発生時の独自アラーム通知送信に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→167 ページ)

- **【HTTPアラーム通知】**
「HTTPアラーム通知設定へ」をクリックすると、アラーム発生時のHTTPアラーム通知送信に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→168 ページ)

2.7.4.1 送信元別プリセットポジションに関する設定を行う（送信元別プリセットポジション設定画面）

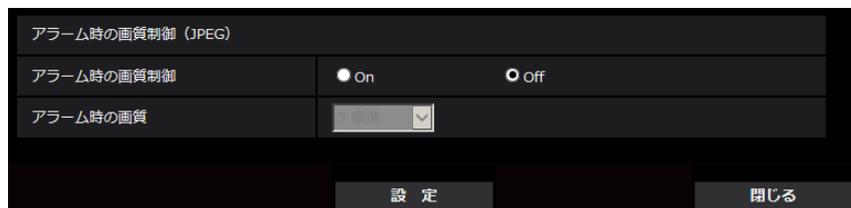
アラームページの [アラーム] タブで、「コマンドアラーム」の「送信元別プリセットポジション設定へ」をクリックします。(→159 ページ)

ここでは、コマンドアラームの送信元のアドレスと、そのアドレスに対応するプリセットポジションを登録します。

- **【送信元アドレス1】～【送信元アドレス8】**
コマンドアラームの送信元のIPアドレスとそのアドレスに対応して移動するプリセットポジションを設定します。通知先は8件まで設定できます。
「自動追尾連携」欄：チェックを入れると、プリセットポジション移動後に自動追尾を開始します。
- **【On / Off】（アラームエリアNo連動）**
「アラームエリアNo」と連動させるかどうかをOn/Offで設定します。
初期設定：Off
- **【アラームエリアNo】**
「アラームエリアNo連動」設定時、送信元のアラームエリアNoを1～4から選択します。
初期設定：1
- **【閉じる】ボタン**
送信元別プリセットポジション設定画面を閉じるときにクリックします。

2.7.4.2 アラーム発生時の画質制御に関する設定を行う

アラームページの [アラーム] タブで、[アラーム連動動作] の「アラーム時の画質制御設定へ」をクリックします。(→159 ページ)



- **【アラーム時の画質制御】**
アラーム発生時に画質 (→105 ページ) を変更するかどうかをOn/Offで設定します。
On : アラーム発生時に「アラーム時の画質」で設定した内容で配信します。
Off : アラーム発生時に画質を変更しません。
初期設定 : Off
- **【アラーム時の画質】**
アラーム発生時の画質を設定します。画質は、以下から選択します。
0 最高画質 / 1 高画質 / 2 / 3 / 4 / 5 標準 / 6 / 7 / 8 / 9 低画質
初期設定 : 5 標準

2.7.4.3 アラーム発生時のメール送信に関する設定を行う

アラームページの [アラーム] タブで、[アラーム連動動作] の「メール設定へ」をクリックします。(→ 159 ページ)

メール通知	
メール通知	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
画像添付	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
解像度	JPEG(2) (640x360)
SMTPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10
SMTPポート番号	25 (1-65535)
POPサーバーアドレス	<input type="text"/> 入力例: 192.168.0.10
認証	認証方法 <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> POP before SMTP <input checked="" type="radio"/> SMTP
	ユーザー名 <input type="text"/>
	パスワード <input type="text"/>
送信者メールアドレス	<input type="text"/>
SSL	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
メール通知先	通知先メールアドレス
通知先 1	<input type="text"/> 削除 <input type="checkbox"/> 端子 1 <input type="checkbox"/> 端子 2 <input type="checkbox"/> 端子 3 <input type="checkbox"/> 動作検知 <input type="checkbox"/> コマンドアラーム <input type="checkbox"/> 音検知 <input type="checkbox"/> 診断 <input type="checkbox"/> 自動追尾
通知先 2	<input type="text"/> 削除 <input type="checkbox"/> 端子 1 <input type="checkbox"/> 端子 2 <input type="checkbox"/> 端子 3 <input type="checkbox"/> 動作検知 <input type="checkbox"/> コマンドアラーム <input type="checkbox"/> 音検知 <input type="checkbox"/> 診断 <input type="checkbox"/> 自動追尾
通知先 3	<input type="text"/> 削除 <input type="checkbox"/> 端子 1 <input type="checkbox"/> 端子 2 <input type="checkbox"/> 端子 3 <input type="checkbox"/> 動作検知 <input type="checkbox"/> コマンドアラーム <input type="checkbox"/> 音検知 <input type="checkbox"/> 診断 <input type="checkbox"/> 自動追尾
通知先 4	<input type="text"/> 削除 <input type="checkbox"/> 端子 1 <input type="checkbox"/> 端子 2 <input type="checkbox"/> 端子 3 <input type="checkbox"/> 動作検知 <input type="checkbox"/> コマンドアラーム <input type="checkbox"/> 音検知 <input type="checkbox"/> 診断 <input type="checkbox"/> 自動追尾
メール件名	<input type="checkbox"/> カメラタイトルを使用 <input type="checkbox"/> アラーム要因 <input type="text"/>
メール本文	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム要因 <input checked="" type="checkbox"/> 発生時刻 The %s alarm was occurred at %s.
端子名称	
端子1(10文字まで)	Terminal1
端子2(10文字まで)	Terminal2
端子3(10文字まで)	Terminal3
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

設定方法については、198 ページを参照してください。

2.7.4.4 アラーム発生時のFTP送信に関する設定を行う

アラームページの [アラーム] タブで、[アラーム連動動作] の「FTP設定へ」をクリックします。(→ 159 ページ)

FTP		
アラーム画像送信	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	
ディレクトリー名	<input type="text"/>	
ファイル名	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> コマンドアラーム <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 <input checked="" type="checkbox"/> 自動追尾	
FTP送信リトライ	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off	
プレアラーム	画像更新速度 1fps	最大画像枚数 0枚
ポストアラーム	画像更新速度 1fps	画像枚数 100枚
解像度	<input type="text" value="H264"/> (640x360)	
FTPサーバーアドレス	<input type="text"/> <small>入力例: 192.168.0.10</small>	
ユーザー名	<input type="text"/>	
パスワード	<input type="password"/>	
コントロールポート番号	<input type="text" value="21"/> (1-65535)	
モード	<input type="radio"/> パッシブモード <input checked="" type="radio"/> アクティブモード	
<input type="button" value="設定"/>		<input type="button" value="閉じる"/>

設定方法については、202 ページを参照してください。

2.7.4.5 アラーム発生時のSDメモリーカードへの録画に関する設定を行う

アラームページの [アラーム] タブで、[アラーム連動動作] の「SDメモリーカード設定へ」をクリックします。(→159 ページ)

運用モード	
SDメモリーカード	<input type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
録音	<input type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
SDメモリーカード残容量通知	50% ▼
上書き	<input type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
撮像モードが60fpsモードの場合は使用できません。	
SDメモリーカードセキュリティ設定	
改ざん検出情報付加	詳細設定へ>>
パスワードロック	パスワード
	状態
	設定 解除 変更
	未設定
録画ストリーム 1	
録画圧縮方式	JPEG(2) ▼ (640x360)
	FTP定期送信エラー時 ▼
保存モード	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> コマンドアラーム <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 <input checked="" type="checkbox"/> 自動追尾
録画ストリーム 2	
録画圧縮方式	Off ▼
	アラーム発生時 ▼
保存モード	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> コマンドアラーム <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 <input checked="" type="checkbox"/> 自動追尾
設定 閉じる	

設定方法については、78 ページを参照してください。

2.7.4.7 アラーム発生時のHTTPアラーム通知に関する設定を行う

アラームページの [アラーム] タブで、[アラーム連動動作] の「HTTPアラーム通知設定へ」をクリックします。(→159 ページ)

HTTPアラーム通知		アラーム	
通知先 1	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 2	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 3	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 4	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 5	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
		設定	閉じる

設定方法については、178 ページを参照してください。

2.7.5 動作検知の設定を行う [動作検知エリア]

アラームページの [動作検知エリア] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検知させるときのエリアを設定します。エリアはプリセットポジション（最大256か所）ごとに4か所まで設定できます。設定したエリア内で物体の動きをとらえると、アラーム動作を行います。カメラの向きがプリセットポジション以外の位置の場合も、アラーム動作を行うよう設定できます。

重要

- モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検出したときに、確認用としてアラーム発生通知ボタンを表示 (→13 ページ) します。
- 端子アラームでアラーム入力を受け付けた場合や、コマンドアラームを受け付けた場合にも、アラーム発生通知ボタンが表示されます。
- 基本ページの [基本] タブで「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定 (→71 ページ) している場合でも、ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。
- 動作検知エリアを設定したあとに、[映像] タブの「撮像モード」を変更した場合、動作検知エリアがずれる場合があります。必ず、再度、動作検知エリアの設定を確認してください。
- モーションディテクター機能は、盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した事故または損害に対する責任は一切、負いかねます。

ポジション選択と情報付加設定画面



動作検知エリア設定

- 【ポジション選択】**
 動作検知エリアを設定したいプリセットポジション番号を選択し、[開始] ボタンをクリックして、動作検知エリアを設定します。
 プリセットポジション以外の動作検知エリアを設定する場合は、「プリセットポジション以外」を選択します。

動作検知情報付加

- 【情報付加】**
 画像に動作検知情報を付加して、重畳した画像データを送信するかどうかをOn/Offで設定します。
 動作検知情報は、一部の弊社製ネットワークディスクレコーダーの検索機能で活用することができます。
 機能・設定の詳細については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。
初期設定：Off

動作検知エリア設定画面



- 【エリア】**
 画像内で動作検知エリアを選択すると、エリア1から順に設定されます。
- 【状態】**
 動作検知を行うかどうかを有効／無効で設定します。
有効：動作検知を行います。
無効：動作検知を行いません。
初期設定：無効
- 【検出面積】**
 動作検知エリア内で被写体の動きを検知する面積を、スライダーバーで設定します。設定値が小さいほど、小さな被写体の動きでも検知します。現在の設定値（1～10）はスライダーバーの右に表示されます。
初期設定：1
- 【検出感度】**
 エリア内の動きを検出するときの感度を、スライダーバーで設定します。エリアごとに個別に設定できます。設定値が大きいほど、動きを感知しやすくなります。
 現在の設定値（1（低い）～15（高い））はスライダーバーの下に表示されます。
初期設定：8
- 【削除】 ボタン**

削除したいエリアのボタンをクリックすると、エリア枠を削除します。

- **【照明検出抑止】**

照明の明るさなどの変化による動作検知を行わないように設定するかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定：Off

重要

- 照明の明るさなどの変化が小さい場合、抑止できない場合があります。
 - 照明検出抑止を「On」に設定し、画面全体に動きがある被写体を検知した場合、動作検知を行わないことがあります。
- **【エリアNo通知】**
「独自アラーム通知設定へ」をクリックすると、アラームページの [通知] タブが表示されます。
(→176 ページ)

2.7.6 動作検知エリアを設定する [動作検知エリア]

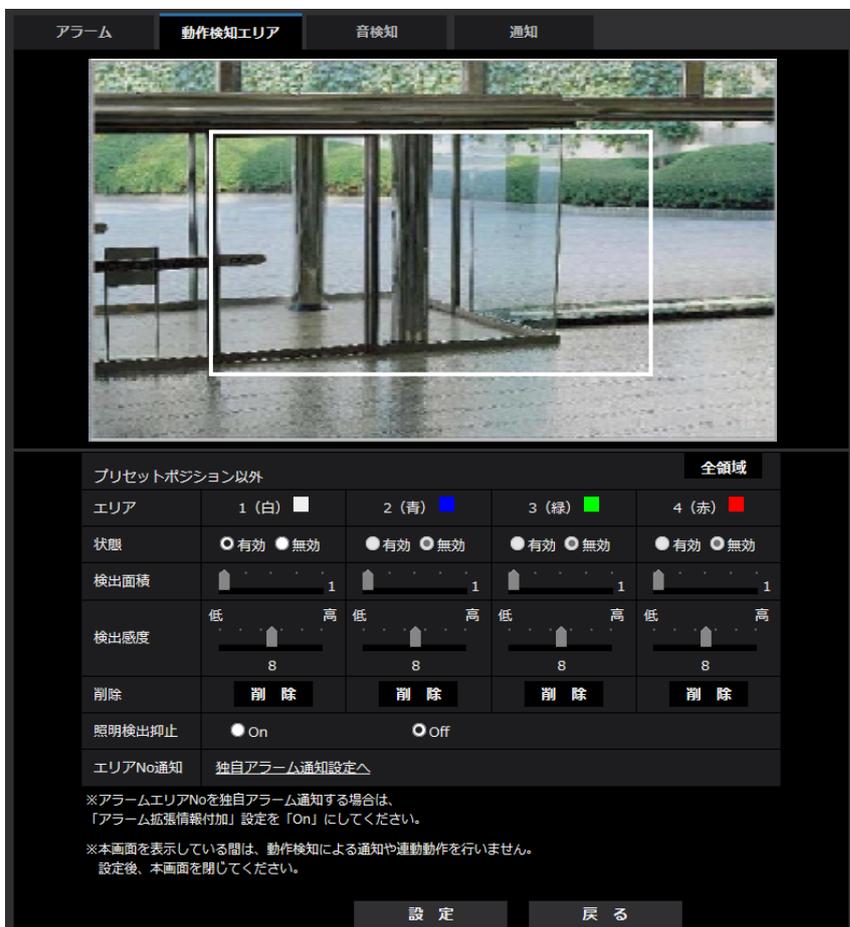
動作検知エリアを設定します。

重要

- 設定画面で設定を変更中はすべてのアラームを検出しません。設定完了後は、設定画面を閉じてください。

1 画像上でマウスをドラッグし、エリアを指定します。

→ 指定した場所がエリア「1（白）」に設定され、枠が表示されます。エリアはエリア番号の1番から順に設定されます。エリア番号の横の色は、対応する枠の色を表しています。また、エリアに設定する枠色の「状態」が「有効」になります。



2 「検出面積」「検出感度」をスライダバーで設定します。「検出面積」「検出感度」については、168 ページをお読みください。

表示されているエリアと検出感度での動き検出状況が「検出面積」に表示されます。必要に応じてエリアや「検出面積」「検出感度」を変更します。

3 設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックします。

重要

- [設定] ボタンをクリックしないと設定内容が確定されません。

4 動作検知エリアを無効にする場合は、該当するエリアの「状態」を「無効」に変更し、[設定] ボタンをクリックします。

→ 無効になった枠色が点線になります。無効に設定すると、エリア内に変化があってもアラームは発生しません。

5 動作検知エリアを削除する場合は、削除するエリアの [削除] ボタンをクリックします。

→ 削除したエリアの枠が消去されます。

- 6 [設定] ボタンをクリックします。
→ 設定内容が本機に反映されます。
- 7 [戻る] ボタンをクリックします。
→ ポジション選択画面に戻ります。

2.7.7 音検知に関する設定を行う [音検知]

アラームページの [音検知] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、音検知に関する設定を行います。設定された音量のしきい値を超えると、アラーム動作を行います。

音検知の音量しきい値は10段階で調整できます。

重要

- 音検知機能を使用して音声を検出したときには、音検知したことがわかるように、アラーム発生通知ボタンを表示します。(→13 ページ)
- 端子アラームでアラーム入力を受け付けた場合や、コマンドアラームを受け付けた場合にも、アラーム発生通知ボタンが表示されます。
- 基本ページの [基本] タブで「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している(→71 ページ)場合でも、ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。
- 音検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。万一発生した事故または損害に対する責任は一切、負いかねます。
- 設定画面で設定を変更中はすべてのアラームを検出しません。設定完了後は、設定画面を閉じてください。



① プレビュー

設定と実際の音検知の状況をプレビュー表示します。

• 【音検知】

音検知を行うかどうかをOn/Offで設定します。

On：音検知を行います。

Off：音検知を行いません。

初期設定：Off

お知らせ

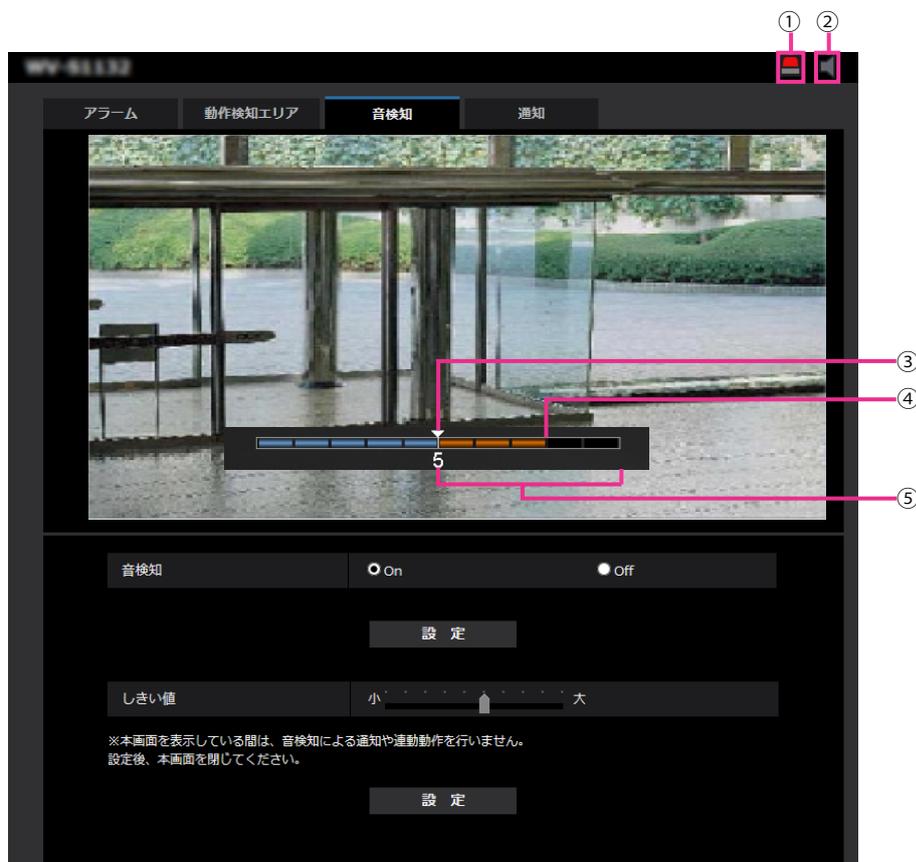
• 音検知の音量は、映像／音声ページの [音声] タブの「音量」で変更できます。(→149 ページ)

• 【しきい値】

音検知する場合に、カメラの周辺で音があったかどうかを判断するための基準値を設定します。

大きな音だけを検知したいときは、しきい値を高く、小さな音も検知したいときは、しきい値を低く設定してください。

しきい値を設定する



① アラーム発生通知ボタン

② 受話ボタン

③ しきい値

④ 現在の音量レベル

⑤ 検知する音量範囲

1 しきい値と現在の音量レベルを確認します。

→ 映像／音声ページの [音声] タブの「音量」で設定されている音量レベルがプレビューに表示されます。

2 検知したい音量がしきい値を超えるように、「しきい値」をスライダバーで設定します。

3 必要に応じて、映像／音声ページの [音声] タブの「音量」で調整します。(→149 ページ)

→ 画面の下部に、設定と実際の音検知の状況が表示されます。音量レベルがしきい値を超えると赤のバーが表示され、音検知したことを表します。

さらに設定が必要であれば手順2から繰り返してください。

お知らせ

- 周囲の雑音などで誤検知することがあります。
- 音の大きさ（音量）のみで検知する方式であり、音の種類には関係ありません。

2.7.8 アラーム通知に関する設定を行う [通知]

アラームページの [通知] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)
ここでは、独自アラーム通知、HTTPアラーム通知に関する設定を行います。

2.7.8.1 独自アラーム通知について設定する

The screenshot shows the '通知' (Notification) tab in a settings application. The main heading is '独自アラーム通知 | HTTPアラーム通知'. Below this, there are several sections for configuring independent alarm notifications.

独自アラーム通知 (Independent Alarm Notification) Settings:

- 独自アラーム通知: On Off
- アラーム拡張情報付加: On Off
- 通知先ポート番号: 1818 (1-65535)
- リトライ回数: 2 (dropdown menu)

独自アラーム通知先 (Independent Alarm Notification Destinations) Table:

通知先	アラーム 診断	通知先アドレス	削除
通知先 1	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	[Redacted]	削除
自動追尾連携設定	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	アラームエリアNo [dropdown]	
通知先 2	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	[Redacted]	削除
自動追尾連携設定	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	アラームエリアNo [dropdown]	
通知先 3	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	[Redacted]	削除
自動追尾連携設定	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	アラームエリアNo [dropdown]	
通知先 4	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	[Redacted]	削除
自動追尾連携設定	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	アラームエリアNo [dropdown]	
通知先 5	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	[Redacted]	削除
自動追尾連携設定	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	アラームエリアNo [dropdown]	
通知先 6	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	[Redacted]	削除
自動追尾連携設定	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	アラームエリアNo [dropdown]	
通知先 7	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	[Redacted]	削除
自動追尾連携設定	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	アラームエリアNo [dropdown]	
通知先 8	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	[Redacted]	削除
自動追尾連携設定	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	アラームエリアNo [dropdown]	

入力例: 192.168.0.10

Bottom button: 設定 (Settings)

独自アラーム通知

- [独自アラーム通知]

以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかをOn/Offで設定します。

- アラーム発生時（独自アラーム通知先「アラーム」欄）
- SDメモリーカード残容量通知時（独自アラーム通知先「診断」欄）
- SDメモリーカードの空き容量不足時（独自アラーム通知先「診断」欄）
- SDメモリーカードの認識エラー時（独自アラーム通知先「診断」欄）

初期設定：Off

お知らせ

- 独自アラームの通知は、「通知先1」から順に通知されます（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。

- **【アラーム拡張情報付加】**

動作検知アラームの検出エリア番号を独自アラームで通知するかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定：Off

- **【通知先ポート番号】**

独自アラーム通知先の受信ポート番号を設定します。

設定可能範囲：1～65535

初期設定：1818

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

- **【リトライ回数】**

独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を設定します。

設定可能範囲：0～30

初期設定：2

独自アラーム通知先

- **【通知先 1】～【通知先 8】**

独自アラーム通知先をIPアドレスまたはホスト名で設定します。通知先は8件まで設定できます。

「アラーム」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、通知します。

「診断」欄：チェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知、SDメモリーカードの空き容量不足、SDメモリーカード認識エラーを通知します。

「通知先アドレス」欄：通知先のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の「削除」ボタンをクリックします。

- **【自動追尾連携設定】**

自動追尾連携設定を行うかどうかをOn/Offで設定します

「自動追尾連携設定」を「On」に設定した場合、アラームエリア番号が自動追尾アラームで設定した「アラームエリア」の番号と合致するときのみ、アラーム通知を実施します。自動追尾アラーム以外のアラーム通知は実施しません。自動追尾連携機能を使用する場合、自動追尾での「自動追尾アラーム」を「On（アラームエリア侵入時）」に設定してください。（→139 ページ）

初期設定：Off

- **【アラームエリアNo.】**

設定可能範囲：1～4

初期設定：1

重要

- 「通知先アドレス」のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの [ネットワーク] タブで DNSの設定を行う必要があります。(→191 ページ)
- 通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しない場合、独自アラーム通知の遅延や送信抜けが発生することがあります。

2.7.8.2 HTTPアラーム通知について設定する

HTTPアラーム通知		アラーム	
通知先 1	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 2	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 3	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 4	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	
通知先 5	<input type="checkbox"/>	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ		/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01	

設定

HTTPアラーム通知

- 【通知先 1】～【通知先 5】**
 HTTPアラーム通知するHTTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名で設定します。通知先は5件まで設定できます。
入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」
初期設定：http://
入力例：http://IPアドレス:ポート番号、または、http://ホスト名:ポート番号
- 【アラーム】欄**
 チェックを入れると、アラーム発生時、HTTPアラーム通知を行います。
- 【削除】ボタン**
 このボタンをクリックすると、その項目に設定されている通知先、ユーザー名、パスワード、通知データがすべて削除されます。
- 【ユーザー名】**
 HTTPサーバーにアクセスするユーザー名を入力します。
入力可能文字数：0～63文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」
- 【パスワード】**

HTTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～63文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

- **【通知データ】**

【通知先 1】～【通知先 5】に設定したHTTPサーバーの後ろに付加する通知内容を設定します。

入力可能文字：半角英数字、半角記号

初期設定：/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01

お知らせ

- 通知先（「http://」を含む）と「通知データ」を合わせた文字数は、256文字までに制限されます。
- 「通知データ」は、必ずスラッシュ（/）から入力してください。
- HTTPアラーム通知に失敗した場合は、システムログに記載されます。
- 「通知データ」を空白にして【設定】ボタンを押しても、「/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01」が設定されます。
- HTTPSでのアラーム通知はできません。

例：

通知先に「http://192.168.0.100」、【通知データ】に「/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01」と設定した場合、「http://192.168.0.100/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01」というHTTPアラーム通知が実行されます。

2.8 認証を設定する [ユーザー管理]

ユーザー管理ページでは、PCや携帯電話・携帯端末から本機にアクセスできるユーザーやPC（IPアドレス）を制限する認証登録を行います。

ユーザー管理ページは、[ユーザー認証] タブ、[ホスト認証] タブ、[IEEE 802.1X] タブ、[データ暗号] タブで構成されています。

2.8.1 ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]

ユーザー管理ページの [ユーザー認証] タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ）

ここでは、PCや携帯電話・携帯端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。最大24ユーザーまで登録できます。

お知らせ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

ユーザー認証 ホスト認証 IEEE 802.1X データ暗号

ユーザー認証 On Off

未登録ユーザー 使用する 使用しない

認証方式 Digest

設定

ユーザー登録 --新規登録-- 変更 削除

ユーザー名(1~32文字) _____

パスワード(8~32文字) _____

パスワード確認 _____

アクセスレベル 3.ライブ画表示

登録

お知らせ

(1)大文字、小文字を区別して入力してください。
(2)ユーザー名の入力不可文字は次の通りです。 全角、半角記号 " & ; ¥
(3)パスワードの入力不可文字は次の通りです。 全角、半角記号 " &
(4)パスワードは英字（大文字）、英字（小文字）、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。
(5)ユーザー名、パスワードは忘れないように保管してください。
(6)パスワードは定期的に変更してください。
(7)パスワードはユーザー名を含まないように設定してください。

機能許可設定

アクセスレベル	カメラ制御	ライブ画表示	未登録ユーザー
ライブ画選択	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
聞く	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
話す	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
画像更新間隔	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スナップショット	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
録画再生(ログ表示)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
手動録画 / 録画削除	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
プリセット	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
パン/チルト操作	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ズーム操作	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フォーカス操作	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自動モード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
明るさ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
AUX	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定

- **【ユーザー認証】**
ユーザー認証をするかどうかをOn/Offで設定します。
初期設定：On
- **【未登録ユーザー】**
未登録ユーザーを設定するかどうかを選択します。「使用する」を選択すると、ユーザー認証されていない未登録のユーザーに対し、使用できる機能と使用できない機能を設定できます。
初期設定：使用しない
- **【認証方式】**
ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

Digest or Basic : ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。

Digest : ダイジェスト認証を使用します。

Basic : ベーシック認証を使用します。

初期設定 : Digest

お知らせ

- セキュリティ性確保のため、「認証方式」には「Digest」をおすすめします。「Digest or Basic」または「Basic」の場合、「ユーザー名」および「パスワード」が漏えいする可能性があります。
- [認証方式] の設定を変更した場合は、ウェブブラウザを閉じて、アクセスし直してください。
- システム機器について（弊社ネットワークディスクレコーダーなど）対象の製品品番とファームウェアのバージョンは、下記のパナソニックサポートウェブサイトを参照ください。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号 : C0701>

• [ユーザー登録]

新規登録時は、[ユーザー名] に新規ユーザー名を登録します。「ユーザー登録」の [▼] をクリックすると、登録されているユーザーを確認できます。登録ユーザーは「登録したユーザー名 [アクセスレベル]」で表示されます。（例 : admin [1]）

右の[変更]ボタンをクリックすると、選択したユーザーが[ユーザー名] に表示され、パスワードを変更することができます。右の [削除] ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

• [ユーザー名]

ユーザー名を入力します。

入力可能文字数 : 1~32文字

入力不可文字 : 全角、半角記号 ["] [&] [:] [;] [¥]

初期設定 : 空欄

お知らせ

- 登録済みのユーザー名を入力し、[登録] ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。

• [パスワード] / [パスワード確認]

パスワードを入力します。

入力可能文字数 : 8~32文字

入力不可文字 : 全角、半角記号 ["] [&]

初期設定 : 空欄

お知らせ

- 大文字、小文字を区別して入力してください。
- パスワードは英字大文字、英字小文字、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。
- パスワードはユーザー名を含まないように設定してください。

• [アクセスレベル]

ユーザーのアクセスレベルを以下から設定します。

1.管理者 : 本機のすべての操作を行うことができます。

2.カメラ制御 : アクセスレベルをカメラ制御に設定します。「機能許可設定」で選択した機能进行操作できます。

3.ライブ画表示 : アクセスレベルをライブ画表示に設定します。「機能許可設定」で選択した機能进行操作できます。

初期設定 : 3.ライブ画表示

- **【機能許可設定】**

ユーザーのアクセスレベル（カメラ制御、ライブ画表示、未登録ユーザー）によって使用できる機能を選択します。

初期設定：

- カメラ制御：すべてにチェックあり
- ライブ画表示：すべてにチェックなし
- 未登録ユーザー：すべてにチェックなし

お知らせ

- 「ユーザー認証」を「Off」に設定し、「未登録ユーザー」を「使用しない」に設定した場合：「機能許可設定」の項目は設定できません。また、ライブ画での操作ボタンはすべて表示されますが、[設定] ボタンに関しては認証が必要になります。
- 「ユーザー認証」を「Off」に設定し、「未登録ユーザー」を「使用する」に設定した場合：「未登録ユーザー」の項目が設定できます。
- 「ユーザー認証」を「On」に設定した場合：「未登録ユーザー」の項目は設定できません。

以下の機能を設定できます。

ライブ画選択	ライブ画で表示する画像を選択する権限
聞く	受話音声（PCで聞く）の設定権限（→18 ページ）
話す	送話音声（PCから話す）の設定権限（→18 ページ）
画像更新間隔	JPEG形式の画像を更新する間隔の設定権限（→14 ページ）
スナップショット	スナップショットの操作権限（→17 ページ）
録画再生（ログ表示）	ログ表示の操作権限（→15 ページ）
手動録画／録画削除	SDメモリーカード保存／削除権限（→14 ページ）
プリセット	プリセットポジション移動の操作権限（→17 ページ）
パン／チルト操作	パン／チルトの操作権限（→16 ページ）
ズーム操作	ズームの操作権限（→15 ページ）
フォーカス操作	フォーカスの操作権限（→15 ページ）
自動モード	自動モードの操作権限（→15 ページ）
明るさ	明るさの設定権限（→17 ページ）
AUX	AUXの設定権限（→14 ページ）

2.8.2 ホスト認証を設定する【ホスト認証】

ユーザー管理ページの【ホスト認証】タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ）

ここでは、本機にアクセスできるPC（IPアドレス）を制限するホスト認証設定を行います。

- **【ホスト認証】**

ホスト認証をするかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定：Off

お知らせ

- PCのIPアドレスを登録してから、「ホスト認証」を「On」に設定してください。
- ホスト認証の設定に関係なく、ユーザー認証が「On」の場合はユーザー認証が必要となります。

- **【IPアドレス】**

本機へのアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。ホスト名をIPアドレスとして入力することはできません。

お知らせ

- 「IPアドレス/サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるPCを制限できます。
例えば、「192.168.0.1/24」と入力し、アクセスレベルで「2.カメラ制御」を選択した場合は、「192.168.0.1」～「192.168.0.254」のPCが「2.カメラ制御」のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
- 登録済みのIPアドレスを入力し、[登録] ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。
- 「アドレスを設定してください」というエラーメッセージが発生した場合、PCのIPアドレスが正しく設定されていない可能性がありますので、設定されているPCのIPアドレスを再確認ください。

- **【アクセスレベル】**

ホストのアクセスレベルを以下から選択します。

1.管理者/2.カメラ制御/3.ライブ画表示

アクセスレベルについては180 ページをお読みください。

初期設定：3.ライブ画表示

- **【ホスト確認】**

「ホスト確認」の [▼] をクリックすると、登録されているホストのIPアドレスを確認できます。

ホストは「登録したIPアドレス [アクセスレベル]」で表示されます。(例：192.168.0.21 [1])

右の [削除] ボタンをクリックすると、選択したホスト (IPアドレス) を削除できます。

2.8.3 IEEE 802.1Xを設定する [IEEE 802.1X]

ユーザー管理ページの [IEEE 802.1X] をクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、IEEE 802.1Xに関する設定を行います。

本機能は、認証LANスイッチを使用してセキュアなネットワーク環境を構築する場合に使用できます。認証LANスイッチについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

「EAP方式」により手順が異なりますので、下記の手順で設定してください。「IEEE 802.1X」が「On」の場合、「Off」にしてから設定を始めてください。

- [IEEE 802.1X]**
 IEEE 802.1Xによるポート認証を行うかどうかをOn/Offで設定します。
初期設定：Off
- [ユーザー名]**
 認証LANスイッチにアクセスするユーザー名を入力します。
入力可能文字数：1～32文字
入力不可能文字：全角、半角英数「|」「&」「:」「;」「¥」
- [パスワード]**
[パスワード確認]
 認証LANスイッチにアクセスするパスワードを入力します。
入力可能文字数：4～32文字
入力不可能文字：全角、半角英数「|」「&」
- [CA 証明書] - [証明書インストール]**
 ルートCA 証明書をインストールします。中間CA証明書を含まないでください。
 [IEEE802.1X] が「Off」のときのみ、インストールができます。
■CA証明書の仕様

項目	仕様	備考
データ形式	PEM形式または、DER形式	拡張子pem、または、der
PEM形式に含まれる証明書の最大数	1個	
証明書の最大サイズ	約10Kbyte	

- **[CA 証明書] - [情報]**

未インストール：証明書がインストールされていない

CA証明書のホスト名：インストール済みの場合に表示

有効期限切れ：証明書の有効期限切れ

「確認」ボタンにより、CA 証明書の詳細を確認できます。

お知らせ

- CA証明書の有効期限が切れていないことを確認してください。期限切れの証明書をご使用の場合、認証LANスイッチに接続できないことがあります。

- **[秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書] - [インストール]**

秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書をインストールします。

[IEEE802.1X] が「Off」のときのみ、インストールができます。

■秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書の仕様

項目	仕様	備考
データ形式	PEM形式または、PFX形式	拡張子pem、または、pfx
鍵長 [bit]	1024/1536/2048 /3072/4096	
PEM形式に含まれる証明書の最大数	6個	
証明書の最大サイズ (中間CA証明書を含む)	約10Kbyte	

- **[秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書] - [パスワード]**

秘密鍵が暗号化されている場合、または、PFX 方式のクライアント証明書にパスワードが設定されている場合はパスワードを入力します。暗号化されていない場合は空欄にしてください。

入力可能文字数：0～30文字

- **[秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書] - [秘密鍵インストール状態]**

未インストール：インストールされていない場合

インストール済：インストール済みの場合

- **[クライアント証明書] - [インストール]**

クライアント証明書をインストールします。

中間CAによって署名されている場合は、クライアント証明書に中間CA証明書を含めてインストールしてください。

[IEEE802.1X] が「Off」のときのみ、インストールができます。

■クライアント証明書の仕様

項目	仕様	備考
データ形式	PEM形式	拡張子pem
PEM形式に含まれる証明書の最大数	6個	
証明書の最大サイズ (中間CA証明書を含む)	約10KByte	

- **[クライアント証明書] - [情報]**

未インストール：証明書がインストールされていない

証明書のホスト名：インストール済みの場合に表示

有効期限切れ：証明書の有効期限切れ

「確認」ボタンにより、クライアント証明書の詳細を確認できます。

お知らせ

- クライアント証明書の有効期限が切れていないことを確認してください。期限切れの証明書をご使用の場合、認証LANスイッチに接続できないことがあります。

- **[EAP方式]**

認証方式を「EAP-MD5」、「EAP-PEAP」、「EAP-TLS」から選択します。

EAP-MD5/EAP-PEAP

1. [IEEE 802.1X]で「On」を選択します。
2. [EAP 方式]で「EAP-MD5」または「EAP-PEAP」を選択します。
3. [ユーザー名]と[パスワード]/ [パスワード確認]を入力し、[設定]をクリックします。

EAP-TLS

1. [CA 証明書]の[証明書インストール]の参照ボタンをクリックし、CA 証明書を選択し、[実行]ボタンをクリックします。
[情報]に「インストール済み」が表示されます。
2. [秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書]の参照ボタンをクリックし、秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書を選択します。
3. 秘密鍵が暗号化されている場合、または、PFX 方式のクライアント証明書にパスワードが設定されている場合は[パスワード]を入力します。暗号化されていない場合は空欄にしてください。
4. [実行]をクリックし、インストールする。
[秘密鍵インストール]に「インストール済み」が表示されます。
[秘密鍵を含むクライアント証明書]の場合は、[クライアント証明書]の[情報]にも「インストール済み」が表示されます。
5. 手順2で秘密鍵をインストールした場合は、[クライアント証明書]の参照ボタンをクリックし、クライアント証明書を選択し、[実行]ボタンをクリックします。
[情報]に「インストール済み」が表示されます。
6. [IEEE802.1X]で「On」をチェックし、[EAP 方式]で「EAP-TLS」を選択します。
7. [ユーザー名]にサーバーに登録されたユーザー名を入力し、[設定]ボタンをクリックします。
サーバーに登録されていない場合は、任意のユーザー名を入力してください。
[パスワード]/[パスワード確認]を入力する必要はありません。

お知らせ

- 各証明書を削除する場合は、[IEEE 802.1X]を「Off」に設定してください。

- CA証明書、クライアント証明書の有効期限が切れていないことを、ご確認ください。有効期限が切れている場合、ポート認証機能が使用できないことがあります。

「CA 証明書の確認画面」の例

CA証明書 - 確認	
ホスト名	192.168.1.1
国名	JP
都道府県名	Chiba
市区町村名	Yokohama
組織名	Example
部署名	Development
閉じる	

「クライアント証明書の確認画面」の例

クライアント証明書 - 確認	
ホスト名	192.168.1.1
国名	JP
都道府県名	Chiba
市区町村名	Yokohama
組織名	Example
部署名	Development
閉じる	

重要

- [IEEE 802.1X] で「On」に設定した後に、何らかの原因でカメラにアクセスできない場合は、認証なしスイッチまたはポートに接続してください。IEEE802.1Xが無効になり、カメラにアクセスできるようになります。
- クライアント証明書が中間CA証明書を含む場合、先頭にクライアント証明書があり、その次に中間CA証明書の順番である必要があります。
- 10Kバイトを超えた証明書をインストールした場合、インストール時にエラーは表示されませんが、接続時にエラーが発生することがあります。

2.8.4 データ暗号を設定する [データ暗号]

ユーザー管理ページの [データ暗号] をクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、データ暗号に関する設定を行います。

設定画面の左側にある+印をクリックすると、項目が展開され詳細な設定ができるようになります。

展開された各項目の左側にある－印をクリックすると、項目が展開される前の画面に戻ります。



- 【データ暗号 (一括変更)】**
 データ暗号を有効にするかどうかをOn/Offで設定します。
On：データ暗号を有効にします。ストリーム (1)、ストリーム (2)、JPEG(1)、JPEG(2)、JPEG(3)、及び音声の「AAC-LC」を暗号化します。
Off：データ暗号を無効にします。
初期設定：Off
- 【ストリーム(1)】、【ストリーム(2)】、【JPEG(1)】、【JPEG(2)】、【JPEG(3)】**
 ストリーム(1)、ストリーム(2)、JPEG(1)、JPEG(2)、JPEG(3)を個別にデータ暗号を有効にするかどうかをOn/Offで設定します。
初期設定：Off
- 【暗号化パスワード】、【暗号化パスワード再入力】**
 データ暗号化のパスワードを設定します。
入力可能文字数：4～16文字
入力不可文字：全角、半角記号「!」「&」

重要

- 初期パスワードは、[バージョンアップ] 画面に表示されている「シリアル番号」になっています。データ暗号を使用する際は、必ずパスワードを変更してください。
- データ暗号を「On」に設定すると、「ストリーム(3)」「ストリーム(4)」が「Off」になります。
- 撮像モードが「3メガピクセル[4:3] (30fpsモード)」の場合、「データ暗号 (一括変更)」を「On」に設定すると、JPEGおよびストリームの「2048x1536」は選択できなくなります。
- データ暗号を「On」に設定する場合、ストリームの合計ビットレートが16 Mbps以下となるように設定することを推奨します。
- データ暗号を「On」に設定すると、ライブ画ページのスナップショットボタンが表示されなくなります。
- JPEGのデータ暗号を「On」に設定すると、携帯電話、携帯端末で映像を閲覧することができなくなります。また、データ暗号が「On」に設定されているJPEGは、ライブ画ページの「画像更新間隔」が表示されません。
- データ暗号化されたMP4ファイル、およびJPEG画像は、ブラウザの再生ページでは閲覧することができません。PCにダウンロードして復号ツールを使用して確認してください。復号ツールについては、付属CD-ROMの「Readme.txt」または、パナソニックのサポートウェブサイト (<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0310>) を参照してください。
- データ暗号を「On」に設定すると、[音声] タブの [受話音声圧縮方式] が「AAC-LC」の場合、音検知画面で音声聞こえなくなります。

- データ暗号を「On」に設定すると、マルチスクリーンの「画像更新間隔」の「静止画更新」が表示されません。

お知らせ

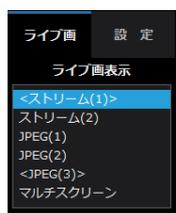
- データ暗号が「On」に設定されたストリームを閲覧するには、プラグインソフトウェアをインストールする必要があります。
- データ暗号が「On」に設定されたストリームをライブ画ページで確認すると、復号化のためのパスワード入力が表示されます。設定した「暗号化パスワード」を正しく入力すると、映像を閲覧できるようになります。「音声配信モード」が「受話」または「双方向（全二重）」「双方向（半二重）」の場合、パスワードを入力するまでの間、音声のみが再生されることがあります。



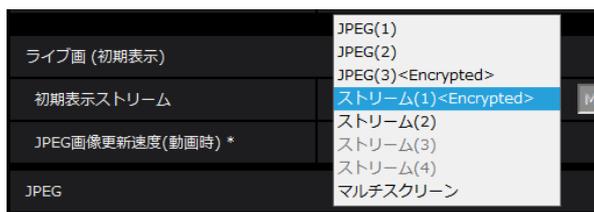
- ［ライブ画表示］プルダウンメニューでは、データ暗号が有効なストリームは<>に囲まれて表示されます。また、設定画面内プルダウンメニューでは、データ暗号が有効なストリームは<Encrypted>と表示されます。

例: ストリーム(1)とJPEG(3)がデータ暗号化されている場合

- ライブ画面の［ライブ画表示］プルダウンメニュー



- 設定画面内の［ライブ画表示］プルダウンメニュー



- 「データ暗号（一括変更）」が「On」の場合、音声の「AAC-LC」はデータ暗号されます（「G.726」「G.711」はデータ暗号されません）。映像と音声を両方暗号化するには、「データ暗号（一括変更）」を「On」に設定し、音声の「受話音声圧縮方式」を「AAC-LC」に設定してください。
- 暗号化されたMP4ファイル、およびJPEG画像については、復号ツールを使用して映像を確認することができます。

2.9 ネットワークの設定 [ネットワーク]

ネットワークページでは、ネットワークに関する設定を行います。
ネットワークページは、[ネットワーク] タブ、[アドバンス] タブで構成されています。

2.9.1 ネットワークを設定する [ネットワーク]

ネットワークページの [ネットワーク] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。

ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTPポート
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）

ネットワーク		アドバンス	
IPv4ネットワーク			
接続モード	自動設定(おまかせ) ▼		
IPアドレス(IPv4)	192	. 168	. 0 . 10
サブネットマスク	255	. 255	. 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192	. 168	. 0 . 10
DNS	<input checked="" type="radio"/> Auto <input type="radio"/> Manual		
プライマリサーバーアドレス	0	. 0	. 0 . 0
セカンダリサーバーアドレス	0	. 0	. 0 . 0
IPv6ネットワーク			
手動設定	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
IPアドレス(IPv6)			
デフォルトゲートウェイ			
DHCPv6	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
DNSプライマリサーバーアドレス			
DNSセカンダリサーバーアドレス			
IPv6/v4共通			
HTTPポート番号	80	(1-65535)	
通信速度	Auto ▼		
RTPパケット 最大送信サイズ	<input type="radio"/> 制限なし(1500byte) <input checked="" type="radio"/> 制限あり(1280byte)		
HTTPの最大セグメントサイズ	制限なし(1460byte) ▼		
配信量制御 (ビットレート)	51200kbps ▼		
IP簡単設定有効期間	<input type="radio"/> 20分間 <input checked="" type="radio"/> 無制限		
カメラへのFTPアクセス	<input checked="" type="radio"/> 許可 <input type="radio"/> 禁止		
設 定			

IPv4ネットワーク

[接続モード]

IPアドレスの設定方法を選択します。

固定IP：IPアドレスを「IPアドレス(IPv4)」に入力して設定します。

DHCP：DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。

自動設定(AutoIP)：DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、自動でIPアドレスを設定します。

自動設定(おまかせ)：DHCP機能を利用してネットワークアドレス情報を参照し、使用していないIPアドレスを固定IPアドレスとしてカメラへ設定します。設定されるIPアドレスはサブネットマスクの範囲内でカメラが自動で決定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、IPアドレスを192.168.0.10に設定します。

初期設定：自動設定(おまかせ)

お知らせ

- 自動設定 (AutoIP) で、DHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合は、169.254.1.0～169.254.254.255の間で同一ネットワーク内で使用されていないIPアドレスを検索してIPアドレスを設定します。

[IPアドレス(IPv4)]

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。PCや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

初期設定：192.168.0.10

お知らせ

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

[サブネットマスク]

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

初期設定：255.255.255.0

[デフォルトゲートウェイ]

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

初期設定：192.168.0.1

お知らせ

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

[DNS]

DNSサーバーのアドレスを自動 (「Auto」) で取得するか、手動で入力する (「Manual」) かを設定します。「Manual」に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。

DHCP機能を使用する場合は、「Auto」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

初期設定：Auto

[プライマリーサーバーアドレス]、[セカンダリーサーバーアドレス]

「DNS」を「Manual」で使用する場合、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。

DNSサーバーのIPアドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

IPv6ネットワーク

[手動設定]

IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn/Offで設定します。

On：手動でIPv6アドレスを入力します。

Off：IPv6アドレスの手動入力できません。

初期設定：Off

[IPアドレス(IPv6)]

「手動設定」を「On」に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。他の機器と重複しないように入力してください。

お知らせ

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるブリフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

[デフォルトゲートウェイ]

IPv6ネットワークの「手動設定」が「On」のとき、本機のIPv6ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。

初期設定：空欄

[DHCPv6]

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn/Offで設定します。

DHCP機能を使用しないPCと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

初期設定：Off

[DNSプライマリーサーバーアドレス]、[DNSセカンダリーサーバーアドレス]

DNSサーバーのIPv6アドレスを入力します。DNSサーバーのIPv6アドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

IPv6/v4共通

[HTTPポート番号]

ポート番号を個別に割り当てます。

設定可能ポート番号：1～65535

初期設定：80

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000

[通信速度]

データの通信速度を以下から選択します。通常は、初期設定の「Auto」のまま使用することをお勧めします。

Auto：通信速度が自動設定されます。

100 M-Full：100 Mbps 全二重

100 M-Half：100 Mbps 半二重

10 M-Full：10 Mbps 全二重

10 M-Half：10 Mbps 半二重

初期設定：Auto

[RTPパケット 最大送信サイズ]

RTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信するRTPパケットサイズを制限するかどうかを設定します。通常は、「制限なし（1500 byte）」のまま使用することをお勧めします。

使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、「制限あり（1280 byte）」を選択してください。通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

初期設定：制限なし（1500 byte）

【HTTPの最大セグメントサイズ】

HTTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ（MSS）を制限するかどうかを設定します。通常は、初期設定のまま使用することをお勧めします。

使用する通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）が制限されている場合は、「制限あり（1024 byte）」／「制限あり（1280 byte）」を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

初期設定：制限なし（1460 byte）

【配信量制御(ビットレート)】

データの配信量を以下から選択します。

制限なし／64 kbps／128 kbps／256 kbps／384 kbps／512 kbps／768 kbps／1024 kbps／2048 kbps／4096 kbps／6144 kbps／8192 kbps／10240 kbps／15360 kbps／20480 kbps／25600 kbps／30720kbps／35840kbps／40960 kbps／51200kbps

初期設定：51200kbps

お知らせ

- 「64 kbps」を選択した場合は、[音声] タブの「音声配信モード」を「Off」に設定してください。（→149 ページ）
- JPEG画像のライブ画像配信とFTP定期送信を同時に動作させるには、「128 kbps」以上のビットレートを選択してください。
- 「配信量制御(ビットレート)」を低く設定した場合、使用環境によっては、スナップショットボタンが動作しない場合があります。その場合は、ライブ画面ページで「JPEG」を選択し、最も小さい解像度を配信する状態でスナップショットを実行してください。

【IP簡単設定有効期間】

IP簡単設定ソフトウェアからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから20分間／無制限のどちらかに設定します。

20分間：IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を、本機起動後20分間のみ有効にします。

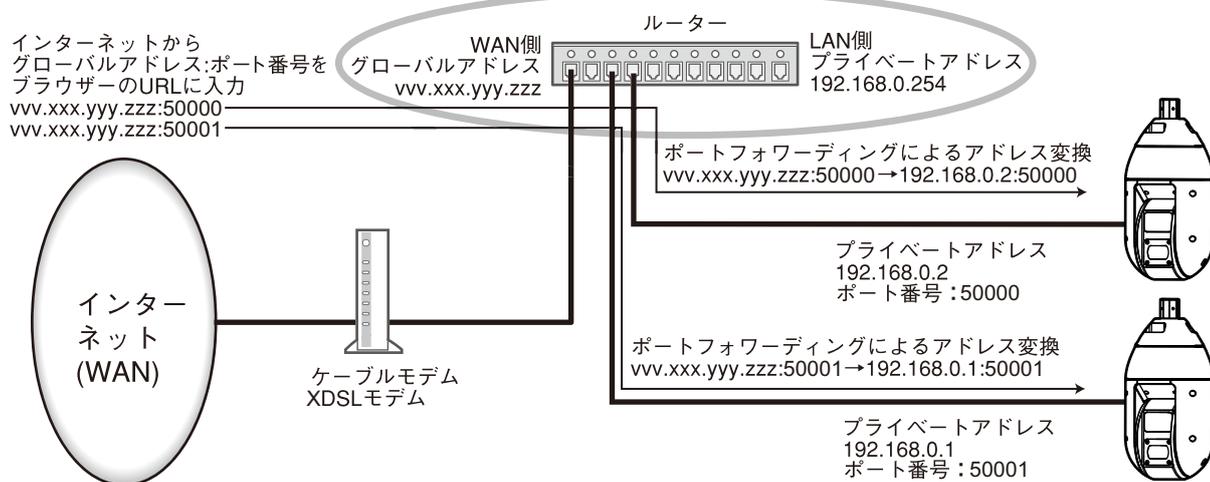
無制限：IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を常時有効にします。

初期設定：20分間

お知らせ

- IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ表示は常時有効で、カメラ画面を開くことができます。
- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換（NAT）」などがあります。この機能はルーターに設定します。

- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。



[カメラへのFTPアクセス]

カメラへのFTPアクセスを許可するかどうかを許可／禁止で選択します。

初期設定：禁止

重要

- FTPアクセスを許可すると、PC から本機へのアクセス時に認証情報（ユーザー名、パスワード）が漏えいする可能性があります。

2.9.2 ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス]

ネットワークページの [アドバンス] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、SMTP (メール)、FTP、NTP、UPnP、HTTPS、DDNS、SNMP、QoS機能について設定します。

各項目へのリンクをクリックすると、それぞれの設定ページに移動します。

2.9.2.1 メール送信について設定する

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) FTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS			
SMTP(メール)			
メール通知	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
画像添付	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
解像度	JPEG(2) (640x360)		
SMTPサーバーアドレス	入力例: 192.168.0.10		
SMTPポート番号	25 (1-65535)		
POPサーバーアドレス	入力例: 192.168.0.10		
認証	認証方法	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> POP before SMTP <input type="radio"/> SMTP	
	ユーザー名		
	パスワード		
送信者メールアドレス			
SSL	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
メール通知先		通知先メールアドレス	
通知先 1			削除
	<input type="checkbox"/> 端子 1	<input type="checkbox"/> 端子 2	<input type="checkbox"/> 端子 3
通知先 2			削除
	<input type="checkbox"/> 動作検知	<input type="checkbox"/> コマンドアラーム	<input type="checkbox"/> 音検知
通知先 3			削除
	<input type="checkbox"/> 診断	<input type="checkbox"/> 自動追尾	
通知先 4			削除
	<input type="checkbox"/> 端子 1	<input type="checkbox"/> 端子 2	<input type="checkbox"/> 端子 3
メール件名	<input type="checkbox"/> カメラタイトルを使用 <input type="checkbox"/> アラーム要因		
メール本文	<input checked="" type="checkbox"/> アラーム要因 <input checked="" type="checkbox"/> 発生時刻		
	The 4pk alarm was occurred at 4/1/.		
端子名称			
端子1(10文字まで)	Terminal1		
端子2(10文字まで)	Terminal2		
端子3(10文字まで)	Terminal3		
設定			

- [メール通知]

以下の場合にメール通知を行うかどうかをOn/Offで設定します。

- アラーム発生時（メール通知先「アラーム」欄）
- SDメモリーカード残容量通知時（メール通知先「診断」欄）
- SDメモリーカードの空き容量不足時（メール通知先「診断」欄）
- SDメモリーカードの認識エラー時（メール通知先「診断」欄）

初期設定：Off

- **【画像添付】**

アラーム検出によるメール送信時に画像を添付するかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定：Off

- **【解像度】**

アラームメールに添付する画像の解像度を以下から選択します。

JPEG(1)/JPEG(2)/JPEG(3)

初期設定：JPEG(2)

- **【SMTPサーバーアドレス】**

電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

- **【SMTPポート番号】**

メールを送信するポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65535

初期設定：25

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

- **【POPサーバーアドレス】**

「認証方法」で「POP before SMTP」を選択した場合は、POPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

重要

- 「SMTPサーバーアドレス」「POPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの「ネットワーク」タブでDNSの設定を行う必要があります。（→191 ページ）

- **【認証－認証方法】**

メールを送信するときの認証方法を以下から選択します。

なし：認証しません

POP before SMTP：電子メールを送信する前に、メールを受信するPOPサーバーの認証を行います。

SMTP：SMTPサーバーの認証を行います。

初期設定：なし

お知らせ

- 電子メールを送信するための認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- **【認証－ユーザー名】**

サーバーにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数：0～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」

- **【認証パスワード】**

サーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

- **【送信者メールアドレス】**

送信元のメールアドレスを入力します。

入力したメールアドレスは、受信メールの「From (差出人)」欄に表示されます。

入力可能文字数：3～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号「@」「.」「_」「-」

- **【SSL】**

「アラーム通知」や「自己診断通知 (SD)」のメール通知をSSL暗号化して送信する場合には、「On」に設定してください。「On」に設定すると、認証方式は「SMTP」に設定されます。認証用の「ユーザー名」、「パスワード」を設定してください。

初期設定：Off

お知らせ

- SMTPサーバーによってはSSLに対応していない場合があります。
- SMTP over SSL方式に対応しています。STARTTLSには対応していません。
- 「On」に設定した場合、SMTPのポート番号を465に設定する必要がある場合があります。詳細は使用しているプロバイダーに確認してください。

- **【通知先1】～【通知先4】**

通知先のメールアドレスを設定します。通知先は4件まで設定できます。

入力可能文字数：3～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号「@」「.」「_」「-」

設定したメールアドレスを削除したいときは、削除したいメールアドレスの「削除」ボタンをクリックします。

端子1：端子1にアラームが発生したときに、メール通知します。

端子2：端子2にアラームが発生したときに、メール通知します。

端子3：端子3にアラームが発生したときに、メール通知します。

動作検知：動作検知が発生したときに、メール通知します。

音検知：音検知が発生したときに、メール通知します。

コマンドアラーム：コマンドアラームが入力されたときに、メール通知します。

診断：

- SDメモリーカード残容量通知時
- SDメモリーカードの空き容量不足時
- SDメモリーカードの認識エラー時

自動追尾：自動追尾アラームが発生したときに、メール通知します。

お知らせ

- メール通知先「診断」欄をチェックした際に通知される診断メールには、以降で設定する「メール件名」、「メール本文」の内容は反映されません。

- **【メール件名】**

アラームメールの件名を入力します。

入力可能文字数：0～50文字

カメラタイトルを使用：メール件名にカメラタイトルが表示されます。

アラーム要因：メール件名にアラーム要因を追加します。

- **【メール本文】**

アラームメールの本文を入力します。

入力可能文字数：0~200文字

アラーム要因：メール本文にアラーム要因%p%が追加されます。%p%の部分は、アラームが発生した要因に置き換えられて送信されます。

- 動作検知アラームの場合：" VMD"
- 端子アラームの場合：「端子名称」の「端子1」、「端子2」、「端子3」で設定した各端子名称。(例：端子1の名称が「Terminal1」の場合は" Terminal1")
- コマンドアラームの場合：" CMD"
- 音検知アラームの場合：" Audio detection"
- 自動追尾アラームの場合：" Auto track"

発生時刻：メール本文に発生時刻%t%が追加されます。%t%の部分は、アラームが発生した時刻（時：分：秒）に置き換えられて送信されます。

初期設定：

- アラーム要因：チェックあり
- 発生時刻：チェックあり
- メール本文：The %p% alarm was occurred at %t%.

お知らせ

- SDメモリーカードの空き容量がなくなったときは「SDメモリーカードがFULLです。」、SDメモリーカードの認識エラーが発生したときは、「SDメモリーカードが認識できません。」というメール本文で送信されます。
- メール本文に代替文字を記述することで、アラーム発生時の要因種別や発生時刻を自動的に付与することができます。
代替文字 アラーム要因：%p%、発生時刻：%t%
(使用例)
メール本文に以下の文字列を設定したあと、時刻19:13:24に動作検知アラームが発生した場合
メール本文設定：%p%アラームが%t%に発生しました。
送信されるメール本文：["VMD"アラームが19:13:24に発生しました。]
本文が空欄の場合、送信されるメールの言語は、「基本」の「メニュー言語」で決まります。
「日本語」を指定すると日本語、それ以外の設定では英語でメール送信されます。

- **【端子1（10文字まで）】**

メール本文のアラーム要因で使用される端子1の名称を入力します。

入力不可能文字：半角文字「"」「&」

初期設定：Terminal1

- **【端子2（10文字まで）】**

メール本文のアラーム要因で使用される端子2の名称を入力します。

入力不可能文字：半角文字「"」「&」

初期設定：Terminal2

- **【端子3（10文字まで）】**

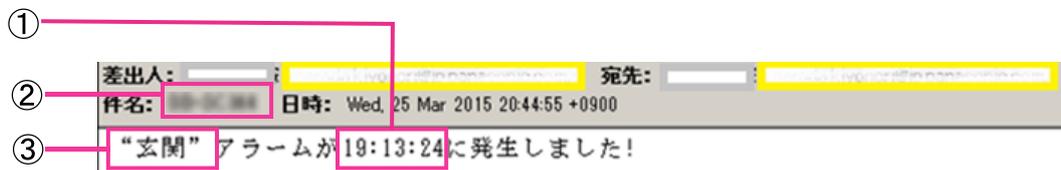
メール本文のアラーム要因で使用される端子3の名称を入力します。

入力不可能文字：半角文字「"」「&」

初期設定：Terminal3

メール通知例

メール件名にてカメラタイトルのチェックボックスを指定、およびメール本文にてアラーム要因/発生時刻のチェックボックスを指定した場合のメール形式



- ① アラーム発生時刻が付与されます。
- ② メール件名にカメラタイトルが使用されます。
- ③ アラーム要因である端子名称1～3で設定した名称が付与されます。

2.9.2.2 FTP送信について設定する

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) FTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS			
FTP			
アラーム画像送信	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
ディレクトリー名	[text input]		
ファイル名	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 2 <input checked="" type="checkbox"/> 端子 3 <input checked="" type="checkbox"/> 動作検知 <input checked="" type="checkbox"/> コマンドアラーム <input checked="" type="checkbox"/> 音検知 <input checked="" type="checkbox"/> 自動追尾		
FTP送信リトライ	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
プレアラーム	画像更新速度 1fps	最大画像枚数 0枚	録画時間 0s
ポストアラーム	画像更新速度 1fps	画像枚数 100枚	録画時間 100s
解像度	JPEG(2) (640x360)		
FTP定期送信			
定期送信	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		
ディレクトリー名	[text input]		
ファイル名	<input checked="" type="radio"/> ファイル名+日時 <input type="radio"/> ファイル名を固定		
送信間隔	15		
解像度	JPEG(2) (640x360)		
FTPサーバーアドレス	[text input] 入力例: 192.168.0.10		
ユーザー名	[text input]		
パスワード	[text input]		
コントロールポート番号	21 (1-65535)		
モード	<input type="radio"/> パッシブモード <input checked="" type="radio"/> アクティブモード		
設 定			

FTP

- **【アラーム画像送信】**
アラームを検出したとき、FTPサーバーへ画像を送信するかどうかをOn/Offで設定します。
初期設定：Off
- **【ディレクトリー名】**
画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。
例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。
入力可能文字数：1～256文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「;」
- **【ファイル名】**
FTPサーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときファイル名は、以下のようになります。
ファイル名：入力したファイル名+日時（年月日時分秒）+連続番号
入力可能文字数：1～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「*」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「¥」「|」
端子1：端子1にアラームが発生したときに、FTPサーバーへ画像を送信します。
端子2：端子2にアラームが発生したときに、FTPサーバーへ画像を送信します。
端子3：端子3にアラームが発生したときに、FTPサーバーへ画像を送信します。
動作検知：動作検知が発生したときに、FTPサーバーへ画像を送信します。
音検知：音検知が発生したときに、FTPサーバーへ画像を送信します。
コマンドアラーム：コマンドアラームが入力されたときに、FTPサーバーへ画像を送信します。
自動追尾：自動追尾アラームが発生したときに、FTPサーバーへ画像を送信します。
- **【FTP送信リトライ】**
FTP転送が失敗したときに、再送するかどうかをOn/Offで選択します。
On：転送に失敗した場合、転送に成功するまで再送を行います。
Off：転送に失敗した場合、その画像は破棄して次の画像を送信します。
初期設定：Off
- **【プレアラーム】**
 - **画像更新速度**
アラーム発生前の画像の更新間隔を以下から選択します。
0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps
初期設定：1fps
 - **最大画像枚数**
送信する画像の枚数を以下から選択します。
0枚 / 1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 / 5枚 / 6枚* / 7枚* / 8枚* / 9枚* / 10枚* / 20枚* / 30枚* / 40枚* / 50枚*
初期設定：0枚
 - **録画時間**
設定した「画像更新速度」、「最大画像枚数」より、アラーム発生前の画像の録画時間が表示されます。

お知らせ

- 送信する画像の解像度にJPEG(1)を設定する場合、JPEG(1)の解像度が「2048×1536」、「1920×1080」のいずれかであれば、プレアラームは設定できません。
- アラーム時の画質制御を「On」に設定したときは、ポストアラームの録画のみ、アラーム時の画質になります。プレアラームの録画には適用されません。

- 「プレアラーム」の「最大画像枚数」で、「*」付きの枚数を設定すると、解像度や画質により指定した枚数を送信できないことがあります。下記の表は、プレアラームで送信可能な最大画像枚数です。

		画質									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
解像度	1280×960	5	6	7	8	10	10	10	20	30	40
	1280×720	7	8	10	10	10	20	20	30	40	50
	800×600	9	10	10	20	20	30	30	50	50	50
	VGA	10	20	20	30	30	40	50	50	50	50
	640×360	20	30	40	50	50	50	50	50	50	50
	400×300	30	30	40	50	50	50	50	50	50	50
	QVGA	40	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	320×180	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

- 【ポストアラーム】
 - 画像更新速度
アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。
0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps
初期設定：1fps
 - 画像枚数
送信する画像の枚数を以下から選択します。
1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 / 5枚 / 6枚 / 7枚 / 8枚 / 9枚 / 10枚 / 20枚 / 30枚 / 50枚 / 100枚 / 200枚 / 300枚 / 500枚 / 1000枚 / 1500枚 / 2000枚 / 3000枚
初期設定：100枚
 - 録画時間
設定した「画像更新速度」で、設定した「画像枚数」を保存するときにかかる時間が表示されます。
- 【解像度】
アラーム発生時に送信する画像の解像度を以下から選択します。
JPEG(1) / JPEG(2) / JPEG(3)
初期設定：JPEG(2)

FTP定期送信

- 【定期送信】
FTP定期送信を行うかどうかをOn/Offで設定します。
「On」に設定した場合は、FTPサーバーの設定を行ってください。
初期設定：Off

重要

- FTP定期送信を使用する場合は、スケジュールページの [スケジュール] タブでFTP定期送信のスケジュール設定が必要です。(→237 ページ)
- 【ディレクトリー名】
送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。

例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定する場合は、「/img」と入力します。

入力可能文字数：1～256文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」

初期設定：空欄

- **【ファイル名】**

送信する画像ファイル名を入力し、ファイル名形式を以下から選択します。

ファイル名+日時：「入力したファイル名+送信日時（年月日時分秒）+00」をファイル名として使用します。

ファイル名を固定：入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」に設定すると、常に送信したファイルに上書きされます。

入力可能文字数：1～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「/」「*」「<」「>」「?」「¥」「|」

初期設定：空欄

お知らせ

- 「ファイル名+日時」を選択した場合、サマータイム中は「入力したファイル名+送信日時（年月日時分秒）+00」のあとに“s”が付加されたファイル名になります。

- **【送信間隔】**

送信間隔を以下から選択します。

1s/2s/3s/4s/5s/6s/10s/15s/20s/30s/1min/2min/3min/4min/5min/6min/10min/15min/20min/30min/1h/1.5h/2h/3h/4h/6h/12h/24h

初期設定：1s

- **【解像度】**

送信する画像ファイルの解像度を以下から選択します。

JPEG(1)/JPEG(2)/JPEG(3)

初期設定：JPEG(2)

- **【FTPサーバーアドレス】**

画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

重要

- 「FTPサーバーアドレス」のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの [ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→191 ページ)
- FTPクライアント機能を有効にすると、FTPサーバーへの画像送信時にネットワーク上でFTPサーバーの認証情報（ユーザー名、パスワード）が漏えいする可能性があります。

- **【ユーザー名】**

FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。

入力可能文字数：1～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「/」「¥」

- **【パスワード】**

FTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

- **【コントロールポート番号】**

FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65535

初期設定：21

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

- **【モード】**

FTPの通信モードをパッシブモード／アクティブモードから選択します。

通常は「パッシブモード」を選択します。「パッシブモード」で接続できない場合は、「アクティブモード」に切り換えてください。

初期設定：パッシブモード

2.9.2.3 NTPサーバーを設定する

ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使用してください。

- **【時刻調整】**

時刻調整の方法を以下から選択します。選択された方法で調整された時刻は、本機の標準時間として使用されます。

マニュアルセッティング：基本ページの [基本] タブで設定された時刻が、本機の標準時間として使用されます。

NTPサーバーに同期：NTPサーバーとの同期で自動調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。

初期設定：マニュアルセッティング

- **【NTPサーバーアドレス取得方法】**

「時刻調整」で「NTPサーバーに同期」を選択した場合は、NTPサーバーアドレスの取得方法を選択します。

Auto：DHCPサーバーからNTPサーバーアドレスを取得します。

Manual：NTPサーバーアドレスを「NTPサーバーアドレス」に入力して設定します。

初期設定：Manual

重要

- 「NTPサーバーアドレス」をDHCPサーバーから取得する場合は、ネットワークページの [ネットワーク] タブで「接続モード」をDHCP、自動設定 (AutoIP)、自動設定(おまかせ)のいずれかに設定する必要があります。(→191 ページ)

- 【NTPサーバーアドレス】

「NTPサーバーアドレス取得方法」で「Manual」を選択した場合は、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

初期設定：なし (空白)

重要

- 「NTPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの [ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(→191 ページ)

- 【ポート番号】

NTPサーバーのポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65535

初期設定：123

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、161、162、443、995、10669、10670

- 【時刻更新間隔】

NTPサーバーから時刻を取得する間隔 (1～24時間で1時間単位) を選択します。

初期設定：1 h

2.9.2.4 UPnPを設定する

本機は、UPnP (Universal Plug and Play) に対応しています。UPnP機能を使用すると、以下の設定を自動で行うことができます。

- ルーターのポートフォワーディング機能を設定すること。(ただし、UPnP対応のルーターが必要です。) この設定はインターネットや携帯電話・携帯端末からカメラにアクセスする場合に便利です。
- カメラへのショートカットをPCの [ネットワーク] フォルダに作り、カメラのIPアドレスが変わってもそのショートカットが自動で更新されること。



【自動ポートフォワーディング】

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをOn/Offで設定します。

自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。

初期設定：Off

お知らせ

- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、PCやレコーダーなどに登録されているカメラのポート番号を変更する必要があります。
- UPnPの機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、メンテナンスページの [ステータス] タブをクリックし、[UPnP] のステータスが [有効] になっていることを確認します。
(→247 ページ)
[有効] が表示されていない場合は、故障かな!の「インターネットからカメラにアクセスできない」をお読みください。(→264 ページ)

【カメラへのショートカット】

カメラへのショートカットをPCの [ネットワーク] フォルダーに作るかどうかをOn/Offで設定します。カメラのショートカットを作る場合に、[On] を選択してください。カメラへのショートカット機能を使用するには、あらかじめPCでUPnP機能を有効に設定してください。

初期設定：Off

お知らせ

- Windowsの [ネットワーク] フォルダーにカメラへのショートカットを表示させるには、Windows コンポーネントを追加する必要があります。以下を参照して、UPnPを有効にしてください。

Windows 7の場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] → [共有の詳細設定の変更] の [ネットワーク探索] の [ネットワーク探索を有効にする] を選択する → [変更の保存] をクリックする → 完了

Windows 8.1の場合

[スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] を選択する → [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] → [共有の詳細設定の変更] の [ネットワーク探索] の [ネットワーク探索を有効にする] を選択する → [変更の保存] をクリックする → 完了

Windows 10の場合

[スタート] → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [イーサネット] → [ネットワークと共有センター] → [共有の詳細設定の変更] の [ネットワーク探索] の [ネットワーク探索を有効にする] を選択する → [変更の保存] をクリックする → 完了

2.9.2.5 HTTPSを設定する

HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

HTTPSの設定方法については、214 ページを参照してください。

The screenshot shows the 'HTTPS' configuration page in a router's web interface. The page is titled 'HTTPS' and is part of the 'アドバンス' (Advanced) settings. It includes a navigation bar with links for SMTP(メール), FTP, NTP, UPnP, HTTPS, DDNS, SNMP, and QoS. The main configuration area is divided into several sections:

- HTTPS**:
 - 接続方法 (Connection Method): HTTP (dropdown menu)
 - 証明書の選択 (Certificate Selection): プリインストール (dropdown menu)
 - HTTPSポート番号 (HTTPS Port Number): 443 (input field) with a range indicator (1-65535)
- プリインストール証明書 (Pre-installed Certificate)**:
 - ルート証明書取得 (Root Certificate Acquisition): 実行 (Execute button)
- CA証明書 (CA Certificate)**:
 - CRT鍵生成 (CRT Key Generation): 実行 (Execute button)
 - 署名リクエスト(CSR)生成 (Signature Request(CSR) Generation): 実行 (Execute button)
 - CA証明書インストール (CA Certificate Installation): [Input field] 参照... (Reference button) 実行 (Execute button)
- 情報 (Information)**:
 - 無効 (Invalid) status with 確認 (Confirm) and 削除 (Delete) buttons.

At the bottom of the page, there is a '設定' (Settings) button.

【HTTPS-接続方法】

本機への接続方法を設定します。

HTTP：HTTP接続のみ可能になります。

HTTPS：HTTPS接続のみ可能になります。

初期設定：HTTP

【HTTPS－証明書の選択】

HTTPSにて使用する証明書を選択します。

プリインストール：プリインストール証明書を選択します。

CA：CA証明書を選択します。CA証明書がインストールされている場合のみ表示されます。

初期設定：プリインストール

【HTTPS－HTTPSポート番号】

HTTPSで使用するポート番号を設定します。

設定可能ポート番号：1～65535

初期設定：443

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、554、995、10669、10670、59000～61000

【プリインストール証明書－ルート証明書取得】

[実行] ボタンをクリックするとプリインストール証明書用のルート証明書をダウンロードします。ルート証明書をお使いのPCにインストールすることで、プリインストール証明書の署名検証が可能になります。

【CA証明書－CRT鍵生成】

CA証明書を使ったHTTPS接続で使用するCRT鍵（SSL暗号化キー）を生成します。

CRT鍵の生成は、[実行] ボタンをクリックすると表示される「CRT鍵生成ダイアログ」で行います。

[CA証明書－署名リクエスト(CSR)生成]

HTTPSで使用するCA証明書として、認証機関（CA：Certificate Authority）によって発行されたCA証明書を使用する場合に、認証機関に申請するための署名リクエスト（CSR：Certificate Signing Request）を生成します。

署名リクエスト（CSR）の生成は、[実行] ボタンをクリックすると表示される、「署名リクエスト（CSR）生成ダイアログ」で行います。

[CA証明書－CA証明書インストール]

証明機関から発行されたCA証明書のインストールおよびインストールされたCA証明書の情報表示を行います。

[参照] ボタンをクリックすると表示される「ファイルを開くダイアログ」で、認証機関から発行されたCA証明書のファイルを選択し、[実行] ボタンをクリックするとCA証明書のインストールが実行されます。

[CA証明書－情報]

CA証明書の情報が表示されます。

[確認] ボタンをクリックすると、インストールしたCA証明書の登録内容が、「CA証明書確認ダイアログ」に表示されます。CA証明書をインストールしていない場合は、生成した署名リクエスト（CSR）の内容が表示されます。

[削除] ボタンをクリックすると、インストールしたCA証明書を削除します。

重要

- 有効なCA証明書を削除する場合は、PC、記録メディアなどにCA証明書のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、CA証明書が必要になります。

お知らせ

- 接続方法の設定が変更された場合、しばらくしてから設定に合わせて、「http://カメラのIPアドレス」もしくは「https://カメラのIPアドレス」で再度アクセスしてください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

2.9.2.6 DDNSを設定する

インターネット経由で本機にアクセスするには、DDNS機能を設定する必要があります。DDNSの設定方法については、230 ページを参照してください。



- **【設置地域】**

カメラを設置している地域を選択します。

日本／日本以外

お知らせ

- カメラを日本で使う場合は、「日本」を選択してください。「日本以外」を選択した場合に表示される「Viewnetcam.com」サービスは、日本国内からアクセスできません。

- **【サービス】**

DDNSを使用するかどうか、使用するDDNSサービスを選択します。

Off：DDNSを使用しません。

みえますねっと：「みえますねっと」サービスを使用します。

ダイナミックDNS Update (DHCP連携なし)：ダイナミックDNS Update (RFC2136準拠) をDHCP連携なしで使用します。

ダイナミックDNS Update (DHCP連携)：ダイナミックDNS Update (RFC2136準拠) をDHCP連携で使用します。

初期設定：Off

お知らせ

- ダイナミックDNS Update (RFC2136準拠) を使用する場合、DHCP連携なし／DHCP連携の選択は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2.9.2.7 SNMPを設定する

ここでは、SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。SNMP機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

The screenshot shows the 'アドバンス' (Advanced) tab in a network configuration menu. Under the 'SNMP' sub-tab, the 'SNMPバージョン' (SNMP Version) is set to 'SNMPv1/v2'. The 'SNMPv1/v2' section includes a 'コミュニティ名' (Community Name) field. The 'SNMPv3' section includes fields for 'ユーザー名(1~32文字)' (Username), '認証方式' (Authentication Method) with radio buttons for MD5 and SHA1, '暗号化方式' (Encryption Method) with radio buttons for DES and AES, and a 'パスワード(8~32文字)' (Password) field. Below these are fields for '機器名' (Device Name), '機器の物理的位置' (Physical Location of Device), and '連絡先' (Contact). A '設定' (Apply) button is located at the bottom right of the configuration area.

- **【SNMPバージョン】**

使用するSNMPバージョンを選択します。

SNMPv1/v2：SNMPv1/v2が有効になります。

SNMPv3：SNMPv3が有効になります。

SNMPv1/v2/v3：SNMPv1/v2/v3が有効になります。

初期設定：SNMPv1/v2

- **SNMPv1/v2 - [コミュニティ名]**
監視の対象となるコミュニティ名を入力します。
入力可能文字数：0～32文字
入力不可文字：全角
初期設定：空欄

重要

- SNMP機能を使用する場合は、必ずコミュニティ名を入力してください。コミュニティ名が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。
- **[SNMPv3] - [ユーザー名]**
SNMPv3のユーザー名を設定します。
入力可能文字数：空欄または、1～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「|」「&」「:」「;」「¥」
- **[SNMPv3] - [認証方式]**
SNMPv3の認証方式をMD5/SHA1から選択します。
初期設定：MD5
- **[SNMPv3] - [暗号化方式]**
SNMPv3の暗号化方式をDES/AESから選択します。
初期設定：DES
- **[SNMPv3] - [パスワード]**
SNMPv3のパスワードを設定します。
入力可能文字数：
 - 認証方式がMD5の場合：空欄または、8～16文字
 - 認証方式がSHA1の場合：空欄または、8～20文字入力不可文字：全角、半角記号「|」「&」
- **[機器名]**
SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。
入力可能文字数：0～32文字
入力不可文字：全角
初期設定：空欄
- **[機器の物理的位置]**
本機を設置した場所を入力します。
入力可能文字数：0～32文字
初期設定：空欄
- **[連絡先]**
管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。
入力可能文字数：0～255文字
入力不可文字：全角
初期設定：空欄

2.9.2.8 QoSを設定する

ここでは、Diffserv機能とストリームのシェーピングに関する設定を行います。

Diffserv

Diffserv機能では、ルーターから転送される画像／音声データと、その他コマンドの優先度を設定します。本機に設定する優先度は、ルーターに設定されているDSCPの値と合わせる必要があります。Diffserv機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 【映像DSCP(0-63)】**
映像データに関するパケット優先順位を入力します。
設定可能な値：0～63
初期設定：0
- 【音声DSCP(0-63)】**
音声配信に関するパケット優先順位を入力します。
設定可能な値：0～63
初期設定：0
- 【独自アラーム通知 DSCP(0-63)】**
独自アラーム通知に関するパケット優先順位を入力します。
設定可能な値：0～63
初期設定：0

ストリームのシェーピング

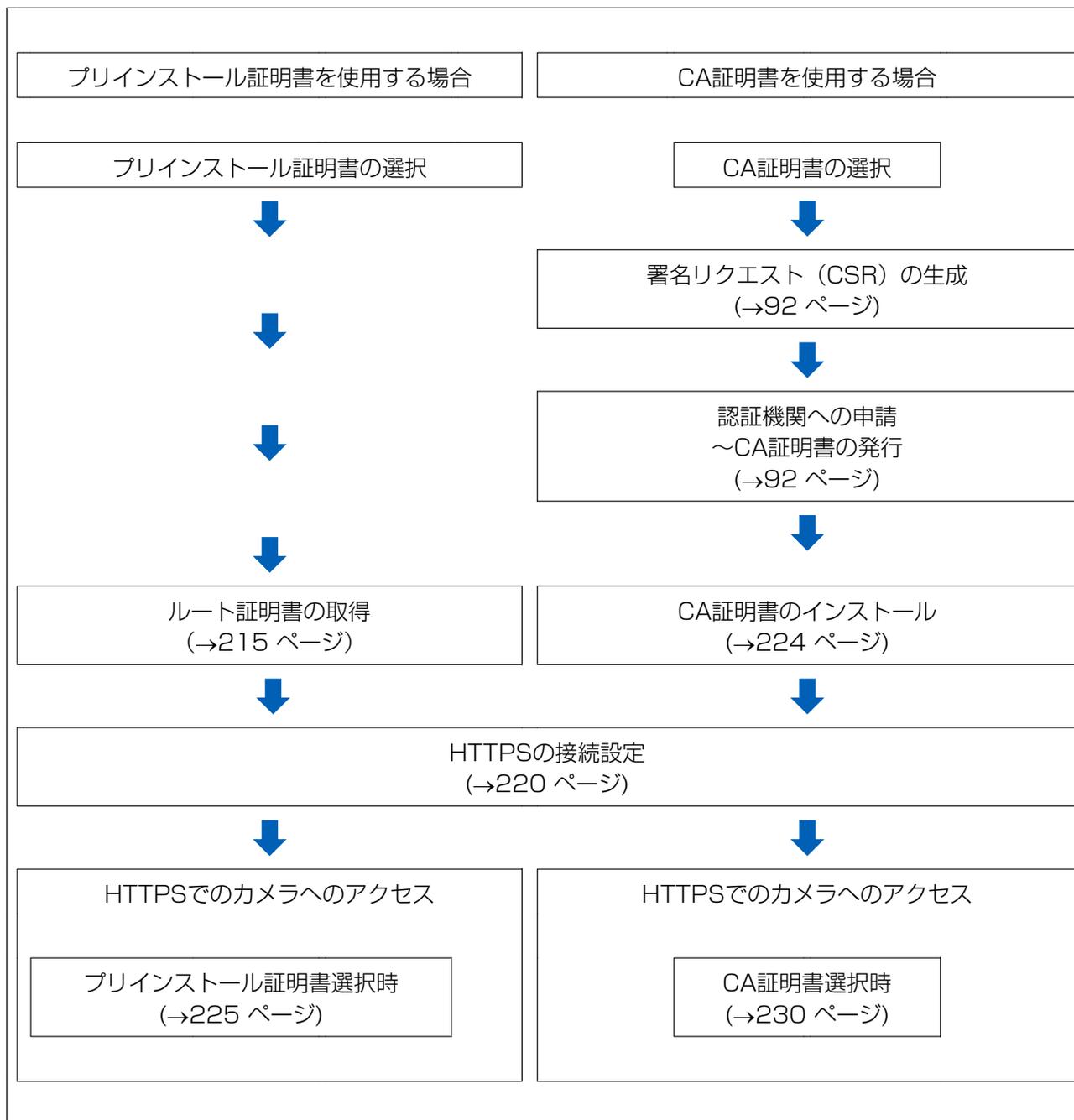
- 【ストリームのシェーピング】**
H.265（またはH264）画像データがバーストしないように制御するかどうかをOn/Offで設定します。ネットワーク機器がカメラからの映像データを取りこぼす場合などに有効なことがあります。表示する映像が遅延する可能性があります。
Off：ストリームのシェーピング機能を無効にします。
On：ストリームのシェーピング機能を有効にします。
初期設定：Off

お知らせ

- 表示する映像の遅延が気になる場合は、Offに設定してご使用ください。

2.9.3 HTTPSの設定方法

ここでは、カメラへのアクセスを暗号化し、通信の安全性を高めるためのHTTPSを設定します。HTTPSの設定は、カメラ本体にプリインストールされている証明書を使用する方法と、お客様と認証機関の間で取得していただくCA（CA：Certification Authority）証明書を使用する方法があります。設定は次の手順で行います。



HTTPS	
接続方法	HTTP <input type="button" value="▼"/>
証明書の選択	プリインストール <input type="button" value="▼"/>
HTTPSポート番号	443 (1-65535)
プリインストール証明書	
ルート証明書取得	<input type="button" value="実行"/>
CA証明書	
CRT鍵生成	<input type="button" value="実行"/>
署名リクエスト(CSR)生成	<input type="button" value="実行"/>
CA証明書インストール	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="実行"/>
情報	無効 <input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="削除"/>

- ① HTTPSの接続設定 (→220 ページ)
- ② 証明書の選択 (→215 ページ)
- ③ ルート証明書の取得 (→215 ページ)
- ④ CRT鍵 (SSL暗号化キー) の生成 (→221 ページ)
- ⑤ 署名リクエスト (CSR) の生成 (→222 ページ)
- ⑥ CA証明書のインストール (→224 ページ)

お知らせ

- CA証明書を使用する場合、認証機関への申請～CA証明書の発行は、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。

2.9.3.1 HTTPSアクセスする時に使用する証明書の選択

[HTTPS-証明書の選択] で、HTTPSアクセスする時に使用する証明書を選択します。
 プリインストール証明書を使用する場合：[プリインストール] を設定します。
 「プリインストール」を設定した場合はルート証明書の取得 (→215 ページ) が必要です。
 CA証明書を使用する場合：[CA] を設定します。

お知らせ

- CA証明書を追加したときのみCA証明書の選択が可能です。CA証明書の追加手順は (→214 ページ) を参照してください。

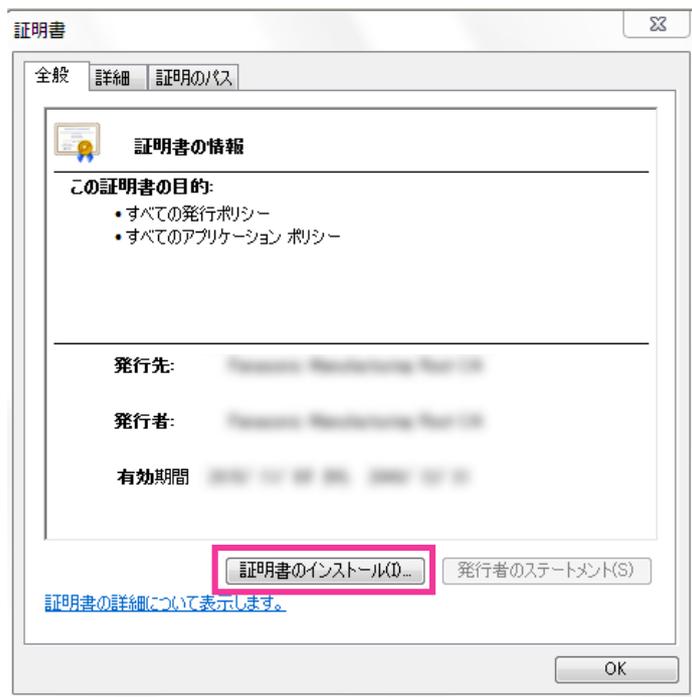
2.9.3.2 ルート証明書の取得

この手順はご使用のPC一台につき一回のみの実施となります。

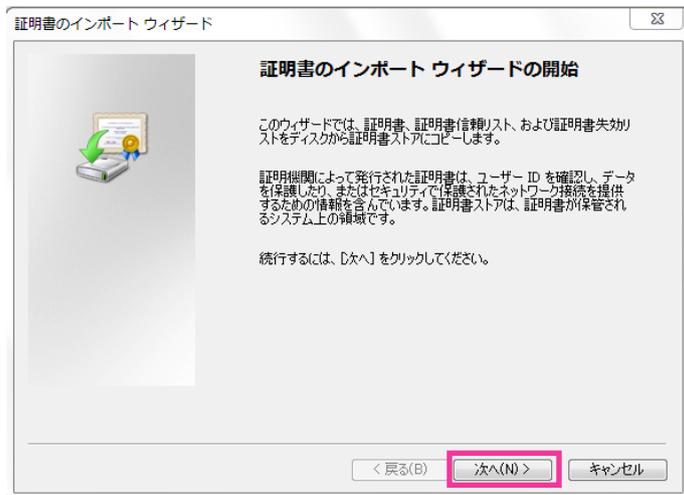
- 1 カメラにアクセスし、設定メニューのネットワークページの[アドバンス]タブの「HTTPS」にて、「プリインストール証明書-ルート証明書取得」の「実行」ボタンをクリックします。ブラウザの下部の「ファイルを開く(O)」をクリックします。



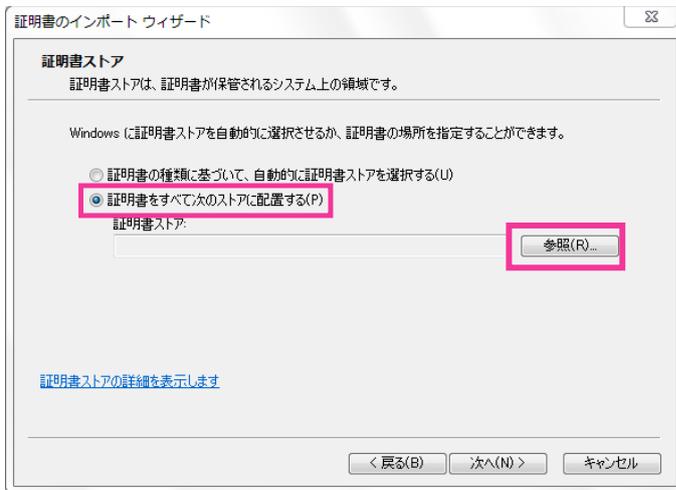
2 「証明書のインストール(I)…」をクリックします。



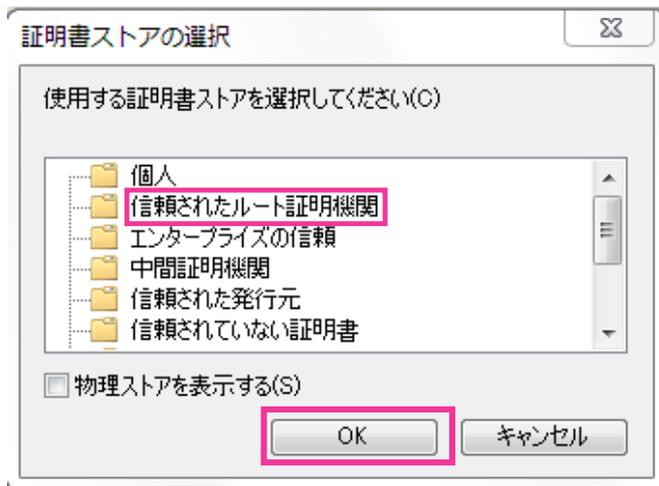
3 証明書のインポート ウィザードに表示される「次へ(N)」をクリックします。



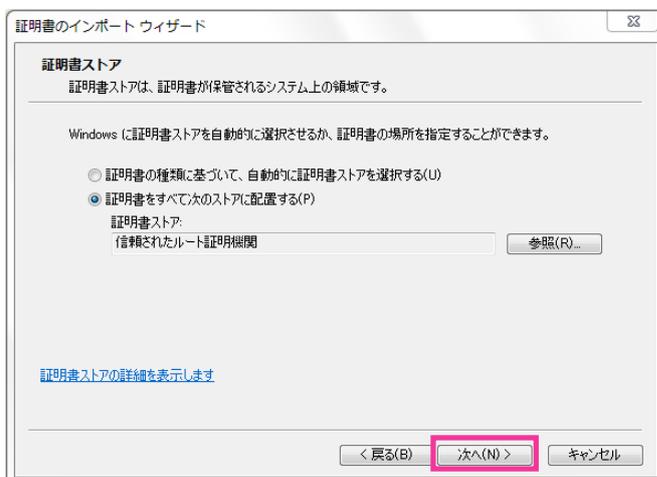
- 4 「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」を選択して、「参照(R)…」をクリックします。



- 5 「信頼されたルート証明機関」を選択し、「OK」をクリックします。



- 6 「次へ」をクリックします。



7 「完了」をクリックします。

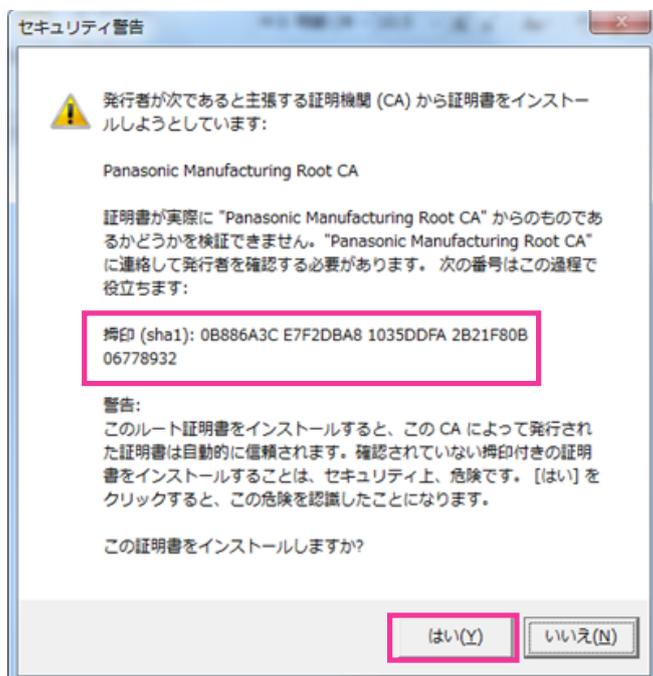


8 「セキュリティ警告」ウィンドウの「拇印」が以下の内容であることを確認して「はい(Y)」をクリックします。

- 拇印 (sha1): OB886A3C E7F2DBA8 1035DDFA 2B21F80B 06778932

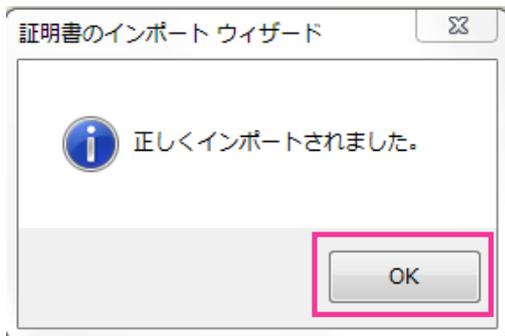
お知らせ

- 他者が同じ値を持つ拇印を作成することはできません。拇印がこの値を持つことを確認することで、対象カメラから正しいルート証明書を取り出せたことが確認できます。



→ インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

- 9 「OK」をクリックします。



- 10 「証明書」ウィンドウで「OK」ボタンをクリックして閉じます。



2.9.3.3 HTTPSの接続設定

- 1 [HTTPS-接続方法] で、カメラへのアクセス方法を [HTTPS] に設定します。

- 2 [HTTPS-HTTPSポート番号] に、HTTPSで使用するポート番号を設定します。

設定可能ポート番号：1～65535

初期設定：443

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、554、995、10669、10670、59000～61000

- 3 [設定] ボタンをクリックします。

→ HTTPSでのカメラへのアクセスが有効になります。

ブラウザを再起動してアクセスしなおしてください。

HTTPSでのカメラのアクセス方法は以下を参照してください。

PCから画像を見る：10 ページ、携帯電話から画像を見る：23 ページ、携帯端末から画像を見る：25 ページ

- 4 「証明書エラー」が表示された場合は以下を参照してください。
 プリインストール証明書を使用する場合：225 ページ、CA証明書を使用する場合：230 ページ

お知らせ

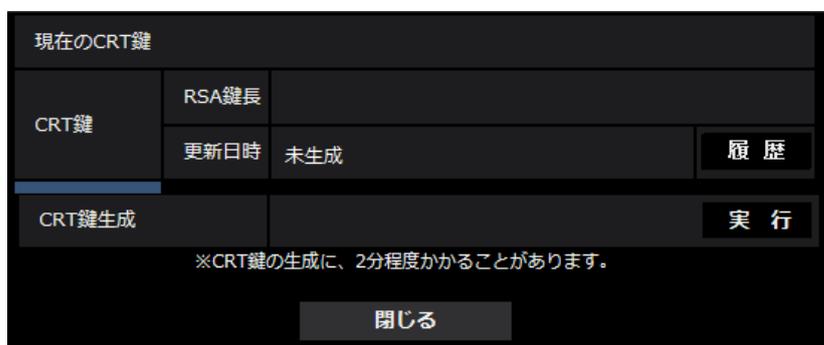
- 接続方法の設定が変更された場合、しばらくしてから設定に合わせて、「http://カメラのIPアドレス」もしくは「https://カメラのIPアドレス」で再度アクセスしてください。
- プリインストール証明書を使用する場合の注意
 あらかじめご使用のPCにプリインストール証明書のルート証明書をインストールしてください。手順については、(→215 ページ)を参照してください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

2.9.3.4 CRT鍵（SSL暗号化キー）の生成のしかた

重要

- CA証明書が有効な場合は、CRT鍵の生成を行うことはできません。
- CA証明書を使用する場合は、認証機関によって使用できる鍵長が異なります。あらかじめ使用できる鍵長を確認してください。
- CRT鍵の生成は、2分程度かかります。CRT鍵の生成が完了するまで、ブラウザを操作しないでください。CRT鍵生成中は、画面の表示速度や通信速度が低下することがあります。

- 1 [CRT鍵生成] の [実行] ボタンをクリックします。
 → 「CRT鍵生成ダイアログ」が表示されます。

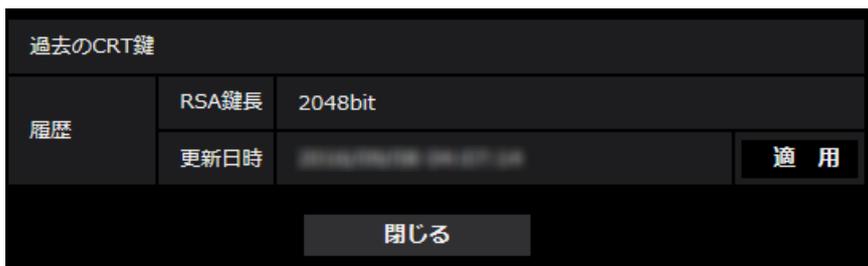


- 2 [実行] ボタンをクリックします。

→ CRT鍵の生成が始まります。
 CRT鍵の生成が終了すると、「現在のCRT鍵」に生成したCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時が表示されます。

お知らせ

- 生成したCRT鍵を変更（更新）したい場合は、STEP1～2の操作を行います。CRT鍵、CA証明書は一組で有効になるため、CRT鍵を変更した場合は、CA証明書の申請を行う必要があります。
- CRT鍵を更新した場合、それまでのCRT鍵を1つ分履歴管理しています。「CRT鍵生成ダイアログ」の「現在のCRT鍵」で「履歴」ボタンをクリックすると、「過去のCRT鍵ダイアログ」が表示され、鍵長と生成が完了した日時を確認することができます。「過去のCRT鍵ダイアログ」で、「適用」ボタンをクリックすると、過去のCRT鍵を現在のCRT鍵と入れ替えることができます。



2.9.3.5 署名リクエスト（CSR）の生成のしかた

重要

- CRT鍵が生成されていない場合、署名リクエスト（CSR）の生成を行うことはできません。
- 署名リクエスト（CSR）を生成する場合、ウェブブラウザのインターネットオプションであらかじめ以下の設定を行ってください。メニューバーの「ツール」－「インターネットオプション」－「セキュリティ」タブで、
 - カメラを「信頼済みサイト」に登録する。
 - 「レベルのカスタマイズ」で「ダウンロード」－「ファイルのダウンロード」を「有効にする」に設定する。
 - 「レベルのカスタマイズ」で「ダウンロード」－「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を「有効にする」に設定する。

- 1 [CA証明書－署名リクエスト(CSR)生成] の [実行] ボタンをクリックします。
→ 「CA証明書－署名リクエスト(CSR)生成」ダイアログが表示されます。

- 2 生成する証明書の情報を入力します。

項目	説明	入力可能文字数
[ホスト名]	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
[国名]	国別記号を入力します。	2文字：国名コード
[都道府県名]	都道府県名を入力します。	128文字
[市区町村名]	市区町村名を入力します。	128文字
[組織名]	組織名を入力します。	64文字
[部署名]	部署名を入力します。	64文字
[CRT鍵]	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	—

お知らせ

- CA証明書を使用する場合、入力する情報は、申請する認証機関から要求される内容に従ってください。
- [ホスト名]、[都道府県名]、[市区町村名]、[組織名]、[部署名] で入力可能な文字は、0～9（半角）、A～Z（半角）、a～z（半角）、半角記号「-」「.」「_」「,」「+」「/」「(」「)」です。

- 3 入力が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
→ 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
- 4 「名前を付けて保存」ダイアログで、署名リクエスト（CSR）にファイル名を付け、PCに保存します。
→ 保存した署名リクエスト（CSR）を使用して認証機関に申請します。

重要

- 生成した署名リクエスト（CSR）とCRT鍵の組に対して、CA証明書が発行されます。認証機関に申請後、CRT鍵を生成／更新すると、発行されるCA証明書が使用できなくなります。

お知らせ

- 本機で生成する署名リクエスト（CSR）は、PEM形式です。

2.9.3.6 CA証明書のインストールのしかた

重要

- 署名リクエスト（CSR）が生成されていない場合、CA証明書のインストールを行うことはできません。
- CA証明書のインストールには認証機関から発行されたCA証明書が必要です。

- 1 [CA証明書－CA証明書インストール] の [参照] ボタンをクリックします。
→ 「ファイルを開くダイアログ」が表示されます。
- 2 CA証明書ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックし、[実行] ボタンをクリックします。
→ CA証明書がインストールされます。

お知らせ

- インストールしたCA証明書に登録されているホスト名が、[CA証明書－情報] に表示されます。また、CA証明書の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
無効	CA証明書がインストールされていない場合
[CA証明書のホスト名]	CA証明書がインストール済みで、有効な場合
有効期限切れ	CA証明書の有効期限が切れた場合

- [確認] ボタンをクリックすると、インストールしたCA証明書の内容が、「CA証明書－確認」ダイアログに表示されます。（部署名欄のみアスタリスクが表示されます。）

CA証明書 - 確認		
ホスト名	NWCAM	
国名	JP	
都道府県名	東京都	
市区町村名	港区	
組織名	株式会社	
部署名	IT部	
CRT鍵	RSA鍵長	2048
	更新日時	2023/10/27 10:00:00

閉じる

- [削除] ボタンをクリックすると、インストールしたCA証明書を削除します。
- 「接続方法」で「HTTPS」が選択されている場合は、CA証明書の削除を行うことはできません。
- CA証明書を更新する場合は、STEP1～STEP2の操作を行います。

重要

- 有効なCA証明書を削除する場合は、PC、記録メディアなどにCA証明書のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、CA証明書が必要になります。
- CA証明書の有効期限が切れると、HTTPS機能を使用することができなくなります。この場合、再起動すると、接続方法がHTTPに変更されます。CA証明書の有効期限が切れる前に、CA証明書の更新を行ってください。
- CA証明書の有効期限は、認証機関から発行されたCA証明書ファイルをダブルクリックすると確認することができます。

2.9.4 HTTPSでカメラにアクセスする（プリインストール証明書選択時）

プリインストール証明書を使用してブラウザからHTTPSアクセスする際、ブラウザの警告表示を出さないようにするためには、ご使用のPCごとに以下の手順を実施していただく必要があります。

説明はOSにWindows 7、ブラウザにInternet Explorer 11を使用しております。その他のOS、ブラウザをお使いの場合は、設定の手順が一部異なる場合があります。

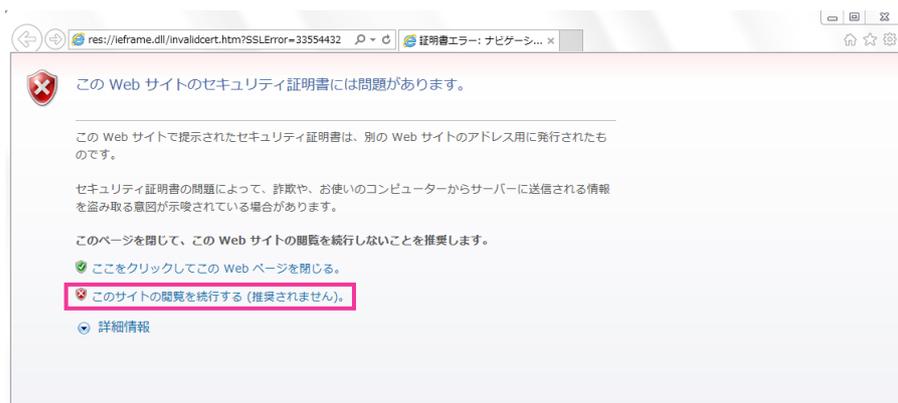
2.9.4.1 hostsファイルの設定について

この手順はご使用のPC一台ごとに、アクセスを行うすべてのカメラについて実施する必要があります。

お知らせ

- 以下の方法はダイナミックDNSサービスを利用している場合は使用できません。

- 1 ブラウザーを起動し、HTTPSでカメラにアクセスします。
- 2 セキュリティ警告画面が表示されたら、「このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）」をクリックします



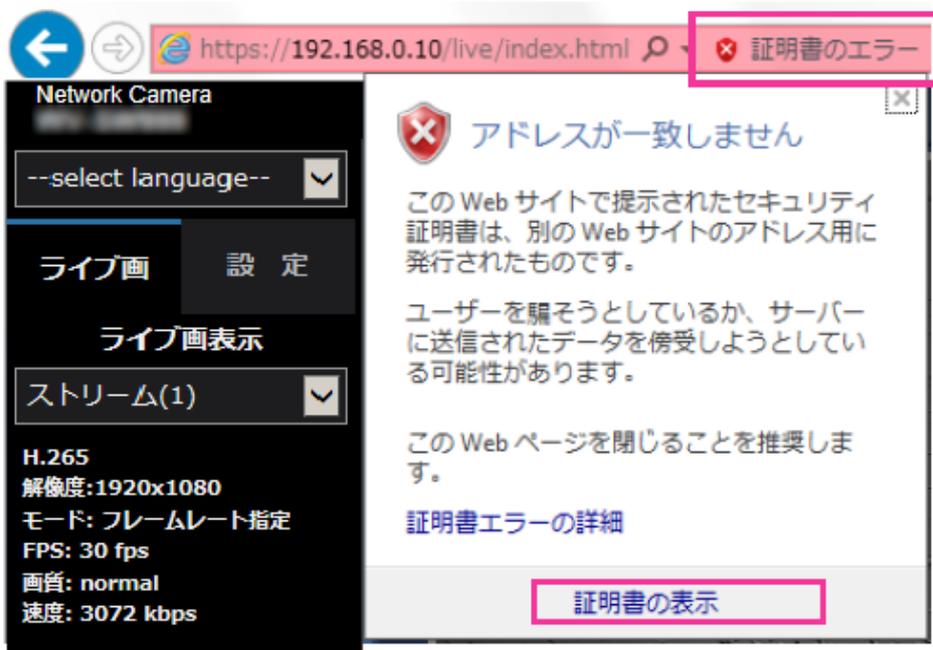
→ ライブ画ページが表示されます。認証画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。

お知らせ

- この警告は [アドレス] ボックスに入力された文字列と、証明書のサブジェクトに記載された文字列が一致しないため表示されます。プリインストール証明書では証明書作成時にカメラに与えられるIPアドレスまたはドメイン名が確定しないためこのような表示が出ますが、「ルート証明

書のインストールについて」(→215 ページ)で設定したルート証明機関はパナソニックの機器以外への証明書発行は行わないため問題ありません。

- 3 URL上の「証明書のエラー」をクリックし、「アドレスが一致しません」というウィンドウの一番下の「証明書の表示」をクリックします。

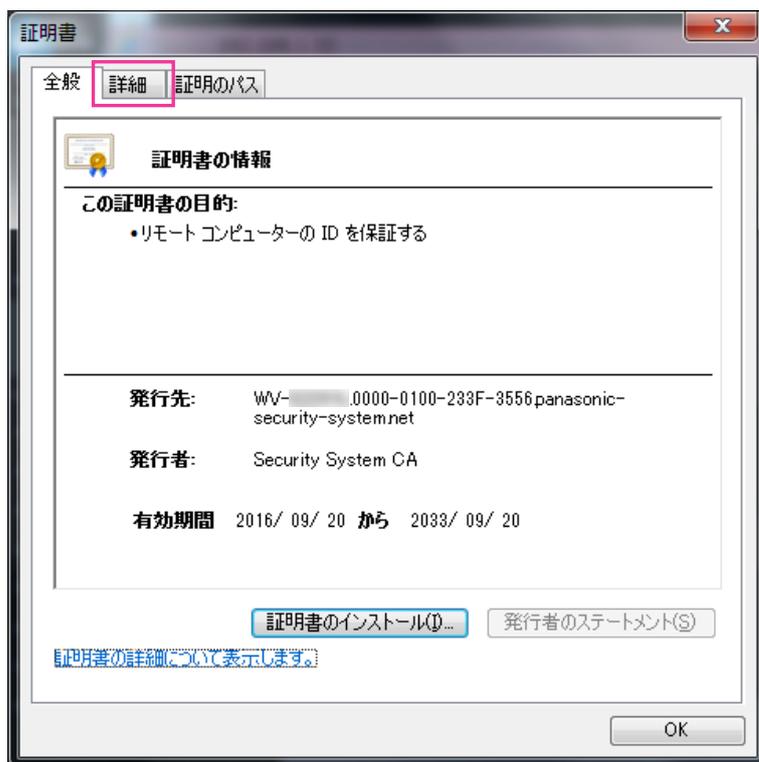


お知らせ

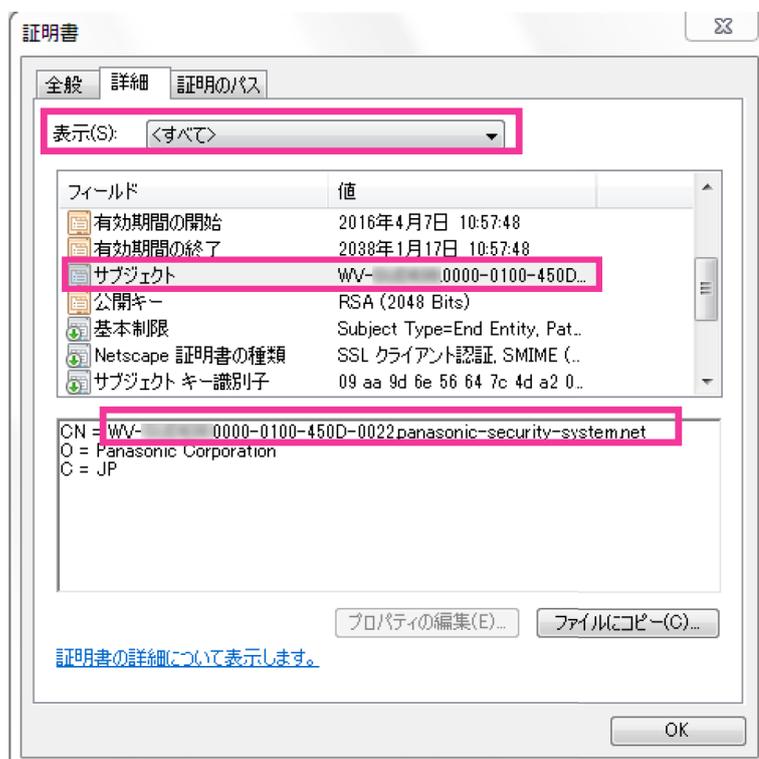
- ルート証明書のインストール (→215 ページ) をしているにも関わらず、以下のように「証明書は無効です」と表示された場合は、接続を中止し、不審な機器が接続されていないかご確認ください。



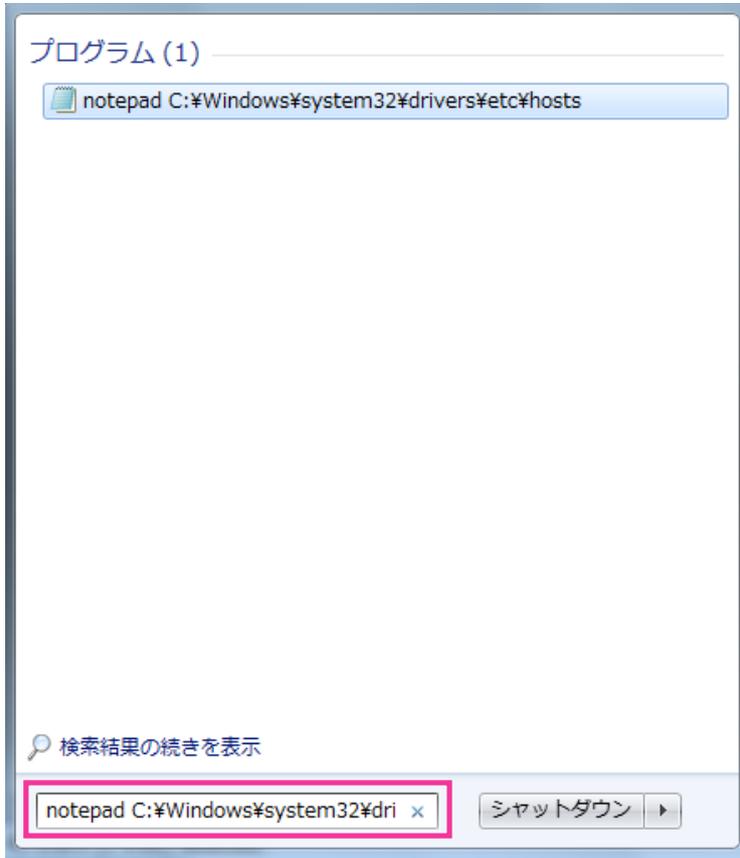
- 4 「証明書」ウィンドウが表示されますので「詳細」タブを選択します。



- 5 「表示」が<すべて>になっていることを確認し、フィールドの中から「サブジェクト」をクリックします。下部のボックス内に表示されたCN=以降の文字列をコピーします。

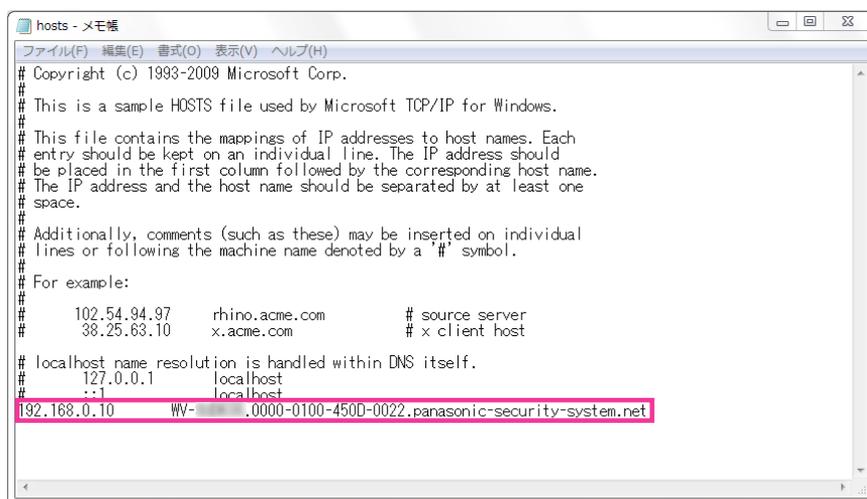


- 6 スタートメニューを開き、「プログラムとファイルの検索」テキストボックスに以下の文字列を入力して [Ctrl] と [Shift] と [Enter] キーを同時に押します。
notepad C:\Windows\system32\drivers\etc\hosts



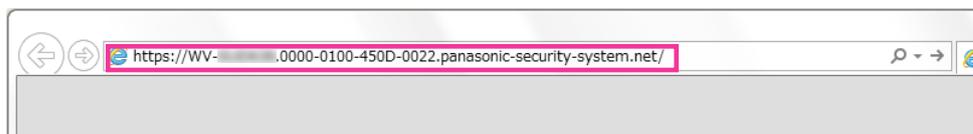
- 7 「ユーザーアカウント制御」のウィンドウが表示されたら「はい(Y)」を選択します。
- 8 「hosts - メモ帳」というウィンドウが開きますので、ファイルの最後に以下の文字列を追加します。
(カメラのIPアドレス) (手順5でコピーした文字列)

例はIPアドレス192.168.0.10のカメラのCN=以降の文字列がWV-xxxxxx.0000-0100-450D-0022.panasonic-security-system.netであった場合となります。



9 「ファイル(F)」 → 「上書き保存(S)」を選択して保存し、ファイルを閉じます。

10 ブラウザーでアクセスする場合、[アドレス] ボックスに” https://” の後ろにCN=以降の文字列を入力してください。



重要

- HTTPSポート番号が「443」から変更されている場合は、「https:// CN=以降の文字列：ポート番号」を [アドレス] ボックスに入力してください。
例：ポート番号が61443の場合
https:// WV-xxxxxx.0000-0100-450D-0022.panasonic-security-system.net:61443
- カメラのURLをブックマークすることをお勧めします。カメラのURLが分からなくなった場合はhostsファイルを参照してください。

11 設定が完了すると、ブラウザーの [アドレス] ボックスの背景が白色で表示されます。アドレスバー右部分の鍵マークをクリックして、「Webサイトの認証」が表示されることを確認します。



お知らせ

- この方法でアクセスできない場合、プロキシサーバーの設定が原因である可能性があります。ネットワーク管理者へお問い合わせください。

重要

- HTTPSを使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔（フレームレート）も遅くなる場合があります。

2.9.5 HTTPSでカメラにアクセスする（CA証明書選択時）

- 1 PCでウェブブラウザを起動します。
- 2 カメラのIPアドレスを、ウェブブラウザの [アドレス] ボックスに入力します。
入力例：`https://192.168.0.10/`

重要

- HTTPSポートが番号が「443」から変更されている場合は、「https://カメラのIPアドレス：ポート番号」を [アドレス] ボックスに入力してください。
例：`https://192.168.0.11:61443`
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、ウェブブラウザ（メニューバーの「ツール」－「インターネットオプション」）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

- 3 [Enter] キーを押します。
→ ライブ画ページが表示されます。

重要

- HTTPSを使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔（フレームレート）も遅くなる場合があります。

2.9.6 DDNSの設定方法

本機でDDNS機能を使用する場合、以下のいずれかのDDNSサービスが利用できます。

- 「みえますねっと」サービス
- ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）

重要

- DDNSサービスを利用する前に、ルーターにポートフォワーディング設定をする必要があります。
- 「ダイナミックDNS（DDNS）」 Update（RFC2136準拠）について
弊社では「みえますねっと」サービス以外のDDNSサービスに関する動作保証は一切行っていません。したがって「みえますねっと」サービス以外のDDNSサービスの利用により、カメラをお使いの環境に何らかの障害や損害が発生したとしても、責任を負いかねます。
「みえますねっと」サービス以外のDDNSサービスの選定・設定に関しては、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。
- 「みえますねっと」サービスがサポートしているブラウザなどを「みえますねっと」サービスのウェブサイト（<https://panasonic.biz/cns/miemasu/>）で確認してください。

お知らせ

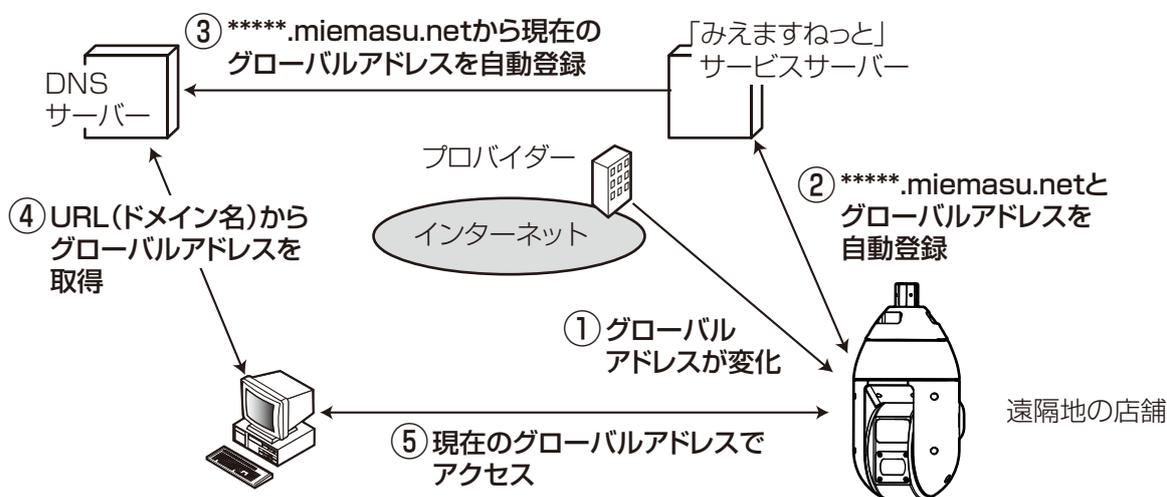
- 「みえますねっと」サービス（有料）は、弊社がお勧めするDDNSサービスです。「みえますねっと」サービスの詳細については、「みえますねっと」サービスのウェブサイト (<https://panasonic.biz/cns/miemasu/>) を参照してください。

DDNSサービスについて (IPv4/IPv6)

DDNSサービスを利用することによって、インターネット経由でカメラ画像を見ることができます。DDNSサービスは、動的（ダイナミック）に変化するグローバルアドレスとドメイン名を対応づけるサービスです。DDNSサービスの「みえますねっと」サービス（有料。IPv6に対応していますが、IPv4/IPv6両方の接続環境が必要です。）、または「ダイナミックDNS Update (RFC2136準拠)」を設定できます。多くのプロバイダーが提供するサービスはグローバルアドレスが固定ではなく変化するため、時間が経過すると以前のグローバルアドレスでカメラにアクセスできなくなる場合があります。グローバルアドレスが固定されない環境のカメラに、インターネットからアクセスするには、以下のいずれかのサービスが必要です。

- DDNSサービス（「みえますねっと」サービスなど）
グローバルアドレスが変化しても、登録した固定のドメイン名（例：*******.miemasu.net**）でアクセスできるサービスです。IPv6接続を利用する場合もドメイン名サービスに加入する必要があります。「みえますねっと」サービスの詳細情報については、「みえますねっと」のウェブサイト (<https://panasonic.biz/cns/miemasu/>) を参照してください。
- 固定IPアドレスサービス（ご契約プロバイダーのサービスなど）
グローバルアドレスが変化しない（固定）サービスです。

DDNSサービスの仕組み（「みえますねっと」サービスの場合）



- ① 契約しているプロバイダーがグローバルアドレスをルーター（またはカメラ）に割り当てます。このときに割り当てられるグローバルアドレスは、固定ではなく変化するアドレスになります。
- ② 「みえますねっと」サービスに加入した場合は、カメラには固有の「ドメイン名」（例：*******.miemasu.net**）が割り当てられます。カメラが、自動的に「みえますねっと」サービスサーバーにルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを通知することで（「みえますねっと」サービスサーバーが）、カメラのドメイン名とルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを管理します。
- ③ 「みえますねっと」サービスサーバーは、ルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスとドメイン名をDNSサーバーに登録します。

- ④ インターネット経由でカメラにアクセスする際、ウェブブラウザにドメイン名を含むURLを入力することで、DNSサーバーが、登録されているルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを割り出します。
- ⑤ 割り出したグローバルアドレスでルーター（またはカメラ）へアクセスし、画像をモニタリングできます。

お知らせ

- 使用しているIPアドレスが固定かどうかについては、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- プロバイダーによっては、ローカルアドレスが割り振られる場合があります。その場合は、DDNSサービスは利用できませんので、契約しているプロバイダーにご確認ください。

2.9.6.1 「みえますねっと」サービスを使用する場合

- 1 ネットワークページの [アドバンス] タブで、「DDNS」をクリックし、「設置地域」で「日本」を選択します。

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) FTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS			
DDNS			
設置地域	日本		
サービス	みえますねっと		
カメラURL			
みえますねっと登録へのリンク			
設定			

- 2 「みえますねっと」を選択して、「設定」をクリックします。

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) FTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS			
DDNS			
設置地域	日本		
サービス	みえますねっと		
カメラURL			
みえますねっと登録へのリンク	https://www.xxxxx		
設定			

- 3 「みえますねっと登録へのリンク」に表示されているURLをクリックします。
→ 「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウィンドウで開きます。

4 画面に従って「みえますねっと」サービスの登録を行います。

→ 「みえますねっと」サービスの登録画面が表示されない場合は、PCがインターネットに接続しているか確認し、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。

DDNS	
設置地域	日本
サービス	みえますねっと
カメラURL	xxx.miemasu.net
みえますねっと登録へのリンク	https://www.xxxxx

5 カメラの画面を再度表示し、「カメラURL」に「みえますねっと」サービスに登録したドメイン (xxxx.miemasu.net:xxx) が表示されていることを確認します。

お知らせ

- 「みえますねっと」サービスへの登録が完了している場合は、登録したカメラのURLが「カメラURL」に表示されています。このアドレスがインターネット経由でカメラにアクセスするときには使うアドレスです。このURLを忘れないようにブラウザ機能のお気に入り登録をお勧めします。また、カメラのメンテナンスページの「ステータス」タブの「カメラURL」でカメラのURLを確認することができます。
- カメラのURLは、「みえますねっと」サービスに登録したあとに使用できるようになります。（登録されたカメラのURLが有効になるまで、最大で30分くらいかかる場合があります。）ただし、ルーターによっては、カメラと同じネットワーク（LAN）に接続されているPCからは、このURLでアクセスできません。
- 「みえますねっと登録へのリンク」が表示されない場合は、「みえますねっと」サービスへの登録が完了してPCがインターネットに接続されていることを確認して、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。
- メンテナンスページの「ステータス」タブにある「みえますねっと」の「ステータス」に「ユーザ登録済」と表示されたときは、「みえますねっと」サービス登録後にカメラを再起動してください。再起動後、メンテナンスページの「ステータス」タブにある「みえますねっと」の「カメラURL」に登録したURLが表示されていることを確認してください。
- 「みえますねっと」サービスには、ダイナミックDNSサービス以外のサービスがあります。詳細は「みえますねっと」サービスのウェブサイトを参照してください。

「みえますねっと」サービスの登録を確認する

- 1 メンテナンスページの「ステータス」タブをクリックします。

システムログ	バージョンアップ	ステータス	初期化	データ
みえますねっと				
サーバー	XXXXXXXX			
ステータス	サービス契約登録済			
カメラURL	xxx.mimasu.net			

- 2 メンテナンスページの「ステータス」タブにある「みえますねっと」の「ステータス」に「サービス契約登録済」が表示されていることを確認します。

お知らせ

- メンテナンスページの「ステータス」タブにある「みえますねっと」の「ステータス」に「サービス契約登録済」以外が表示されている場合は、カメラを再起動してこの画面に再度アクセスしてください。

UPnPを使わないポートフォワーディングを設定する

UPnPに対応していないルーターを使用する場合、ポートフォワーディング機能を手動でルーターに設定する必要があります。

- 1 ネットワークページの「ネットワーク」タブをクリックします。
- 2 「接続モード」で、「固定IP」を選択します。
- 3 ここで表示されるIPアドレスとポート番号などを確認し、修正する必要がある場合は修正します。（ルーターのポートフォワーディングを設定するときに必要なになります。）
- 4 「設定」ボタンをクリックします。
- 5 ルーターの取扱説明書を参照しながらポートフォワーディングの設定をします。
 - 設定するときは、手順3で確認をしたIPアドレスとポート番号を使ってください。
 - ポートフォワーディング機能を、ルーターによってはアドレス変換、静的IPマスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバーまたはポートマッピングと説明している場合があります。

お知らせ

- ポートフォワーディングを手動でルーターに設定する場合は、「自動ポートフォワーディング」を必ず「Off」に設定してください。

「みえますねっと」サービス使用時の制限事項

「みえますねっと」のオプションサービスにカメラを登録すると、以下の設定項目は設定ができなくなります。

- [アラーム時の画質制御]
- [アラーム時の画質]

「みえますねっと」サービスの詳細は、ウェブサイト (<https://panasonic.biz/cns/miemasu/>) を参照してください。

2.9.6.2 ダイナミックDNS Update (DHCP連携なし) を使用する場合

The screenshot shows the 'アドバンス' (Advanced) tab in the network settings. Under the 'DDNS' section, the 'サービス' (Service) is set to 'ダイナミックDNS Update (DHCP連携なし)'. The '設置地域' (Region) is '日本', 'アクセス間隔' (Access Interval) is '24h', and the 'ホスト名' (Host Name) field is empty. A '設定' (Apply) button is at the bottom.

- **【ホスト名】**
ダイナミックDNS Updateサービスで使用するホスト名を入力します。
入力可能文字数：3～250文字（ホスト名）.（ドメイン名）形式で入力
入力可能文字：半角英数字、半角記号「-」「.」
初期設定：空欄

お知らせ

- 使用できるホスト名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- **【アクセス間隔】**
ダイナミックDNS Updateサービスサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。
10min/20min/30min/40min/50min/1h/6h/24h
初期設定：24h

2.9.6.3 ダイナミックDNS Update (DHCP連携) を使用する場合

The screenshot shows the 'アドバンス' (Advanced) tab in the network settings. Under the 'DDNS' section, the 'サービス' (Service) is set to 'ダイナミックDNS Update (DHCP連携)'. The '設置地域' (Region) is '日本', and the 'ホスト名' (Host Name) field is empty. A '設定' (Apply) button is at the bottom.

- **【ホスト名】**
ダイナミックDNS Updateサービスで使用するホスト名を入力します。
入力可能文字数：3～250文字（ホスト名）.（ドメイン名）形式で入力
入力可能文字：半角英数字、半角記号「-」「.」
初期設定：空欄

お知らせ

- 使用できるホスト名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2.10 スケジュールの設定を行う [スケジュール]

スケジュールページでは、以下の項目についてスケジュールを設定します。

- アラーム入力許可 (端子1,2,3)
- アラーム入力許可 (端子1)
- アラーム入力許可 (端子2)
- アラーム入力許可 (端子3)
- 動作検知許可
- 音検知許可
- 画像公開許可
- SD録画
- シーンファイル
- FTP定期送信
- メール送信許可
- ポジションリフレッシュ
- プリセットポジション (1~256)
- 全アラーム検知許可 (みえますねっと設定時のみ)
- カメラの再起動 (スケジュール5のみ)

スケジュールページは、[スケジュール] タブのみで構成されています。

スケジュールは、最大5個まで設定することができます。

The screenshot displays the 'スケジュール' (Schedule) configuration interface. It features five individual schedule settings, each with a unique color: Schedule 1 (White), Schedule 2 (Blue), Schedule 3 (Green), Schedule 4 (Red), and Schedule 5 (Black). For each schedule, the '動作モード' (Action Mode) is currently set to 'Off'. The 'スケジュール' (Schedule) section includes checkboxes for each day of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土, 日) and a 24-hour time range selector. Below these settings is a weekly calendar grid with time slots from 0:00 to 24:00. A '設定' (Settings) button is located at the bottom of the screen.

1 「動作モード」からスケジュールの動作を選択します。

初期設定時は「Off」に設定されています。

Off：スケジュール動作を行いません。

アラーム入力許可 (端子1,2,3)：スケジュール設定されている間、端子のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子1)：スケジュール設定されている間、端子1のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子2)：スケジュール設定されている間、端子2のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子3)：スケジュール設定されている間、端子3のアラーム入力を許可します。

動作検知許可：スケジュール設定されている間、動作検知を許可します。

音検知許可：スケジュール設定されている間、音検知を許可します。

画像公開許可：スケジュール設定されている間以外は、[ユーザー認証] タブ (→180 ページ) で設定したアクセスレベルが「2.カメラ制御」、「3.ライブ画表示」のユーザーからの画像閲覧を禁止します。

SD録画1：スケジュール設定された時間になると、「録画ストリーム1」で設定されたSD録画を行います。なお、「録画圧縮方式」がストリームのときのみ有効です。

SD録画2：スケジュール設定された時間になると、「録画ストリーム2」で設定されたSD録画を行います。なお、「録画圧縮方式」がストリームのときのみ有効です。

ポジションリフレッシュ：スケジュール設定された時間になると、ポジションリフレッシュを行います。

1～256：スケジュール設定された時間になると、あらかじめ登録されているプリセットポジションから選択したポジションに移動します。

全アラーム検知許可：「DDNS」で「みえますねっと」に設定している場合、スケジュール5でのみ選択できます。スケジュール設定がされている間は、すべてのアラーム入力を許可します。ただし、スケジュールの変更はできません。

画質1：シーンファイル1 (Scene 1)：スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル1」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質2：シーンファイル2 (Scene 2)：スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル2」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質3：シーンファイル3 (Scene 3)：スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル3」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

画質4：シーンファイル4 (Scene 4)：スケジュール設定された時間になると、「シーンファイル4」の画質設定になります。スケジュール設定された時間が終了すると、「シーンファイル外」の画質設定になります。

FTP定期送信：スケジュール設定された時間になると、FTP定期送信を行います。

メール送信許可：スケジュール設定されている間、アラーム発生時にメール通知を行います。

カメラの再起動：スケジュール設定された時間になると、カメラの再起動を行います。スケジュール5でのみ選択できます。

お知らせ

- 「画像公開許可」で使用する場合は、[ユーザー認証] タブの「ユーザー認証」(→180 ページ)を「On」に、[ホスト認証] タブの「ホスト認証」(→183 ページ)を「Off」に設定してください。
- 「SD録画1」または「SD録画2」で使用する場合は、[SDメモリーカード] タブの「録画圧縮方式」を「ストリーム(1)」、「ストリーム(2)」、「ストリーム(3)」、「ストリーム(4)」にし、「保存モード」を「スケジュール保存」に設定してください。(→84 ページ)

2 「スケジュール」でスケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。

3 時間を指定するときは [▼] をクリックして時間を設定します。

時間帯を設定しないときは「24h」にチェックを入れます。

4 設定が終了したら、「設定」ボタンをクリックします。

→ 画面下に設定した内容が表示されます。

お知らせ

- スケジュール1～スケジュール5に表示されている色は、画面下のスケジュール欄に表示される線の色を表しています。

- ポジションリフレッシュと画質の設定時刻を同時刻に設定した場合、画質の反映はポジションリフレッシュ完了後になります。

2.10.1 スケジュールの設定のしかた

The screenshot displays the 'スケジュール' (Schedule) configuration interface. It features five individual schedule settings, each with a color-coded header (白, 青, 緑, 赤, 黒) and a corresponding color square. Each setting includes a '動作モード' (Action Mode) dropdown menu set to 'Off', and a 'スケジュール' (Schedule) section. The 'スケジュール' section contains checkboxes for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土, 日) and a '24h' checkbox. Below these are time selection controls: a '24h' checkbox, and two time range selectors (start and end times) with dropdown menus. At the bottom of the settings area is a 24-hour grid with columns for 0:00, 6:00, 12:00, 18:00, and 24:00, and rows for each day of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土, 日). A '設定' (Settings) button is located at the bottom center of the screen.

- 1 「スケジュール」で、スケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。
→ 曜日が有効になります。
- 2 時間を指定するときは、[▼] をクリックして時間を指定します。
時間帯を指定しないときは「24h」にチェックを入れます。

- 3 設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックします。
→ 画面下に設定した内容が表示されます。

スケジュール

スケジュール	
スケジュール 1 (白)	動作モード 動作検知許可
スケジュール	<input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 24h 09:00 ~ 17:30
スケジュール 2 (青)	動作モード 動作検知許可
スケジュール	<input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 24h 23:00 ~ 07:00
スケジュール 3 (緑)	動作モード FTP定期送信
スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 24h : : ~ : :
スケジュール 4 (赤)	動作モード Off
スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 24h : : ~ : :
スケジュール 5 (黒)	動作モード Off
スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 24h : : ~ : :

0:00 6:00 12:00 18:00 24:00

	月	火	水	木	金	土	日
月	00:00-06:00		00:00-12:00		00:00-18:00		00:00-06:00
火	00:00-06:00		00:00-12:00		00:00-18:00		00:00-06:00
水	00:00-06:00		00:00-12:00		00:00-18:00		00:00-06:00
木				00:00-12:00			00:00-06:00
金	00:00-06:00		00:00-12:00		00:00-18:00		00:00-06:00
土	00:00-06:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-24:00
日	00:00-06:00	00:00-12:00					00:00-24:00

設定

2.10.2 スケジュールの削除のしかた

スケジュール	動作モード	スケジュール
スケジュール 1 (白)	動作検知許可	<input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 24h 09:00 ~ 17:30
スケジュール 2 (青)	動作検知許可	<input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 24h 23:00 ~ 07:00
スケジュール 3 (緑)	FTP定期送信	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 24h
スケジュール 4 (赤)	Off	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 24h
スケジュール 5 (黒)	Off	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 24h

0:00 6:00 12:00 18:00 24:00

月
火
水
木
金
土
日

設定

- 1 スケジュールを削除する曜日ボックスのチェックを外します。

- 2 設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックします。
→ 選択した曜日のスケジュールが削除されます。

スケジュール

スケジュール

スケジュール 1 (白)	動作モード	Off
	スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 ■ 24h : ~ :
スケジュール 2 (青)	動作モード	Off
	スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 ■ 24h : ~ :
スケジュール 3 (緑)	動作モード	Off
	スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 ■ 24h : ~ :
スケジュール 4 (赤)	動作モード	Off
	スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 ■ 24h : ~ :
スケジュール 5 (黒)	動作モード	Off
	スケジュール	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日 ■ 24h : ~ :

	0:00	6:00	12:00	18:00	24:00
月					
火					
水					
木					
金					
土					
日					

設定

2.11 本機のメンテナンスを行う [メンテナンス]

メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアのバージョンアップ、ステータスの確認、本機の初期化などを行います。

メンテナンスページは、[システムログ] タブ、[バージョンアップ] タブ、[ステータス] タブ、[初期化] タブ、「データ」タブで構成されています。

2.11.1 システムログを確認する [システムログ]

メンテナンスページの [システムログ] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

[SDメモリーカード] タブで「SDメモリーカード」を「使用する」に設定 (→78 ページ) し、SDメモリーカードが本機に取り付けられている場合は、SDメモリーカード内に最大4000件のシステムログを保存できます。

「SDメモリーカード」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大100件までシステムログを保存できます。

保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。

システムログは100件ずつ表示され、カメラの電源を切ってもログは保存されます。



- **[<<最新の100件]**
クリックすると、最新100件のシステムログ一覧が表示されます。
- **[次の100件>>]**
クリックすると、表示しているシステムログ一覧の次の100件を表示されます。
- **[ページ数表示]**
現在開いているページが「ページ/総ページ」の形式で表示されます。
- **[<<前の100件]**
クリックすると、表示しているシステムログ一覧の前の100件を表示されます。
- **[No]**
システムログの通し番号が表示されます。
- **[発生日時]**
ログの発生日時が表示されます。

お知らせ

- 「時刻表示形式」(→71 ページ) を「Off」に設定している場合、ログの発生日時は24時間形式で表示されます。
- **[内容]**
システムログの内容が表示されます。
各システムログの内容について詳しくは、259 ページをお読みください。

2.11.2 ソフトウェアのバージョンアップを行う [バージョンアップ]

メンテナンスページの [バージョンアップ] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアを最新のバージョンに更新できます。バージョンアップ用ソフトウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

システムログ		バージョンアップ	ステータス	初期化	データ
代表品番	XXXXXXXXXX				
MACアドレス	XXXXXXXXXX:XXXXXXXXXX:XXXXXXXXXX				
シリアル番号	XXXXXXXXXX				
ソフトウェアバージョン	V.1.0.0				
IPアドレス(IPv6)	リンクローカル	XXXXXXXXXX:XXXXXXXXXX:XXXXXXXXXX:XXXXXXXXXX			
	固定				
	RA				
	DHCPv6				
プラグインソフトウェアのインストール回数	1 回				
製造からの経過年数	1 年				

[拡張ソフトウェア画面へ](#)

参照...

● バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う。
(ただしネットワーク関連の設定データは除く)

○ バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行わない。

バージョンアップ後HTMLファイルは必ず初期化されます。

最新のバージョンアップ用ソフトウェアは以下のパナソニックサポートウェブサイトに掲載されています。

注：インターネットに接続していない場合は表示できません。

- ・日本でご使用の場合
<http://sol.panasonic.biz/security/support/index.html>
- ・日本以外でご使用の場合
<http://security.panasonic.com/support/>

バージョンアップ完了まで かります。
バージョンアップ中はブラウザを操作しないでください。

実行

[代表品番]、[MACアドレス]、[シリアル番号]、[ソフトウェアバージョン]、[IPアドレス (IPv6)]、[プラグインソフトウェアのインストール回数]、[製造からの経過年数]

本機の各情報が表示されます。

[拡張ソフトウェア画面へ]

機能拡張ソフトウェアをインストールする画面へのリンクを表示しています。機能拡張ソフトウェアの詳細はパナソニックのサポートウェブサイト (<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0103>) を参照してください。

1 お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

重要

- ・ 保存ディレクトリーには、スペース、全角文字は使用しないでください。

- 2 [参照] ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

お知らせ

- 最新のバージョンアップ用ソフトウェアは、パナソニックのサポートウェブサイトに掲載されています。ダウンロード後、ファイルをダブルクリックして解凍し、「.img」という拡張子のファイルをバージョンアップに使用してください。
 - 日本で使用する場合
<https://sol.panasonic.biz/security/support/index.html>
 - 日本以外で使用する場合
<https://security.panasonic.com/support/>
- サポートウェブサイトの閲覧には、インターネットへの接続が必要です。

- 3 ラジオボタンをクリックして、バージョンアップ完了後にデータの初期化を行うかどうかを選択します。
初期設定：バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行わない。

お知らせ

- 初期化を行うと、設定データの復元ができませんのでご注意ください。

- 4 [実行] ボタンをクリックします。

→ バージョンアップ実行の確認画面が表示されます。

重要

- バージョンアップを行ったあとは、必ず本ページにてバージョンをご確認ください。
- バージョンアップを行ったあとは必ずインターネット一時ファイルを削除してください。(→264 ページ)
- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるPCで行ってください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認くださいのうえ、その指示に従ってください。
- アプリケーションソフトのバージョンアップ時に使用するソフトウェアは、弊社指定のimgファイルを使用してください。
バージョンアップ時に使用するソフトウェアのファイル名は、必ず「機種名_#####.img」（機種名は小文字で、「WV-」は不要。）にしてください。
※「#####」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- 以下のネットワーク関連のデータは「バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う」を選択した場合でも初期化されません。
IPv4 DNSのプライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス、IPv6のDNSプライマリーサーバーアドレス、DNSセカンダリーサーバーアドレス、DHCPのOn/Off、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、HTTPSポート、HTTP/HTTPS接続方法、CRT鍵、CA証明書、UPnP設定、通信速度、配信量制御（ビットレート）、時刻設定、プリセットポジション
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2.11.3 ステータスを確認する [ステータス]

メンテナンスページの [ステータス] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、本機のステータスを確認することができます。

システムログ	バージョンアップ	ステータス	初期化	データ
みえますねっと				
サーバー	http://www.mitsumi.com			
ステータス	正常			
カメラURL				
UPnP				
ポート番号(HTTP)	-			
ステータス	無効			
ポート番号(HTTPS)	-			
ステータス	無効			
ルーターのグローバルアドレス				
自己診断				
ハードウェア 1	0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 00			
ハードウェア 2	0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 00			
ハードウェア 1 とハードウェア 2 の値が一致している場合は正常です。不一致の場合は異常です。				
動作情報				
ステータス	正常 (CPU: 100% / メモリ: 100% / ディスク: 100% / ネットワーク: 100%)			
SDメモリーカード				
品番	SDXC			
シリアル番号	1234567890123456789012345678901234			
容量表示	128GB (119.0GB)			
稼働時間	1234567890123456789012345678901234			
上書き回数	1234567890123456789012345678901234			
No	発生日時	内容		

みえますねっと

- **【サーバー】**
「みえますねっと」サービスサーバーのURLが表示されます。
- **【ステータス】**
「みえますねっと」サービスへの登録状態が表示されます。
- **【カメラURL】**
「みえますねっと」サービスに登録されたカメラのURLが表示されます。

UPnP

- **【ポート番号(HTTP)、ポート番号(HTTPS)】**
UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。
- **【ステータス】**
ポートフォワーディングの状態が表示されます。
- **【ルーターのグローバルアドレス】**
ルーターのグローバルアドレスが表示されます。

自己診断

ハードウェアの自己診断結果が表示されます。すべて0の場合は正常動作です。

動作情報

PAN、TILT、ZOOM、FOCUS、白黒切換、起動の動作回数や、通電時間、温度センサー情報などが表示されます。

お知らせ

- ステータスの表示内容（みえますねっと、UPnPの各ステータス、自己診断）については、パナソニックのサポートウェブサイト (<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html><管理番号：C0111>) を参照してください。

SDメモリーカード

- 【品番】**
SDメモリーカードの品番を表示します。品番情報の取得に失敗した場合は、「リードエラー」と表示します。SDメモリーカードを使用していない場合は「未使用」と表示します。それ以外の場合は「不明」と表示します。
- 【シリアル番号】**
SDメモリーカードのシリアル番号を表示します。シリアル番号の取得に失敗した場合は「不明」と表示します。
- 【容量表示】**
SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。基本ページの [SDメモリーカード] タブーSDメモリーカード情報 [容量表示] と表示内容は同じです。
- 【稼働時間】**
SDメモリーカードが挿入された状態での本機の通電時間を表示します。稼働時間の取得に失敗した場合は、「不明」と表示します。なお、稼働時間は1時間に1回更新されます。
- 【上書き回数】**
SDメモリーカードの総容量、カメラがSDメモリーカードに書き込んだファイル数、ファイルサイズから計算した、上書き回数を表示します。上書き回数の計算に失敗した場合は、「不明」と表示します。

お知らせ

- 上書き回数は本機内で計算した推測値であり、実際の上書き回数と異なる場合があります。
- 「パスワードロック」を使用し、SDメモリーカードのパスワードが一致しない場合は、上記の情報は表示されません。

ログの [No] [発生日時] [内容]

SDメモリーカードに関するログを表示します。

分類	表示内容	内容詳細
SDメモリーカード	<SD>フォーマット	SDメモリーカードのフォーマットに成功しました。
	<SD>フォーマットエラー	SDメモリーカードのフォーマットでエラーが発生しました。
	<SD>ライトプロテクト	ライトプロテクトされたSDメモリーカードが挿入されました。
	<SD>認識エラー	SDメモリーカードを正しく認識できません。
	<SD>ライトエラー	SDメモリーカードのライト処理でエラーが発生しました。
	<SD>リードエラー	SDメモリーカードのリード処理でエラーが発生しました。
	<SD>削除エラー	SDメモリーカードの削除処理でエラーが発生しました。
	<SD>ファイルシステムエラー	SDメモリーカードのファイルシステムでエラーが発生しました。
<SD>その他エラー	SDメモリーカードで上記以外のエラーが発生しています。	

重要

- 本機能を正しく使用するためには、SDメモリーカード使用前に本機でSDメモリーカードのフォーマットを行ってください。
- PCなど本機以外で使用したSDメモリーカードでは、正しい情報を表示することができない場合があります。
- SDメモリーカードログは、本機の内部メモリーに最大30件まで保存できます。保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。

2.11.4 本機を初期化・再起動する【初期化】

メンテナンスページの【初期化】タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。

システムログ	バージョンアップ	ステータス	初期化	データ
設定データ初期化 (ネットワーク設定を除く)		実行		
HTML初期化		実行		
設定データ/HTML初期化		実行		
カメラの再起動		実行		
ポジションリフレッシュ		実行		

- **【設定データ初期化(ネットワーク設定を除く)】**
[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。
初期化動作を行うと、約3分間操作できません。
- **【HTML初期化】**
[実行] ボタンをクリックすると、HTMLファイルを初期設定に戻します。
初期化動作を行うと、約3分間操作できません。
- **【設定データ/HTML初期化】**
[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定内容とHTMLファイルを初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。
初期化動作を行うと、約3分間操作できません。
- **【カメラの再起動】**
[実行] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。
- **【ポジションリフレッシュ】**
本機のポジションをリフレッシュします。本機を使用中にホームポジション、プリセットポジションに設定された位置からカメラの向きがずれた場合や、誤ってカメラ電源投入中にカメラの向きを変えてしまった場合に、位置を補正できます。
ポジションリフレッシュを行うと、約2分間操作できません。

重要

- カメラ設置時に誤ってカメラの向きを変えてしまう場合があります。設置工事後にプリセット登録を行う場合は、ポジションリフレッシュを実行することをお勧めします。

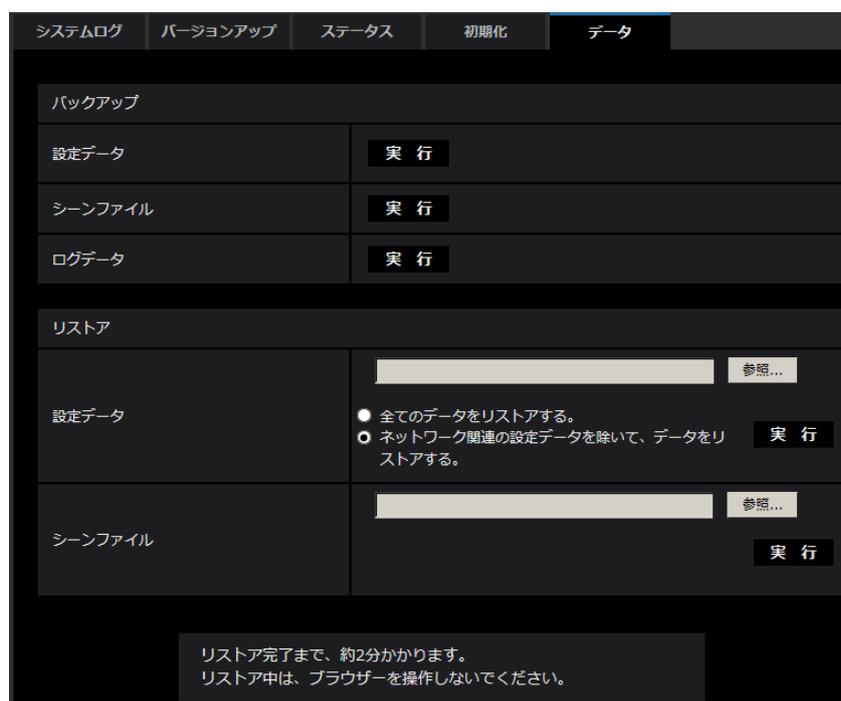
お知らせ

- ネットワークの設定内容 (→191 ページ) の初期化方法については、付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編を参照してください。
- アラームまたはメールの通知機能の診断を選択すると、再起動後にSDメモリーカードが取り付けられていない、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている、などのエラーが発生した際、設定した「通知先メールアドレス」や独自アラーム通知先に通知することが可能です。(→198 ページ、176 ページ)

2.11.5 設定データ・ログをバックアップ／リストアする【データ】

メンテナンスページの [データ] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：49 ページ、49 ページ)

ここでは、本機の設定データのバックアップ／リストア、およびログの保存を行います。



バックアップ

- **【設定データ】**
[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定データをPCにバックアップすることができます。
- **【シーンファイル】**
[実行] ボタンをクリックすると、本機のシーンファイル設定データをPCにバックアップすることができます。
- **【ログデータ】**
[実行] ボタンをクリックすると、本機のログデータをPCにバックアップすることができます。

重要

- 設定データやログのバックアップ実行時には、バックアップファイルの作成に時間がかかります。
- バックアップ操作に10分以上要した場合、通信のタイムアウトが発生することがあります。このとき、バックアップデータを完全に取得できていない可能性がありますので、10分以内に完了させてください。また、正しいデータが取得できたかどうかは、取得データをリストアすることで確認することができます。(ログデータを除く)

リストア

- **【設定データ】**
[参照] ボタンを押して、リストアしたい設定データのファイルを選択します。
ラジオボタンをクリックしてリストア時にネットワークに関する設定内容もリストアするかどうか選択します。
[実行] ボタンをクリックすると、リストアが始まります。リストア完了後は再起動しますので、リストアが完了するまで画面を操作しないでください。
リストア時に使用する設定データのファイル名は、必ず「機種名.dat」(機種名は小文字で、「WV-」は不要) にしてください。

重要

- 設定データのリストアに5分以上の時間を要する場合には、通信が切断されるなどにより、リストアに失敗している可能性があります。リストアを再度実施してください。

お知らせ

- HTTPS関連の設定については、設定データのリストア操作では反映されません。
- [シーンファイル]**
[参照] ボタンを押して、リストアしたいシーンファイル設定データのファイルを選択します。
[実行] ボタンをクリックすると、リストアが始まります。リストアが完了するまで画面を操作しないでください。
リストア時に使用するシーンファイルデータのファイル名は、必ず「機種名.txt」（機種名は小文字で、「WV-」は不要）にしてください。

2.12 パナソニックサポートウェブサイトを表示する [サポート]

サポートページでは、パナソニックのサポートウェブサイトのアクセス方法を説明します。



ブラウザからパナソニックサポートウェブサイトを参照する場合は、サポートページのリンクをクリックしてください。

携帯端末から参照する場合は、携帯端末のカメラで「データマトリクス」か「QRコード」を読み取ってパナソニックサポートウェブサイトを表示してください。

表示できない場合は、https://security.panasonic.com/support/qr_sp_select/にアクセスしてください。

3 その他

3.1 CD-ROMを使用する

3.1.1 CDランチャーについて

付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブに入れると、自動的にCDランチャーが起動し、使用許諾契約が表示されます。

使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約書の条項に同意します。」を選択し、[OK] をクリックしてください。

CDランチャーの画面が表示されます。

CDランチャーが起動しない場合は、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

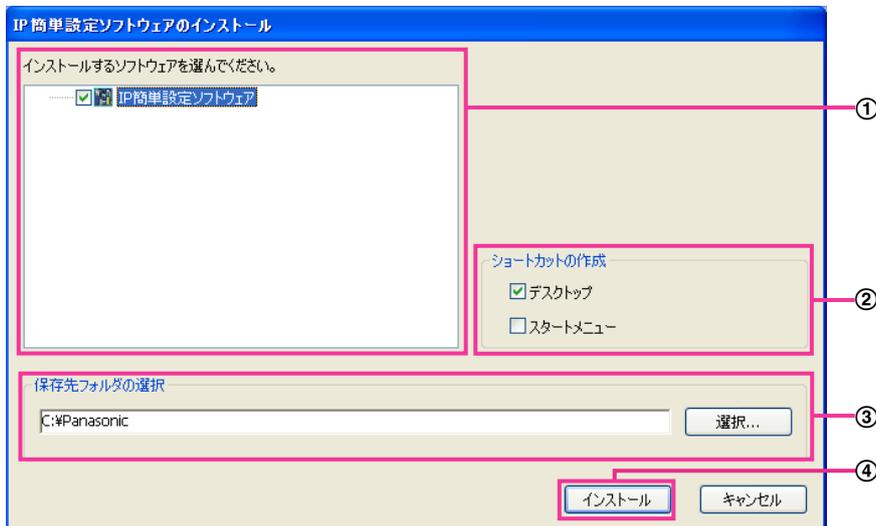


付属のCD-ROMを使って、次のようなことができます。

- ① IP簡単設定ソフトウェアをPCにインストールすることができます。(→254 ページ)
- ② IP簡単設定ソフトウェアを起動し、本機のネットワークに関する設定をすることができます。(→256 ページ)
- ③ 取扱説明書をPCにインストールすることができます。(→255 ページ)
- ④ 取扱説明書を参照することができます。[参照] ボタンをクリックしてください。
- ⑤ 本機の画像の表示用プラグインソフトウェアをPCにインストールすることができます。(→255 ページ)

3.1.2 IP簡単設定ソフトウェアをインストールする

CDランチャーの画面で「IP簡単設定ソフトウェア」の [インストール] ボタンをクリックするとIP簡単設定ソフトウェアのインストール画面が表示されます。下記の各設定項目を確認し、インストールしてください。



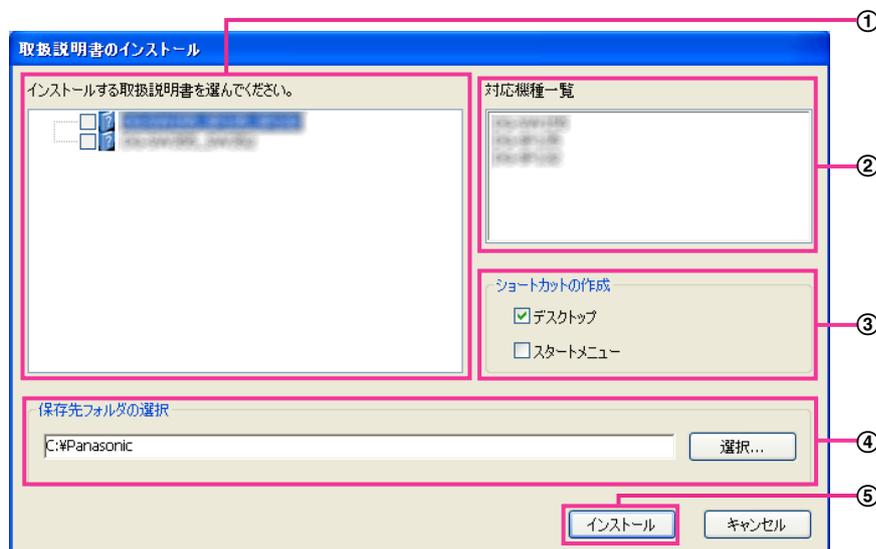
- ① インストールするIP簡単設定ソフトウェアを選択してください。
- ② IP簡単設定ソフトウェアをインストールしたときに、ショートカットアイコンを作成する場所を選択します。
- ③ IP簡単設定ソフトウェアをインストールするPCのフォルダーを指定します。
- ④ [インストール] ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

お知らせ

- IP簡単設定ソフトウェアをアンインストールするには、インストールしたときに指定したショートカットアイコンの場所（初期設定：デスクトップ）にあるショートカットアイコンと、IP簡単設定ソフトウェアをインストールしたときに指定したフォルダー（初期設定：C:\¥Panasonic）内にある [EasyIPConfig] フォルダーを削除してください。

3.1.3 取扱説明書をインストールする

CDランチャーの画面で「取扱説明書」の「インストール」ボタンをクリックすると取扱説明書のインストール画面が表示されます。下記の各設定項目を確認し、インストールしてください。



- ① インストールする取扱説明書の機種を選択してください。
なお、取扱説明書の対応機種は②の対応機種一覧に表示されます。
- ② ①で選択した取扱説明書がどの機種に対応しているかを一覧表示します。
- ③ 取扱説明書をインストールしたときに、取扱説明書のショートカットアイコンを作成する場所を選択します。
- ④ 取扱説明書をインストールするPCのフォルダーを指定します。
- ⑤ 「インストール」ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

お知らせ

- 取扱説明書をアンインストールするには、インストールしたときに指定したショートカットアイコンの場所（初期設定：デスクトップ）にあるショートカットアイコンと、取扱説明書をインストールしたときに指定したフォルダー（初期設定：C:\¥Panasonic）内にある「Manual」フォルダーを削除してください。

3.1.4 表示用プラグインソフトウェアをインストールする

H.265（またはH.264）の表示、音声の受話／送話、および、SDメモリーカードに保存されているログリストの表示や画像の再生を行うためには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」（ActiveX）がPCにインストールされている必要があります。CDランチャーの画面で「表示用プラグインソフトウェア」の「インストール」ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。なお、PCで本機にアクセスし、メッセージが表示された場合は、画面に従ってインストールしてください。詳しくは4ページを参照してください。

お知らせ

- 表示用プラグインソフトウェアをアンインストールするには、PCのOSにより以下の手順で削除してください。

[コントロールパネル] の [プログラム] の [プログラムのアンインストール] より [Network Camera View 4S] を削除

3.1.5 IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う

本機のネットワークに関する設定は、付属のCD-ROMのIP簡単設定ソフトウェアを使って行うことができます。本機を複数台設定する場合は、カメラごとに行う必要があります。

IP簡単設定ソフトウェアを使って設定できない場合は、ブラウザで本機の設定メニューのネットワークページにアクセスし、個別に設定を行います。(→191 ページ)

重要

- IP簡単設定ソフトウェアを起動すると、管理者アカウントのパスワードを要求されることがあります。この場合は、コントロールパネルから「ユーザーアカウント制御」を無効にしてください。
- IP簡単設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- 旧バージョンのIP簡単設定ソフトウェア (Ver.2.xx) では、本機を表示したり設定したりすることはできません。
- IP簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラの「ネットワーク設定」を変更することができなくなります (IP簡単設定の有効期間の設定が「20分間」の場合)。ただし、初期状態のカメラは約20分経過後も変更することができます。

1 CDランチャーのメニュー画面の「IP簡単設定ソフトウェア」の [起動] ボタンをクリックして起動してください。または、PCにインストールしたあとに、作成されたショートカットアイコンをダブルクリックして起動してください。

- 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します。」を選択し、[OK] をクリックします。
- 「Panasonic IP簡単設定ソフトウェア」画面が表示され、カメラが見つかったとカメラのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示します。

2 設定する本機のMACアドレス/IPアドレスをクリックし、[カメラ画面を開く] ボタンをクリックします。



お知らせ

- DHCPサーバーを使用している場合、本機に割り振られたIPアドレスは、IP簡単設定ソフトウェアの [検索] ボタンをクリックすると確認できます。

- IPアドレスが重複している場合、該当するカメラのIPアドレス重複欄に、重複するカメラNo.が表示されます。
- 表示されるカメラの情報は自動更新されません。[検索]ボタンをクリックして情報を更新してください。
- 「IPv4/IPv6切替」の選択に従い、カメラ一覧表に表示するIPアドレスをIPv4とIPv6で切り換えることができます。
- 各表示項目のタイトルをクリックすると、ソートして表示することができます。
- [ネットワーク設定] ボタンをクリックすると、ネットワーク設定画面が表示され、ネットワーク設定を変更することができます。詳細は、257 ページを参照してください。

3 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」のインストール画面が表示されたら、画面の指示に従って、インストールしてください。(カメラから表示用プラグインソフトウェアがインストールされます。)

- カメラのライブ画面が表示されます。
- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」をインストールできない場合や画像が表示されない場合は、CDランチャーの「表示用プラグインソフトウェア」の「インストール」ボタンをクリックして、インストールしてください。

ネットワーク設定を変更する場合

ネットワーク設定の接続モードやIPアドレスやサブネットマスクなどを変更する場合には、「Panasonic IP簡単設定ソフトウェア」画面の[ネットワーク設定] ボタンをクリックします。

ネットワーク設定画面が表示されます。各項目を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

ネットワーク設定

接続モード 固定IP DHCP
 自動設定(AutoIP) 自動設定(おまかせ)

ポート番号

IPv4アドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNS Auto Manual

プライマリDNS

セカンダリDNS

カメラが再起動するまで待つ

お知らせ

- 「カメラが再起動するまで待つ」のチェックを外すことによって、複数のカメラを連続して設定することができます。

- [ネットワーク設定] 画面の各設定項目の詳細については、191 ページを参照してください。

重要

- [保存] ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約2分かかります。設定が完了する前にEthernetケーブルを抜いて電源を切ると、設定内容が無効になります。再度設定してください。
- ファイアウォール（ソフト含む）を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。

3.2 システムログ表示について

SMTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none"> サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	SMTP認証エラー	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none"> DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTPサーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none"> サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	<ul style="list-style-type: none"> メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

FTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none"> FTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
	FTPサーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none"> サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
接続エラー	転送エラー	<ul style="list-style-type: none"> FTPサーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。 各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
	Passiveモードでのエラー	
	ログアウト失敗	
	ディレクトリー変更に失敗	
	ユーザー名パスワードエラー	
内部エラー	その他のエラー	<ul style="list-style-type: none"> FTP機能で問題が発生しています。FTP設定を再確認してください。

みえますねっとに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
アクセステストエラー	アクセステスト失敗	<ul style="list-style-type: none"> ルーターにポートフォワーディングが設定されていない可能性があります。お使いのルーターの取扱説明書を参照して、UPnP設定を有効にしてください。
みえますねっとサーバーエラー	DNSからみえますねっとサーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none"> DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 DNSサーバーがダウンしている可能性があります。「みえますねっと」のウェブサイトで障害情報をご確認ください。
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none"> みえますねっとサーバーがダウンしている可能性があります。「みえますねっと」のウェブサイトで障害情報をご確認ください。
	転送エラー	
内部エラー	その他のエラー	<ul style="list-style-type: none"> みえますねっと機能で問題が発生しています。みえますねっとの設定を再確認してください。

ダイナミックDNS Updateに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
DDNSサーバーエラー	DNSからDDNSサーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none"> DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none"> DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にお問い合わせください。
	同名ホスト登録	
内部エラー	その他のエラー	<ul style="list-style-type: none"> DDNS Update機能で問題が発生しています。DDNS Updateの設定を再確認してください。

NTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none"> サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
内部エラー	その他のエラー	<ul style="list-style-type: none"> NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。

分類	表示内容	エラー内容詳細
NTPによる時刻同期成功	時刻自動補正しました	<ul style="list-style-type: none"> 時刻修正が成功しました。

HTTPSに関するログ表示

分類	表示内容	内容詳細
HTTPS	署名リクエストを生成しました	<ul style="list-style-type: none"> 署名リクエストの生成が完了しました。
	CA証明書をインストールしました	<ul style="list-style-type: none"> CA証明書のインストールが完了しました。
	CA証明書を削除しました	<ul style="list-style-type: none"> CA証明書の削除が完了しました。
	過去のCRT鍵を適用しました	<ul style="list-style-type: none"> CRT鍵として過去のCRT鍵を適用しました。
	CRT鍵を生成しました	<ul style="list-style-type: none"> CRT鍵の生成が完了しました。

ログインに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	ユーザー名またはIPアドレス	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。 ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。

ログインエラーに関するエラー表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン失敗	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログイン失敗したユーザーのユーザー名を表示します。 ユーザー登録されていない場合は、(未登録ユーザー)を表示します。 通常操作した際に、「ログイン失敗」のログが残ることがありますが、カメラの異常ではありません。 連続して多数のログが残る場合には、不正アクセスを受けている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

独自アラーム通知に関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
独自アラーム通知先エラー	通知先見つからず	<ul style="list-style-type: none"> 通知先のIPアドレスが間違っている可能性があります。通知先のIPアドレスの設定を再確認してください。 通知先がダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	DNSから通知先アドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none"> DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

HTTPアラーム通知に関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
HTTPアラーム通知先エラー	通知先見つからず	<ul style="list-style-type: none"> 通知先のIPアドレスが間違っている可能性があります。通知先のIPアドレスの設定を再確認してください。 通知先がダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	DNSから通知先アドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none"> DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

SDメモリーカードセキュリティに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
SDカード	署名リクエストを生成しました	署名リクエストの生成が完了しました。
	CA証明書をインストールしました	CA証明書のインストールが完了しました。
	CA証明書を削除しました	CA証明書の削除が完了しました。
	過去のCRT鍵を適用しました	CRT鍵として過去のCRT鍵を適用しました。
	CRT鍵を生成しました	CRT鍵の生成が完了しました。

電源装置の接続情報に関する表示

分類	表示内容	内容詳細
電源供給	<PoEインジェクター/AC24V> ハードウェアが検出されました。PoEインジェクター/AC24V電源で動作します。	<ul style="list-style-type: none"> AC24V電源、PoE給電装置（インジェクター）に接続されたことを検出しました。
	<PoE+>ハードウェアが検出されました。PoE+電源で動作します。	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェア検出方法のPoE+電源に接続されたことを検出しました。
	<PoE+>ソフトウェアが検出されました。PoE+電源で動作します。	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア検出方法のPoE+電源に接続されたことを検出しました。
	<PoE+/PoEインジェクター/AC24V> 検出失敗しました。PoE Class 0電源で動作します。	<ul style="list-style-type: none"> AC24V電源、PoE給電装置（インジェクター）、PoE+電源に接続されたことを検出できません。使用している電源がPoE+（IEEE802.3at準拠）対応であるか確認してください。または、推奨のPoEインジェクター、AC24V電源を使用してください。

設置状態に関するエラー表示

分類	表示内容	内容詳細
設置状態	設置状態エラー	<ul style="list-style-type: none"> 設置状態の異常を検出しました。本機の設置状態を再確認し、電源を再投入してください。
	カメラの向き異常を検出したため、ポジションリフレッシュを行いました。	<ul style="list-style-type: none"> 向き異常を検出し自動復旧した場合に表示されます。

3.3 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照
ウェブブラウザからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークコネクタにカテゴリ5e以上のケーブルは接続されていますか？ 	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> リンクランプ（LINK）は点灯していますか？ 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。 	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源は入っていますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。 	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？ 	191 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで > ping 「本機に設定したIPアドレス」 で、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。 Replyが返ってこない場合は、カメラと同じネットワークに接続したPCで、次の方法で接続を確認してください。なお、PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> IP簡単設定ソフトウェアを起動し、カメラのIPアドレスを確認し、そのIPアドレスにアクセスしてください。 ネットワーク設定（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が間違っている場合には、カメラを再起動して、20分以内にIP簡単設定ソフトウェアでネットワーク設定を変更してください。 DHCPサーバーのない環境にて、初期化スイッチにより本機を再起動して初期化を行うと、IPアドレスを「192.168.0.10」に設定します。その後、本機にアクセスしてIPアドレスを再設定してください（このとき、本機の設定データはすべて初期化されます）。 	256 ページ
<ul style="list-style-type: none"> HTTPポート番号に554を設定していませんか？ HTTPポート番号は、本機で使用する20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 443, 554, 995, 10669, 10670, 59000~61000以外のポート番号を使用してください。 	194 ページ	

現象	原因・対策	参照
ウェブブラウザからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？ [同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合] 本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。また、ウェブブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 [本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合] 本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていないですか？ 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 「みえますねっと」で登録している名前（ニックネーム）と異なる名前でも本機にアクセスしていませんか？登録されている名前でもアクセスしてください。 	232 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。 	225 ページ 230 ページ
ウェブブラウザからアクセスできない（ブラウザの画面上に「Webページが見つかりません」またはタブ上に「HTTP 404 未検出」と表示が出る）	<ul style="list-style-type: none"> カメラのINITIAL SET（初期化）スイッチがONのままになっている可能性があります。以下の手順で確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 本機の電源を切る 2. 本機カメラ部背面のSDスロットカバー部分を取り外し、内部のINITIAL SET（初期化）スイッチがOFF（左側）になっていることを確認してください。 3. INITIAL SET（初期化）スイッチの確認後、SDスロットカバーを元の位置に取り付け、再度電源を入れてください。 	取扱説明書 基本編

現象	原因・対策	参照
インターネットからカメラにアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機のネットワーク設定が間違っていないか？デフォルトゲートウェイまたはDNSサーバーアドレスを正しく設定してください。DDNSサービスを使う場合は、正しく設定されているか確認してください。 • ネットワークの設定で、[デフォルトゲートウェイ]を設定していますか？ または、正しい設定をしていますか？ IPv4の場合 [設定] - [ネットワーク] - [IPv4ネットワーク]で [デフォルトゲートウェイ] を正しく設定してください。 	191 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> • ルーターにポートフォワーディングが設定されていますか？ お使いのルーターにUPnP機能がない場合に、インターネットから本機にアクセスできるようにするには、ポートフォワーディング設定が必要です。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。 • ルーターのUPnP機能が無効になっていませんか？ お使いのルーターの取扱説明書を参照して、UPnP機能を有効にしてください。 • ルーターに、インターネットからのアクセスを禁止するパケットフィルタリングなどを設定していませんか？ お使いのルーターを、インターネットからアクセスできるように設定してください。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書をお読みください。 	207 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> • ローカルネットワークで使用する際のIPアドレス（ローカルアドレス）でアクセスしていませんか？ インターネットで使用する際の本機のIPアドレスとしてグローバルアドレス（またはDDNSサービスで登録したURL）と、本機のポート番号でアクセスしてください。 	192 ページ, 193 ページ, 230 ページ

現象	原因・対策	参照
「みえますねっと」サービスのURLでアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> 本機（またはルーター）のグローバルアドレスが「みえますねっと」サービスサーバーに通知されていますか？ 「みえますねっと」サービスのウェブサイト (https://panasonic.biz/cns/miemasu/) にて、登録されたカメラの情報を確認してください。通知されていない場合は、本機にアクセスして、[設定] - [ネットワーク] - [アドバンス] で「みえますねっと」サービスの登録を完了してください。また、本機の [設定] - [メンテナンス] - [ステータス] の、[みえますねっと] のステータスとシステムログを確認してください。 	232 ページ 247 ページ
認証画面が連続して表示される	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？ 本機にアクセス中に、別のウェブブラウザでログイン中のユーザーのユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り換えたりするたびに、認証画面が表示されます。ウェブブラウザを閉じて、本機にアクセスし直してください。 [認証方式] の設定を変更していませんか？ [認証方式] の設定を変更した場合は、ウェブブラウザを閉じて、アクセスし直してください。 	-
画面表示に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> HTTPSモードでアクセスしていませんか？ HTTPSでは、復号処理のため、表示が遅くなります。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> 同じローカルネットワークの本機をプロキシ経由でアクセスしていませんか？ プロキシを経由しないようにブラウザの設定を行ってください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> 複数のユーザーが同時にカメラ画像を参照していませんか？ 複数のユーザーが同時にカメラ画像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、カメラ画像の更新速度が遅くなったりする場合があります。 	-

現象	原因・対策	参照
携帯電話からカメラにアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> URLが間違っている。または、URLの最後に「/mobile」が未入力になっていませんか？ URLが正しく入力されているか確認してください。携帯電話から本機にアクセスする場合は、PCからアクセスするときに使用するURLの最後に「/mobile」と入力する必要があります。 	23 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話のHTTPSのSSL暗号化方式が本機と異なっていませんか？ 本機のHTTPSの「接続方法」を「HTTP」に設定して、再度アクセスしてください。 	208 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。 	225 ページ 230 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ソフトバンクモバイルの携帯電話について ソフトバンクモバイルの携帯電話では、ポート番号80以外からのアクセスは禁止していますので、ポート番号80に設定したカメラに対してのみご利用になれます。 	—
携帯端末からカメラにアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> URLが間違っている。または、URLの最後に「/cam」が未入力になっていませんか？ URLが正しく入力されているか確認してください。携帯端末から本機にアクセスする場合は、PCからアクセスするときに使用するURLの最後に「/cam」と入力する必要があります。 	25 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 携帯端末のHTTPSのSSL暗号化方式が本機と異なっていませんか？ 本機のHTTPSの「接続方法」を「HTTP」に設定して、再度アクセスしてください。 	208 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。 	225 ページ 230 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ソフトバンクモバイルの携帯端末について ソフトバンクモバイルの携帯端末では、ポート番号80以外からのアクセスは禁止していますので、ポート番号80に設定したカメラに対してのみご利用になれます。 	—

現象	原因・対策	参照
「みえますねっと」サービスに利用者登録する際、エラーが表示される（エラー例：「エラーが発生しました。cookieが利用できないか、あるいは有効期限が切れました。cookieの利用できるブラウザ、設定で再度接続してください。」）	<ul style="list-style-type: none"> ウェブブラウザのセキュリティ設定が、cookieを受け付けられない設定になっていませんか？ お使いのウェブブラウザ（Internet Explorer）の設定を確認してください。Internet Explorerの「ツール」－「インターネットオプション...」－「プライバシー」タブでcookieの設定ができます。 	－
「みえますねっと」サービスの登録で失敗する	<ul style="list-style-type: none"> 登録したEメールアドレスが間違っている可能性がありますか？ 「みえますねっと」サービスのウェブサイトのリンクを記載したEメールが送られてこないときは、登録したEメールアドレスが間違っている可能性があります。「みえますねっと」サービスのウェブサイト (https://panasonic.biz/cns/miemasu/) を参照して、Eメールアドレスを正しく登録し直してください。 	－
SDメモリーカードの画像取得ができない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク設定ページの「カメラへのFTPアクセス」が「許可」に設定されていますか？ 「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。 	196 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> パスワードを間違えて入力していませんか？ ウェブブラウザを再起動してからパスワードを入力し直してください。 	95 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードに接続できなくなることがあります。ウェブブラウザを再起動してから、再度画像取得を実行してください。 	－
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。 	4 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> お使いの携帯電話が320×240ドットまたは、640×480ドットの解像度に対応していない。または、携帯電話が表示できる画像データのサイズを超えていませんか？ 携帯電話で表示できる画像データサイズの制限については、お使いの携帯電話の取扱説明書をお読みください。 	－

現象	原因・対策	参照
画像が表示されない、または、古い画像や古いログが表示される	<ul style="list-style-type: none"> インターネット一時ファイルの設定において、「保存している新しいバージョンの確認」が「ページを表示するごとに確認する」に設定されていない場合、ライブ画ページの画像が表示されないことがあります。以下の手順を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorerで [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 Internet Explorer 11の場合: 「閲覧の履歴」の [設定] ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択する。 	—
ポジション設定した場所にカメラが向かない	<ul style="list-style-type: none"> 本機使用中に設定したポジション位置からカメラの向きがずれた場合、ポジションリフレッシュを実行すると位置が補正されます。スケジュール機能でポジションリフレッシュを設定すると、定期的にカメラの向きのずれを補正することができます。 	239 ページ 250 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 部品が消耗していませんか？ 駆動部品の消耗が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。 	取扱説明書 基本編
電源投入時、元のポジションに戻らない	<ul style="list-style-type: none"> 本機のポジションを電源投入前の状態に戻したい場合は、そのポジションをホームポジションに登録し、セルフリターンで戻るように設定してください。 	114 ページ
カメラの動作が自動で変化する	<ul style="list-style-type: none"> セルフリターン機能を確認してください。 	114 ページ
画像が更新されない	<ul style="list-style-type: none"> ウェブブラウザやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。 	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。PCのキーボードの [F5] キーを押すなどして、画像の取得要求を行ってください。 	—
カメラ画像が出ない (暗い)	<ul style="list-style-type: none"> 「明るさ」が暗くなるように設定されていませんか？ 明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。 	13 ページ
画像が白っぽい	<ul style="list-style-type: none"> 「明るさ」が明るくなるように設定されていませんか？ 明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。 	13 ページ
画像がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> ちらつきが気になる場合は、「光量制御モード」を「フリッカレス」に設定してください。 	118 ページ

現象	原因・対策	参照
画像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> フロントパネルにごみやほこりが付着していないか確認してください。 本機使用中にフォーカスがずれた場合は、ポジションリフレッシュを行うと位置が補正されます。 	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> 【カメラ動作】 タブの「最短撮影距離」が「制限あり」に設定されていませんか？「制限なし」に変更してください。 	116 ページ
画像の焦点が合わない	<ul style="list-style-type: none"> フロントパネルが汚れていませんか？フロントパネルの汚れを落としてください。 	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> オートフォーカスでピントが合いにくい被写体を写していませんか？手動操作でピントを合わせてください。 	15 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 【カメラ動作】 タブの「最短撮影距離」が「制限あり」に設定されていませんか？「制限なし」に変更してください。 	116 ページ
ウェブブラウザでの画像が更新が遅くなったり、画像が間欠的に表示される	<ul style="list-style-type: none"> カメラを高フレームレート、高画質でご利用の場合、PCのスペックが原因の場合があります。その場合、以下のスペックのPCを使用すると改善することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> CPU：intel Core i7 6700以上 メモリー：8 GB dual channel (4 GB x2) 以上 【画像更新が遅くなったり、間欠的になるカメラ利用例】 <ul style="list-style-type: none"> 解像度1920x1080、フレームレート60 fps、ビットレート4096 kbps 解像度1280x720、フレームレート60 fps、ビットレート3072 kbps 解像度1280x720、フレームレート30 fps、ビットレート2048 kbps（複数ブラウザ参照時 4画像以上） 	—

現象	原因・対策	参照
SDメモリーカードに画像が保存されない	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？正しく取り付けられているか、確認してください。 	取扱説明書 基本編
SDメモリーカードへの書き込み／読み込みなどに失敗する	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードはフォーマットされていますか？SDメモリーカードをフォーマットしてください。 	87 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？「LOCK」になっている場合は、[SDメモリーカード] タブの「容量表示」に「*****MB/*****MB」と表示されます 	—
	<ul style="list-style-type: none"> [SDメモリーカード] タブの「容量表示」に「-----MB/-----MB」と表示されていませんか？SDメモリーカードをフォーマットしてください。 	87 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> [SDメモリーカード] タブの「容量表示」に「#####MB/#####MB」と表示されていませんか？パスワードロックの設定を確認してください。 	87 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> メール通知や独自アラームの「診断」機能を使用している場合、認識エラーを受信していませんか？SDメモリーカードをフォーマットしてください。 	87 ページ, 198 ページ, 176 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードが故障していませんか？SDメモリーカードは書き換え回数に限度がある部品です。書き換え頻度が多い場合は、寿命が考えられますので、SDメモリーカードを交換してください。 	—
音声の送話ができない	<ul style="list-style-type: none"> マイクとスピーカーが正しく接続されていますか？正しく接続されているか確認してください。 	取扱説明書 設置編
	<ul style="list-style-type: none"> 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？表示用プラグインソフトウェア「Network Camera - View 4S」がインストールされているか確認してください。 	4 ページ
弊社のネットワークディスクリコーダーやPCソフトウェアパッケージから音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 弊社のネットワークディスクリコーダーやPCソフトウェアパッケージには、「G.711」または「AAC-LC」に対応していないものがあります。受話音声圧縮方式を「G.726 (32 kbps)」に設定してください。 	149 ページ

現象	原因・対策	参照
ライブ画ページでアラーム発生通知ボタン、SD保存状態表示がリアルタイムに表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされているか確認してください。 	4 ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 状態通知間隔が「リアルタイム」になっていますか？ 	71 ページ
ライブ画ページの画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> PCのキーボードの [F5] キーを押すか、[ライブ画] ボタンをクリックしてください。 	13 ページ
PCの [ネットワーク] にカメラのショートカットアイコンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> UPnPのWindowsコンポーネントが追加されていますか？ お使いのPCに、UPnPのWindowsコンポーネントを追加してください。 	207 ページ
画像がうまく更新されない、表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。 <ol style="list-style-type: none"> Internet Explorerで [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 「インターネット一時ファイル」の [ファイルの削除] ボタンをクリックする。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。 	—
H.265（またはH.264）画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」を削除した場合、H.265（またはH.264）画像が表示されなくなります。 その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4S」のインストールを行ってください。 	4 ページ

現象	原因・対策	参照
<p>複数のウェブブラウザを起動してH.265（またはH.264）画像を表示したとき、1つのウェブブラウザに複数のカメラ画像が切り換わり表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> • PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。ここでは、Windows 7を例に説明します。ご使用の環境によっては、設定を変更できない場合もあります。 <ol style="list-style-type: none"> 1. デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「画面の解像度」を選択します。 2. 「詳細設定」をクリックします。 3. [トラブルシューティング] タブを選択し、「設定の変更」をクリックします。 4. [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。管理者アカウント以外でログオンしている場合は、パスワードを入力し、「はい」をクリックします。必要に応じてユーザー名も入力します。 5. 「ハードウェアアクセラレータ」の項目を一番左の「なし」に変更し、[OK] ボタンをクリックします。 	<p>—</p>
<p>ブラウザの再生画面からの録画データダウンロードに失敗する</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorerを管理者権限で実行していない可能性があります。すべてのInternet Explorerを終了した後、スタートメニューのInternet Explorerアイコンを右クリックし「管理者として実行」をクリックしてInternet Explorerを起動してください。 • 「画像ダウンロード先のディレクトリー名」設定で一般ユーザー権限で書き込み可能なディレクトリーを指定してください。 	<p>98 ページ</p>
<p>ウェブブラウザの戻るボタンをクリックすると、正しい画面が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • PCのキーボードの [F5] キーを押して画面を更新してください。 	<p>—</p>

情報バーにメッセージが表示される

Internet Explorer 11の場合：

「情報バー」とは、Internet Explorerの下方に表示されるメッセージバーのことです。

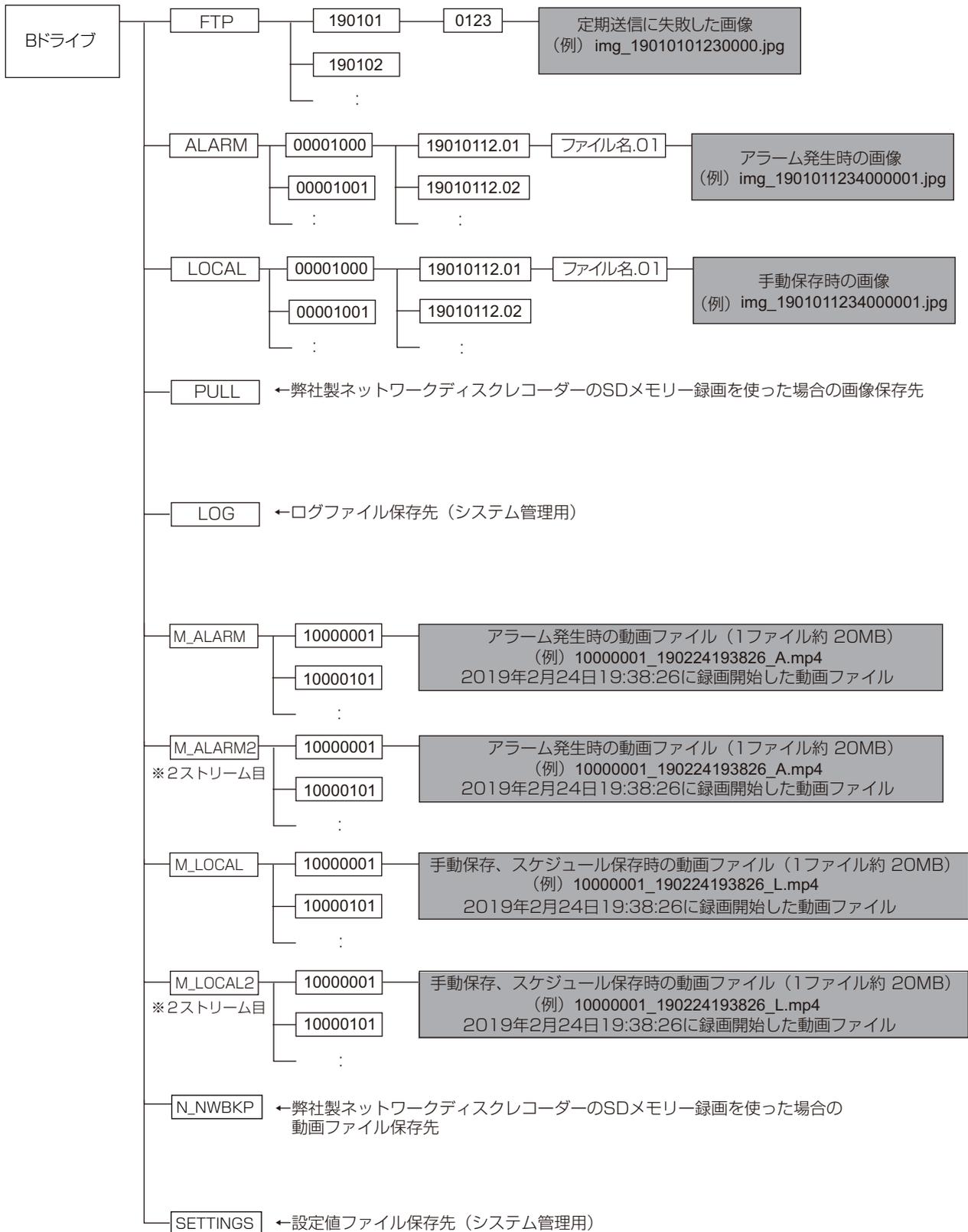


お使いのPCのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作に影響を与えたりすることはありません。

現象	原因・対策	参照
下記メッセージの情報バーが表示される。 「***.***.***.*** (IPアドレス) からのポップアップがブロックされました」(Internet Explorer 11)	<ul style="list-style-type: none"> 「このサイトのオプション(O)」→「常に許可(A)」を選択してください。 	—
下記メッセージの情報バーが表示される。 「このWebサイトは、'Panasonic Corporation'からの'WebVideo Module'アドオンを実行しようとしています。」(Internet Explorer 11)	<ul style="list-style-type: none"> 「許可(A)」を選択してください。 	—
下記メッセージの情報バーが表示される。 「このWebサイトは、'Panasonic Corporation'からの'nwcv4Ssetup.exe'アドオンをインストールしようとしています。」(Internet Explorer 11)	<ul style="list-style-type: none"> 「インストール(I)」を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)] ボタンをクリックしてください。 	—

現象	原因・対策	参照
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、[インターネット] を選択します。[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、[[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	—
Windows 10でダイアログメッセージ、エラーメッセージなどのメッセージ内の文字が改行される、またはメッセージの一部が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ご使用のPCの設定を変更することで解消されることがあります。PC画面上で右クリックし、「ディスプレイ設定」→「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」の設定で表示を変更してください。 	—
画像が表示用の枠と一致していない	<ul style="list-style-type: none"> 画像のDPI設定が120 DPI以上に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 Windows 10の場合： PC画面上で右クリックし、「ディスプレイ設定」→「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」のスライダーを「100%（推奨）」になるように設定してください。「向き」は、「横」の設定でご使用ください。 Windows 8.1の場合： PC画面上で右クリックし、「画面の解像度」→「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックし、「すべての項目のサイズを変更する」のスライダーを「小さくする」に合わせ、推奨サイズになるように設定してください。 Windows 7の場合： PC画面上で右クリックし、「画面の解像度」→「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックし、「小-100%（規定）」に設定してください。 	—
画面に「Power supply is operating on PoE.」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> PoEで動作しています。PoE+（IEEE802.3at準拠）対応のハブまたは給電装置を使用してください。PoE（IEEE802.3af準拠）対応のハブからは、電源の供給はできません。 	—

3.4 Bドライブのディレクトリ構造について



パナソニックi-PROセンシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019